



Fujioka
General
Hospital
2020

病院年報

公立藤岡総合病院



介護老人保健施設「しらさぎの里」



令和 2 年度年報発刊に寄せて

病院長 塚田 義人

2020 年度の年報をここに作成しました。この一年は後世、混乱と激動の年として回想されることになるでありません。言うまでもなく、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが世界中に襲いかかったいわゆるコロナ禍の年であるからです。2019 年末から、中国武漢市のごく一部の地域に発生した新型コロナウイルス感染症は、すでに翌 2 月には横浜に着岸したクルーズ船内での集団感染で最初の動揺が生じ、その後瞬く間に日本中を混乱に陥れました。その後患者の増減の波を数度反復しながらいまだに解決への出口が見えていません。このパンデミックはこれまで平時を前提とし、おもに中長期的な視点で計画を立ててきた病院の運営にも大きな影響を与え、経験したことのない感染症対策を矢継ぎ早に迫られることになりました。

感染症対策は医療安全と並んで大きな注力が求められる領域ですが、単に院内感染症の発生予防の観点だけでなく、発熱外来の設置、院内感染の防止対策、コロナ陽性患者の受け入れ態勢、ワクチン接種推進、様々なレベルでの感染症体制の見直しと新たな活動が必要となりました。

外来診療においては、発熱患者への対応策、救急患者対応時の警戒態勢を整備しました。感染症指定病院として、コロナ陽性患者の入院を受け入れましたが、通常の感染症病床として準備していた 4 床では早々に限界が生じ、地域包括病床である 7 階病棟を新型コロナ専用病床に転換し、最大 35 床までの運用可能にしました。結果として県内でもコロナ患者の受け入れ施設として貢献度の高い病院となっています。コロナ対応が始まって一年余りが経過するなかで、幸いにして職員の個別的感染は若干見られたものの、患者さんを巻き込んだクラスター感染には至りませんでした。2021 年 3 月によりやくワクチン接種が始まり、病院職員の感染症リスクは大幅に低下しているとはいえ、ワクチンの普及がすべてを解決するとは到底言えない状況が続いており予断を許しません。

病院実績に関するデータは、外来においては、2020 年 6 月から予約外の新規患者に選定療養費が導入された影響と、コロナ蔓延のため外来受診控えの影響が尾を引いており大きく落ち込んでいます。一方、近年外来化学療法の需要増加は予想を超えており、設備の容量の限界が明確になれば化学療法用のベッドの増設を検討しなければならない状況に近づいています。当面は運用の工夫で乗り切る必要があります。入院棟においては、いわゆる不要不急の検査、手術の差し控えが一時期生じ、年度後半に至っても前年度並みには到達しておりません。健診事業、訪問看護事業、老健施設事業も同様の傾向と言えます。

現在、超高齢化社会を目前にして近未来の地域医療対策が策定されつつありますが、今回のコロナ禍を契機に、今後も発生しうる新たな大規模感染症というこれまでは抜け落ちていた観点を含めて新たな見直しをする必要があることは間違いがありません。地域中核病院としての多面的役割の一つに感染症への対応は今後も重要性が増してくることになります。短期間で目まぐるしく状況が変転する中で常に適切な対応を行いつつ、同時に中長期的な展望のもとで体制整備を行わなければなりません。

一年間の混乱のなかで、職員全員が心をつなげて取り組んだ行動の記録として今回の年報が何らかの役割を果たせば幸いです。

病院事業

【公立藤岡総合病院】

I 病院の現況

1. 病院の概要	1
2. 組合構成団体の地勢と位置	4
3. 歴史と沿革	6
4. 建物配置図及び面積表	12
5. 建物設備の概要	13
6. 主要医療機器	24
7. 令和2年度導入医療機器	27
8. 医療法に関する許可承認事項	29

II 組織及び職員の現況

1. 組織	32
2. 職員数	33
3. 主要役職員名簿	35
4. 議会	37

III 院内会議及び委員会

1. 会議	38
2. 委員会	38

IV 学会及び研修会

V 研究業績

1. 論文	46
2. 学会及び研究発表	47
3. 講演	49
4. 講演会・研修会開催実績	51
5. 看護部院内研修	53
6. 認定看護師の活動記録	58
7. CPC	72
8. 教育実習生・研修生受入実績	73
9. 医師臨床研修制度	74

VI 購入図書

1. 損益計算書	86
2. 貸借対照表	87
3. 経営分析	88

1. 入院・外来患者の状況	89
2. 診療請求の現況	101
3. 救急患者の状況	104
4. 分娩件数	106
5. 剖検数	106
6. 内視鏡件数	106
7. 循環器科	107
8. 手術件数	107
9. 薬剤部	122
10. 放射線室	125
11. 検査室	129

12. リハビリテーション室	133
13. 栄養室	135
14. 人工透析室	135
15. 患者支援センター	136
16. 健康管理センター	137
17. 母親学級	137

IX 群馬県立赤城特別支援学校

公立藤岡総合病院内教室	138
-------------	-----

介護老人保健施設事業

【介護老人保健施設 しらさぎの里】

【訪問看護ステーション はるかぜ】

I 施設の現況

1. 施設の概要	140
2. 歴史と沿革	142

II 職員の現況

1. 職員数	143
2. 主要役職員名簿	143

III 学会及び研修会

IV 教育実習生・研修生受入実績

V 経営状況

1. 損益計算書	147
2. 貸借対照表	149
3. 経営分析	150

VI 業務統計

1. 介護老人保健施設「しらさぎの里」	151
2. 訪問看護ステーション「はるかぜ」	153

業務概要

1. 診療部	154
2. 薬剤部	168
3. 診療支援部	169
4. 看護部	174
5. 経営管理部	187
6. 研修管理センター	190
7. 安全管理センター	191
8. 患者支援センター	192
9. 緩和ケアセンター	193
10. しらさぎの里管理課	194

病院行事

1. 主な病院行事	195
2. 職員健康管理	196
3. 職員共済行事	196

病 院 事 業

【公立藤岡総合病院】

病院の理念

地域住民から信頼される医療

基本方針

1. 患者さんの権利と意思を尊重し、患者本位の医療を提供します。
2. 地域中核病院として、救急医療、高度専門医療の充実に努めます。
3. 地域の医療・介護・保健機関と密接な連携を行います。
4. 次世代の医療従事者の教育・研修に貢献します。

看護部理念

「患者さんの満足」と「看護者のやりがいの実現」に向けて、人間愛に基づいた専門性の高い看護サービスの提供を目指します。

基本方針

1. 患者さんの命と尊厳を守る心のこもった看護を提供します。
2. 質の高い看護が提供できるよう看護職員の能力開発に努めます。
3. 地域の医療チームと連携し、継続したケアの提供に努めます。

I 病院の現況

1. 病院の概要（令和3年3月31日現在）

名称	公立藤岡総合病院
所在地	群馬県藤岡市中栗須 813 番地 1
電話番号等	TEL : 0274 (22) 3311 (代表) FAX : 0274 (24) 3161 E-mail : somu@fujioka-hosp.or.jp URL : http://www.fujioka-hosp.or.jp
開設者	多野藤岡医療事務市町村組合 管理者 新井 雅博
構成市町村	藤岡市、上野村、神流町、高崎市
病院長	塚田 義人
病床数	399 床（一般 395 床、感染症 4 床）
診療科目	内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、歯科口腔外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科（27 科）
施設	敷地面積 40,807.91 m ² ・職員駐車場面積 16,478 m ² 延床面積 34,275.33 m ² 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 規模 地上 7 階、入院棟、放射線棟、接続棟、外来棟 附帯施設 駐車場 約 1,000 台（患者用 約 300 台） 訪問看護ステーション「はるかぜ」 群馬県立赤城養護学校公立藤岡総合病院分教室 院内保育所
診療指定	保険医療機関、国保療養取扱機関、労災保険、結核指定医療機関、生活保護法、指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療・精神通院）、養育医療、救急医療告示病院、母体保護法指定医、肝疾患専門医療機関、特定医療費（指定難病）指定医療機関、小児慢性特定疾病指定医療機関、原爆被害者一般疾病医療機関、地域災害拠点病院、第二種感染症指定病院、群馬県エイズ診療協力病院、群馬県地域周産期母子医療センター、臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、開放型病院、DPC 対象病院、病院機能評価認定、卒後臨床研修機能評価機構認定、人間ドック・健診施設機能評価認定、診療・検査医療機関
施設基準	【基本診療料】 歯科点数表の初診料の注 1 に規定する施設基準 急性期一般入院料 1 超急性期脳卒中加算 医師事務作業補助体制加算 2（40 対 1） 看護職員夜間配置加算（16 対 1 配置加算 1） 重症者等療養環境特別加算 無菌治療室管理加算 2 医療安全対策加算 1 感染防止対策加算 1 抗菌薬適正使用加算 ハイリスク妊娠管理加算 総合評価加算 病棟薬剤業務実施加算 1 入退院支援加算 1 入院時支援加算 せん妄ハイリスク患者ケア加算 小児入院医療管理料 4 地域包括ケア病棟入院料 2 【特掲診療料】 歯科疾患管理料の注 11 に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料 外来栄養食事指導料 がん性疼痛緩和指導管理料 がん患者指導管理料ロ がん患者指導管理料ニ 小児運動器疾患指導管理料 腎代替療法指導管理料 歯科外来診療環境体制加算 1 救急医療管理加算 診療録管理体制加算 2 急性期看護補助体制加算（50 対 1） 療養環境加算 無菌治療室管理加算 1 栄養サポートチーム加算 医療安全対策地域連携加算 1 感染防止対策地域連携加算 患者サポート体制充実加算 ハイリスク分娩管理加算 後発医薬品使用体制加算 1 データ提出加算 2 地域連携診療計画加算 認知症ケア加算 2 地域医療体制確保加算 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 看護職員配置加算 糖尿病合併症管理料 がん患者指導管理料イ がん患者指導管理料ハ 糖尿病透析予防指導管理料 乳腺重症化予防ケア・指導料 小児科外来診療料

夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に規定する救急搬送看護体制加算 1	
外来放射線照射診療料	開放型病院共同指導料
がん治療連携計画策定料	薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1	医療機器安全管理料 2
医療機器安全管理料 (歯科)	
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注 2	
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	
持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	
遺伝学的検査	骨髄微小残存病変量測定
BRCA1/2 遺伝子検査	HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
検体検査管理加算 (I)	検体検査管理加算 (IV)
時間内歩行試験及びシヤトルウォーキングテスト	長期継続頭蓋内脳波検査
神経学的検査	小児食物アレルギー負荷検査
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	CT 撮影及び MRI 撮影
外来化学療法加算 1	連携充実加算
無菌製剤処理料	
心大血管疾患リハビリテーション料 (I)	脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)
運動器リハビリテーション料 (I)	呼吸器リハビリテーション料 (I)
がん患者リハビリテーション料	歯科口腔リハビリテーション料 2
人工腎臓 (慢性維持透析を行った場合 1)	導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
手術用顕微鏡加算	CAD/CAM 冠
脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。) 及び脳刺激装置交換術	
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)	
経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	
大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)	
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術	
輸血管理料 II	輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	胃瘦造設時嚥下機能評価加算
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	歯根端切除手術の注 3
麻酔管理料 (I)	放射線治療専任加算
外来放射線治療加算	高エネルギー放射線治療
1 回線量増加加算 (全乳房照射)	画像誘導放射線治療加算 (IGRT)
体外照射呼吸性移動対策加算	定位放射線治療
クラウン・ブリッジ維持管理料	
【入院時食事療養費】	
入院時食事療養費 (I)	
【保険外併用療養費】	
入院医療に係る特別の療養環境の提供	時間外診察
200 床以上の病院の初診	201 床以上の病院の再診
入院期間 180 日を超える入院	金属床による総義歯の提供

教育指定	日本内科学会認定医制度教育関連病院	日本血液学会血液研修施設
	日本呼吸器学会認定施設	日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
	日本腎臓学会研修施設	日本透析医学会専門医制度認定施設
	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
	日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設	
	日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本呼吸器外科学会専門医制度修練施設
	日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設	日本消化器病学会専門医制度認定施設
	日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	日本脳神経血管内治療学会研修施設
	日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
	日本緩和医療学会認定研修施設	日本整形外科学会専門医制度研修施設
	日本手外科学会基幹研修施設	日本リウマチ学会教育施設
	日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所	日本神経学会専門医制度教育関連施設
	日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院	日本泌尿器科学会専門医教育施設
	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
	日本病理学会病理専門医制度研修認定施設	日本臨床細胞学会施設認定施設
	日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム) 稼働施設	
	日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム) 専門療法士実地修練施設	
	日本小児科学会小児科専門医専門医研修施設	日本リハビリテーション医学会研修施設

	日本栄養療法推進協議会 NST(栄養サポートチーム)稼働施設
	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
	日本気管食道科学会研修施設
	日本人間ドック学会研修施設
	日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設
人間ドック	日本病院会指定、人間ドック・健診施設機能評価認定
人工透析室	ベッド数 29 床
救急体制	救急処置室、救急指定、病院群輪番制（二次救急）
ガン検診治療施設	リニアック、シンチレーションカメラ、循環器撮影装置、全身用 CT、MRI、PET - CT
リハビリテーション施設	運動療法室、作業療法室、言語聴覚療法室、水治療室
未熟児施設	ベッド数 4 床、経皮酸素分圧測定装置、レスピレーター、ECG モニター、光線治療ユニット、エアオキシゲンブレンダー、保育器
病理解剖施設	病理検査室、解剖室、固定標本室

2. 組合構成団体の地勢と位置

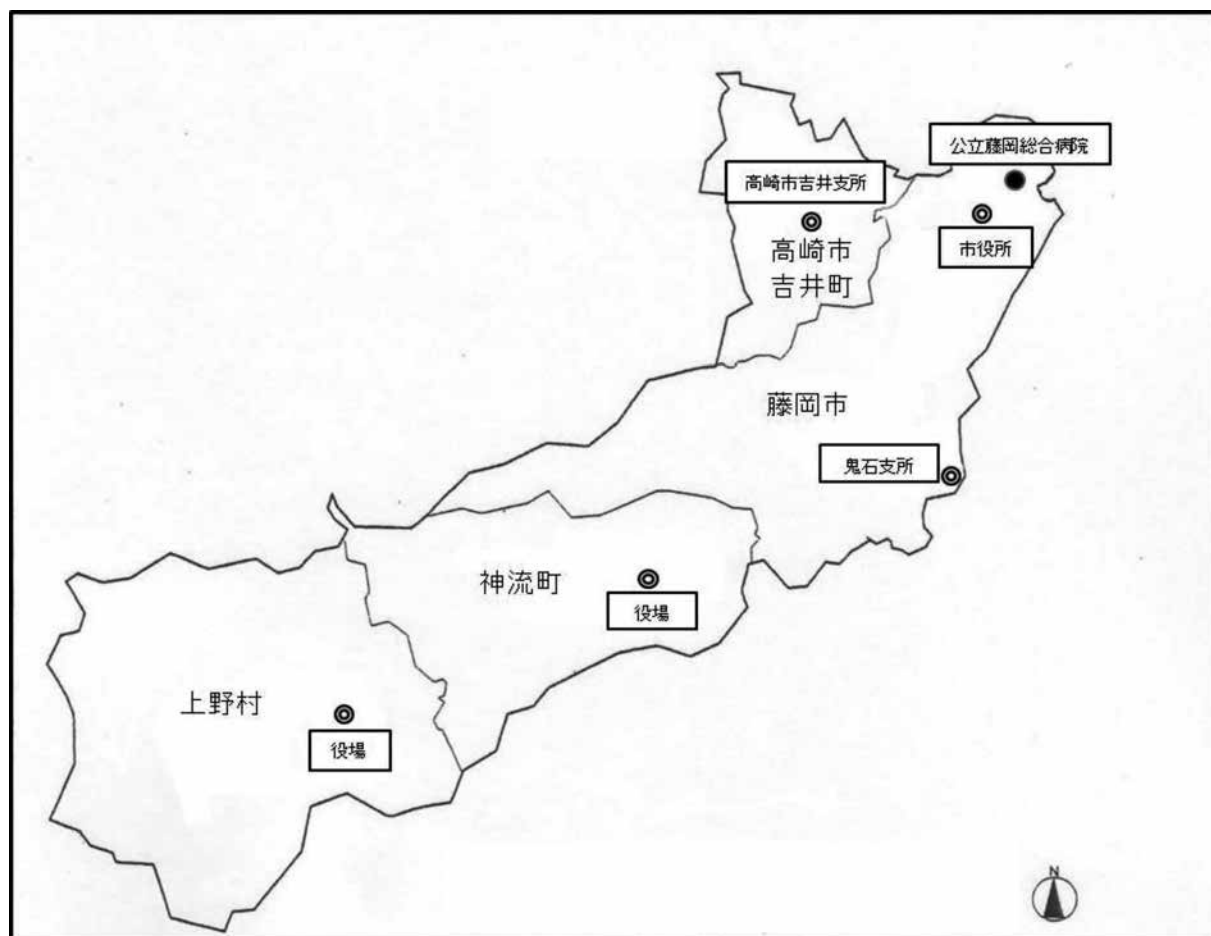
当組合構成市町村は、関東地方の北西部、群馬県の南西部に位置し、地形は東西 52.0km、南北 12.5km、総面積 482.54 km² で群馬県面積の 7.6%を占める。藤岡市を中心に上野村、神流町、高崎市（吉井区域）の 2市1町1村から構成されている。

高崎市の吉井区域について、平成 21 年 6 月 1 日に吉井町は高崎市と合併したが、配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。

東南部は神流川を隔てて埼玉県に、西は富岡市及び甘楽郡、北は烏川を隔てて高崎市及び佐波郡玉村町に境界を接している。

南西部は関東山地の秩父荒船連山に囲まれ、中央部は御荷鉢、赤久縄連山で分断され、東北部を除き大部分が山岳地帯であり、西から東へと流れる神流川の上流域は首都圏の水源にもなっていて、山・川等の美しく豊かな自然に恵まれている。中世には関東管領上杉憲実公の城下町として繁栄した歴史を残しながら、関越自動車道と上信越自動車道の分岐点として発展し、群馬県の表玄関となっている。

当病院は、この圏域の東北部の位置にあり、JR 八高線北藤岡駅の南 2km、上信越自動車道藤岡 IC 南東 1km に位置している。

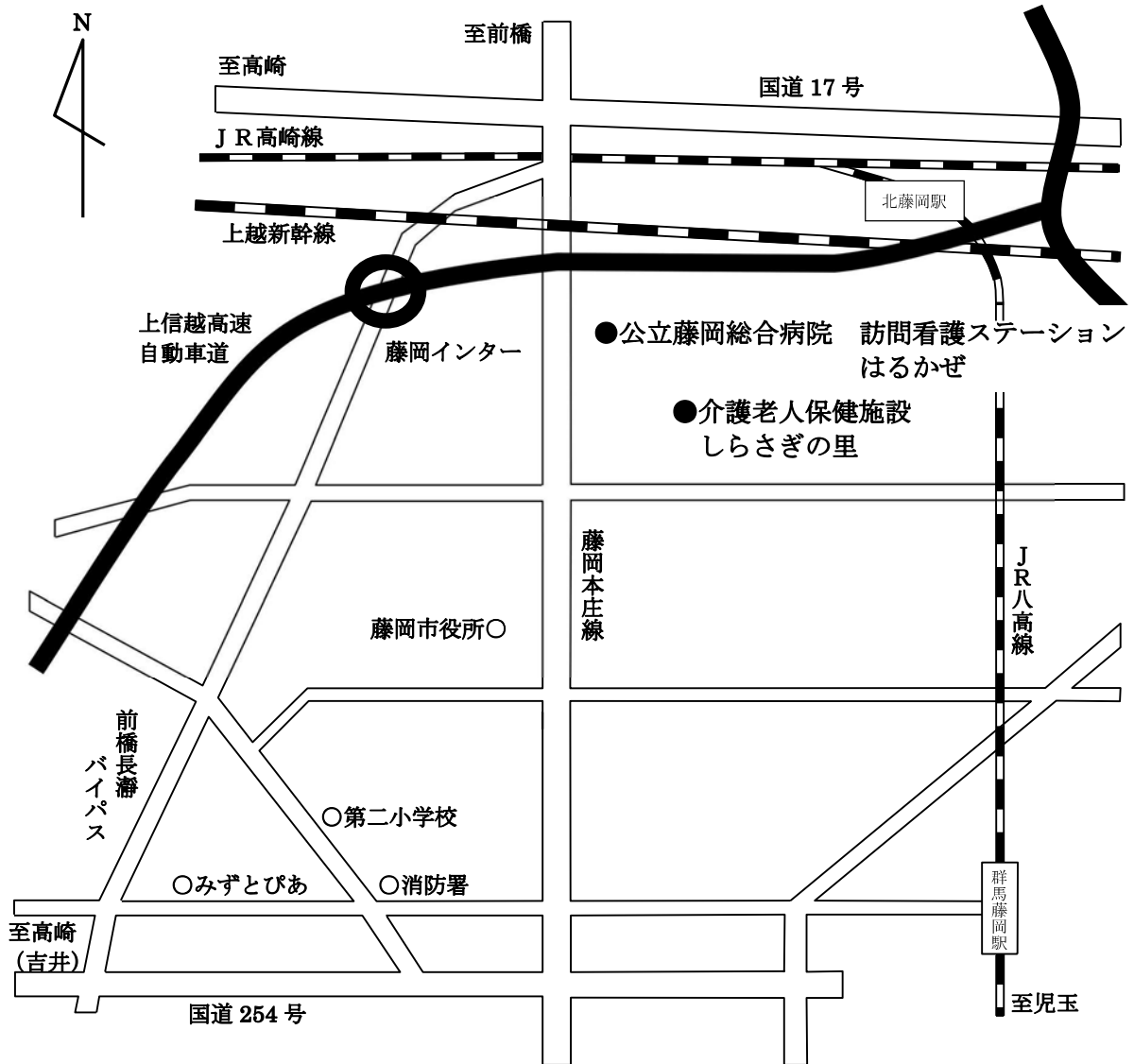


【交通のご案内】

JR 八高線 北藤岡駅から徒歩 25 分

JR 高崎線 新町駅から車で 10 分

上信越自動車道 藤岡 IC から車で 3 分



3. 歴史と沿革

昭和25年12月5日	多野郡藤岡町外16ヶ町村多野医療事務町村組合を設立 藤岡町、神流村、新町、小野村、八幡村、美土里村、平井村、美九里村、吉井町、多胡村、日野村、入野村、三波川村、美原村、万場町、中里村、上野村
昭和26年3月31日	病院建築工事着工（木造2階建）
4月10日	病院開設許可（42床 群馬県指令第363号）（一般25床 結核17床）
11月15日	病院開院 初代病院長 森 鉄太郎
11月17日	結核予防法による医療機関指定
19日	保険医指定
27日	病院使用許可（30床）（内科、外科、産婦人科）
昭和27年9月30日	病院使用許可（51床）（一般28床 結核23床）
昭和28年1月22日	病院開設許可事項一部変更許可（一般8床増床）
5月11日	第二代病院長 中川 恭一
6月 1日	生活保護法による医療機関指定
10日	病院施設増築許可
23日	病院使用許可（59床）（一般36床、結核23床）
7月15日	小児科、整形外科開設
10月15日	放射線科開設
昭和29年4月23日	病院開設許可事項一部変更許可（結核30床増床）
7月19日	病院使用許可（89床）（一般36床、結核53床）
10月15日	労災保険指定病院指定
昭和30年4月1日	第三代病院長 藤多 喜一
9月23日	多野藤岡医療事務市町村組合と改称 （藤岡市、新町、鬼石町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
12月26日	医師住宅建築（木造平屋建、49.5㎡） 医師住宅建築（木造平屋建、39.6㎡）
昭和32年12月9日	病院開設許可事項一部変更許可（一般44床増床）
昭和33年3月31日	病院増築工事竣工
5月8日	病院使用許可（133床）（一般80床、結核53床） 耳鼻咽喉科開設
10月1日	基準給食実施承認
昭和35年10月1日	多野藤岡伝染病予防事務市町村組合設立許可
昭和36年6月14日	伝染病棟開設許可
24日	伝染病棟使用許可（35床）
昭和40年7月29日	病院開設許可事項一部変更許可（寝具、消毒室、リネン室）
8月16日	病院使用許可（寝具、消毒室、リネン室）
昭和43年4月1日	地方公営企業法適用
昭和44年2月14日	救急医療告示病院認定
昭和45年6月4日	病院開設許可事項一部変更許可（全面増改築）
9月28日	病院増改築工事着工
昭和46年9月30日	病院増改築工事竣工 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階、塔屋2階 7,540.68㎡
10月8日	病院使用許可（213床）（一般180床、結核33床、伝染35床） 眼科、脳神経外科開設
20日	新病棟へ移転開始
昭和48年11月1日	総合病院名称使用承認 （内科、外科、小児科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科、放射線科）
昭和49年3月31日	多野藤岡伝染病予防事務組合の解散
4月1日	多野藤岡医療事務市町村組合伝染病隔離病舎設立
8月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅰ類）
昭和51年9月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅱ類 結核、Ⅲ類）
昭和53年3月27日	医師住宅建築（木造平屋建、69.56㎡ 2棟）
昭和55年4月1日	第四代病院長 大野 治俊
11月22日	医事課電算機導入
29日	書類倉庫建築（プレハブ 49.5㎡）
昭和56年11月1日	重症者看護及び重症者の収容基準の実施承認（8床）

昭和57年3月10日	全身用CT導入 (CT-W3-10形)
31日	医師住宅建築 (木造2階建、112㎡)
	看護婦寮竣工 (鉄筋コンクリート造、地上3階、1,061.2㎡) (36人収容)
	カルテ倉庫建築 (ブロック造)
昭和59年11月20日	病院開設許可事項一部変更許可 (増改築)
24日	病院増改築工事起工式
昭和60年4月10日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室開校
18日	中国陝西省衛生友好団来院
8月2日	病院開設許可事項一部変更許可 (伝染病棟病床数変更、中央診療棟増築工事)
13日	日航ジャンボ機墜落事故生存者収容 (落合由美、川上慶子、吉崎博子、吉崎美紀子)
	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認レントゲン撮影 ~9月26日
14日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣 (医師1名、看護婦20名)
16日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣 (看護婦13名)
9月7日	中国研修医来院 (陳 君三、白 本寛) (6ヶ月間)
11月12日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者部分遺体確認レントゲン撮影 ~11月23日
12月18日	病院使用許可 (中央診療棟、新設病棟)
23日	病院開設許可事項一部変更許可 (旧病棟改修)
昭和61年6月14日	病院使用許可 (旧病棟)
30日	病院増改築工事竣工 (413床) (一般370床、結核33床、伝染10床)
	病棟管理棟16,406.7㎡、中央診療棟2,495.0㎡、伝染病棟500.0㎡
7月9日	病院使用許可 (運動療法室、救急処置室、外来診療)
9月1日	運動療法の施設基準実施承認
10月6日	理学診療科開設
11月10日	病院開設許可事項一部変更許可 (麻酔科開設、麻酔科外来)
	中国陝西省衛生友好団来院
12月16日	病院使用許可 (麻酔科外来)
昭和62年1月1日	重傷者看護及び重傷者の収容基準の実施承認 (20床)
1月29日	短期人間ドック施設認定 (日本病院会)
3月1日	多野総合病院院内保育所開所
6月5日	泌尿器科開設
11日	病院使用許可 (泌尿器科外来)
19日	会計検査院実地検査
9月3日	中国研修医来院 (夏 中洵、顧 暁紅) (3ヶ月間)
昭和63年6月20日	全身用CT更新 (QUANTEX-RX形)
8月1日	ミキシング業務開始 (外科病棟)
9月22日	患者専用駐車場用地取得 (1,059.44㎡)
平成元年7月25日	駐車場造成舗装工事
平成2年3月20日	人間ドック室改修工事竣工 (8床 281.9㎡)
30日	病院使用許可 (人間ドック室)
平成3年8月20日	病院開設許可事項一部変更許可 (放射線棟増築工事)
平成4年1月10日	放射性同位元素等使用許可
3月10日	放射線棟竣工 (鉄筋コンクリート造地下1階、地上2階、457.98㎡)
	放射線治療システム (ライナック)・シンチカメラ・循環器X線撮影装置導入
平成4年4月1日	第五代病院長 小栗 政夫
7日	精神・神経科開設
4月30日	高周波利用設備許可
5月6日	施設検査合格証 (放射線棟)
11日	病院施設使用許可 (放射線棟)
18日	労働者災害保証保険外科後処置実施医療機関指定
9月4日	理学療法等の施設基準実施承認 (作業療法Ⅱ)
12月25日	病院施設使用許可 (皮膚科外来)
平成5年1月6日	皮膚科開設
4月1日	週休2日制 (週40時間勤務) 実施
5月16日	病院開設許可事項一部変更許可 (一般11床増床)
31日	病院使用許可 (424床) (一般381床、結核33床、伝染10床)
平成7年5月2日	病院開設許可事項一部変更許可 (MRI棟増築工事)
平成8年2月5日	病院施設使用許可 (MRI棟2階部分)
2月24日	病院施設使用許可 (MRI棟)

7月1日	循環器科開設
平成9年3月27日	災害拠点病院指定（地域災害医療センター）
31日	鬼石町脱退（藤岡市、新町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
4月1日	組合規約変更許可 名称変更 公立藤岡総合病院・議員定数変更（20名）
7月1日	組合立老人保健施設「しらさぎの里」開設 入所定員80名（一般棟40名、痴呆専門棟40名）、通所定員40名 病院施設使用許可（414床）（一般371床、結核33床、伝染10床）
8月1日	老人保健施設「しらさぎの里」に老人訪問看護ステーション開設
11月7日	高周波利用設備許可
平成10年2月12日	身体障害者福祉法指定医指定
9月29日	病院開設許可事項一部変更許可（結核33床の廃止、療養型病床群58床の開設）
30日	病院施設使用許可（381床）（一般313床、療養58床、伝染10床）
10月22日	病院開設許可事項一部変更許可（事務棟336.73㎡）
7日	病院開設許可事項一部変更許可（一般43床増床）
24日	病院施設使用許可（424床）（一般356床、療養58床、伝染10床）
平成11年2月1日	救急医療告示病院認定
4月1日	病院開設事項一部変更（伝染病床10床廃止、感染症病床4床に変更） 組合規約変更許可（伝染病隔離病舎事業廃止、議員定数変更（21名）） 病院施設使用許可（418床）（一般356床、療養58床、感染症4床）
7月8日	伝染病隔離病舎用途変更（取得財産処分行為）
平成12年1月14日	組合規約変更許可（公立藤岡総合病院附属外来センター設置）
2月23日	病院開設許可事項一部変更許可（一般10床増床） 精神・神経科の名称を精神科に変更
3月29日	病院施設使用許可（428床）（一般366床、療養58床、感染症4床）
4月1日	組合規約変更許可 （名称変更 組合立介護老人保健施設・組合立訪問看護ステーション）
12月27日	開設許可（群馬県指令 医第221号）
4月1日	労災保険二次健診等給付医療機関指定
5月17日	自治体立優良病院・両会長表彰受賞
8月14日	病院開設許可事項一部変更許可（消化器科開設）
平成14年4月1日	第六代病院長 鈴木 忠
5月21日	病院開設許可事項一部変更許可（西病棟改修）
7月26日	病院開設許可事項一部変更許可（療養病床58床廃止）
3月7日	病院開設許可事項一部変更許可（395床）（一般391床、感染症4床） （神経内科開設）
11日	病院施設使用許可（395床）（一般391床、感染症4床）
4月1日	万場町と中里村が合併し、神流町となる （藤岡市、新町、吉井町、上野村、神流町） 院内保育所閉所
平成16年3月31日	臨床研修病院指定（厚生労働省発医政第0331050号）
6月15日	手術棟増改築工事着工
7月29日	病院開設許可事項一部変更許可 手術棟（3階建）増設
10月1日	管理型臨床研修病院指定（医政発第1021001号－145）
平成17年1月28日	病院施設使用許可 手術棟（3階建）増設
3月27日	病院機能評価訪問審査
28日	手術棟増改築工事竣工（地上3階）
6月1日	群馬県地域周産期母子医療センター指定（保予第261－2号）
20日	病院機能評価認定（JC571号 審査体制区分3Ver. 4.0） 認定期間：平成17年6月20日～平成22年6月19日
平成18年1月23日	新町脱退 （藤岡市、吉井町、上野村、神流町）
2月24日	議員定数変更（19名）
4月1日	地域医療支援病院名称使用承認（群馬県指令医第166－1号） DPC（診断群分類別包括評価）準備病院
平成19年1月31日	地域がん診療連携拠点病院指定（厚生労働省発健第0131004号）
9月1日	病院敷地内全面禁煙開始
19日	体外式衝撃波結石破碎装置更新

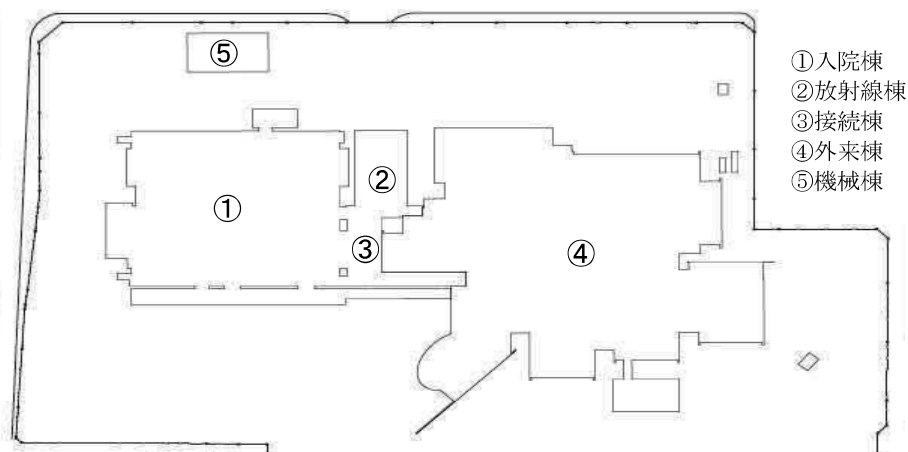
平成20年3月28日	救急医療告示医療機関認定（群馬県指令医第128-7号） 認定期間：平成20年2月1日～平成23年1月31日
3月28日	放射線治療装置更新（医療用リニアック）
4月1日	リウマチ科開設 給食調理業務を委託業者に変更
6月30日	医療情報システム更新（医事会計システム・健診システム）
7月1日	DPC（診断群分類別包括評価）対象病院 → DPC請求開始
平成21年1月31日	熱源設備機器更新（ボイラー）
3月19日	公立藤岡総合病院改革プラン策定
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 消化器科→消化器内科、循環器科→循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科を追加
5月11日	被爆者指定医療機関指定（関厚発第0511054号）
21日	吉井町の配置分合による多野藤岡医療事務市町村組合規約変更許可 （群馬県指令市第30033-6号）
5月31日	新医療情報システム更新（オーダーリングシステム）
6月1日	吉井町が高崎市と合併 配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。 （藤岡市、上野村、神流町、高崎市）
平成22年3月14日	病院機能評価Ver. 6.0訪問審査（3月14日～16日）
6月20日	病院機能評価認定（第JC571-2号 審査体制区分3 Ver. 6.0） 認定期間：平成22年6月20日～平成27年6月19日
平成23年1月14日	救急医療告示病院認定（群馬県医第128-21号） 認定期間：平成23年2月1日～平成26年1月31日
3月8日	循環器撮影装置更新
5月2日	保険医療機関指定（更新）（関厚発第19号） 指定期間：平成23年5月1日～平成29年4月30日
11月7日	磁気共鳴断層撮影装置（MRI）更新
8日	高周波利用設備変更許可（関東総合通信局）
21日	電子カルテシステム稼働
平成24年10月1日	第2次公立藤岡総合病院改革プラン策定
平成26年1月21日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-5号） 認定期間：平成26年2月1日～平成29年1月31日
4月1日	第七代病院長 石崎 政利
9月1日	中国研修医来院（程 卫、刘 仕琪）（3ヶ月間）
30日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-76号） 西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室（4））
12月2日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-101号） 西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室（3）→医療機器倉庫）
平成27年3月26日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-144号） MRI棟1階、CT撮影室に係る一部用途変更（CT撮影室2→画像診断室）
平成27年4月1日	臨床研修評価機構認定（新規認定） 認定期間：平成27年4月1日～平成31年4月1日 病院内保育所開設
6月5日	病院機能評価認定（機能種別版評価項目3rdG（Ver. 1.0）一般病院2） 認定期間：平成27年6月20日～平成31年6月19日
8月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 放射線科廃止、放射線診断科・放射線治療科・病理診断科を新設
11月1日	地域包括ケア病棟開設 東棟6階（39床）
平成28年2月1日	新入院棟建設工事着工
28日	公立藤岡総合病院 新入院棟建設・附属外来センター改修工事 起工式
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 救急科を新設
10月11日	電子カルテシステム更新
平成29年1月5日	新公立藤岡総合病院改革プラン策定
2月1日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-24号） 認定期間：平成29年2月1日～平成32年1月31日
9月30日	公立藤岡総合病院 新入院棟 竣工

10月20日	新公立藤岡総合病院 開設許可 (群馬県指令医第166-44号) 病床数 一般病床410床 (DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、人間ドック20床)、感染症病床4床 合計414床 診療科目 内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、形成外科(27科)
11月1日	旧病院から新病院へ移転 新公立藤岡総合病院 開院 陽電子放出断層撮影装置 (PET-CT) 導入
12月1日	保険医療機関指定 (関厚発第105号) 指定期間：平成29年11月1日～平成35年10月31日
28日	公立藤岡総合病院 旧附属外来センター改修工事 竣工
平成30年3月27日	病院開設許可事項一部変更許可 (一般病床15床廃止)
平成30年4月1日	病床数変更 一般病床395床 (DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、人間ドック5床)、感染症病床4床 合計399床 歯科口腔外科外来開設 形成外科外来開設
平成30年8月31日	職員駐車場整備工事 竣工
平成31年4月1日	第八代病院長 塚田 義人 臨床研修評価機構認定 (更新、エクセレント賞) 認定期間：平成31年4月1日～令和3年3月31日
令和元年10月1日	16列マルチスライスCT搭載型SPECT装置 (SPECT-CT) 更新
令和2年2月1日	救急医療告示病院認定 (更新) (群馬県医第128-28号) 認定期間：令和2年2月1日～令和5年1月31日
3月6日	病院機能評価認定 (機能種別版評価項目3rdG (Ver. 2.0) 一般病院2) 認定期間：令和2年6月20日～令和7年6月19日

* 附属外来センター(平成14年4月1日～平成29年10月31日)

平成12年12月27日	病院開設許可 20床 (群馬県指令医第221号) 病院建築工事着工
平成13年3月10日	地鎮祭
平成14年3月18日	病院施設使用許可 20床 (その他の病床)
3月25日	病院建築工事竣工
3月27日	労災保険指定医療機関の指定
4月1日	公立藤岡総合病院附属外来センター開院 初代 外来センター長 田中 壯佑 保険医療機関の指定 生活保護法に基づく医療機関指定 結核予防法に基づく医療機関指定
4月11日	地方公務員災害補償基金群馬県支部指定医療機関指定
平成15年2月28日	労働者災害補償保険法に基づく義肢採型指導医指定
平成17年3月4日	診療所開設許可 19床 (藤保指令第203-1号)
3月14日	診療所施設使用許可 19床 (一般19床)
3月24日	病院廃止届 (廃止年月日:平成17年3月31日)
3月31日	保険医療機関廃止届 (廃止年月日:平成17年3月31日)
4月1日	病院から診療所へ変更 保険医療機関の指定
11月24日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
平成18年1月16日	人間ドック・健診施設機能評価認定 (認定第92号)
平成19年3月1日	障害者自立支援法第64条の規定に基づく指定自立支援医療機関 (精神通院医療) 指定
4月1日	第二代 外来センター長 田村 勝
9月1日	診療所敷地内全面禁煙開始
平成20年3月7日	診療所開設届出許可事項等一部変更届 (診療日及び診療時間の変更)
4月1日	土曜診療の休診 リウマチ科、禁煙外来開設
平成21年4月1日	第三代 外来センター長 清水 透
5月11日	被爆者指定医療機関指定
平成22年1月6日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
2月12日	人間ドック・健診施設機能評価更新認定 (認定第92号) 認定期間:平成22年4月1日～平成27年3月31日
平成23年1月1日	肝疾患専門医療機関認定
4月1日	保険医療機関指定 (更新) 指定期間:平成23年4月1日～平成29年3月31日
7月2日	建築基準法第6条第1項の規定による確認 (化学療法室増築)
11月27日	化学療法室竣工 (218.77㎡)
12月17日	電子カルテシステム外来部門稼働
平成26年8月8日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査 人間ドック・健診施設機能評価更新認定 (認定第92号) 認定期間:平成27年4月1日～平成32年3月31日
平成29年4月1日	保険医療機関指定 (更新) 指定期間:平成29年4月1日～平成35年3月31日
平成29年10月31日	新公立藤岡総合病院開院に伴う附属外来センター廃院

4. 建物配置図及び面積表



	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	南病棟 47床			
6階	北病棟 47床 南病棟 46床			
5階	北病棟 46床 南病棟 47床			
4階	北病棟 38床 南病棟 47床			
3階	ICU 24床 手術室・中央材料滅菌室 麻酔・ペインクリニック 内視鏡室、血管撮影室	機械室		健康管理センター 人間ドック宿泊施設
2階	北病棟 48床 人工透析 29床 リハビリテーション室、ME室 会議室、スタッフルーム、図書室	核医学診断室	管理事務室	訪問看護ステーション 臨床検査室、内視鏡センター 産婦人科、小児科、眼科 耳鼻咽喉科、皮膚科 泌尿器科、心療内科 歯科口腔外科、形成外科 医局、病院長室、応接室 研修室、レストラン
1階	感染症病室 4床、救急センター 放射線診断室、検査室 入院受付、支払窓口 防災センター、入退院支援室 地域連携室、総合相談室 緩和ケアセンター 栄養室・厨房	放射線治療室	SPD	総合案内、外来受付 支払窓口、売店、がんサロン 薬局、お薬サロン、栄養相談室 検査センター、画像診断センター 内科、外科、整形外科 脳神経外科、処置点滴室 化学療法室、外来スタッフ室 医療情報管理室、病歴管理室 保育所、養護学校 リハビリ諸室、電話交換室

建物面積

	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	2,131.46m ²			
6階	2,662.91m ²			
5階	2,662.91m ²			
4階	2,841.31m ²			(搭屋) 81.41m ²
3階	3,063.55m ²	42.15m ²		1,430.66m ²
2階	3,063.55m ²	469.83m ²	353.82m ²	5,180.45m ²
1階	3,065.50m ²	469.83m ²	353.82m ²	6,402.17m ²
計	19,491.19m ²	981.81m ²	707.64m ²	13,094.69m ²

構造

①入院棟 鉄骨・鉄筋コンクリート造
③接続棟 鉄骨造

②放射線棟 鉄筋コンクリート造
④外来棟 鉄筋コンクリート造

敷地面積 40,807.91m² 職員駐車場面積 16,478m²

5. 建物設備の概要

*入院棟

番号	名称	規格	内訳	数量
1	モジュールチラー	空気熱源ヒートポンプ式モジュールチラー RUA-SP243HK5	冷房・暖房	2
2	ジェネリンク	廃熱回収型吸収冷温水機 NHJ-210HN5A	冷房・暖房	2
3	温水ボイラー	真空式温水ボイラー GTL-500BN	暖房・給湯	2
4	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-36×2TS M7 冷却水処理装置 EB-811SC	発電	1
		開放型、角形、超低騒音 SKB-210×2GN 冷却水処理装置 EB-811SC	冷房	1
5	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ 65LPD53.7E	発電	2
		冷却水ポンプ 150LPD4J518E	冷房	2
		冷温水一次ポンプ 125LPD4H57.5E	冷房・暖房	2
		冷温水二次ポンプ 80LPD57.5E	冷房・暖房	3
		廃温水ポンプ 65LPD55.5E	冷房・暖房	2
		温水ポンプ(温水余熱) 80LPD53.7E	暖房	1
		温水ポンプ(熱交換器一次側) 40LPD51.5E	暖房	2
6	熱交換器	プレート式熱交換器(暖房余熱) LX-125A-NJ-17	暖房	1
		プレート式熱交換器(温水) LX-095A-NHJ-9	暖房	2
7	膨張タンク	密閉式膨張タンク(廃温水) AFU-500	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(冷温水) AFU-300	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(温水一次) HM-24	暖房	2
		密閉式膨張タンク(温水二次) AFU-60	暖房	1
8	空調機	外調機(2管式) EI 30 DT他	冷房・暖房	21
		外調機(4管式) EI 50 DT他	冷房・暖房	6
		全熱交換器組込外調機(2管式) EI 50 RH他	冷房・暖房	2
		空調機(2管式) EI 250 DT	冷房・暖房	1
9	ファンコイルユニット	天カセ1方向 #200 DCR-204KV-LW-J3	冷房・暖房	3
		天カセ2方向 DCR-204~804KW-LW-J3	冷房・暖房	85
10	レヒーターコイル	天井隠蔽ダクト接続型 100~1150m ³ /h #L 3	暖房	19
11	空冷パッケージ エアコン	冷暖フリーマルチ型室外機 REYP224D~1360DR	冷房・暖房	21
		冷暖切替マルチ型室外機 RXYP224DA~900DAR	冷房・暖房	21
		クリーンルーム用カセット形 マルチ室内機 FBXYP45MB~71MB	冷房・暖房	42
		壁掛マルチ室内機 FXYAP28MB~36MB	冷房・暖房	4
		1方向カセット形マルチ室内機 FXYKP22C~71C	冷房・暖房	15
		2方向カセット形マルチ室内機 FXYCP22MB~80MB	冷房・暖房	215
		4方向カセット形マルチ室内機 FXYFP28MJ~140MJ	冷房・暖房	115
		天吊形マルチ屋内機 FXYHP90MC~160MC	冷房・暖房	3
		天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP45C~90C	冷房・暖房	105
		天井ビルトイン形マルチ屋内機 FXYSP22MB~28MB	冷房・暖房	4
		外気処理天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP224MCF~280MCF	冷房・暖房	3
		店舗用パッケージカセット形 SZRK40BBT~SZRC140BAD	冷房・暖房	5
		店舗用パッケージ天吊形 SZRH112BA~SZRH160BA	冷房・暖房	3
厨房用パッケージ天吊形 SZRT140BA	冷房・暖房	2		
設備用パッケージ床置形 SZVCP560KR	冷房	7		
12	送排風機・排煙機	片吸込シロッコファン 1.5kw 床置	給気	1
		片吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	給気	1
		片吸込片持形シロッコファン 0.75kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付片吸込シロッコファン 2.2kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 7.5kw 天吊	給気	1
		消音形ストレートシロッコファン BFS-80TUC~BFS-1000TU	給気	30
		片吸込片持形シロッコファン 0.4kw~11kw 床置	排気	7
		片吸込リットロードファン 1.5kw~5.5kw 床置	排気	6
		片吸込片持形リットロードファン 3.7kw 床置	排気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	排気	1
		消音型ストレートシロッコファン BFS-80TUC~BFS-300TX1	排気	112
		片吸込排煙ファン 11kw、22kw 床置	排煙	2

番号	名称	規格	内訳	数量
13	換気扇	有圧扇 EWF-30 BTA-Q~35 CTA-Q	給気	4
		天井扇 VD-23ZQ8-W	給気	1
		天井扇 VD-18ZX10-FP	排気	1
14	全熱交換機	天井埋込ダクト形 VAM25GAMS 250m3/h~100GAMES 1000m3/h		7
15	フィルターユニット	RIフィルターユニット(放射線系統) PTS-D4(2+2)PHC-S-AS	排気	1
		HEPAフィルターユニット(感染系統) 1×1.5H-POS-AS	排気	1
		HEPA制気口 CAP-GS-D(H)-SAS-DS-AS他	給気	31
		HEPA制気口 CAP-GS-D(H)-EAS-FS-AS	排気	1
		プレフィルター K-2×3.5P-NG-SP他	給気	7
16	風量制御装置	定風量装置 CDY-150-24他	給気	39
		定風量装置 CDY-150-24他	排気	6
		変風量装置 VDY-150-24他	給気	6
		変風量装置 VDY-150-24他	排気	1
17	自動制御機器 (空調)	デジタル設定器 QY7205A3011	FCU・RH用	一式
		温度検出器 TY7043Z0P00	FCU・RH用	一式
		湿度検出器 HY7043T1000	室内用 (計測)	一式
		温湿度発信機 HTY7043T1P00	室内用 (計測)	一式
		温度発信機 TY7803C000M (通信タイプ)	ダクト用	一式
		温湿度発信機 HTY7803T1P00	外気用	一式
		温度・露点温度発信機 HTY7903C000M (通信タイプ)	ダクト用	一式
		湿度調節器 HY6000Z2000	室内用 (加湿)	一式
		温度検出器 TY7830B1015・1030	配管・貯湯槽用	一式
		盤表面型表示設定器 QY5100W0000	盤面取付	一式
		差圧発信器 JTD930A	熱源バイパス用	一式
		温度指示調節器 R36	盤面取付	一式
		デジタル調節器 WY5206W1000	CAV・VAV用	一式
		デジタル調節器 WY5205W1010	FCU用 (on/off)	一式
		デジタル調節器 WY5205W2100	RH用 (比例)	一式
		台数制御ユニット WY2000Q	熱源機用	一式
		台数制御ユニット WY2000P	ポンプ用	一式
		電磁流量計 (変換器) MGG10C	熱源用	一式
		電磁流量計 (検出部) MGG11D	熱源用	一式
		電動バタフライ弁 700G-4IA	熱源用 (on/off)	一式
		電動バタフライ弁 700G-4IAP	熱源用 (比例)	一式
		電動ボール弁 VY6100D	冷却塔用	一式
		小型電動ニ方ボール弁 VY6202A0012	FCU用 (on/off)	一式
		小型電動ニ方弁 VY5502A0021	RH用 (比例)	一式
		アクチュエータ MY5560C0000	RH用 (比例)	一式
		電動ニ方弁 VY5165K (通信タイプ)	空調機取付	一式
		電動ニ方弁 FVY5160J (通信タイプ)	空調機取付	一式
		電動ニ方弁 (通信タイプ) VY5113J	熱源バイパス用	一式
		三方弁 V5065A6078	熱源用	一式
		アクチュエータ QY9403B0001	熱源用	一式
		三方弁 VY5303A0041	熱源用	一式
		アクチュエータ MY5301A1001	熱源用	一式
		積算熱量計 WTY8000A1201	熱源用	一式
温度検出器 TY7840B1015 (熱量計専用)	熱源用	一式		
ダンパモータ MY8040A2001 (通信タイプ)	空調機用	一式		
煤煙濃度計 GYY-S2000	煙道取付	一式		
電磁弁 WS-22	受水槽用	一式		
漏水センサ AD-RS (発色タイプ)	漏水監視	一式		
差圧スイッチ PYY-CL13	空調機取付	一式		
18	CGS設備	ガスエンジン発電設備389KVA 6600V 50Hz発電装置		一式
19	中央監視設備	savic-net FX2		一式
		BEMS管理 システム制御盤 空調制御盤		

番号	名称	規格	内訳	数量
20	スプリンクラー設備	加圧送水装置	1000×1000×1500H WVM-02T型 GNA-EA80 GSF-C80 EZ72-Q80A (1909個) EZ96-Q80A(31個)	1
		ステンレスパネル 溶接形消火用補給水槽		1
		一次圧力調整弁		1
		湿式 K50/60 流水検知装置		7
		スプリンクラー末端試験装置		7
		閉鎖型スプリンクラーヘッド		1,940
		補助散水栓格納箱		70
21	連結送水管	放水口格納箱	スプリンクラー用×1 連結送水管×2	7
		媒介金具 差込式受け口65A×差込式差し50A鎖付		7
		埋込型双口送水口 100×65×65		1
22	採水口	スタンド型採水口・ストップ弁付 (100×65)		1
		65A町男×65A町男		1
		媒介金具 差込式キャップ65A (受け口)		1
23	フード消火	KGL-34HD 評14-011号	フード・ダクト用 ダクト用 小型レンジ・フラーヤ用 大型レンジ・フラーヤ用	1
		KGL-34D 評14-012号		1
		KGL-34RF 評14-013号		1
		KGL-34R2 評14-014号		1
	不活性ガス消火	窒素容器ユニット 83L 20.3m3 36本	電気室用	1
24	医療ガス設備	定置式液酸タンク 5,000ℓ	手術室 手術室 手術室	1
		定置型センサーユニット 液酸タンク用		1
		予備酸素マニフォールド 2列36本		1
		センサーユニット 予備酸素用		1
		笑気マニフォールド FML-D 2列4本		1
		炭酸ガスマニフォールド FML-D 2列4本		1
		窒素マニホールド FMN-D 2列8本立		1
		治療用空気供給ユニット CUBE-D 3.7kw		1
		センサーユニット 空気用		1
		非治療用空気減圧装置 (センサーユニット内蔵タイプ)		1
		吸引ポンプ オイル式 8.0kw		2
		吸引タンク 1,000ℓ		2
		センサーユニット 吸引用		1
		吸引ポンプ制御盤 自動交互追従型		1
		壁付型アウトレット NSVタイプ		各室
天井吊り下げ型アウトレット	26			
シャットオフバルブ	46			
シーリングペンダント	各室			
余剰ガスフローコントロールユニット	各室			
高圧窒素アウトレット	各室			
MMⅡ型エリアモニター	5			
MMⅢ型中央監視モニターL	2			
25	受水槽	sus製パネルタンク保温30mm付 81.25m3		2
26	陸上ポンプ類	PWU-J1 加圧給水ポンプユニット 7.5kw×5		1
		PWH-BH1,2 ラインポンプ(SUS製) 32A 110L 0.25KW		2
		PWH-HW1,2 ラインポンプ(SUS製) 25A 30L 0.15KW		2
27	水中ポンプ類	雑排水用水中ポンプ 50A 100L 0.4KW~65A 300L 2.2KW		26
		汚物用水中ポンプ 80A 400L 1.5KW~5.5KW		4
28	貯湯槽	TS-1,2 SUS444 1600φ×2600H 6.135m3		2
29	CGS予熱槽	TVW-CGS-1,2 SUS444 1600φ×2600H 6.135m3		2
30	給湯用膨張タンク	TEX-1,2 密閉式膨張タンク 1000φ×2500H 1.6m3		2
31	厨房機器	多種		一式
32	電気温水器	WHE 貯湯先止め式床下設置型 25L		7
33	衛生器具	洋風大便器 UAXC1BPAL他	各所	127
34	グリーストラップ	GT-1 4槽式耐火防水型 パイプ接続天吊 285L		2
		GT-2 パイプ導入型 地中埋設型 85L		1

番号	名称	規格	内訳	数量
35	RI排水処理	J-1 浄化槽 合併処理浄化槽 5人槽		1
		T-1 分配槽 SUSパネルタンク 1000×1500×1000 h 1.5m ³		1
		T-2~4 貯留槽 SUSパネルタンク 2500×3000×2500 h 5m ³ ×3		1
		P-1-1,2 分配ポンプ 50A 150L 0.4KW		2
		P-2-1,2 P-3-1,2 移送ポンプ 50A 150L 0.4KW		4
		P-4-1,2 放流ポンプ 50A 150L 0.75KW		2
		P-5-1,2 ピット配ポンプ 40A 150L 0.4KW		2
		排水処理制御盤		1
		排水処理モニター類		一式
36	排水処理	流動担体 樹脂製 結合固定化担体		一式
		中和緩衝槽スクリーン 1m ³ 閉止板		1
		誘導剤槽 PVC製 50L 注入ポンプ 0.025KW		1
		厨房調整槽ブロワ 50A 0.97m/分 1.5KW		1
		厨房調整ポンプ 50A 0.07m/分 0.4KW		2
		自動スクリーン 自動掻揚型 0.025KW		1
		ばっ気ブロワ 80A 3.72m/分 3.7KW		1
		流動担体 樹脂製 結合固定化担体		1
		生物流動床スクリーン SUS製		2
		返送ポンプ 50A 0.08m/分 0.4KW		1
		分配計量計 樹脂製Vノッチ		1
		放流ポンプ 50A 0.08m/分 0.4KW		1
		感染系スクリーン PVC製		1
		感染系減水ポンプ 50A 0.09m/分 0.4KW		1
		消毒反応槽 0.75m ³ FRP製 攪拌機 0.2KW		1
		検査系スクリーン バasket型 PVC型		1
		検査系原水槽ブロワ 20A 0.11m/分 0.086KW		1
		感染系原水ポンプ 50A 0.01m/分 0.4KW		1
		中和反応槽 FRP製 攪拌機 0.1KW		1
		消毒薬液槽 PVC製 200L 注入ポンプ 0.025KW		1
還元剤薬液槽 PVC製 100L 注入ポンプ 0.025KW		1		
酸薬液槽 PVC製 100L 注入ポンプ 0.025KW		1		
アルカリ薬液槽 PVC製 200L 注入ポンプ 0.025KW		1		
脱臭装置 樹脂製 12m/分 0.7KW		1		
37	受変電設備	主受電盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KA		1
		分岐盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KA		16
		母線連絡盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KV		6
		保護装置過電流継電器		17
		保護装置不足電圧継電器		1
		保護装置方向地絡継電器		6
		変圧器動力 3相 200~750KVA 6,600/210V		8
		変圧器電灯 単相 100~300KVA 6,600/210 105V		7
		変圧器電灯 スコット 200KVA 6,600/210-105V		1
		変圧器動力 3相 200~500KVA 6,600/415V		3
		コンデンサ 3相 19.1kvar 243V	自動力率調整付	6
		リアクトル 3相 319kvar 7.2kV		6
38	発電設備	発電機 3φ 6.6kV 50Hz 1250KVA (1000kw)		1
		エンジン ガスタービン A重油 始動装置 蓄電池設備		
39	非常用直流電源装置	制御方式据置鉛(MSE長寿命型)蓄電池 SNSX-400 108V 400AH 54セル(2V×54個)		1
40	テレビ共聴	UHF・BS 共聴システム		1
41	ナースコール	自動相互呼出通話		各病棟
42	構内電話	蓄積プログラム制御方式 (PCMデジタル制御方式)		1
		アナログ一般電話機		205
		デジタル多機能電話機		80

番号	名称	規格	内訳	数量
43	院内携帯電話設備	携帯電話機セット PHS方式		400
		PHS接続装置		54
44	ペーシング設備	無		1
45	防災監視盤	自動火災報知設備 複合GR型(アナログ式)	自動試験機能付	1
		ガス漏れ警報設備 GN3VBAC		1
		防火・防排煙設備		1
		連動制御器		1
46	全館放送装置	放送盤：1640W 出力回線：90回線+一斉		1
		非常用遠隔操作装置		2
		非常用蓄電池設備 DC24V		1
47	通路誘導灯	バッテリー内蔵型		189
48	非常照明	バッテリー別置型		682
49	防火シャッター・ドア			78
50	防火垂れ壁			16
51	オートドアパニックオープン			3
52	会議室AV装置 (大会議室)	大会議室 AV操作ワゴン		一式
		液晶プロジェクター WXGA55001m		1
		150型16：10電動スクリーン		1
		コンパクトハイパワースピーカー		2
		シーリングスピーカー		4
マイクロホン (ダイナミック、ワイヤレス)		7		
53	会議室AV装置 (中会議室)	中会議室1. 2 AV操作ワゴン		二式
		液晶プロジェクター WXGA40001m		2
		100型16：10電動スクリーン		2
		コンパクトスピーカー		2
		ワイヤレスアンテナ		4
マイクロホン (ワイヤレス)		4		
54	映像システム	手術室監視ITV		一式
		23V型ワイド液晶ディスプレイモニター		1
		ネットワークビデオレコーダー		1
		19V型ワイド液晶ディスプレイモニター		1
		監視用PC (23型液晶モニター)		1
	ITV (防犯監視用)	屋内ドーム型IPカメラ		6
		新生児室監視ITV		一式
		23V型ワイド液晶ディスプレイモニター		1
		ネットワークビデオレコーダー		1
		ドーム型HDネットワークカメラ		4
55	電気錠システム	操作用PC 24型カラー液晶モニター メインメモリ8GB以上		1
		ネットワークレコーダー		1
		データ保護用兼動作補償用UPS		2
		スイッチングHUB		2
		室内固定ドーム型カメラ		24
メディアコンバーター		2		
55	電気錠システム	ヒューマンインターフェイスサーバ (HIS)		1
		データ保護用兼動作補償用UPS		1
		非接触カード登録機		1
		スイッチングHUB		3
		ロギングプリンタ		1
		連動コントローラ		1
		IDコントローラ (IDC4、8)		12
		非接触カードリーダー		52
		UPS		2
		メディアコンバーター		2
非接触カード		1,000		
56	無停電装置(UPS)	制御方式据置鉛(MSE長寿命型)蓄電池 200kVA 400Ah/10hr 186セル		1

番号	名称	規格	内訳	数量
57	手術室BGM設備	機器架		一式
		クリーンルーム用スピーカ		6
		6ch選択リモコン		6
58	エレベーター	人荷用 2方向 1750kg(26名) 90m/min		1
		寝台用 2方向 1000kg(15名) 90m/min		3
		寝台用 1方向 1000kg(15名) 90m/min		2
		寝台用 2方向 1150kg(17名) 90m/min		1

※外来棟

番号	名称	規格	内訳	数量
1	氷蓄熱ユニット	空気熱源ヒートポンプ式ブラインスクリーチャーユニット スタティック内融式・屋外設置水槽形 ブラインポンプ	冷房・暖房	二式
2	冷凍機	直焚き吸収冷温水機 TSA-CUW-400E1GL	冷房・暖房	1
3	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-350GS 冷却水処理装置WTR-1 PXP-31-VEC-100L	冷房	1
4	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ SJ4-200×150J545	冷房	1
		冷温水ポンプ M100-III-2~M150-II-1	冷房・暖房	3
		冷温水薬液注入装置1式	冷房・暖房	2
5	開放式膨張タンク	膨張水槽 EXPT-C	冷房・暖房	2
6	空冷パッケージ エアコン	壁掛ルームエアコン S22TDS-W	冷房・暖房	1
		天カセツイン SMYGP280BD	冷房・暖房	1
		天埋形加湿器付 SHYMP140C、160C	冷房・暖房	2
		電算型加湿器付 DSRJ400PA	冷房・暖房	1
		天カセ形 SHYCP112C	冷房・暖房	1
		天埋形 SHYGP80B	冷房・暖房	1
		冷専床置形 SVDP140AR~280AR	冷房	4
		天カセ形 SHYGP40CV	冷房	2
		冷専壁掛形 SAP80B	冷房	1
		マルチ形室外機 RSXYP280KC	冷房・暖房	2
		マルチ室内機 ビルトイン形 FXYSP22KC	冷房・暖房	20
		マルチ室内機 天埋形 FXYMP56KC	冷房・暖房	3
		外気処理エアコン 壁ビルトイン 電熱式加湿器付 RSXYJ140KC~224KC	冷房・暖房	5
床置き R Z Y P 8 0 B A	冷房	1		
床置き P R - A P 1 4 0	冷房	1		
マルチ型室外機 R X Y P 5 0 0 B A	冷房・暖房	1		
天カセ形マルチ型室内機 F X Y P 5 6 B ~ F X Y F P 5 6 M	冷房・暖房	8		
7	クリーンルーム用 パッケージ	壁吸込ユニット (ツイン) RX-J56M 室外機 PUSY-J112M-B	冷房・暖房	2
		壁吸込ユニット (4台マルチ) RX-J45M 室外機 PUSY-160M-B	冷房・暖房	1
		フィルターファンユニット 天カセ HEPAフィルター付	冷房・暖房	16
		ファンコイルユニット 天カセ HEPAフィルター付	冷房・暖房	11
8	空調機	エアハンドリングユニット EI-75DT 電熱式加湿器付 RS-50J他	冷房・暖房	18
9	ファンコイルユニット	天カセ DCR-202PW-F3 FCC-1他	冷房・暖房	352
		天埋 DCR-202P BHB-3 FCR-1他	冷房・暖房	87
10	送排風機・排煙機	ベルト掛け 0.2kw天吊		63
		ベルト掛け 床置 排煙ファン		2
11	全熱交換機	HEX-STF-1F-1 LGH-15RHW 150m3/h 外		4
12	天井扇	天井埋込型換気扇 低騒音 VD-20ZB5		1
13	空気清浄装置	AFU-ENG-1F-1 FU5-2030S 9900m3/h 外		9
14	床暖房	ネオフロアヒーター FH-20		1
		温度調節器 MD-511		1
		埋設用温度ヒーター S-515M		1
		電気床暖房制御盤 EH-1		8
15	自動制御機器 (空調)	ユーザーオペレーション機器 QY7205A3001	FCU用	一式
		温度検出器 TY7003Z0P00	室内用	一式
		湿度検出器 HY7003T1000	室内用	一式

番号	名称	規格	内訳	数量
22	総合盤・端子盤	エレベーター監視盤		1
		医療ガス情報監視システム、誘導灯信号装置		1
		入館入室管理盤-1、2		2
		ITV監視制御盤		1
		ナースコール表示パソコン		1
		システム制御盤		1
		空調制御盤		1
		コーナー継ぎ板		1
		床暖房用中継端子盤		17
23	手元開閉基盤	手元開閉基盤 (50AFx1)		11
24	変圧器	単相300kVAモールド変圧器 RCT-N21		4
		100kVAスコットモールド変圧器 RCTQ-N21		1
		三相300kVAモールド変圧器 RCT-N21 外		6
25	コンデンサー・リアクトル	高圧進相コンデンサ AF702261KHA1 外		2
		高圧進相コンデンサ用6%直列リアクトル CR702261KDE5 外		2
		低圧進相コンデンサ設備 LB3-S形 LB322B5025S26		2
26	照明器具	多種	各所	4,516
27	フル2線ネットワーク コントロールユニット	WR3385K	照明中央制御	1
		WR3386K	照明中央制御	1
28	放送設備	多種	各所	一式
29	手術室・分娩室BGM 放送設備	BGM放送架		一式
30	人間ドックBGM	BGM放送架		一式
31	外来ナースコール設備	ナースコール表示パソコン他	各所	一式
32	外来呼出 インターホン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME-2031、2101		15
		フレキシブル形卓上マイク AMO-301		50
		ドアホン親機1局 SHN-1BA		1
		夜間受付子機 SG-330-1A		1
33	人間ドック ナースコール設備	ナースコールボード形親機Z型 60局 BZP-20~160		一式
34	健診センター インターフォン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME-2031/2101		一式
		フレキシブル形卓上マイク AMO-301		4
35	手術室 インターフォン設備	インターカム交換機 EX-200J		1
		インターカムステーション HF-250M		7
		手術室用子機 BA-303		3
		手術室インターホン制御ボックス BA-303		3
		足押式押ボタン BB-513A-4S		3
		ドアホン形インターカムステーション HF-640S		1
36	テレビ共聴設備	BSアンテナ 90cm型 BL BS-901K		一式
37	ITV設備	ドーム型カラーカメラ WV-CF35		11
		画像記録装置 WJ-DR200		1
38	案内表示設備	診察状況案内表示板システム		一式
		外待合表示盤 (42インチ) KD01037-B148		9
		診察室表示盤 KD01037-B149		36
		表示制御パソコン KD96002-L873 外		8
39	防犯設備	入館入室管理システム SAFEWARE		一式
		カードホルダ		20
		パッシブセンサー		7
		マグネットセンサー		12
40	高速光電送設備	キャノビーム DT-50/622 データ伝送速度 622Mbps 最大伝送距離 1,500m		一式
41	電話設備	D2000交換機 (TypeMA)		1
		通話料金管理装置 PS4080A CNSA		1
		多機能電話 DI2106C		38
		アナログ一般電話機 DA2029C		203
		PHS TC-631SE		78

番号	名称	規格	内訳	数量		
42	音響・映像設備	コンパクトミキサー WR-X02		1		
		ステレオカセットデッキ RS-TR575-K		1		
		デジタルグラフィックイコライザー SRQ-2031/4015		1		
		MD/CDプレーヤー MXD-D40		1		
		VTR NV-SVB300		1		
		ワイヤレス受信機 WX-4020B		1		
		チューナーユニット WX-D4000A		1		
		2ウェイスピーカー WS-AT80		2		
		天井スピーカー WS-A22		2		
		液晶プロジェクター TH-PKL6500		1		
電動式スクリーン EA-V100BS		1				
43	自動火災報知設備	防災監視盤 HRK-ADS254FGA		1		
		表示盤 HEX-1PE-D		2		
		熱感知器 DSH-2WRL DFG-TW-60 L/70 L		109		
		煙感知器 SLR-2RL ALG-NRLY-A		454		
		消火栓組込型 HURB-10BL		34		
		発信機 PPE-1U		34		
		表示灯 TL-13D		34		
		自動開閉装置 ARS-B 104		16		
		ガス漏れ検知器 KN-35B		6		
		火災通報装置 FCA-BBW01		1		
44	中央監視設備	s a v i c - n e t E V model30		一式		
		音声警報ラック型防災アンプ 防災監視盤				
		ヘッドエンド装置収納架 ドアホン、配線架				
		エレベーター監視盤 医療ガス情報監視システム				
		誘導灯信号装置 CL-1-BOU				
		入館入室管理盤-1 入館入室管理盤-2				
		I T V監視制御盤 ナースコール表示パソコン				
		システム制御盤 空調制御盤				
		45	避雷針設備	接地測定用端子函：建設省仕様 (TB-SSIA)		一式
		46	高圧気中負荷開閉器	KLT-M1cHD2N10LT		一式
47	自動ドア設備	両引自動扉		4台		
		片引自動扉		16台		
		二重片引自動扉		2台		
		自閉式(半自動)引戸		一式		
48	エレベーター	寝台用 1000KG 60M/min インバータ制御		2台		
		乗用展望用 1000KG 45M/min インバータ制御		1台		
		乗用 750KG 60M/min インバータ制御		1台		
		小荷物用 50KG 30M/min インバータ制御		1台		
		乗用 エスカレーター 9000人/h台 30M/min インバータ制御		2台		
49	排煙	電動オペレーター用		一式		
		開閉式トップライト 手動操作型		一式		
		防火ドア		一式		
		防火・防炎シートシャッター		一式		
		重量シャッター・グリルシャッター		一式		
		防炎垂壁・スクリーン		一式		
50	OAフロアー	500×500×28 FSA500 500×500×28 FSB500 500×500×34 G500		18箇所		
51	システムバス	シャワールームユニット	OP室	2		
		ユニットバスルーム		22		
52	手術室 モジュラーシステム	情報パネル・記録台・無影灯操作盤・シャーカステン3台・ フィルムラック・器材棚・保温庫パイプファンヒーター・ 保冷库全密閉型圧縮機・アイソレーショントランス・ ラインアイソレーションモニター・ロードモニター		一式		
53	受水槽・高架水槽	中仕切付受水槽 NW型 44m3		1		
		高架水槽(上水) NW型 5.0m3		1		
		高架水槽(雑水用) NW型 5.0m3		1		

番号	名称	規格	内訳	数量
54	陸上ポンプ類	LP-1/2 上水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2		2
		LP-3/4 雑用水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2		2
		LP-6 散水用ポンプ NF-400TH-A		1
		LP-7 補給水ポンプ KB2-505A2.2		1
		HP-1/2 給湯用循環ポンプ PSS-255-0.15T		2
		FP-1 スプリンクラーポンプ KTY2-1005×4s-M18.5TPB		1
		ジョッキーパーボンプ CHS-255-M1.5		1
55	水中ポンプ類	DP-1 雨水移送ポンプ SF-5 0.75 k w		28
56	軟水器	NS-1 全自動硬水軟化装置 SAT-155/6B		1
57	給湯用ボイラ	BH-1 無圧温水器 BH-130 349kw		1
58	貯湯タンク	ST-1/2 貯湯タンク STV-1500 1500l		2
59	給湯用膨張タンク	密閉式膨張タンク EX-300VS 300l		1
60	厨房機器	多種		一式
61	電気温水器	壁掛型電気湯沸器 EW-20N3C-BT 20l		2
62	衛生器具	洋風大便器 C550RU TV750WR TS116W他		589
63	水飲器	オアシスウォータークーラー MLF8CR 自動洗浄機構付		6
64	配管ユニット	パンネA型 640×240×150 上水／給湯／ガス／排水		1
65	薬液回収タンク	ダイライトタンク SP 0.5m3 現像液／定着液		2
66	スプリンクラー設備	加圧送水装置	GQH-FB72(1,217ヶ) GQH-FB96(8ヶ) 139℃ (3ヶ)	1
		起動装置		1
		閉鎖型スプリンクラーヘッド		1,228
67	スプリンクラー設備器具	操作盤		1
		流水検知装置 湿式 K50/60併用 自動警報弁型80		5
		圧力スイッチ GPS-EA10T		5
		表示板 (自火報受信機)		1
		呼水装置		1
		建設省型補助散水栓格納箱 T49N-103A-HPB		34
		埋込型送水口 N-EKSW1N-C		1
68	医療ガス機器	医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MLh型		1
		ガス供給装置 気体用供給装置 予備マニホールド M-LGR (大容量タイプ)		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MMAh/MANh型		1
		日立オイルフリーベビコン 3.7kw		2
		SMC 空冷式アフタークーラー HAA7		2
		空気供給装置用タンク500l		1
		医療用空気供給装置メディカルピュアパック PURE550Di		1
		吸引供給装置メディラインパック600l 2.2kw		2
		吸引供給装置メディラインパック600l 2.2kw 除菌フィルター		2
		医療ガス情報監視システムARGUS 予備センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 空気センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 吸引センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS センサー内蔵型 非治療用空気減圧装置		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 中央監視モニター		1
		医療ガス情報監視システムARGUS エリアモニター ARM-12 (8チャンネル)		1
		センチュリアタイプアウトレット NSVタイプ		208
		リール式アウトレット		17
窒素圧力調整装置		3		
シャットオフバルブ 緊急導入口付表示区域タイプ 埋込型		18		
余剰ガス回収システム イジェクタータイプ		9		
69	PH処理装置	原水ポンプ 40TM2.25-51 0.25kw		2
		着脱装置 TOK-3P (VANCS)		1
		位置検出用スナッフフロート (レベルスイッチ) RF-5		13
		PH処理装置 SPC0827		1
		PH処理装置制御盤		1
70	グリーストラップ	微細目スクリーン KE-200S-5 41m3/H		1
		微細目自動スクリーン制御盤 屋外自立型		1

番号	名称	規格	内訳	数量
71	浄化槽	荒目スクリーン KS-200S-40		1
		微細目スクリーン KE-200S-2.5 31m3/H		1
		原水ポンプ TOS-50U4.75H-51		2
		貯水槽ポンプ TOS-50U4.75L-51		2
		放流ポンプ TOS-50B4.75-52		2
		レベルスイッチ RF-5		13
		滅菌器 I型		1
		調整攪拌ブロアー BSS40		1
		ばっ気ブロアー BE80E		2
		ディフューザー 20JD-200		1
		スカムスキマー フローティング		2
		電磁弁 PS-12		1
		風量計 FLG-N80A		1
		電磁式積算体積計 SW065E-C		1
		受信器 SR-2D		1
		換気扇 FY-3GTF2 ガード (1ヶ) 温度スイッチ (1台)		1
操作盤 屋内自立		1		
消泡装置 アワコロシ		1		

6. 主要医療機器

所属	医療機器器具名	製造会社名	規格	数量
薬剤部	自動注射薬払出装置	TOSH0	NDS-4000C	1式
	全自動散薬分包機	TOSH0	i 0-9090EX4	1式
	調剤システム	トーショー	Pervasive PSQL V10 外	1式
放射線室	循環器撮影装置	東芝メディカルシステムズ	INFX-8000V/JC	1式
	血管造影X線診断装置	フィリップス	AlluraXperFD20/20	1式
	D R 式汎用X線透視診断装置	島津	SONIALVISION G4	1式
	S P E C T - C T 装置	シーメンスヘルスケア	Symbia Intevo16	1式
	磁気共鳴断層撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン	SIGNA Explore 1.5T	1式
	デジタルX線画像診断システム	コニカミノルタジャパン(株)	1417Q外	1式
	FPDフラットパネルAeroDR	コニカミノルタジャパン(株)	AeroDR1717HQ2 外	2式
	X線撮影装置	日立	Radnext50 DHF-155H4	1式
	X線TV装置	日立	EXAVISTA TU-8500H	1式
	医用放射線画像管理情報システム (PACS)	コニカミノルタジャパン(株)	Neovista I-PACS	1式
	放射線治療情報管理システム/R t i s	インフォコム	iRad-RT	1式
	医療情報統合システム	コニカミノルタジャパン(株)	NEOVISTA I-PACS CS	1式
	P E T - C T 装置	シーメンスヘルスケア	Biograph Horizon	1式
	マルチスライスCTスキャナ	GEヘルスケア・ジャパン	Revolution GSI FREEdom	1式
	全身用X線CT診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Optima CT580W	1式
	磁気共鳴断層撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン	Explorer Newgradeパワフルアップ	1式
	放射線治療システム	パリアン	CLINAC iX	1式
	回診車X線撮影装置	ケンコー	Certas MX-700	1式
	インフォコム放射線レポート (v9) システム	コニカミノルタジャパン(株)	REPORT (iRedV9)	1式
	(カテ室)	大動脈バルーンパンピング	泉工医科	Corart BP-21T
検査室	検査システム (自動分析装置、臨床検査システム)	富士通	LAINS-X	1式
	全自動細菌検査システム	シーメンスヘルスケア	Walkav96plas	1式
	多項目自動血球分析装置	シスメックス	XT-1800i	1式
	生化学自動分析装置	日立ハイテクノロジーズ	LABOSPECT006	1式
	便潜血自動分析装置	アルフレッサファーマ	ハモトNS-Prime	1式
	感染症検査業務支援システム	パナソニック・コルパ(株)	SMILE STB	1式
	生理検査システム	日本光電工業	PrimeVitaPlus	1式
	自動染色装置	サクラファイナテック	ディッシュテックプラスマプラス	1式
	β-DGAL測定装置 ES774147	日本製薬	59570	1式
	血液培養装置 パーサトレック96	バックマンコールター	B98689	1式
	全自動遺伝子解析検査装置	ミズホバイオ	Smart Gene 85000	1式
	細菌脱気固定装置	東屋	THW-100型2段	1式
	病棟	カラードプラー超音波診断装置	HEWLETT-PACKARD	SONOS-5500
生体情報モニター		日本光電工業	CNS-9601外	1式
ポータブル超音波診断装置		GEヘルスケア・ジャパン	LOGIQ-BOOK	1台
ポータブル超音波診断装置		GEヘルスケア・ジャパン	NANO-MAX	1台
ベットのパンウォッシャー		アトムメディカル	731	10式
ECGモニター(HCU増設分を除く)		日本光電工業	PU-611R外	1式
産科カルテシステム		アトムメディカル	f カルテット	1式
胎児監視システム		アトムメディカル	FSV セントラルモニタ 外	1式
経皮的な肺補助システム		テルモ	HCS-CFP	1式
超音波診断装置		東芝メディカルシステムズ	Aplio 400 Platinum TUS-A400/AJ	1式
セントラルモニタ		日本光電工業	PU-611R他	1式

	バリエーションテレメータ	日本光電工業	GZ-130P	1式	
	黄疸計	コニカミノルタジャパン(株)	JM-105	1式	
	感染防止カブリネット	日本医化器械	NB-1200S	2式	
	顕微鏡用デジタルカメラ	オリンパスメディカルサイエンス	DP-27-B	1式	
H C U	セントラルモニタ	日本光電工業	CNS-6201 外	1式	
	セントラルステーション	GEヘルスケア・ジャパン	B650 外	1式	
	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Vscan Extend R2	1式	
	集中治療室ビームシステム	美和医療電機	IS500 特注 外	1式	
人工 透析 室	多人数用透析液供給装置	日機装	DAB-40NX	1式	
	逆浸透精製水製造システム	日機装	DRO-NX132H	1式	
	透析用監視装置	日機装	DCS-27	3式	
	多用途透析用監視装置	日機装	DCG-03	3式	
	多用途透析用監視装置	日機装	DCS-100NX-EC 外	16式	
	個人用多用途透析装置	日機装	DBG-03	1式	
	個人用多用途透析装置	日機装	DBB-100NX-EC 外	5式	
	透析通信システム	日機装	FN-WEB 外	1式	
	超音波画像診断装置	富士フイルム	FC1-X	1式	
	全自動溶解装置	日機装	DAD-50NX	1式	
中央 手術 室	手術用内視鏡ビデオシステム	オリンパスメディカルサイエンス	OTV-S190外	2式	
	手術用顕微鏡	カールツァイス	OPMI PENTERO 900	1式	
	神経内視鏡セット	カールストルツ	HOPKINS II	1式	
	手術用双眼顕微鏡	カールツァイス	6S-DFK-XY 他	2式	
	3D内視鏡手術システム	オリンパスメディカルサイエンス	3DV-190外	1式	
	手術用顕微鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	VISERA ELITEシステム	2式	
	麻酔モニタリングシステム	GEヘルスケア・ジャパン	CSRESCAPE B650/Unity iCentral	1式	
	急性期患者情報システム	フクダ電子	CVW-5000 外	1式	
	手術室映像統合管理システム	セントラルユニ	summit X480-48X	1式	
	麻酔器	GEヘルスケア・ジャパン	Carestation 650	4式	
	電動油圧手術台	ミズホ	MOT-5701	3式	
	無影灯	山田医療照明	IXM CJリブラ CJ16-TV55 外	6式	
	眼科手術顕微鏡	ライカ	Provo 8	1式	
	手術顕微鏡	カールツァイス	OPMVARIO700	1式	
	電気手術器	コヴィディエンジャパン	FT10バック 外	2式	
	レーザー砕石装置	ドルニエ	ドルニエ Medilas H SOLVO 35	1式	
	マリス バイポーラ 凝固切開装置	日本ストライカー	マリス バイポーラ ジェネレータ/イリガータ システム	1式	
	眼科用手術台メプロ4	タカラベルモント(株)	DR-140-ES7	1式	
	中央 滅菌 室	過酸化水素ガス滅菌装置	サクラ精機	V-PRO max	1式
		高圧蒸気滅菌装置 外	サクラ精機	VSCR-G45NR外	1式
ジェット式超音波洗浄装置		サクラ精機	WUS II -4100DX	1式	
ハイブリッド滅菌装置		ゲディング・ジャパン	HS6613TERILTSF-SR	1式	
内 視 鏡 室	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	GIF-XP260NS	1式	
	大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	CF-Q260AL 外	3式	
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	GIF-XQ260	1式	
	内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	CV-290 外	1式	
	高周波焼灼電源装置	オリンパスメディカルサイエンス	ESG-300 外	1式	
臨 床 工 学 室	人工呼吸器	I M I	VELA	2台	
	人工呼吸器	日本光電工業	ザビータ	4台	
	人工呼吸器	HAMILTON	C1	9台	
	人工呼吸器 (小児用)	東機質	SLE5000	1台	
	陽圧式人工呼吸器	フィリップス	V60ベンチレータ	3台	
	除細動器 デフィブリレータ	日本光電工業	TEC-5631	3台	
	救急・搬送用人工呼吸器	ドレーゲル	オキソグ 3000	2台	
救急センター	8人用医用テレメーター	日本光電工業	WEP-4208	1式	

*外来棟

所属	医療器械器具名	製造会社	規格	数量
放射線室	核磁気共鳴断層撮影装置	フィリップス	Ingenia 3.0T	1台
	全身用コンピュータ断層撮影装置	シーメンスヘルスケア	SOMATOM Definition AS+	2式
	X線透視診断撮影装置	日立メディコ	TU-3000DR	2式
	乳房用X線診断装置	日立メディコ	Slemia Dimensions 3D	1式
	一般撮影画像処理装置	コニカミノルタジャパン㈱	無線型フラットパネルAeroDRシステム	2式
	CRシステム	富士フィルムメディカル	FCRXU-D1 外	1式
	X線骨密度測定装置	GEヘルスケア・ジャパン	PLODIGY primo	1式
	歯科用撮影装置	モリタ	Veraviewepocs3Dfamix Type2	1式
結石破砕室	体外衝撃波結石破砕装置	ドルニエ	Delta II	1式
検査室	採血管準備システム	Techno Medica	BC-ROBO 585	1台
	多項目自動血球分析装置	シスメックス	XN-2000	1台
	生化学自動分析装置	日立ハイテクノロジー	LABOSPECT008	1式
	呼吸機能検査装置	チェスト	CHESTAC-8900D	1式
	超音波診断装置	フィリップス	SONOS 5500	1台
	超音波診断装置	フィリップス	EPIQ Elite	1式
内視鏡センター	内視鏡用超音波観測装置	オリンパスメディカルサイエンス	EU-ME2 PREMIER PLUS	1式
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	GIF-XP260NS 外	3式
	大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	PCF-Q260AZI 外	2式
	消化管内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	CV-290 外	2式
	先端湾曲ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	LTF-S190-5	4式
	超音波気管支ファイバービデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	BF-UC290F 外	3式
産婦人科	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Voluson S6	1台
	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Voluson E6	1台
	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン㈱	SONOVISTA GX30	1式
	検診台 メグジョイナチュラル回転タイプ	アトムメディカル	1147676(9#ビタリオン) (バーベック)	2式
内科	超音波診断装置	日立アロカメディカル	F37	1台
外科	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン㈱	SONIMAGE HS1	1台
小児科	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Vivid i	1台
	ベットサイドモニター	日本光電工業	PVM-4761-Q20	1式
整形外科	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	LOGIQe	1台
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	ENF-V3	1式
眼科	光干渉断層計(OCT)	ニデック	RS-3000Advance	1式
	眼底カメラ	興和	VX-20	1式
	眼科ファイリングシステム	ピーエスシー	クラ付	1式
歯科口腔外科	口腔外科用診察台ユニット	モリタ	ソクノG50 セレクション外	1式
	口腔外科用レントゲン機器外	モリタ 外	ベラビユーエボックス3DFアルファP外	1式
	エラン4エレクトロ	ピーエスシー	ホシレーティングソー GA833 外	1式
	電動式外科用ドリル(マークラップ パワーステム)	ピーエスシー	ELAN4 electro	1式
健診管理センター	乳房用X線撮影装置	日立製作所	Slemia Dimensions 2D	1式
	一般X線撮影装置	日立製作所	Radnext50	1式
	デジタル無散瞳眼底カメラ	トプコン	TRC-NW300	1式
	超音波診断装置	日立製作所	ARIETTA 60	1式
	X線透視撮影装置	日立製作所	DIAVISTA	1式
	骨密度想定装置	日立製作所	DCS-600EXV	1式
	マンモグラフィ画像保管システム	コニカミノルタジャパン㈱	Plissimo MG	1式

7. 令和2年度主な導入医療機器

所属	医療機械器具名	製造会社	規格	数量
透析室	個人用逆浸透装置	日機装	AQUAUNO	1式
検査室	卓上マイクロ冷却遠心機	ホバタ	3520	1式
安全管理センター	感染症対策テント M	ゴトー工業株式会社	ICT-M 3坪×2部屋 (約幅3.55 × 奥行5.32 × 高さ2.0 m)	1式
化学療法室	デジタル身長体重計	A&D	AD-6351	1式
(北2階) (南5階)	ワイドタイプ車椅子	OTTOBOCK	M4 480F53=40000	2式
安全管理センター	クリーンパーテーション (汚染除去仕様)	日本エアーテック	ACP-897DH	8式
検査室	自動染色装置	サクラファインテック 外	ティッシュテック プラスマ プラス	1式
安全管理センター	感染防止クリーンハット*	日本医化器械	NB-1200S	2式
リハビリ室	干渉電流型低周波治療器 ジェントルスティム	カレイド	RE-JC2701	1式
検査室	ホルマリン脱気固定装置	東屋	THW-100型2段	1式
北4階	ハイトルサインテレメータ	日本光電	GZ-130P	1式
医事情報課	メール端末	富士通	35台	1式
安全管理センター	呼出しシステム ワンタッチコール	株式会社パシフィック湘南	10台セット	1式
医事情報課/検査室	生理検査システム	日本光電	Prime VitaPlus	1式
検査室	全自動遺伝子解析検査装置	ミズホメディー	Smart Gene 85000	1式
検査室	β-Dガラクトサン測定装置 ES7ナライザー	日水製薬	59570	1式
安全管理センター(しらすぎの里)	自動体外式除細動器(AED)	日本光電	AED-3100	1式
化学療法室	多機能チェア	オハラ	SSJ-A034・B	2式
放射線室	回診車X線撮影装置	ケンコー	Certas MX-700 外	1式
外科	ENDOEYE FLEX 先端湾曲ビデオスコープ	オリンパス	LTF-S190-5	1式
放射線室	放射線治療管理システム/Ris	インフォコム	iRad-RT	1式
外科	把持鉗子ユニット	オリンパス	WA69322M 外	2式
検査室	一酸化窒素ガス分析装置 NIOX VERO	チェスト	12-1300	1式
救急センター	薬用冷蔵ショーケース	大和冷機工業	DC-ME18A	1式
泌尿器科	レーザー砕石装置	ドルニエ	ドルニエ Medilas H SOLVO 35	1式
整形外科(南6)	ジノマーハイトメット キャストリ-III	ジノマーハイトメット	11-8899-002-00	1式
呼吸器内科	気管支ファイバースコープ	オリンパス	BF-MP290F	1式
臨床工学室	除細動器 デフィブリレータ	日本光電	TEC-5631	1式
南3階(HCU)	超音波診断装置	GE	Vscan Extend R2	1式
経営戦略室	富士フィルムミラーレス一眼カメラ	富士フィルム	XT3LKIT 1680B	1式
皮膚科外来	ダーモカメラ	カシオ	DZ-D100	1式
産婦人科外来	検診台 メグジョイナチュラル回転タイプ	アトムメディカル	1147675 (パネル付)・1147676(ワイドタイプ)	2式
歯科口腔外科	エラン4エレクトロ	ビーブライヴン・エスクリップ	オシレーティングソー GA833 外	1式
呼吸器内科	超音波気管支ファイバービデオスコープ	オリンパス	BF-UC290F	1式
呼吸器内科	超音波気管支ファイバービデオスコープ	オリンパス	BF-H290	1式
呼吸器内科	超音波気管支ファイバービデオスコープ	オリンパス	BF-1TQ290	1式

医事情報課	医用画像システム端末のハードウェア更新(読影用)	PSP	Windows10	2式
脳神経外科	マリス バイポーラ 凝固切開装置	日本ストライカー	マリス バイポーラ ジェネレータ/イリゲータ システム	1式
腎臓内科	超音波画像診断装置	富士フイルム	FC1-X	1式
リハビリ室	電気刺激装置	オージー技研	GD-611	1式
リハビリ室	てらすエルゴⅢ	酒井医療	TE3PLUS-20	1式
内視鏡センター	診察台 外	カハラメント 外	EX-CS8 外	1式
検査室	血液培養装置 パーサトレック96	ベックマンコールター	B98689	1式
医事情報課	メール端末	NEC	30台	1式
救急センター	繃帯交換車	ナビス	FMS16508W	1式
北4階病棟	黄疸計	コニカミノルタ	JM-105	1式
検査室	カード用遠心機 ID-Centrifuge L	ハイ・ラッド ラボラトリーズ	91511	1式
I C L S 委員会	レサシアンシュミレーターPLUSパドル対応	レールダルメディカル	150-28000	1式
I C L S 委員会	気道管理トレーナー	レールダルメディカル	25000033	1式

8. 医療法に関する許可承認事項

(1) 施設基準一覧表

令和3年3月31日現在

区分	施設基準名	受理番号	算定開始年月日
基本診療料	歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準	(歯初診) 第97号	平成30年6月1日
	歯科外来診療環境体制加算1	(外来環1) 第345号	平成30年6月1日
	急性期一般入院料1	(一般入院) 第180号	平成30年9月1日
	救急医療管理加算	(救急医療) 第34号	令和2年4月1日
	超急性期脳卒中加算	(超急性期) 第17号	平成29年11月1日
	診療録管理体制加算2	(診療録2) 第90号	平成29年11月1日
	医師事務作業補助体制加算2 (40対1)	(事補2) 第59号	平成29年11月1日
	急性期看護補助体制加算 (50対1)	(急性看護) 第62号	平成29年11月1日
	看護職員夜間配置加算 (16対1配置加算1)	(看護夜配) 第24号	令和元年9月1日
	療養環境加算	(療) 第113号	平成29年11月1日
	重症者等療養環境特別加算	(重) 第75号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算1	(無菌1) 第10号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算2	(無菌2) 第9号	平成29年11月1日
	栄養サポートチーム加算	(栄養チ) 第40号	平成29年11月1日
	医療安全対策加算1 (医療安全対策地域連携加算を含む)	(医療安全1) 第78号	平成30年4月1日
	感染防止対策加算1 (感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用加算を含む)	(感染防止1) 第25号	平成30年7月1日
	患者サポート体制充実加算	(患サポ) 第66号	平成29年11月1日
	ハイリスク妊娠管理加算	(ハイ妊娠) 第39号	平成29年11月1日
	ハイリスク分娩管理加算	(ハイ分娩) 第29号	平成29年11月1日
	総合評価加算	(総合評価) 第49号	平成29年11月1日
	後発医薬品使用体制加算1	(後発使1) 第34号	平成30年4月1日
	病棟薬剤業務実施加算1	(病棟薬1) 第35号	平成29年11月1日
	データ提出加算2	(データ提) 第75号	平成29年11月1日
	入退院支援加算1 (地域連携診療計画加算、入院時支援加算含む)	(入退支) 第83号	平成30年4月1日
	認知症ケア加算2	(認ケア) 第105号	令和2年4月1日
	せん妄ハイリスク患者ケア加算	(せん妄ケア) 第35号	令和2年6月1日
	地域医療体制確保加算	(地医確保) 第9号	令和2年4月1日
小児入院医療管理料4	(小入4) 第25号	令和2年6月1日	
回復期リハビリテーション病棟入院料1	(回1) 第8号	平成30年6月1日	
地域包括ケア病棟入院料2	(地包ケア2) 第43号	平成29年11月1日	
入院時食事療養費 (I)	(食) 第238号	平成29年11月1日	
特掲診療料	歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	(医管) 第297号	平成30年4月1日
	外来栄養食事指導料	(外栄食指) 第1号	令和2年4月1日
	糖尿病合併症管理料	(糖管) 第37号	平成29年11月1日
	がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第99号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料イ	(がん指イ) 第22号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ロ	(がん指ロ) 第23号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ハ	(がん指ハ) 第17号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ニ	(がん指ニ) 第3号	令和2年4月1日
	糖尿病透析予防指導管理料	(糖防管) 第20号	平成29年11月1日
	小児運動器疾患指導管理料	(小運指管) 第12号	令和2年4月1日
	乳腺重症化予防ケア・指導料	(乳腺ケア) 第12号	平成30年5月1日
	腎代替療法指導管理料	(腎代替管) 第4号	令和2年7月1日
	小児科外来診療料	(小外診) 第255号	令和2年4月1日
	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1	(救搬看護) 第24号	令和2年4月1日
	外来放射線照射診療料	(放射診) 第10号	平成29年11月1日
	開放型病院共同指導料	(開) 第16号	平成29年11月1日
	がん治療連携計画策定料	(がん計) 第22号	平成29年11月1日
	薬剤管理指導料	(薬) 第151号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料 1	(機安1) 第59号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料 2	(機安2) 第14号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料 (歯科)	(機安歯) 第5号	平成30年4月1日
	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	(在看) 第14号	令和2年4月1日
	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	(持血測) 第25号	令和元年5月1日
	持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	(持血測2) 第7号	令和2年5月1日
	遺伝学的検査	(遺伝検) 第6号	平成29年11月1日
	骨髄微小残存病変量測定	(骨残測) 第1号	平成30年4月1日
	BRCA1/2遺伝子検査	(BRCA) 第3号	令和2年4月1日
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	(HPV) 第95号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算 (I)	(検I) 第109号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算 (IV)	(検IV) 第20号	平成29年11月1日
	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	(歩行) 第29号	平成29年11月1日
	長期継続頭蓋内脳波検査	(長) 第7号	平成29年11月1日
	神経学的検査	(神経) 第45号	平成29年11月1日
小児食物アレルギー負荷検査	(小検) 第24号	平成29年11月1日	
ポジットロン断層・コンピューター断層複合撮影	(ポ断複) 第11号	平成29年11月1日	
CT撮影及びMRI撮影	(C・M) 第341号	平成29年11月1日	
外来化学療法加算1	(外化1) 第70号	平成29年11月1日	
連携充実加算	(外化連) 第1号	令和2年10月1日	
無菌製剤処理料	(菌) 第77号	平成29年11月1日	
心大血管疾患リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(心I) 第19号	平成29年11月1日	
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(脳I) 第78号	平成29年11月1日	
運動器リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(運I) 第104号	平成29年11月1日	

区分	施設基準名	受理番号	算定開始年月日
	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む） がん患者リハビリテーション料 歯科口腔リハビリテーション料2 人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1） 導入期加算2及び腎代替療法実績加算 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算 下肢末梢動脈疾患指導管理加算 手術用顕微鏡加算 CAD/CAM冠 脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	（呼Ⅰ）第85号 （がんリハ）第39号 （歯リハ2）第127号 （人工腎臓）第59号 （導入2）第11号 （透析水）第44号 （肢梢）第38号 （手顕微加）第34号 （歯CAM）第774号 （脳刺）第10号 （脊刺）第12号	平成29年11月1日 平成29年11月1日 平成30年4月1日 平成30年4月1日 令和2年4月1日 平成30年4月1日 平成29年11月1日 平成30年4月1日 平成30年4月1日 平成29年11月1日
	乳がんセンチネルリンパ節加算Ⅰ及びセンチネルリンパ節生検（併用） 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 大動脈バルーンポンピング法（IABP法） 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術 輸血管理料Ⅱ 輸血適正使用加算 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 胃瘻造設時嚥下機能評価加算 広範囲顎骨支持型装埋入手術 歯根端切除手術の注3 麻酔管理料（Ⅰ） 放射線治療専任加算 外来放射線治療加算 高エネルギー放射線治療 1回線量増加加算（全乳房照射） 画像誘導放射線治療加算（IGRT） 体外照射呼吸性移動対策加算 定位放射線治療 クラウン・ブリッジ維持管理料	（乳セⅠ）第22号 （経特）第21号 （パ）第68号 （大）第41号 （腎）第23号 （腹前）第10号 （胃瘻造）第73号 （輸血Ⅱ）第52号 （輸適）第47号 （造設前）第37号 （胃瘻造嚥）第37号 （人工歯根）第4号 （根切頭微）第31号 （麻管Ⅰ）第78号 （放専）第15号 （外放）第14号 （高放）第20号 （増線）第10号 （画誘）第12号 （体対策）第10号 （直放）第12号 （補管）第1371号	平成29年11月1日 令和2年4月1日 平成29年11月1日 平成29年11月1日 平成29年11月1日 平成30年5月1日 平成29年11月1日 平成29年11月1日 平成29年11月1日 平成29年11月1日 平成29年11月1日 平成30年8月1日 平成30年4月1日 平成29年11月1日 平成29年11月1日 平成29年11月1日 平成29年11月1日 平成30年4月1日 平成30年9月1日 平成29年11月1日 平成30年4月1日 平成30年4月1日
	酸素の購入価格に関する届出書	（酸単）第12511号	平成31年4月1日
保険外併用療養費	入院医療に係る特別の療養環境の提供 時間外診察 200床以上の病院の初診 201床以上の病院の再診 入院期間が180日を超える入院 金属床による総義歯の提供	（入療養提供）第852号 （時間外診察）第45号 （病院初診）第70号 （病院再診）第25号 （超過入院）第339号 （金属総義歯）第1275号	令和元年10月1日 令和元年10月1日 令和元年10月1日 令和2年6月1日 令和元年10月1日 令和元年10月1日

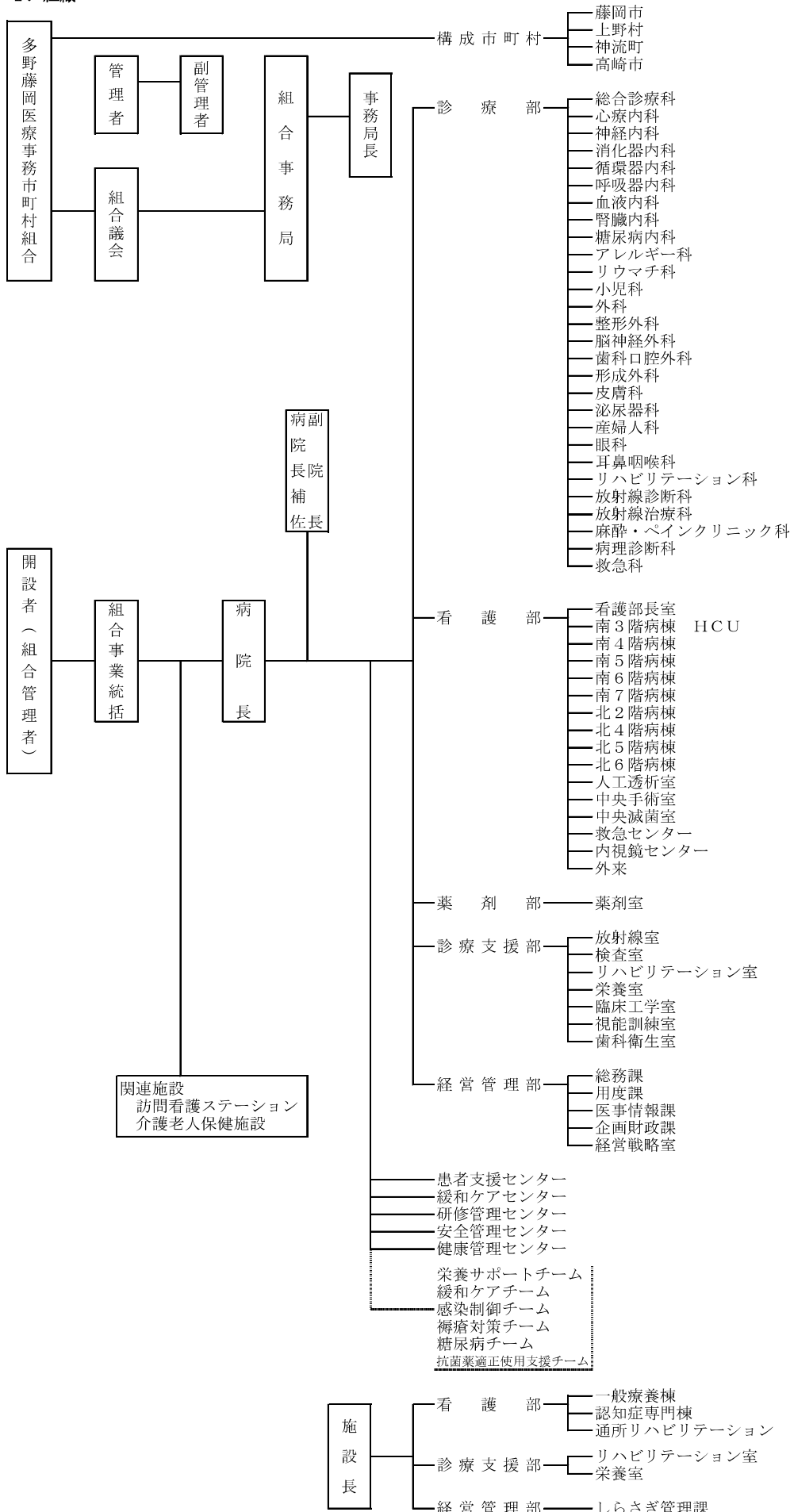
(2) 許可承認事項（令和2年度分）

許可年月日	許可承認番号	許可及び承認並びに届出事項	許可及び承認者	摘要
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	救急医療管理加算	関東信越 厚生局長	(救急医療) 第34号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	重症者等療養環境特別加算	関東信越 厚生局長	(重) 第75号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	医療安全対策加算1 (医療安全対策地域連携加算を含む)	関東信越 厚生局長	(医療安全1) 第78号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	感染防止対策加算1(感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用加算を含む)	関東信越 厚生局長	(感染防止1) 第25号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	入退院支援加算1・地域連携診療計画加算・入院時支援加算	関東信越 厚生局長	(入退支) 第83号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	認知症ケア加算2	関東信越 厚生局長	(認ケア) 第105号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	地域医療体制確保加算	関東信越 厚生局長	(地医確保) 第9号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	外来栄養食事指導料	関東信越 厚生局長	(外栄食指) 第1号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	がん患者指導管理料ニ	関東信越 厚生局長	(がん指ニ) 第3号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	小児運動器疾患指導管理料	関東信越 厚生局長	(小運指管) 第12号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	小児科外来診療料	関東信越 厚生局長	(小外診) 第255号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1	関東信越 厚生局長	(救搬看護) 第24号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	関東信越 厚生局長	(在看) 第14号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	BRCA1/2遺伝子検査	関東信越 厚生局長	(BRCA) 第3号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	導入期加算2及び腎代替療法実績加算	関東信越 厚生局長	(導入2) 第11号
令和2年5月18日	関厚発0518 第1号	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	関東信越 厚生局長	(経特) 第21号
令和2年6月3日	関厚発0603 第5号	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場)	関東信越 厚生局長	(持血測2) 第7号
令和2年6月29日	関厚発0629 第5号	せん妄ハイリスク患者ケア加算	関東信越 厚生局長	(せん妄ケア) 第35号
令和2年6月29日		プレイルーム加算	関東信越 厚生局長	辞退届
令和2年4月17日		入院医療に係る特別の療養環境の提供	関東信越 厚生局長	(入療養提供) 第852号
令和2年6月1日		時間外診察	関東信越 厚生局長	(時間外診察) 第45号
令和2年6月1日		200床以上の病院の初診	関東信越 厚生局長	(病院初診) 第70号
令和2年6月1日		201床以上の病院の再診	関東信越 厚生局長	(病院再診) 第25号
令和2年7月31日	関厚発0731 第23号	腎代替療法指導管理料	関東信越 厚生局長	(腎代替管) 第4号

II 組織及び職員の現況

令和3年3月31日現在

1. 組織



2. 職員数

職員の年度別推移（各年度末）

（単位：人）

部門・職種別		平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	会計年度任用職員	
診療部	医師	75	71	4	74	69	5	71	66	5
		75	71	4	74	69	5	71	66	5
薬剤部	薬剤師	19	19		21	21		23	22	1
	再任用	2	2		2	1	1	1	1	
	薬剤助手	3		3	3		3	3		3
		24	21	3	26	22	4	27	23	4
診療支援部	診療放射線技師	22	22		21	21		21	21	
	再任用							1	1	
	臨床検査技師	26	19	7	25	18	7	23	18	5
	再任用	1	1		1	1		1	1	
	理学療法士	27	27		29	28	1	31	31	
	再任用	1	1		1	1		1	1	
	作業療法士	13	13		13	12	1	15	14	1
	言語聴覚士	6	6		7	7		7	7	
	看護師									
	栄養士	6	6		5	5		5	5	
	再任用				1	1		1	1	
	臨床工学技士	7	7		7	7		7	7	
	視能訓練士	2	2		2	2		2	2	
歯科衛生士	2	2		2	2		2	2		
	113	106	7	114	105	9	117	111	6	
看護部	看護師	316	281	35	316	289	27	329	299	30
	再任用	7	7		5	5		5	5	
	准看護師	8	5	3	7	4	3	5	3	2
	介護福祉士	1	1		2	2		1	1	
	看護助手	27	7	20	17	6	11	15	4	11
	再任用				1	1		1	1	
	359	301	58	348	307	41	356	313	43	
経営管理部	事務員	38	31	7	39	30	9	36	30	6
	再任用				2	2		1	1	
	相談指導員									
	その他労務	1	1							
	39	32	7	41	32	9	37	31	6	
患者支援センター	看護師	6	5	1	4	4		5	5	
	再任用	2	2		2	2		3	3	
	相談指導員	8	8		8	8		8	8	
	再任用		1		1	1				
	事務員	3	3		3	3		3	3	
	再任用					1		1	1	
	19	19	1	18	19		20	20		

部門・職種別		平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	会計年度任用職員	
緩和ケアセンター	看護師	3	2	1	2	2		2	2	
	相談指導員	1	1		1	1		1	1	
	事務員									
		4	3	1	3	3		3	3	
研修管理センター	研修医	15		15	14		14	14		14
	看護師									
	事務員	3	2	1	3	2	1	3	2	1
		18	2	16	17	2	15	17	2	15
安全管理センター	看護師	2	2		2	2		2	2	
	事務員	5	5		6	6		6	6	
	再任用	1	1							
	その他労務	1		1	2	1	1	2	1	1
	再任用	1	1							
		10	9	1	10	9	1	10	9	1
健康管理センター	事務員	1	1		1	1		1	1	
		1	1		1	1		1	1	
合計		662	565	98	652	569	84	659	579	80

3. 主要役職員名簿

令和3年3月31日

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
管理者	新井 雅博	藤岡市長	脳神経外科 副院長	甲賀 英明	患者支援センター長
副管理者	田村 利男	神流町長	部長	若林 和樹	
組合事業統括兼病院長	塚田 義人	安全管理センター長兼 内視鏡センター長 患者支援センター長 研修管理センター長 救急センター長	医員	込山 和毅	
病院長補佐	設楽 芳範		歯科口腔外科 医長	高山 優	
副院長	甲賀 英明		医員	池 嘉子	
副院長	清水 透		皮膚科 部長	嶋岡 正利	
副院長	井上 雅浩		泌尿器科 部長	武井 智幸	
診療部 総合診療科 部長	神保 貴宏		医長	坂本 亮一郎	
消化器内科 部長	山口 泰子		医員	前野 佑太	
循環器内科 副院長	井上 雅浩	救急センター長	産婦人科 統括部長	遠藤 究	臨床研修統括部長
部長	飯島 徹	健康管理センター長	部長	片貝 栄樹	
部長	間瀬 由紀夫		医員	大枝 涼平	
部長	植田 哲也		リハビリテーション科 副院長	清水 透	研修管理センター長
医長	小野 洋平		医長	有井 大典	
医長	菅野 幸太		放射線診断科 部長	神宮 晶子	
呼吸器内科 統括部長	茂木 充		部長	山田 宏明	
部長	池田 香菜		放射線治療科 部長	塩谷 真里子	
部長	竹村 仁男		麻酔科・ペインクリニック科 統括部長	荒井 賢一	中央手術室統括部長兼救急センター集中治療室担当部長
部長	梅津 和恵		部長	牛込 嘉美	
血液内科 部長	外山 耕太郎		部長	田口 さゆり	
部長	石川 哲也		部長	金井 真樹	
医員	塚田 明彦		部長	萩原 竜次	
医員	杉崎 真人		病理診断科 部長	吉田 孝友	
医員	成澤 由起子		臨床研修医 2年次	伊藤 望	
腎臓内科 部長	塚田 義人		2年次	友金 佐光	
部長	太田 史絵		2年次	牛久保 陸生	
部長	月田 真祐子		2年次	儘田 千尋	
部長	茂木 伸介		2年次	土橋 里美	
部長	小川 真一郎		2年次	石崎 正徳	
部長	佐藤 広宣		2年次	黒岩 裕也	
糖尿病内科 部長	中原 理恵子		1年次	鈴木 美咲	
小児科 統括部長	渡部 登志雄	診療統括部長	1年次	小野 りさ子	
部長	小山 晴美		1年次	古市 望	
部長	相馬 洋紀		1年次	高橋 慶一郎	
外科 病院長補佐	設楽 芳範	安全管理センター長兼 内視鏡センター長	1年次	吉田 源也	
部長	中村 卓郎		1年次	峰村 成勝也	
部長	加藤 寿英		看護部 看護部長室		
部長	中里 健二		看護部長	高田 幸子	
部長	中里 健二		副看護部長	足利 章江	
部長	松本 明香		南3階病棟 看護師長	樋口 美恵子	
部長	熊倉 裕二		副看護師長	児島 厚子	
部長	熊倉 裕二		副看護師長	高橋 圭	
部長	高橋 遼		南4階病棟 看護師長	高橋 富士美	
部長	山中 崇弘		副看護師長	神岡 貴江	
部長	山岡 英人		副看護師長	久保 愛	
部長	遠藤 瑞貴				
整形外科 部長	中島 大輔				
部長	岡田 純幸				
部長	大沢 朝翔				
部長	長島 泰斗				
部長	三森 江里				
部長	市岡 健				

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
南5階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	藤巻 淳子 設楽 枝子 成田 雅子		リハビリテーション室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー	関根 圭介 松山 励悦 福田 大典 小林 真	
南6階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	藤野 妙子 茂木 裕子 齊田 亜弓		栄養室 室長	福田 智春	
南7階病棟 看護師長 副看護師長	江原 忍 今井 美智代		臨床工学室 室長 グループリーダー	金子 修 宇津木 徹	
北2階病棟 看護師長 副看護師長	菊地 弘美 町田 かつ江		視能訓練室 グループリーダー	宮本 恵子	
北4階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	木部 和枝 原澤 優子 中村 道子		経営管理部 経営管理部長	新井 滋	
北5階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	神宮 由香 高木 元美 石原 里美		総務課 課長 課長補佐 グループリーダー グループリーダー	堀越 輝雄 秋山 裕子 金澤 祐子 櫻井 力	
北6階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	原 敦子 青木 裕美 高橋 久美子		用度課 課長 グループリーダー	新井 誠十郎 鈴木 晃	
人工透析室 看護師長	野村 香		医事情報課 課長 課長補佐 グループリーダー グループリーダー グループリーダー	五十嵐 哲二 齋藤 功志 篠崎 清美 久保寺 正英 山崎 雄大	
中央手術室 看護師長 副看護師長	千木良 直子 宮原 裕三		企画財政課 次長 課長補佐 グループリーダー グループリーダー	中里 光夫 新井 恵介 平澤 和興 富田 貴英	
内視鏡センター 看護師長	與口 裕		経営戦略室 室長	清宮 きよ江	
外来 看護師長 看護師長 副看護師長	吉田 富子 飯島 京子 南雲 和子		患者支援センター 副看護部長 課長兼事務統括 副看護部長 グループリーダー	花形 光枝 横坂 政彦 針谷 ゆかり 青木 雅代	
薬剤部 薬剤部長	小幡 輝夫		緩和ケアセンター 事務統括 看護師長 副看護部長	横坂 政彦 古池 きよみ 森崎 裕美	
薬剤室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー	堀口 裕之 櫻澤 千世 久米 隆夫 岩崎 英久		研修管理センター 事務統括	金澤 祐子	
診療支援部 診療支援部長	金子 修		安全管理センター 副看護部長 事務統括 看護師長兼 リスクマネジャー	染谷 由香里 堀越 輝雄 斉藤 康行	
放射線室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー グループリーダー	高田 哲也 長島 純子 萩原 茂紀 岩村 隆夫 黒澤 琢磨		課長補佐 グループリーダー グループリーダー	黒澤 透 中 浩信 田畑 幸貴	
検査室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー グループリーダー	柴崎 洋一 井口 弘美 相馬 千恵子 奥田 康子 高橋 さゆり		健康管理センター 事務統括 グループリーダー	五十嵐 哲二 新井 美春	

4. 議会

(1) 構成議員

19人（藤岡市11人、上野村1人、神流町1人、高崎市3人、知識経験者3人）

(2) 議会開催状況（令和2年度）

中止 行政視察

令和2年11月19日 令和2年第2回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

令和3年2月10日 令和3年第1回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

(3) 議会議決事項

議案番号	件名	議決年月日
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて	令和2年11月19日
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて	令和2年11月19日
報告第3号	資金不足比率の報告について	令和2年11月19日
議案第8号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の給与に関する条例の一部改正について	令和2年11月19日
議案第9号	令和2年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計補正予算(第1号)について	令和2年11月19日
議案第10号	令和2年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)について	令和2年11月19日
議案第11号	令和元年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計決算認定について	令和2年11月19日
議案第12号	令和元年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計決算認定について	令和2年11月19日
議案第1号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	令和3年2月10日
議案第2号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の給与に関する条例の一部改正について	令和3年2月10日
議案第3号	令和2年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計補正予算(第2号)について	令和3年2月10日
議案第4号	令和2年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計補正予算(第2号)について	令和3年2月10日
議案第5号	令和3年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計予算について	令和3年2月10日
議案第6号	令和3年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計予算について	令和3年2月10日

院内会議及び委員会

1. 会議

名称	構成員	目的等	開催
幹部会議	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、経営管理部長、総務課長、企画財政課長	組合内の管理運営の基本方針・執行、計画に関する審議。 各部門との協議・調整を必要とする事項の審議。 組合の管理運営に重大な影響を与えると認められる事項の審議。	月1回
連絡調整会議	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、経営管理部長、総務課長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、患者支援事務統括	組合の経営に関する審議。 各部門との協議・調整に関する審議。	月1回
診療科長会議	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、各診療科長	診療部相互の情報交換、診療業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	月1回
看護師長会議	看護部長、副看護部長、看護師長	看護部相互の情報交換、看護業務の推進方法を審議。	月2回
課長会議	経営管理部長、課長	経営管理部の情報交換、経営管理機能の推進及び改善に関する事項を審議。	随時
室長会議	診療支援部長、室長	診療支援部相互の情報交換、診療支援部業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	随時

2. 委員会

名称	構成員	目的等	開催
安全衛生委員会	病院長補佐、産業医、施設長、部長、看護部長、副看護部長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室、臨床工学室、視能訓練室、リハビリテーション室、栄養室、総務課長、総務課 計17人	職員の健康管理及び衛生管理並びに快適な職場環境について審議する。	月1回
院内感染予防対策委員会	病院長、病院長補佐、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、看護師、薬剤部長、薬剤室、診療支援部長、放射線室長、検査室長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、安全管理事務統括、研修医、安全管理センター 計29人	院内感染に関する組織的対策及び予防に関し協議する。	月1回
栄養管理委員会	病院長補佐、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤部長、検査室、委託職員（日清医療食品）栄養室長、栄養室 計23人	患者給食の改善向上のため、より適正な事項を協議する。	月1回
医療安全管理委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、視能訓練室、経営管理部長、医事情報課長、研修医、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計31人	医療事故の防止のための具体的対策の検討及び推進を図る。	月1回
医療事故対策委員会	病院長、病院長補佐、副院長、弁護士、看護部長、経営管理部長、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計11人	医療苦情・事故等あった場合、適切かつ速やかに情報を把握し、迅速に対応することを目的とする。	随時

診療情報管理委員会	病院長、副院長、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、薬剤室長、放射線室長、検査室長、総務課長、医事情報課長、企画財政課、経営戦略室長、研修医、医事情報課 計 26 人	診療録管理等に関し、必要な事項を審議する。	2ヶ月に1回
診療情報開示検討委員会	副院長、部長、副看護部長、総務課長、医事情報課長、医事情報課 計 7 人	診療情報の開示依頼があった場合、その取扱について審議する。	随時
外来・病床管理委員会	副院長、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、副看護師長、診療支援部長、医事情報課長、経営戦略室長、研修医、患者支援事務統括、患者支援センター 計 33 人	入院患者の診療計画に基づき、有効な病床利用を審議する。	月 1 回
褥瘡対策委員会	副院長、部長、看護師長、看護師、薬剤室、栄養室長、リハビリテーション室、用度課、安全管理センター、患者支援センター 計 16 人	褥瘡について予防と治癒促進を図り、在院日数の短縮を促す。	月 1 回
サービス向上委員会	病院長、副院長、看護部長、看護師長、薬剤部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、医事情報課長、しらすぎ管理課、専従リスクマネージャー、患者支援事務統括、研修管理事務統括、安全管理センター、経営戦略室、委託職員（東朋産業、ソラスト、日清医療）、総務課長、総務課 計 24 人	病院の円滑な業務遂行と患者サービスの改善向上を図る。	月 1 回
治験審査委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、検査室長、総務課長、企画財政課、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）薬剤室 計 14 人	治験薬の臨床試験の実施について審査を行う。	月 1 回
倫理審査委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、薬剤室、検査室長、企画財政課、研修医、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）総務課長、総務課 計 16 人	医療倫理の適正な推進を図ることを目的とする。	随時
薬事委員会	病院長補佐、副院長、統括部長、部長、副看護部長、薬剤部長、薬剤室長、用度課長、用度課、薬剤室 計 14 人	医薬品の適正な使用管理等に関し、必要な事項を審議する。	随時
輸血療法委員会	病院長補佐、部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、医事情報課、検査室長、検査室 計 15 人	輸血療法の安全性確保と適正化を図る。	随時
臨床検査業務運営適正化委員会	病院長補佐、統括部長、部長、副看護部長、副看護師長、診療支援部長、用度課、医事情報課、検査室長、検査室 計 15 人	臨床検査の適正化を図り、制度向上と効率的な業務の遂行を図る。	随時
医療ガス安全管理委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、診療支援部長、副診療支援部長、検査室長、委託業者（カンサン）安全管理センター 計 14 人	医療ガス整備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	年 1 回
放射線安全委員会	放射線取扱主任者、副院長、部長、放射線室長、検査室長、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、放射線室 計 11 人	放射線障害防止について必要な事項を企画審議する。	年 1 回
防火・防災対策委員会	病院長、防火・防災管理者、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計 17 人	防火管理を徹底し、防災管理を図る。	年 3 回

中央手術室 運営委員会	病院長補佐、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、検査室、放射線室、医事情報課長、用度課長計 16 人	各診療科との連絡調整及び手術室の効率的利用について協議し、業務の円滑な運営を図る。	随時
職員採用検討委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課 計 12 人	効率的な職員の採用を図ることを目的に設置する。	随時
医療機器整備委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、企画財政課、用度課長、用度課 計 13 人	医療機器の調査、審議、機種決定をし、組合内の機器調整を行うことを目的とする。	随時
救急センター 運営委員会	副院長、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、看護師、薬剤室長、放射線室、検査室、患者支援事務統括、経営戦略室長、研修医、医事情報課 計 26 人	救急センターの運営管理について審議し、円滑な運営を図る。	月 1 回
広報委員会	病院長、副院長、看護部長、副看護部長、副看護師長、薬剤室長、放射線室、検査室長、リハビリテーション室長、総務課、医事情報課長、しらすぎの里介護員、患者支援事務統括、研修管理事務統括、研修管理センター、経営戦略室、企画財政課長、企画財政課 計 20 人	院内外に広報活動を進めることを目的とする。	随時
クリニカルパス 委員会	副院長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、検査室、リハビリテーション室、栄養室、経営戦略室長、医事情報課 計 28 人	入院診療計画書作成を確立し、在院日数の短縮を図る。	月 1 回
電子化情報委員会	病院長、副院長、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、薬剤室長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、患者支援事務統括、研修管理事務統括、医事情報課、企画財政課、委託業者（高崎共同センター） 計 30 人	院内の電子化整備と円滑な運用を図る。	随時
図書委員会	副院長、統括部長、副看護部長、薬剤部長、診療支援部長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、用度課長、企画財政課、しらすぎ管理課、研修管理事務統括、研修管理センター 計 13 人	効率的な図書室の運営（図書購入、情報発信・収集・利用促進等）を行うことを目的とする。	随時
がん診療委員会	病院長補佐、副院長、部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、検査室長、リハビリテーション室、医事情報課長、患者支援センター、緩和ケアセンター、医事情報課 計 30 人	がん診療の向上と患者への支援等、がん登録業務の円滑な運営を行うことを目的とする。	月 1 回
研修委員会	副院長、統括部長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、総務課長、企画財政課長、しらすぎ管理課、委託職員（東朋産業、ソラスト）、研修管理事務統括、研修管理センター 計 18 人	病院の職員研修及び病院外研修について、的確かつ円滑に行うことを目的とする。	年 4 回

職員提案委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課 計12人	組合の円滑な運営を図るとともに、業務の改善について適切な提案をし、もって医療サービスの推進及び業務の能率的、効率的向上を図ることを目的とする。	随時
I C L S 委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室、リハビリテーション室、栄養室、臨床工学室、患者支援センター 計15人	組合全職員が BLS 及び ICLS を学び実践し、地域への啓蒙活動を行うことを目的とする。	年4回
勤務負担軽減委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、総務課長、研修管理事務統括、研修管理センター 計15人	安心・安全な医療を提供することを目的に医師への勤務負担について検討する。	随時
透析機器安全管理委員会	部長、看護師長、看護師、専従リスマネージャー、副診療支援部長、安全管理センター、臨床工学室 計12人	透析機器の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	随時
S P D 委員会	病院長、副院長、統括部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、診療支援部長、副診療支援部長、検査室、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、医事情報課、用度課長、用度課 計17人	公立藤岡総合病院・公立藤岡総合病院附属外来センターにおいて使用する診療材料、薬品等の物流、整備、管理について、医療水準の向上、患者サービスのより一層の向上を図るために必要な事項を調査、審議する。	年2回
健康管理センター運営委員会	統括部長、部長、看護部長、看護師長、放射線室長、検査室長、栄養室長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、委託職員（ソラスト）、健康管理センター 計14人	地域住民及び公立藤岡総合病院における職員の健康推進を図る。	随時
糖尿病治療支援委員会	部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室長、薬剤室、検査室長、検査室、リハビリテーション室、栄養室長、栄養室、緩和ケアセンター、患者支援センター 計16人	公立藤岡総合病院及び附属外来センターにおける糖尿病患者の合併症等の予防を図ると共に QOL の向上を促す。	随時
研修管理委員会	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、他病院・他施設の研修実施責任者、有識者、研修医、研修管理事務統括、研修管理センター 計34人	医師臨床研修制度の基本理念を遵守するとともに、研修内容の充実とその資質の向上を図り、研修プログラムの策定、研修医・指導医の評価及び処遇など、臨床研修病院群との連携の下に新医師臨床研修制度の構築を図る。	随時
T Q M 委員会	病院長、病院長補佐、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、経営戦略室、計10人	地域医療の負託にこたえ、医療の質を向上させることを目的とする。	随時
診療報酬委員会	病院長、副看護部長、経営管理部長、企画財政課長、経営戦略室長、委託職員（ソラスト）医事情報課長 計7人	診療報酬請求の適正な請求をすることを目的とする。	随時
内視鏡センター運営委員会	病院長補佐、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、看護師、放射線室、検査室、医事情報課、企画財政課 計15人	組合が実施する内視鏡検査・処置の適正かつ効果的な運営を図る。	随時

IV 学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	出席人数
診療部			
第29回日本定位放射線治療学会	Web開催	5月	1人
STROKE 2020	Web開催	7月	1人
第7回日本心血管脳卒中学会学術集会8/23~9/24	Web開催	7月	1人
第93回日本整形外科学会学術総会 6/11~8/31	Web開催	7月	1人
Tokyo Physiology2020 by FRIENDS Live	Web開催	8月	1人
循環動態アカデミー2020Basicサマーキャンプ	Web開催	8月	1人
第117回日本内科学会講演会	Web開催	8月	2人
第120回日本外科学会定期学術集会	Web開催	8月	1人
第57回日本リハビリテーション医学会学術集会/専門医認定試験	京都市	8月	1人
第60回日本リンパ網内系学会総会	Web開催	8月	1人
第63回日本手外科学会学術集会	Web開催	8月	1人
第69回日本アレルギー学会学術集会	Web開催	8月	1人
第94回日本感染症学会学術講演会	Web開催	8月	1人
R2年度群馬県医師会母体保護法指定医師研修会	前橋市	9月	1人
第25回日本脳腫瘍の外科学会	Web開催	9月	1人
第50回日本腎臓学会東部学術大会	Web開催	9月	4人
第63回日本腎臓学会学術総会	Web開催	9月	4人
第68回日本化学療法学会総会	Web開催	9月	1人
日本ハイパーサーミア学会第37回大会オンライン2020	Web開催	9月	1人
CVIT 第43回東海北陸地方会	Web開催	10月	1人
ICD相互評価	前橋市	10月	1人
Japanese Bifurcation Club 2020	Web開催	10月	1人
第28回日本乳癌学会学術総会	Web開催	10月	1人
第35回日本整形外科学会基礎学術集会・教育3講演	Web開催	10月	1人
第40回日本登山医学会学術集会	Web開催	10月	1人
第56回日本腹部救急医学会総会	Web開催	10月	1人
第57回日本小児アレルギー学会学術大会	Web開催	10月	1人
第58回日本癌治療学会学術集会	Web開催	10月	1人
第69回日本感染症学会東日本地方会学術集会	Web開催	10月	1人
第85回日本泌尿器科学会東部総会	Web開催	10月	2人
日本呼吸器学会呼吸器専門医試験受験	東京都	10月	1人
日本脳神経外科学会第79回学術総会	Web開催	10月	1人
日本放射線腫瘍学会第33回学術大会	Web開催	10月	1人
ロータブレーター実技見学(北関東循環器病院)	渋川市	11月	2人
伊勢志摩ライブ2020	Web開催	11月	1人
下北沢足病ゼミナール2020前期	Web開催	11月	3人
第10回豊橋ライブデモンストレーションコース	Web開催	11月	2人
第140回関東連合産科婦人科学会総会学術集会	Web開催	11月	2人
第14回中日本ライブデモンストレーション	Web開催	11月	1人
第23回肺がんCT検診機構認定医師更新講習会	Web開催	11月	1人
第30回日本乳癌検診学会学術総会	Web開催	11月	1人
第36回NPO日本脳神経血管内治療学会学術総会	Web開催	11月	1人
第48回日本頭痛学会総会	Web開催	11月	1人
第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	Web開催	11月	1人
第52回日本小児感染症学会総会学術集会	Web開催	11月	1人
第60回日本核医学会学術総会/第40回日本核医学技術学会総会	Web開催	11月	1人
第61回日本人間ドック学会/第27階国際健診学会/第4階国際人間ドック会議	Web開催	11月	2人
第63回日本能循環代謝学会学術集会	Web開催	11月	1人
第65回日本口腔外科学会総会学術大会	Web開催	11月	1人
第65回日本透析医学会学術集会総会	Web開催	11月	3人
第664回日本内科学会関東地方会	Web開催	11月	1人
第73回日本胸部外科学会定期学術集会	Web開催	11月	1人
第82回日本血液学会学術集会	Web開催	11月	2人
第82回日本臨床外科学会総会	Web開催	11月	2人
日本がん治療認定機構認定医試験	仙台市	11月	1人
日本消化器外科学会2020年度専門医試験	東京都	11月	2人

名称	開催場所	開催月	出席人数
日本消化器関連学会JDDW2020	Web開催	11月	2人
CPAC2020	Web開催	12月	1人
第20回日本術中画像情報学会	Web開催	12月	1人
第51回日本心血管インターベンション治療学会 北海道地方会	Web開催	12月	1人
第74回日本食道学会学術集会	Web開催	12月	1人
第75回日本消化器外科学会総会	Web開催	12月	1人
日本食道学会2020年度教育セミナー	Web開催	12月	1人
新生児蘇生法研修会	前橋市	1月	1人
第108回日本泌尿器科学会総会	Web開催	1月	2人
第10回日本有病者歯科医療学会 認定医専門医指導医申請	東京都	1月	1人
第32回日本心血管インターベンション治療学会	Web開催	1月	1人
第44回日本てんかん外科学会	Web開催	1月	2人
第60回日本定位機能神経外科学会	Web開催	1月	1人
日本手外科学会2020年度教育研修会	Web開催	1月	1人
日本心エコー学会第25回冬期講習会	Web開催	1月	1人
ジョンソンエンドジョンソン主催プレコーディングセミナー	Web開催	2月	1人
第18回日本臨床腫瘍学会学術集会	Web開催	2月	1人
第29回日本心血管インターベンション治療学会	Web開催	2月	1人
第33回日本肘関節学会学術集会	Web開催	2月	1人
第44回日本脳神経外傷学会	Web開催	2月	1人
第53回、54回教育研修会(口腔四学会合同研修会)	Web開催	2月	1人
STROKE 2021	Web開催	3月	1人
第1回群馬心エコー図研究会	Web開催	3月	1人
第24回東北心血管イメージング研究会	Web開催	3月	1人
第26回透析バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会	Web開催	3月	1人
第28回日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医大会	Web開催	3月	1人
第33回日本内視鏡外科学会総会	Web開催	3月	1人
第5回日本アレルギー学会関東地方会	Web開催	3月	1人
第7回総合アレルギー講習会	Web開催	3月	1人
第85回日本循環器学会学術集会	Web開催	3月	1人
薬剤部			
第68回日本化学療法学会総会	Web開催	9月	1人
第67回日本化学療法学会東日本支部総会	Web開催	10月	1人
日本病院薬剤師会関東ブロック第50回学術大会	Web開催	11月	8人
第30回日本医療薬学会年会	Web開催	11月	1人
第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会総会2020	Web開催	12月	2人
放射線室			
日本放射線技術学会第76回総会学術大会	Web開催	5月	2人
MRI安全性の考え方	Web開催	5月	1人
臨床MRI安全運用のための指針について	Web開催	5月	1人
JRC2020Web 第80回放射線治療部会	Web開催	6月	2人
第76回日本放射線技術学会総会学術大会	Web開催	6月	2人
MITech群馬	Web開催	8月	1人
栃木CT研究会	Web開催	8月	1人
千葉アンギオ研究会	Web開催	9月	1人
根本杏林堂webセミナー	Web開催	9月	1人
群馬県診療放射線技師会 研究会	前橋市	11月	1人
第40回日本核医学技術学会総会学術大会	神戸市	11月	1人
群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習会 胸部XP読影入門・総集編	前橋	11月	1人
被曝線量管理webセミナー	Web開催	11月	2人
第19回CTテクノロジーフォーラム	Web開催	12月	1人
第14回関西地区統一講習会(基礎コース)	Web開催	1月	1人
放射線治療品質管理士認定機構 第30回講習会	Web開催	1月	1人
第55回放射線治療セミナー	Web開催	1月	1人
条件付きMRI対応デバイス植込患者に対するMRI検査のための研修	Web開催	1月	1人
実効線量と実用量webinar	Web開催	2月	1人
第3回Pediatric CT研究会	Web開催	3月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
検査室			
群馬県臨床検査技師会総会	前橋市	6月	2人
第61回日本臨床細胞学会総会春期大会	Web開催	7月	4人
第45回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	Web開催	9月	1人
第69回日本医学検査学会	Web開催	10月	2人
日本糖尿病療養指導士認定機構 第18回更新者講習会	Web開催	11月	2人
第45回日本超音波検査学会学術集会	Web開催	12月	1人
第59回日本臨床細胞学会 秋期大会	Web開催	12月	1人
第65会群馬県医学検査学会	桐生市	12月	5人
第29回首都圏支部、関東甲信支部病理細胞検査研修会	Web開催	2月	1人
群馬県臨床検査技師会	前橋市	3月	1人
リハビリテーション室			
日本リハビリテーション病院・施設協会オンライン研修会8/29	Web開催	8月	1人
第54回日本作業療法学会	Web開催	9月	1人
第54回日本作業療法学会	Web開催	10月	1人
臨床実習指導者研修講習会	前橋市	10月	2人
第44回日本高次脳機能障害学会学術総会	Web開催	11月	1人
日本離床学会講座「離床際！一年の計は離床にあり」	Web開催	1月	1人
第48回日本集中治療医学会学術集会	Web開催	2月	1人
摂食嚥下訓練における姿勢調整	Web開催	3月	1人
栄養室			
がん病態栄養学会教育セミナー、がん病態栄養専門管理栄養士セミナー	Web開催	6月	4人
日本病態栄養学会 がん専門管理栄養士セミナー	Web開催	7月	1人
日本病態栄養学会教育セミナー	Web開催	8月	4人
第93回日本生化学大会	Web開催	9月	2人
第42回日本臨床栄養学会総会、第41回日本臨床栄養協会総会、第18回大連合	Web開催	10月	2人
日本咀嚼学会第31回学術大会	Web開催	10月	3人
第65回日本透析医学会学術集会・総会	Web開催	11月	1人
2020年度がん病態栄養セミナー	Web開催	11月	1人
第42回、第41回日本臨床栄養協会総会/第18回大連合大会	Web開催	11月	3人
日本咀嚼学会第31回学術大会	Web開催	11月	2人
高齢者の低栄養予防について	藤岡	11月	1人
日本糖尿病療養指導士認定機構 第18回更新者講習会	Web開催	12月	1人
日本病態栄養専門管理栄養士教育セミナー	Web開催	12月	1人
第58回日本糖尿病学会関東甲信越地方会	Web開催	1月	1人
第7回がん患者さんのための管理栄養士セミナーe-ラーニング	Web開催	1月	1人
日本病態栄養学会教育セミナー更新e-ラーニング	Web開催	1月	1人
日本病態栄養学会 エキスパートセミナー	Web開催	2月	1人
日本病態栄養学会 スキルアップセミナー	Web開催	2月	1人
第40回食事療法学会	Web開催	3月	1人
日本病態栄養学会 スキルアップセミナー	Web開催	3月	1人
日本病態栄養学会 エキスパートセミナー	Web開催	3月	1人
臨床工学室			
新型コロナ患者対応説明会	前橋市	4月	2人
COVID-19人工呼吸器研修	前橋市	7月	1人
看護部			
新型コロナウイルス感染症患者受入れ病院看護部長連絡会議	前橋市	4月	1人
群馬県ICN分科会	前橋市	5月	1人
産科業務管理授業	高崎市	5月	1人
2020年助産師学実習指導者会議	高崎市	6月	1人
群馬県看護協会通常総会	前橋市	6月	1人
全自病 群馬県支部看護部長会	前橋市	6月	1人
分娩介助法演習指導	高崎市	6月	1人
「202災害ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～」	前橋市	7月	2人
看護協会臨時理事会役員会	前橋市	7月	1人
全自病 群馬県支部看護部長会	前橋市	7月	1人
看護補助者活用推進のための看護管理者研修2020	前橋市	8月	1人
群馬県ICN分科会	前橋市	8月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
群馬県委託事業 潜在看護職員復帰促進研修	前橋市	8月	1人
重症度・医療・看護必要度オンラインセミナー	Web開催	8月	1人
新人看護職員実地指導者研修	前橋市	9月	1人
全自病 群馬県支部看護部長会	前橋市	9月	1人
群馬県ICN分科会	前橋市	10月	1人
群馬県看護協会定例理事会役員会	前橋市	10月	1人
新人看護職員実地指導者研修	前橋市	10月	1人
精神科訪問看護研修会	Web開催	10月	1人
全国自治体病院協議会 群馬県支部看護部長会	前橋市	10月	1人
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	前橋市	10月	9人
令和2年度教育研修-看護管理-	前橋市	10月	1人
全自病 群馬県支部看護部長会	前橋市	11月	1人
認定看護管理者フォローアップ研修	前橋市	11月	1人
令和2年度新人看護職員研修 教育担当者研修	前橋市	11月	1人
「医療安全管理者養成研修」	前橋市	12月	3人
「看護職資格の活用基盤強化を考える会」	前橋市	12月	1人
群馬県ICN分科会	前橋市	12月	1人
災害看護支援ナース フォローアップ研修	前橋市	12月	6人
全自病 群馬県支部看護部長会	前橋市	12月	1人
群馬県看護協会 令和2年度地区支部役員会	前橋市	1月	2人
第35回人間ドック健診情報管理指導士研修会	Web開催	1月	1人
全国自治体病院協議会群馬県支部看護部長会	前橋市	2月	1人
看護協会 定例理事会、役員会	前橋市	3月	1人
経営管理部			
給与実態調査等に係るヒアリング	前橋市	5月	1人
給与実態調査等に係るヒアリング	前橋市	6月	1人
全国がん登録研修会	前橋市	9月	1人
がん登録実務初級者認定試験	太田市	11月	1人
研修管理センター			
群馬県新生児蘇生法研修会Aコース(第1回)	桐生市	7月	1人
第37回院内ICLSコース受講	藤岡市	8月	7人
群馬県新生児蘇生法研修会Aコース(第2回)	前橋市	10月	1人
第82回日本臨床外科学会総会	Web開催	10月	2人
第61回日本肺癌学会学術集会	岡山市	11月	1人
第61回日本児童青年精神医学会総会	Web開催	11月	1人
第258回日本循環器学会関東甲信越地方会	Web開催	12月	1人
第58回群馬放射線腫瘍研究会	Web開催	2月	1人
安全管理センター			
館林厚生病院の再開に向けた院内感染対策支援調査	館林市	4月	1人
新型コロナウイルス感染症医療体制会議	前橋市	6月	1人
感染防止対策地域連携加算に係わる相互評価	前橋市	10月	1人
障害者支援施設等の感染症対策支援	高崎市	10月	1人

V 研究業績

1. 論文 (原著・総説・著書等)

【整形外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
大澤朝翔	細川高史、猪俣和弘、金子聡也、中島大輔、須藤執道、筑田博隆	母指CM関節固定術後に長母指屈筋腱断裂を発生した1例	臨床整形外科	54(5)	531-533	平成31年5月

【脳神経外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
小島丈夫	若林和樹、甲賀英明	頭蓋内と頭蓋外主幹動脈における二箇所での急性閉塞に対して近位優先で血行再建を行った一例	KITAKANTO MEDICAL JOURNAL(KMJ)	70巻2号	99-103	令和2年5月
甲賀英明	朝倉健、栗原秀行、松本正弘、谷崎義生、美原盤	群馬県におけるt-PA治療の現状、および血栓回収療法の実状平成30年度 県内医療機関 調査より	群馬県救急医療懇談会誌	Vol 16	40-43	令和2年9月
谷崎義生	朝倉健、甲賀英明、栗原秀行、松本正弘、矢尾板裕之、石原淳治、大島清宏、大森重宏、宮本直子、赤尾法彦、櫻井篤志、新井孝志、美原盤	脳卒中救急搬送症例の事後検証: 第6報	群馬県救急医療懇談会誌	Vol 16	33-36	令和2年9月
Hiroyuki Mizuno	Kazuki Wakabayashi, Tatsuya Shimizu, Hiseaki Koga, Yuhei Yoshimoto	Deconstructive endovascular treatment of ruptured serpentine basilar artery aneurysm by mid-basilar occlusion: a case report on October 10, 2020.	World Neurosurg	2021 Feb;146	40-44	令和2年10月
松本正弘	谷崎義生、栗原秀行、甲賀英明、朝倉健	群馬県における急性期虚血脳卒中傷病者に関する取り組み	Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care(2433-0485)	33巻1号	Page52	令和2年10月
谷崎義生	朝倉健、甲賀英明、栗原秀行、松本正弘、倉金寛政、坂上勉、高澤大悟、美原盤	脳梗塞治療法の進歩と脳卒中・循環器病対策基本法施行に対応した群馬PSLSコースの改定	日臨救急医学会誌 (JJSEM)	2021: 24	16-27	令和2年2月
谷崎義生	赤路和則、朝倉健、甲賀英明、栗原秀行、松本正弘、美原盤	脳卒中救急医療体制整備に対する脳神経外科の役割(第2報)	Neurosurgical Emergncy	26(1)	26-35	令和2年3月

【リハビリテーション室】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
田村俊太郎	小林 真、齊藤 康行、朝倉 智之、白田 滋	急性期病棟における転倒・転落アセスメントシートの改訂と潜在リスク理論を用いた危険度の分類	理学療法科学	35(5)	621-627	2020年
Shuntaro Tamura	Makoto Kobayashi, Yasuyuki Saito, Tomoyuki Asakura, Shigeru Usuda	Fall prediction using decision tree analysis in acute care units.	Journal of physical therapy science	32(11)	722-728	2020年
Tashiro H	Isho T, et al.	Utility of dynamic balance measurements in discriminating community ambulation levels among individuals with stroke: a cross-sectional study	J Stroke Cerebrovasc Dis	29(4)	104603	令和2年4月
Masao Takemura	Mitsuru Motegi, Yuya Kuroiwa, Kazue Umetsu, Shunichi Kouno Kana Ikeda et al.	Immune-related adverse events caused by treatment with pembrolizumab in a patient with lung cancer who infected influenza virus	Respiratory Medicine Case Reports	32	101361	2021年

2. 学会及び研究発表

【循環器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
友金佐光	高松寛人、小野洋平、植田哲也、間渕由紀夫、井上雅浩、鈴木忠	Electrical stormを合併した急性心筋梗塞に対し、血行再建のみ補助循環を使用し、救命し得た1例	第257回日本循環器学会関東地方会	令和2年9月5日	WEB	口演
伊藤望	高松寛人、小野洋平、植田哲也、間渕由紀夫、井上雅浩、鈴木忠	高度の動脈硬化性病変を有するapicoaortic bypass手術後の一剖検例	第258回日本循環器学会関東地方会	令和2年12月12日	WEB	口演
小野洋平	高松寛人、植田哲也、間渕由紀夫、井上雅浩	特発性冠動脈解離の9症例	第29回日本心臓血管インターベンション治療学会；CVIT2020	令和2年2月	WEB	口演

【呼吸器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
竹村仁男	茂木充、板井美紀、大島一真、倉島優里亜、佐藤麻里、増渕裕朗、前野敏孝	ペンプロリズムブにより重篤な有害事象を来した3例の検討	第60回日本呼吸器学会学術講演会	令和2年9月20日	神戸	示説
板井美紀	茂木充、竹村仁男、大島一真、倉島優里亜、佐藤麻里、増渕裕朗、前野敏孝	最近10年間に経験したレジオネラ肺炎の臨床的特徴	第60回日本呼吸器学会学術講演会	令和2年9月22日	神戸	示説
大崎隆	金津正樹、茂木充 他	70歳以上高齢者進行非小細胞肺癌における科学療法に対する脆弱性予防に関する検討	第61回日本肺癌学会学術集会	令和2年11月14日	岡山	口演
高野峻一	黒岩裕也、田口浩平、梅津和恵、内田恵、竹村仁男、池田香菜、茂木充	術後胸腔内再発に対して放射線治療・逐次化学療法により長期生存が得られた胸腺の1例	第61回日本肺癌学会学術集会	令和2年11月13日	岡山	口演

【腎臓内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
太田史絵	土屋俊平、松崎智子、茂木伸介、月田真祐子、塚田義人	顕微鏡的多発血管炎由来の末期腎不全症例の経過と予後について	第65回日本透析医学会学術総会	令和2年11月	WEB	示説

【整形外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
三森江里	高橋佑、市岡健、長島泰斗、大沢朝翔、岡田純幸、中島大輔	保存療法3ヶ月で骨癒合不良なhangman骨折Levine type IIの1例	第9回 群馬整形外科外傷研究会	令和2年11月	前橋	口演

【脳神経外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
甲賀英明	朝倉健、栗原秀行、松本正弘、谷崎義生、美原盤	群馬県におけるtPA静注療法および血栓回収療法の施行状況 2019年 県内医療機関調査より	群馬救急医療ネットワーク リーダーズ会議	令和2年10月21日	前橋	口演
甲賀英明	朝倉健、栗原秀行、松本正弘、谷崎義生、美原盤	群馬県におけるtPA静注療法および血栓回収療法の施行状況 2019年 県内医療機関調査より	群馬救急医療ネットワーク 全体会	令和2年11月10日	前橋 群馬県庁	口演

【薬剤部】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
井上 拓也	清水祥正、櫻澤千世、堀口裕之、小幡輝夫	常染色体優位多発性嚢胞腎 (ADPKD) に対し、トルバプタン (TLV) の初回導入を行った1例	第3回群馬県薬学大会	令和2年5月	WEB	WEB 示説
中山 和彦	井上拓也、伊藤惇史、堀口裕之、外山耕太郎、小幡輝夫	初発多発性骨髄腫へのDara-VMP療法に対し、病棟薬剤師が介入した症例報告	日本病院薬剤師会 関東ブロック第50回学術大会	令和2年10月	WEB	WEB 示説
清水祥正	井上拓也、大野祥輝、岩崎英久、櫻澤千世、久米隆夫、堀口裕之、小幡輝夫	腎機能低下時の各治療ガイドラインにおける抗菌薬投与量の調査	第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2020	令和2年12月	WEB	WEB 示説
増野貴司	中山和彦、塩野智則、伊藤惇史、櫻澤千世、堀口裕之、小幡輝夫	連携充実加算算定と薬薬連携の更なる充実に向けた取り組み	日本臨床腫瘍学会学術大会2021	令和3年3月	WEB	WEB 示説

【放射線室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
清水正孝		当院における骨シンチガイドラインの検証	MITech群馬	令和2年8月	web	講演
清水正孝	金子勇二、飯塚隆、高田哲也、山田宏明、神宮明子	NEMA Bodyファントムを用いたSPECT撮影条件の検討	第40回日本核医学技術学会総会学術大会	令和2年11月	神戸	示説

【リハビリテーション室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
藤井洋有	近藤健、小田俊一、関根圭介	終末期がん患者の自宅退院に影響する予測因子の検討	日本作業療法学会	令和2年9月	web開催	口演
田村俊太郎	小林 真、白田 滋	潜在ランク理論を用いたFunctional balance scaleによるバランス能力のランク分けの検討	日本基礎理学療法学会	令和2年12月	仙台 (Web)	示説
小林壮太	田村俊太郎、岩本紘樹、武田簾、宮田一弘	大腿骨近位部骨折患者における歩行補助具の選択モデル決定木分析による検討	群馬県理学療法士学会	令和2年11月	群馬 (Web)	示説
酒井 哲郎		発話明瞭度の信頼性の検討 ～他職種と比べた検者間信頼性と検者内信頼性～	第21回 日本語聴覚学会	令和2年6月	茨城	示説
石川雄太	高橋瑞刀 松本大輔 小田成美 田村俊太郎	蘇生に成功した心停止症例におけるBystander CPRの有無による退院時身体・認知機能への影響	第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	令和2年7月	web	口演

3. 講演

【呼吸器内科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
茂木充	第260回一般定期健康診断における胸部レントゲン写真の読影講座	高崎市医師会胸部X線読影講座(第260回)	高崎市総合保健センター	令和2年9月17日
茂木充	新型コロナウイルス感染症 感染予防対策	院内学術集談会	大会議室	令和2年10月26日
茂木充	禁煙のすゝめ タバコの健康被害を知り無煙社会の実現を目指す	経営管理部勉強会	大会議室	令和2年10月14日
茂木充	新型コロナウイルス感染症 感染予防対策	経営管理部勉強会	大会議室	令和2年11月12日
茂木充	新型コロナウイルス感染症 感染予防対策 (第1回～第10回)	医療安全感染管理対策講演会	大会議室 中会議室	令和2年11月26日、 12月1日、8日、 14日、21日、22日、 23日、24日
茂木充	第262回一般定期健康診断における胸部レントゲン写真の読影講座	高崎市医師会胸部X線読影講座(第262回)	高崎市総合保健センター	令和3年2月16日
茂木充	禁煙のすゝめ タバコの健康被害を知り無煙社会の実現を目指す	医療安全院内講演会	大会議室	令和3年2月1日、 4日、25日
茂木充	第263回一般定期健康診断における胸部レントゲン写真の読影講座	高崎市医師会胸部X線読影講座(第263回)	高崎市総合保健センター	令和3年3月29日

【整形外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
中島大輔	当院での外傷治療と臨床指導 手外科診療、骨粗鬆症、院内教育など	旭化成ファーマ株式会社 社内勉強会	藤岡 Webinar	令和2年8月
中島大輔	当科の診療状況と臨床指導 最近のTopics、骨粗鬆症など	整形外科 Online Seminar	高崎 Webinar	令和2年10月

【脳神経外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
甲賀英明	従来型から新規抗てんかん薬へのパラダイム・シフト 血中濃度を指標としたペランパネル処方のコツと適する患者像	ペランパネルインターネット ライブセミナー (Web)	前橋	令和2年9月18日
甲賀英明	脳梗塞の急性期治療	藤岡薬剤師会 (Web)	藤岡	令和2年10月12日
甲賀英明	従来型から新規抗てんかん薬へのパラダイム・シフト	桐生医師会講演会 (Web)	高崎	令和2年11月25日
甲賀英明	従来型から新規抗てんかん薬へのパラダイム・シフト	館林医師会講演会 (Web)	高崎	令和2年12月2日
甲賀英明	脳卒中の急性期治療とリスク管理	群馬言語聴覚士会講演 (Web)	藤岡	令和2年1月16日
甲賀英明	ペランパネルの血中濃度測定	Neurosurgery Update Seminer(Web)	前橋	令和2年2月12日

* 講義

甲賀英明	脳神経外科 神経学と諸検査	藤岡准看護学校	藤岡	令和2年9月2日
甲賀英明	脳血管障害	藤岡准看護学校	藤岡	令和2年9月9日
甲賀英明	脳腫瘍	藤岡准看護学校	藤岡	令和2年9月16日
甲賀英明	頭部外傷と末梢神経疾患	藤岡准看護学校	藤岡	令和2年9月23日

【産婦人科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
遠藤 究	助産師外来に必要な超音波診断、 分娩監視の読み方	助産師専攻講義	高崎	令和2年5月

【薬剤部】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
増野貴司	連携充実加算について ～質の高い外来化学療法を提供するために	第19回藤岡地域がん化学療法 薬薬連携定例会	藤岡	令和2年10月
増野貴司	当院における胃癌レジメンについて	第19回藤岡地域がん化学療法 薬薬連携定例会	藤岡	令和2年10月
清水祥正	いまさら聞けない薬と腎臓	医薬品安全使用研修会	藤岡	令和2年10月
久米隆夫	新型コロナワクチンに関して	医療安全・感染対策必須研修 会	藤岡	令和3年2月
岩崎英久	新型コロナワクチンに関して	医療安全・感染対策必須研修 会	藤岡	令和3年2月

【リハビリテーション室】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
小林 真	神経系疾患についての画像診断～CT・ MRIの違い～	画像診断学	高崎健康福祉大学 (リモート)	令和2年10月21日
小林 真	神経系疾患についての画像診断～脳血 管～	画像診断学	高崎健康福祉大学 (リモート)	令和2年11月4日
小林 真	神経系疾患についての画像診断～まと め～	画像診断学	高崎健康福祉大学 (リモート)	令和2年11月11日
高橋祐介	運動で守るあなたの血管 握って・歩いて合併症予防	糖尿病教室	公立藤岡総合病院	令和2年9月16日
藤井洋有	リハビリテーション職種との連携	介護職員初任者研修	群馬県立万場高等学 校	令和2年7月5日
藤井洋有	がん患者に対する作業療法ー基礎から 研究までー	群馬県作業療法士会学術部勉 強会	web開催	令和2年8月18日
藤井洋有	群馬がん作業療法研究会の意義と方向 性	群馬県作業療法士会学術部勉 強会	web開催	令和3年2月6日
黒澤雅斗	介護・福祉サービスの理解と医療の連携 ～医療との連携とリハビリテーション～	介護職員初任者研修	群馬県立万場高等学 校	令和2年9月15日
関根圭介	在宅リハビリテーション総論	在宅看護方法論 I	本庄児玉看護専門学 校	令和2年7月1日
関根圭介	生活行為向上マネジメント概論	現職者選択研修 生活行為向 上マネジメント	web開催	令和2年6月28日
関根圭介	生活行為向上マネジメント	臨床実習指導者講習会	web開催	令和2年12月20日
福田大典	フィジカルアセスメント	パース大学 認定看護師教育課 程 摂食・嚥下障害看護	パース大学	令和2年9月11日
福田大典	フィジカルアセスメント	パース大学 認定看護師教育課 程 摂食・嚥下障害看護	パース大学	令和2年9月18日
福田大典	フィジカルアセスメント	パース大学 認定看護師教育課 程 摂食・嚥下障害看護	パース大学	令和2年9月25日

4. 講演会・研修会開催実績

【公開】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所	参加者数	
					院内	院外
7月13日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
9月16日	第1回糖尿病教室	①運動で守るあなたの血管 ～握って・歩いて合併症予防～ ②家の中で出来る運動 ～身に付けよう！家の中で運動習慣～ ③家で出来る簡単レシピ	公立藤岡総合病院 ①理学療法士 ②理学療法士 ③管理栄養士	公立藤岡総合病院 大会議室	16	14
9月28日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	27
10月8日	第169回公開CPC	症例 心肺停止	公立藤岡総合病院 腎臓内科 月田 真祐子 病理診断科 吉田 孝友 研修医 今井 勝也	公立藤岡総合病院 大会議室	30	0
10月29日	第20回藤岡地域がん化学療法薬連携定例会 (Web視聴あり)	①癌領域における治療薬剤について ②「連携充実加算について～質の高い化学療法を提供するために～ ③「保険薬局でのレジメン情報の活用」 ④外来化学療法前に確認すること 当院における胃癌レジメンについて	①中外製薬株式会社 渡邊順一郎 ②公立藤岡総合病院 がん薬物療法認定薬剤師 増野 貴司 ③藤岡調剤薬局 管理薬剤師 柳原 啓 ④公立藤岡総合病院 がん薬物療法認定薬剤師 増野 貴司	公立藤岡総合病院 大会議室	13	27
11月9日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	23
11月13日	第1回腎臓病教室	①慢性腎臓病の基礎知識 ②患者さんにできる日常生活管理～セルフケアのススメ～ ③腎臓病食事療法～腎臓にやさしい食事～	公立藤岡総合病院 ①腎臓内科部長 太田史絵 ②看護師 櫻井あかり ③管理栄養士 野口恵理子	公立藤岡総合病院 大会議室	13	27
12月10日	第170回公開CPC	症例 肺癌	公立藤岡総合病院 呼吸器内科医長 竹村 仁男 病理診断科部長 吉田 孝友 研修医 吉田 源也	公立藤岡総合病院 大会議室	40	0

【院内】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所	参加者数	
					院内	院外
4月1日 ～3日	新入職者オリエンテーション	病院概要・医療倫理・チーム医療 各部門紹介等	公立藤岡総合病院 病院長 塚田 義人 他	公立藤岡総合病院 大会議室	34	
4月13日	接遇研修（新入職者）	接遇マナー 対応の仕方	公立藤岡総合病院 医事情報課長 五十嵐 哲二 副看護師長 高木 元美	公立藤岡総合病院 大会議室	41	
4月13日	火災避難訓練（新入職者）	防災設備と消化器の使用法	公立藤岡総合病院 安全管理センター課長補佐 黒澤 透 ホーチキ担当者	公立藤岡総合病院 大会議室	41	
5月14日	第30回M&Mカンファレンス	症例 肺腺癌	公立藤岡総合病院 呼吸器内科医長 竹村 仁男	公立藤岡総合病院 大会議室	46	
5月14日	第28回カンサーボード	症例 大腸癌	公立藤岡総合病院 外科医長 山中 崇弘	公立藤岡総合病院 大会議室	52	
6月11日	第31回M&Mカンファレンス	症例 膵臓癌	公立藤岡総合病院 腎臓内科医長 月田 真祐子	公立藤岡総合病院 大会議室	48	
6月11日	第29回カンサーボード	左尿管癌	公立藤岡総合病院 泌尿器科医員 前野 佑太	公立藤岡総合病院 大会議室	46	
6月11日	第37回画像カンファレンス	4～5月の興味深い症例	公立藤岡総合病院 放射線診断科医員 山田 宏明	公立藤岡総合病院 大会議室	46	
6/22 ～7月	感染対策研修（院内手洗い研修）	手洗いの実践	公立藤岡総合病院 副看護師長 染谷 由香里	公立藤岡総合病院 各部署	511	
7月9日	第30回カンサーボード	症例 胃GIST	公立藤岡総合病院 消化器内科科部長 山口 泰子	公立藤岡総合病院 大会議室	55	
7月9日	第32回M&Mカンファレンス	症例 門脈気腫	公立藤岡総合病院 外科医員 岡崎 英人	公立藤岡総合病院 大会議室	53	
7月30日	医療安全必須研修（前期・e-ラーニング）	苦情対応のポイント	SOMPO リスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部	公立藤岡総合病院 各部署	617	
8/12 ・ 8/21・8/28	医療機器安全研修会	AIRV02の作用機序と効果	公立藤岡総合病院 臨床工学士 田島 伸哉	公立藤岡総合病院 臨床工学室	21	
8月29日	第37回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	25	
9月10日	第33回M&Mカンファレンス	アテローム血栓性脳梗塞	公立藤岡総合病院 脳神経外科医員 山田 和毅	公立藤岡総合病院 大会議室	43	
9月10日	第31回カンサーボード	AITL	公立藤岡総合病院 血液内科医員 杉崎 真人	公立藤岡総合病院 大会議室	39	
9月10日	第38回画像カンファレンス	画像でみかける偶発的所見のマネジメント	公立藤岡総合病院 放射線診断科医員 山田 宏明	公立藤岡総合病院 大会議室	37	
9月18日	第27回藤岡緩和ケア研究会	「がん終末期患者の鎮静について」グループワーク	公立藤岡総合病院 緩和ケア認定看護師 菅原 恵里子	公立藤岡総合病院 大会議室	30	

10月中	医薬品安全使用研修会	「今さら聞けない薬と腎臓」	公立藤岡総合病院 薬剤師 清水 祥正	Web開催	170	
10月8日	第32回がんセンターボード	食道癌・肺癌	公立藤岡総合病院 外科 熊倉 裕二	公立藤岡総合病院 大会議室	46	
10月8日	第34回M&Mカンファレンス	発熱治療中の心肺停止救急搬送症例	公立藤岡総合病院 循環器内科 井上 雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	38	
11月7日	第38回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	12	
11月13日	第35回M&Mカンファレンス	子宮頸癌の疑い	公立藤岡総合病院 産婦人科医員 大枝 涼平	公立藤岡総合病院 大会議室	46	
12/2・ 12/4・12/9	保険診療講習会	医事情報課	入院診療計画書について	公立藤岡総合病院 大会議室	226	
12月10日	第34回がんセンターボード	直腸癌・肝細胞癌	公立藤岡総合病院 外科医長 加藤 寿英	公立藤岡総合病院 大会議室	47	
12月10日	第36回M&Mカンファレンス	骨髄異形成症候群	公立藤岡総合病院 血液内科医員 塚田 明彦	公立藤岡総合病院 大会議室	45	
12月10日	第170回公開CPC	症例 肺癌	公立藤岡総合病院 呼吸器内科医長 竹村 仁男 病理診断科部長 吉田 孝友 研修医 吉田 源也	公立藤岡総合病院 大会議室	40	
12月14日	第15回研修医症例発表会	症例7題	公立藤岡総合病院 研修医7名	公立藤岡総合病院 大会議室	64	
1/4～1/31	医療安全必須研修（後期・eラーニング）	医療安全とヒューマンエラー	SOMPO リスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部	公立藤岡総合病院 各部署	627	
2/1・2/4・ 2/25	令和2年度安全衛生研修会	たばこの健康被害について	公立藤岡総合病院 臨床研究統括部長 茂木 充	公立藤岡総合病院 大会議室	178	
2/1～2/28	2020年度 接遇研修会	職員間のコミュニケーション	SOMPO リスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部	公立藤岡総合病院 各部署	642	
2月18日	第35回がんセンターボード	子宮頸癌	公立藤岡総合病院 外科医員 大枝 涼平	公立藤岡総合病院 大会議室	42	
2月18日	第37回M&Mカンファレンス	膀胱癌	公立藤岡総合病院 泌尿器科医員 前野 佑太	公立藤岡総合病院 大会議室	37	
2月19日	第28回藤岡緩和ケア研究会	よりよい看取り支援を考える	公立藤岡総合病院 緩和ケア認定看護師 菅原 恵里子	公立藤岡総合病院 大会議室	30	
2月22日	医療機器安全研修会	血液ガスの基礎（腎性アシドーシスと透析）	公立藤岡総合病院 臨床工学士 吉田 弘	公立藤岡総合病院 透析室	5	
3月15日	医療機器安全研修会	実際の血流速・シングルニードル透析・再循環率	公立藤岡総合病院 臨床工学士 吉田 弘	公立藤岡総合病院 透析センター	7	

5. 看護部院内研修

新人看護職員集合研修

集合教育（基本看護技術）

目的：日常生活援助のための基本的な技術・態度を身につけ、ベツトサイドケアが安全・確実にできる。

日 時	内 容	受講者	講 師
4月6日～5月1日	看護部の理念について、看護者の倫理綱領 目標と習得すべき知識・技術、ラダー、 メンタルヘルス、フィジカルアセスメントの基礎 医療安全(患者誤認防止・針刺し防止・転 倒転落予防対策)、感染防止対策 電子カルテの操作 I (ログイン・検査・看護記録) 認知症患者の看護、目標管理について 安全・安楽な体位、体位変換、移乗 スキンケア、排泄援助・清潔援助・シーツ交換 薬剤の管理、与薬の確認と実際 静脈血採血、採尿、検体の取り扱い ほうれんそう（報連相）と枕詞 夜勤業務の心構え、準夜勤のシャドウイング 血糖測定・インスリンの知識、フットケア 静脈穿刺認定制度について 接遇研修、給与明細の見方 当院の接遇の基準について 口腔ケアと食事介助・ポジショニング 酸素器具の取り扱い、酸素療法、吸引 注射・輸液：5 R、刺入・固定・輸液量 の計算、ME 機器の取り扱い 心電図モニターの付け方・見方 重症度・医療・看護必要度、看護記録記 載基準について、洗浄・滅菌業務 火災避難訓練、エンゼルケア 病棟リエンテーション 環境整備・清拭・寝衣交換・陰部洗浄・ 体位変換の見学（メンバー・シャドウイング） 環境整備・清拭・寝衣交換・陰部洗浄・ 体位変換の実際 病棟の日勤帯業務（見学・一部実施） 基礎看護技術 1 か月評価 研修の振り返り、集合研修修了式	28名	研修責任者 藤巻淳子 各担当部署 各院内講師

基礎 I 研修

集合研修

目的：1) 安全対策ができ、ベットサイドケアが安全・迅速・確実にできる。

2) リアリティショックを防止できる

日 時	研修内容	受講者 講 師
5月8日	輸血の準備・輸血中と輸血後の観察	19名 主任看護師 栗原愛子
7月6日	フィジカルアセスメント腹部	18名 集中ケア認定看護師 高橋圭
8月3日	基礎 I 研修 3 カ月評価	19名 副看護師長 原澤優子 主任看護師 岸めぐみ
8月26日	フィジカルアセスメント呼吸系①	19名 集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 伊藤光志
9月25日	フィジカルアセスメント呼吸系②	19名 集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 伊藤光志
10月29日	フィジカルアセスメント循環器系①	19名 集中ケア認定看護師 高橋圭
11月6日	多重課題 基礎 I 研修 6 カ月評価	19名 副看護師長 原澤優子
11月25日	フィジカルアセスメント循環器系②	19名 集中ケア認定看護師 高橋圭
12月3日	がん看護の基礎	19名 緩和ケア看護認定看護師 古池きよみ
12月7日～18日	フォローアップ研修（救急センター）	19名 部署担当者
12月23日	フィジカルアセスメント中枢神経系①	17名 集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 鈴木鷹士
1月12日	フィジカルアセスメント中枢神経系②	17名 集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 鈴木鷹士
1月12日～27日	フォローアップ研修（中央手術室）	19名 部署担当者
1月29日・2月2日	救急カートの使用方 人工呼吸器の基礎	23名 集中ケア認定看護師 高橋圭
3月29日	基礎 I 研修 12 カ月評価 基礎 I 看護研修修了式	19名 基礎 I 担当

基礎Ⅱ研修

目的：1) 看護実践能力を高める。

2) プリセプターシップを理解することができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
7月17日	がん看護（化学療法含む）	16名	がん看護専門看護師 森崎裕美
12月17日	がん看護②（緩和ケア）	16名	緩和ケア認定看護師 菅原恵里子
12月17日	人工呼吸器装着時の看護	16名	慢性呼吸器疾患看護認定 看護師 小野澤恵子
2月9日	メンバーシップとチーム医療	16名	副看護師長 久保愛

基礎Ⅲ研修

目的：1) リーダーとしての役割を果たし、日々の業務が遂行できる。

2) 看護研究を通して、自己の看護観を発展させる。

月 日	内 容	受講者	講 師
12月5日	看護事例報告の進め方	12名	集中ケア認定看護師 高橋圭
3月16日	がん看護	11名	がん看護専門看護師 森崎裕美
5月26日	看護事例報告会	11名	高田幸子看護部長 看護部教育検討部会 各科師長

基礎Ⅳ研修

目的：高度な看護活動が実践でき、かつ他者にモデルを示すことができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
11月10日	リーダーシップ研修	13名	副看護師長 設楽理枝
2月5日	がん性疼痛	13名	がん性疼痛認定看護師 恩田千栄子

プリセプター支援研修

目的：プリセプターシップを円滑に継続するための、フォローアップの機会とする。

月 日	内 容	受講者	講 師
7月3日	プリセプター研修①	20名	副看護師長 高橋久美子 看護師 増田恵
10月13日	プリセプター研修②	20名	副看護師長 高橋久美子 看護師 増田恵
3月24日	プリセプター研修③	20名	副看護師長 高橋久美子 看護師 増田恵

専門コース研修

目的：緩和ケア・認知症看護についての見識を深めることができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
1月15日 1月29日 2月26日 3月19日 3月26日	・看護師に対する緩和ケア教育研修 ・患者の意思決定支援 ・苦痛緩和 ・包括的アセスメントの進め方 ・看護師に対する緩和ケア教育	10名	がん看護専門看護師 森崎裕美 緩和ケア認定看護師古 池きよみ がん性疼痛認定看護師 恩田千栄子
10月6日 11月17日 12月8日 1月12日	知って納得！栄養管理「ただ何となく」 から「根拠を持った栄養管理」へ	19名	摂食嚥下障害看護認定 看護師 富山麻裕子

認知症ケア研修

目的：認知症についての行動・心理症状等を理解し、対応にいかすことができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
5月26・28・29日 6月3・4日	せん妄ハイスケル患者加算について	219名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 富岡幸之・清水仁美

看護師集合研修

目的：看護職として、最善の看護ケアを提供するために必要な看護実践能力の向上を図る。

月 日	内 容	受講者	講 師
10月21日 11月5・11・13日 12月7・24・25日 1月20・29日	重症度、医療・看護必要度研修	319名	看護師長 千木良直子 副看護師長部会

看護補助者研修

目的：看護補助者として、役割と業務を理解できる。

月 日	内 容	受講者	講 師
7月10日	輸血の取り扱いについて	10人	主任看護師 栗原愛子
1月20・22日	看護補助者業務必須研修 (医療制度、病院機能、組織の理解、 医療チーム、医療安全、感染対策 口腔ケア、日常生活に関わる業務)	18名	担当看護師長 専従リスクマネージャー 感染管理認定看護師 摂食嚥下障害看護認定看護師

6. 認定看護師の活動記録

がん看護専門看護師

森崎 裕美

【実践】

病棟では緩和ケアチームとして、外来ではがん看護専門外来として診断から治療選択、治療継続に渡り、意思決定支援や緩和ケアを行っている。また、意識的に入院－外来間で継続して看護を提供することで、入退院後の患者の抱える困難にもスムーズに対応することができた。1年間でがん看護専門外来は627件、がん看護指導管理料イは41件、病状説明同席は80件であった。

【コンサルテーション】

病棟・外来看護師が解決困難と感じている問題(症状マネジメントや退院支援など)に対し、相談者が問題を解決できるよう関わった。

【調整】

病棟及び外来において、問題を抱える患者・家族に対し、それぞれの思いを明確にし、希望にできるだけ添えるよう、多職種間の調整を行った。患者・家族が希望する療養の場(在宅・入院・転院など)へスムーズに移行できるよう、社会資源を活用し、地域連携を行った。緩和ケアセンターの一員として、緩和ケア病床及び、緩和ケアチームやがん看護専門外来の運営に携わった。院内で閉鎖式薬物移送システム(CSTD)の調整を引き続き行った。

【倫理調整】

病棟・外来において、治療や療養の場の選択の意思決定の場面等、倫理的問題が生じている事例に対し、問題解決ができるよう患者・家族・多職種間の調整を行った。

【教育】

病棟や外来において、日々のスタッフとの関わりを通し、教育的に知識の提供や助言を行った。院内研修として、看護師基礎研修ではがん看護に関する研修を企画し、令和3年度から開始予定としている。また、5年目以上の看護師を対象に緩和ケア研修を企画・開催した。院外では群馬医療福祉大学で臨死期のケアと家族ケアについて講義を行った。

【研究】

第17回群馬がん看護フォーラム発表の準備をしている。

【自己啓発】

日程	内容	場所
9月10日	抗がん剤曝露対策セミナー	WEB
11月27日	ダラザレックスについて	院内WEB
1～2ヶ月に1回	群馬がん看護専門看護師連絡協議会	WEB

【次年度の活動】

引き続き院内において更なるがん看護の質の向上を目指し、看護モデル提示や教育活動及びシステムの整備を中心に活動を行っていく。また、群馬がん看護フォーラム発表や大学や専門学校での講師も依頼に合わせて行っていく。

感染管理認定看護師

染谷 由香里

【実践】

2020年12月から始まった新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、帰国者・接触者外来の立ち上げ、感染症指定病院として陽性患者受け入れ体制の整備、院内感染防止に向けた職員教育、ワクチン接種体制の確立に専従の感染管理認定看護師として1年間関わった。患者への院内感染ゼロを目指し、達成することができた。

個人防護具が不足する事態に対応するため、用度課、販売業者、卸業者との調整により職員を感染から守る個人防護具の調達に尽力した。

【教育・指導】

専従感染管理認定看護師として、新型コロナウイルス感染症対策について院内の指導、教育に携わった。また、人材育成として感染制御実践看護学講座受講者に向けての指導教育を行った。

また、地域における新型コロナウイルス対策指導として、障害者施設、高齢者施設で「新型コロナウイルス対策における手洗いの重要性」と「個人防護具着脱訓練」の指導を行った。

【相談】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、検査方法や対応方法などに関する相談に対応した。

管内の施設でクラスターが発生した場合、群馬県クラスター対策班(CMAT)としての派遣を受け、高齢者施設等への対策指導、相談に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
2020年5月13日 8月12日・10月14日・ 12月9日 2021年3月10日	群馬県感染症対策連絡協議会 ICN 分科会	Web 会議 群馬県医師会 前橋テルサ
2020年7月20日	群馬県感染症対策連絡協議会総会 特別講演会	Web 開催
2021年1月27日	第38回北関東病院感染対策懇話会	Web 開催

緩和ケア認定看護師

古池 きよみ

【実践】

緩和ケアチームラウンドや毎週木曜日 17 時 30 分から緩和ケアチームカンファレンスを開催し、症例検討や、チーム介入患者・家族の情報を多職種で共有しながら質の高いチーム医療の提供に努めた。また、緩和ケアセンターの運営やシステムについての見直しを繰り返しおこない、緩和ケア病床を活用した在宅支援を強化した。グリーフケアについての取り組みも継続して実施した。

※緩和ケアチーム新規依頼件数 391 件/年

※在宅見取り件数 29 件/年

※乳がん患者「なごみの会」第二火曜日がんサロンにて開催 令和 2 年 4 月～6 月、令和 3 年 1 月～3 月は新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止。7 月～12 月の間で 5 回開催 延べ参加人数 24 名

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	対象者
2020 年 11 月	本庄児玉看護専門学校 2 年	「終末期患者の看護」6 回	34 名
2020 年 11 月 14 日	群馬医療福祉大学 2 年	緩和ケアの実際 (WEB)	90 名
2021 年 1 月～3 月	院内看護師 5 年目以上	緩和ケア教育 プログラム 6 回	10 名

【相談】

通院中・入院中の患者やその家族の相談（電話・面談）に応じ、適切な情報提供をおこなうことで、納得した意思決定ができるよう支援を行なった。さらに在宅療養へ向けた相談や、在宅療養中の困難についてなど相談を受け、多職種間での連携を行なった。また、緩和ケアリンクナースや各病棟看護師、医師、院内外の病院スタッフからの緩和ケアに関する相談に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2020 年 6 月 19 日～21 日	第 25 回日本緩和医療学会	WEB 開催

がん化学療法看護認定看護師

塩野 智則

【実践】

外来化学療法室において、外来担当薬剤師と協同し、患者およびその家族に対して抗がん薬治療に伴う有害事象に対するの情報提供と医師に有害事象に対する処方提案を行い安全で質の高いケアが提供出来るよう活動した。今年度は外来化学療法室予約制の導入を計画、運用開始し効率的な外来化学療法室運営を行う。

【指導】

月日	対象	テーマ	参加者
2021年1月14日	群馬医療福祉大学 看護学部看護学科2年	終末期のがん治療に伴う看護「化学療法を受ける対象への看護」	90名
2021年2月15日	北6階病棟 2年目看護師	安全・確実・安楽にがん化学療法を実践するには:肺がんに対する化学療法	4名

【相談】

外来化学療法室に通院中の患者様やその家族を対象に、がんカウンセリングを通して治療法の選択や治療継続について意思決定の支援を行った。さらに副作用対策方法や日常生活上の悩みなど随時相談を受け付け、患者様や家族の生活の質を高める援助を行った。また、外来各診療科看護師や各病棟看護師からがん化学療法に対する質問や相談に随時対応を行った。

【自己啓発活動】

参加日	参加学会及び研修会	開催場所
2020年8月9日～10日	緩和・支持・心のケア合同学会集会	Web開催
2020年10月22日～24日	日本がん治療学会	Web開催
2021年2月18日～21日	日本臨床腫瘍学会	Web開催
2021年2月27日～2か月	日本がん看護学会	Web開催

摂食・嚥下障害看護認定看護師

富山 麻裕子

【実践】

栄養サポートチーム専従看護師として、入院患者の栄養評価や栄養プランの検討を行った。多職種への勉強会等も行い、早期より多職種と協働して栄養管理を行い、質の高いチーム医療の提供に努めた。また、周術期等口腔管理の対象科を拡大し充実を図るために、システムの見直しを行い、院内の関係機関との調整を行った。(栄養サポートチーム加算 879 件/年、嚥下訓練・評価 409 件/年)

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者数
2020年4月14日	看護部新入職者	口腔ケアと食事介助・ポジショニング	20名
2020年4月9日	南7階病棟看護師	半固形栄養剤について	8名
2020年9月15日 10月1日	群馬パース大学 摂食嚥下障害看護認定 看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害援助論 認知症看護について 家族指導・家族支援について	22名
2020年10月26日 ～12月5日	群馬パース大学 摂食嚥下障害看護認定 看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害看護認定看護師 教育課程臨地実習	2名
2020年10月～1月	看護部看護師	摂食嚥下専門コース(全4回) 『知って納得!栄養管理「ただ何となく」から「根拠を持った栄養管理」へ』	19名
2020年10月8日	リハビリスタッフ	明日からのリハビリに活かせる+αの 栄養管理	30名
2020年10月28日	NSTリンクナース他	腎不全の栄養管理	20名
2020年11月19日	群馬県看護協会会員	ケースで学ぶ摂食嚥下障害の看護	36名
2020年12月21日	群馬医療福祉大学 3年生	高齢者看護援助論 ～高齢者における 摂食嚥下障害の援助について～	89名
2021年1月20日 1月22日	看護助手	看護助手者研修 食事介助と口腔ケア	計18名

【相談】

嚥下障害のある患者の食形態選択や栄養管理について相談があった。また認知機能の低下があり、食思不振がある患者への援助や口腔ケアを拒否する患者への援助について相談があった。食事介助や口腔ケアを実施しながら、病棟看護師が考え、実践出来る様に援助した。

【自己啓発活動】

学会・研究会参加なし

がん性疼痛看護認定看護師

恩田 千栄子

【実践】

所属病棟・緩和ケアチーム介入の患者に対し、疼痛・身体的苦痛、不安などを主治医に報告し、薬の調整を提案している。また、オピオイド内服の患者に、薬の効果や副作用、レスキュー薬の使い方を説明し、在宅療養においてもセルフコントロールできるように調整をおこなっている。在宅療養や転院において、患者の意思決定を支援できるように、緩和ケアチームやMSWと連携を取っている。

毎週木曜日には、緩和ケアセンターにおいて兼任で活動し、外来患者に対しても痛み止めの調節や相談をおこなっている。緩和ケアチームカンファレンスに参加し、痛疼や症状の緩和について、がん性疼痛認定看護師としての視点から意見を述べている。

*がん患者指導管理料 イ・ロの算定をおこなっている。

【教育・指導】

所属病棟では、痛みのメカニズムやオピオイドについて、スイッチングのタイミング・換算方法などの勉強会（5回）をおこなった。また、副作用（便秘など）対策が重要である事を説明し、統一した看護が提供できるように指導をおこなっている。

依頼により他病棟では、オピオイドの換算方法などの勉強会をおこなった。（2回）

院内においては、がん性疼痛認定看護師として、「基礎IV研修」及び「緩和ケア教育」を教育プログラムに沿っておこなった。

院外では、群馬医療福祉大学、看護学部看護学科2年生に、「身体的ケア」の講義をオンラインでおこなった。

【相談】

所属病棟、他部署より疼痛コントロールや副作用について、オピオイドスイッチングの相談に随時対応している。また、がん患者への関わり方についての相談にも対応している。

【自己研鑽】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
R2年9月	藤岡緩和ケア研究会	公立藤岡総合病院 大会議室
R3年3月	藤岡緩和ケア研究会	公立藤岡総合病院 大会議室

感染管理認定看護師

千木良 悦子

【実践】

令和2年度は院内の研修活動として全職員に対しての研修を行った。看護部感染対策リンクナース部会では手指衛生サーベイランスを継続的にリンクナースが実施している患者1人当たりの消毒剤の使用回数病棟別で還元し、年間活動計画につながるように必要時助言を実施した。

ICTの院内ラウンドにおいては、週1回実施し、各部署の改善事項を依頼し、改善後確認を実施した。また問題点の抽出及び改善するための助言を行った。

ASTは、週1回のカンファレンスにて抗菌薬の使用状況を確認し、必要時は医師と連携を図った。

藤岡地域感染防止対策カンファレンス、地域連携加算相互評価への参加、地域における感染対策の充実に向けた活動を実施した。

新型コロナウイルス感染症に関しては、所属部署の患者受け入れのための準備に関わり、スタッフへの勉強会や个人防护具の着脱の指導を実施した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
令和2年4月1日	新入職者	公立藤岡総合病院における感染対策	46名
令和2年4月5日	新入職者（看護師、リハビリ）	病院感染防止対策	35名
令和2年4月16日、 4月17日、4月20日、 4月21日、4月22日、 4月23日、4月24日、	感染対策リンクナース	个人防护具の着脱訓練	81名
令和2年8月19日	かんなの里	障害者施設感染対策評価	11名
令和2年10月6日	友貴園	障害者施設感染対策評価	26名
令和2年12月16日	外来看護師	个人防护具の着脱訓練	22名

【相談】

看護部感染対策リンクナース部会および所属部署での相談に対応した。

【自己啓発活動】

実施日	内容	場所
令和2年5月13日、 8月12日、10月14日 12月19日	群馬県感染症対策連絡協議会ICN分科会	群馬メディカルセンター
令和2年7月20日	群馬県感染症対策連絡協議会総会・特別講演会	テレビ会議システム
令和2年12月23日	群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	テレビ会議システム

乳がん看護認定看護師

平田 恵美

【実践】

病棟では、乳がん術後の下着や退院後の生活指導について、乳腺チームのスタッフと共にパンフレットを作成した。腋窩リンパ節郭清をした患者へのリンパ浮腫予防の看護を病棟スタッフと知識を深め、連携しながら指導をした。緩和ケアセンター兼任により、外来通院患者への支援も広く行えるようになり、病名や再発・転移告知時の診察に同席し、告知後の精神的なケアや治療選択について看護支援を行った。また、緩和ケアチームと連携しながら、継続した看護を目指し、乳がん患者家族へ自壊創部のケアや在宅に向けた支援を行った。

【教育・指導】

実施日	対象・内容	参加者
2020年11～12月	藤岡准看護学校講師 成人看護（外科）	30人
2020年12月	緩和ケアリンクナース部会「自己検診について」	20人

【相談】

病棟スタッフから乳癌手術後の下着やリンパ浮腫予防指導の説明方法等の相談に応じた。ピンクリボンアドバイザー取得に向けての相談に応じた。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2020年7月	日本乳癌学会	Webセミナー
2020年8月	乳癌看護研究会	Webセミナー

緩和ケア認定看護師

菅原 恵里子

【実践】

2019年3月から開始した北5階緩和ケア病床における日勤での専任受け持ち制について、適宜スタッフ評価による調査を行い、ケアに対する困難感の低減に努めた。2020年度1月からは週1回の認定看護師活動日を設け、緩和ケアセンタースタッフとして院内横断型のコンサルテーションを開始。主に呼吸器・消化器内科と外科を担当し、病棟並びに外来において、緩和ケアを必要とする患者と家族のケアを多職種協働した。主な内容としては手術や化学及び免疫療法、放射線療法など、積極的治療中における支持療法や、病勢進行に伴う苦痛症状緩和のための薬物の適正使用に努めると同時に、患者及び家族の思いを積極的に傾聴し、精神・スピリチュアルな痛みの低減を含めた全人的な支援を行った。

【教育・指導】

2020年4月～2021年3月 北5階病棟看護師に向けた緩和ケアにおける基本的知識

2020年9月～11月 藤岡准看護学校 患者の心理 講義（全8回）

2020年11月 院内基礎Ⅱ研修：がん看護について

2020年9月 第27回 藤岡緩和ケア研究会『終末期患者における鎮静を考える』講師

2021年2月 第28回 藤岡緩和ケア研究会『より良い看取り支援を考える』講師

【相談】

外来及び病棟にて、患者とその家族から治療に関する意思決定や今後の療養についての相談を受け、専門他職種との協働により意思決定支援を行った。

北5階病棟スタッフ、緩和ケアセンター、主治医、MSW、訪問看護ステーションはるかぜ等、関係多職種が参加可能なケースカンファレンスを毎月開催し、臨床における倫理的課題の検証や対応に難渋した患者及び家族の対応についてディスカッションを行った。本カンファレンスによりコンサルティそれぞれが思いを表出できる場を設けることで、スタッフ間でのグリーフケアが促進されると共に、緩和ケアに対するやりがいも実感できるよう支援した。

【自己啓発活動】

2020年 国立がん研究センター がん相談支援員研修（オンライン研修）

2021年2月 専門職講座 緩和ケア認定看護師フォローアップ研修（埼玉県立大学オンライン講座）

透析看護認定看護師

櫻井 あかり

【実践】

主に人工透析室で血液透析看護に関っている。安全安楽な治療の提供と QOL の維持・向上を大切にしながら日々の患者ケアを実施した。特に新型コロナウイルスの感染予防について、患者個々への指導に重点を置き対応した。腹膜透析は年度末で 12 人と増加した。外来通院の腹膜透析患者に対する定期的な下肢の観察およびケア介入をスタッフに提案し、異常の早期発見と加療に取り組んでいる。腎代替療法選択相談は本年度から診療報酬を算定し、看護記録の充実を図るためフォーマットを作成、電子カルテでの使用が可能となった。少数だが生体腎移植に繋がった患者もいた。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2020/4/16	新入職看護職員	血糖測定、インスリン注射 フットケア 講義	24 名
2020/7/13	群馬医療福祉大学 看護学部学生	腎不全看護 講義 (WEB)	90 名
2020/9/23	東日本腎不全研究会 (WEB 参加者)	腎代替療法選択相談の実際 (WEB)	18 名
2020/9/25 2021/3/3	人工透析室 看護師	的確な報告を行うための手法 透析中の血圧低下	各回 6 名
2020/11/13	慢性腎臓病教室 (患者)	慢性腎不全の日常生活管理	約 30 名

【相談】

日々の業務の中では人工透析室のスタッフより透析条件や患者・家族対応についての相談を受けている。入院病棟からは腹膜透析患者の入院中の対応についての相談 1 件、フットケア依頼 13 件を受け対応した。

【自己啓発活動】

実施日	内容	会場
2020/9/26	日本腎臓学会 東部学術集会	WEB
2020/11/7～8	日本腎不全看護学会 学術集会	WEB
2021/2/21	群馬県透析懇話会	WEB
2021/3/13	下北沢足病ゼミナール	WEB
毎月 1 回	東日本腎不全研究会 役員会参加	WEB

認知症看護認定看護師

黒澤 千恵子

【実践】

2020年4月に認知症看護検討部会発足となり、部会を中心に実践を行った。せん妄ハイリスク患者ケア加算取得の開始と共に、院内研修を実施。「せん妄スクリーニングシート」の浸透と活用の推進を図った。

認知症ケア加算、せん妄ハイリスクケア加算について適正な評価と看護計画立案への連動を周知し、院内の標準化に繋がるよう院内研修を実施した。身体疾患のために入院した高齢者、認知症者に対してせん妄、行動・心理症状の悪化を予防し、円滑な治療が受けられるよう各病棟における対応力とケアの質向上に繋がるよう実践を行った。各病棟の加算取得状況、身体抑制実施状況の把握を行い、身体抑制を最小限にする環境づくり、身体抑制解除に向けたカンファレンスの充実が図れるよう活動した。

【指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2020年4月8日	新人看護師	認知症患者の看護 身体抑制体験	20名
2020年5月26・29日 6月3・4日	看護師	せん妄ハイリスクケア加算取得に向けて	218名
2020年9月24日	離床チームメンバー	認知症とせん妄	10名
2020年4月～3回	南5階病棟看護師	せん妄ハイリスクケア加算取得に向けて	30名
2020年9月	南5階病棟看護師	身体抑制解除に向けて 代替ケア	30名

【相談】

所属病棟および他部署の認知症者、せん妄ハイリスク患者の困難事例に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修名	会場
2021年3月27日	認知症看護認定看護師フォローアップ研修	高崎健康福祉大学看護実践開発センター Web 開催

認知症看護認定看護師

富岡 幸之

【実践】

2020年6月よりせん妄ハリスク患者ケア加算の稼働に伴い、院内マニュアルやフローシート、標準看護計画を作成。院内研修および自他部署への指導・相談に応じることで、統一を図った。

当該病棟では、学習会を8回/年実施。トミ茶の試飲（少しでも不快なく摂取できる味、温度の体験）、ユマニチュートの実践、ユニバーサルカラーデザイン（高齢者にも分かりやすい表示方法）など、認知症者の視点を軸に看護を見直す機会を設け、症例に応じた対策を職員とともに考え実践した。身体抑制の低減は病棟目標に掲げ継続的に取り組んだ。2020年4月～7月までの期間、入院患者数550名のうち身体抑制実施者54名、身体抑制解除に向けたカンファレンス41件、そのうち、一時解除、部分的解除を含めた抑制解除者28名、完全解除者9名であった。同年8月～2月までの期間は、COVID-19感染症に伴う病床機能の変化により入院患者数343名へ減少。身体抑制実施者13名、身体抑制解除に向けたカンファレンス12件、抑制一時解除者3名、完全解除者は3名であった。転入直後の評価で抑制解除に至った事例や、過鎮静防止目的で薬剤を見直した事例も増えたが、感染拡大防止を前提としたコト禍における認知症看護への困惑はアンケート内容にも記載されており、課題が残った。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	人数
2020年4/8	新人看護師	認知症患者の看護 身体抑制について	20名
2020年5/26・28・29 2020年6/3・4	看護職員	せん妄ハリスク患者ケア加算	218名
2020年5月～ 2021年2月	南7階病棟 看護師	身体抑制について、身体抑制記録、高齢者の見える世界～配色・デザインを考える～、トミを使った飲水を試みよう、睡眠薬・抗精神病薬について、認知症ケアのユマニチュート他	日勤者

【相談】

自他部署からの依頼を受け、せん妄および認知症困難事例への介入、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準査定方法、せん妄ハリスク患者ケア加算に関する相談等に応じた。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2020年10月～12月	老年看護学 講義(5回担当)	藤岡准看護学校
2020年12/6	ぐんま認知症アカデミー第15回秋の研修会	Web研修
2021年3/26	ケインの会～コト禍における認知症ケア・感染対策における意見交換と事例検討～ 群馬県認知症看護認定看護師/西毛地区	Zoom研修
2021年3/10～4/20	日本認知症ケア学会 中国・四国ブロック大会 九州・沖縄ブロック大会	Web研修
2021年3/22～4/30	日本認知症ケア学会 北陸・甲信越ブロック大会 関東ブロック大会	Web研修
2021年3/27	認知症看護認定看護師フォローアップ研修2020	高崎健康福祉大学 看護実践開発センター Web研修

認知症看護認定看護師

清水 仁美

【実践】

COVID-19 のパンデミックにより看護体制が編成され日に日に変更されるなか、入院患者のせん妄や認知症からくる行動・心理症状の悪化に対する看護ケアを行った。感染拡大予防の観点と高齢者看護の視点で葛藤の中、他スタッフと模索しながらケアの個別性を活かしながら最良の看護を検討し実践した。感染隔離での混乱を少しでも軽減し、療養生活中的「日常」を少しでも感じられる様心がけ実践した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2020年4月8日	看護師：新入職者	認知症ケアについて	20人
2020年5月26.28.29日 6月3.4日	全看護職員対象	せん妄ハイリスクケア加算 について	計218人

【相談】

病棟内でのせん妄やケアの介入に困難な事例に対し相談対応行っている。他部署からの相談事例に対し対応の遅れがある為、来年度から活動時間を設け、リアルタイムに対応できる様活動スタイルを変化し拡大していく予定である。今後も多方面から相談して頂ける様、横断的に活動を行っていく。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2020年	日本老年看護学会第25回学術集会	誌上開催
2020年12月～2021年2月	藤岡准看護学校 老年看護学 計4回	藤岡准看護学校
2021年2月4日	第27回認知症疾患医療センター 研修会	群馬大学病院 Web開催
2021年3月27日	認知症看護認定看護師 フォローアップ研修2020	高崎健康福祉大 看護実践開発センター Web開催

集中ケア認定看護師

高橋 圭

【実践】

前年度は人工呼吸器装着患者の鎮痛薬による「痛み」の管理を行い、浅い鎮静管理を目標に取り組んだ。診療部からは鎮痛薬の指示が増え、スタッフ間でのスケールを用いた評価など、周知が行えてきた。今年度は人工呼吸器装着により、看護師から医師に対し鎮静薬開始の提案や離脱のためのカンファレンスなどが行えるようになり、スタッフの行動変容に至った。「痛み」という身体的な苦痛の管理が行えるようになり、患者を浅い鎮静とし人工呼吸器からの早期離脱を目的とした看護実践を行った。呼吸クリアランスによる呼吸状態の改善やせん妄、低栄養等の二次的合併症の予防をスタッフと共有・共同した。実践後には事例を振り返り、良くできたことの評価を中心に、課題や次回の改善策等のポジティブフィードバックを行った。また急速に生命の危機状態に陥った家族との関りを持ち、家族の心理状態をアセスメントし、家族のニーズに沿った家族ケアを実践し、カンファレンス等で情報共有を行った。また呼吸ケアサポートチーム（以下：RST）による診療報酬算定のための準備を開始した。RSTの目的などの情報を多職種で共有し調整役割を行った。

【教育・指導】

病棟スタッフに対して、フィジカルアセスメントやバイタルサイン、各種検査などから統合的に患者アセスメントを行えるよう実戦での指導を行った。中でも呼吸や循環に対する身体所見の取り方やアセスメント、予測される患者の変化や重点的な観察方法などについてのニーズが高かったため、実践指導に加え、事例を通して指導を行った。また人工呼吸器装着患者の看護についての学習ニーズも高く、人工呼吸器の設定や体位ドレナージ、離脱基準や判断等の指導を行った。研修・講義は以下の通り。

実施日	対象者	内容	参加者
令和2年4月～11月	新入職看護・リハビリ職員	フィジカルアセスメントコース：全7回	20名
令和2年6月	南3階病棟看護師	心不全患者の看護	20名
令和2年7月	南3階病棟看護師	循環不全患者の看護	20名
令和2年9月	摂食・嚥下認定看護師教育課程	リスクマネジメント論 呼吸理学療法	30名

【相談】

人工呼吸器装着患者のケアについての相談があり、スタッフが抱えている疑問について確認し、自己解決し新たな課題を見つけられるよう段階的にかかわった。急性発症で生命の危機状態や不確実な予後の家族ケアについて、家族の心理状況がわからず、声掛けなどかかわり方に不安感を抱くスタッフが多くいた。そのため、危機モデルについて説明を行い、実際に実践を通じて家族と関る機会を増やし、ケア後にはフィードバックを行った。

7. CPC

【第167回】 開催日：令和2年5月14日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
356	77歳 男性	脳神経外科 甲賀英明	友金佐光 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：（左）器質化慢性硬膜血腫、肺癌、脳転移、肝転移、SLE、ルー ブス腎炎 病理診断：右肺癌
358	59歳 男性	外科 熊倉裕二	小野りさ子 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：胃癌術後、癌性髄膜炎、直腸腫瘍 病理診断：低分化腺癌

【第168回】 開催日：令和2年7月9日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
357	72歳 男性	腎臓内科 茂木伸介	峰村成 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：スキルス胃癌、多発大腸転移 病理診断：胃癌
360	80歳 女性	循環器内科 伊藤望	古市望 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：心不全、大動脈弁狭窄症、糖尿病 病理診断：慢性心不全

【第169回】 開催日：令和2年10月8日（木） 大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
359	66歳 男性	腎臓内科 月田真祐子	今井勝也 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：心肺停止 病理診断：前立腺癌

【第170回】 開催日：令和2年12月10日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
361	62歳 男性	呼吸器内科 竹村仁男	吉田源也 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：肺癌、胸膜播種、癌性胸膜炎 病理診断：右肺癌

【第171回】 開催日：令和3年3月14日（木） 大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
362	60歳 男性	循環器内科 小野洋平	鈴木美咲 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：うっ血心不全、拡張型心筋症の疑い、頻脈性心房細動/心房粗動 病理診断：前立腺癌

8. 教育実習生・研修生受入実績

受入部署	学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
診療部	群馬大学医学部付属病院	8	40	1/4～1/8	群馬大学医学実習（臨床実習）	5日間/1人
	小計	8	40			
看護部	藤岡准看護学校	21	786	7/27～11/27	成年・老年看護	4～8日間/1人
		21	71	7/13～11/20	外来看護	4～8日間/1人
		21	97	5/20～11/20	小児看護	4～8日間/1人
		21	80	5/9～11/6	母性看護	4～8日間/1人
	群馬医療福祉大学看護学科	84	420	9/14～11/27	成人看護学実習Ⅰ	5日間/1人
		84	420	9/7～11/13	成人看護学実習Ⅱ	5日間/1人
		52	260	9/7～11/27	高齢者看護学実習Ⅱ	5日間/1人
		97	437	9/7～11/20	母性看護学実習	1～5日間/1人
		20	20	8/3～8/4	施設・病棟統合実習	1日間/1人
	上尾中央看護専門学校(通信)	2	4	8/3～8/4	母性看護学実習Ⅱ	2日間/1人
		2	4	8/17～8/18	小児看護学実習Ⅱ	2日間/1人
		2	4	8/24～8/25	老年看護学実習Ⅱ	2日間/1人
		2	4	9/14～9/15	成人看護学実習Ⅱ	2日間/1人
	群馬パース大学 看護学部	2	120	7/20～10/16	助産実習	60日間/1人
		17	136	8/17～9/11	基礎看護実習Ⅱ	8日間/1人
	高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科	10	10	12/1～12/17	母性看護学実習	1日間/1人
	摂食嚥下障害看護認定看護師	2	60	10/26～12/5	教育課程臨地実習	30日間/1人
小計	460	2,933				
薬剤部	高崎健康福祉大学	2	105	11/24～2/12	薬剤業務全般	54日間/1人
	小計	2	105			
検査室	群馬パース大学	3	120	7/1～8/28	臨床検査技師養成コース	40日間/1人
	小計	3	120			
リハビリテーション科	群馬大学	1	33	8/17～10/3	理学療法総合実習	33日間/1人
		1	38	8/17～10/10	作業療法総合実習	38日間/1人
	群馬医療福祉大学	2	54	7/13～8/21	理学療法総合実習	27日間/1人
		2	40	11/30～12/25	理学療法評価実習	20日間/1人
	高崎健康福祉大学	1	23	8/31～10/3	理学療法総合実習	23日間/1人
		2	66	10/19～12/5		33日間/1人
	前橋医療福祉専門学校	1	33	8/19～10/7	作業療法総合実習	33日間/1人
		1	30	10/12～11/16	作業療法総合実習	30日間/1人
	太田医療技術専門学校	1	42	9/7～11/7	理学療法総合実習	42日間/1人
社会医学技術学院	1	20	10/5～10/31	理学療法総合実習	20日間/1人	
小計	13	379				
合計	486	3,577				

9. 医師臨床研修制度

平成16年4月から厚生労働省は、国民の医療に対する信頼の確保をはじめ、それまで専門分野に偏りがちだった臨床研修を大幅に見直し、専門医となる前の2年間で初期臨床研修と位置づけ必修化した。臨床医として日常の診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できる基本的で幅広い診療能力（包括的医療）と、患者さんを身体面のみでなく、精神面からも総合的に理解しながらケアできる診療能力（全人的医療）を修得し、さらに、あたたかい人間性と広い社会性を身につけ、地域医療にも貢献できる医師を育てることが目的とされた。

当院においては、平成16年3月31日に厚生労働省より、臨床研修病院として認定（厚生労働省発医政第0331050号）を受けた。また、平成27年4月1日付けで卒後臨床研修評価機構の認定病院となった。

(1) 臨床研修の概況

研修期間割（標準）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科						救急部門			産婦人科	小児科	外科
2年次	地域医療	精神科										

- ※ 内科Ⅰ：循環器・糖尿病 内科Ⅱ：呼吸器、血液 内科Ⅲ：腎臓・リウマチ・消化器
- ※ 救急は主として外科・整形外科、脳神経外科、麻酔科で研修。また年間を通じて日直、宿直時の研修も救急研修と位置づける。
- ※ 必修科目は産婦人科、小児科、外科、精神科を各1か月。小児科、外科では外来診療を経験する。
- ※ 2年次での地域医療は、緩和ケア診療所いっぽまたは藤岡市国民健康保険鬼石病院で行う。
- ※ 選択で協力型病院での研修を行う場合は、最長3ヶ月とする。

協力型病院：群馬大学医学部附属病院、群馬県立小児医療センター、サンピエール病院、公立富岡総合病院、老年病研究所附属病院

協力施設：くすの木病院、藤岡市国民健康保険鬼石病院、緩和ケア診療所・いっぽ、藤岡保健所、介護老人保健施設しらさぎの里

(2) 研修協力

当院は、基幹型臨床研修病院として医師の初期研修に携わるほか、群馬大学医学部附属病院、公立富岡総合病院、館林厚生総合病院の協力型臨床研修病院として、同院に在籍する研修医の初期研修も行っている。

(3) プログラム責任者

役職：臨床研修統括部長 氏名：遠藤 究

(4) 臨床研修医受入れ状況

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
木村 雅文	2	H16.10.1～H17.9.30(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
矢内 有紀	2	H17.4.1～H18.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
梅津 桃	2	H17.4.1～H18.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
喜多川 孝欽	1	H17.4.1～H18.3.31(1年)	群大		
逸見 大造		H17.4.1～H19.3.31(2年)	当院	◎	
長坂 江理	1	H17.4.1～H18.3.31(1年)	群大		
伴野 潤一	2	H18.4.1～H19.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
江原 佳史	1	H18.4.1～H19.3.31(1年)	群大		
中島 久仁子		H18.4.1～H20.3.31(2年)	当院	◎	
矢島 優		H18.4.1～H20.3.31(2年)	当院	◎	
越 浩美		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
梅山 敦		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
高橋 研吾		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
重城 良国		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
坂本 亮一郎	1	H19.4.1～H20.3.31(1年)	群大		
金澤 紗恵子	1	H19.4.1～H20.3.31(1年)	群大		
佐藤 成		H20.4.1～H22.3.31(2年)	当院	◎	
堀 瑞子		H20.4.1～H22.3.31(2年)	当院	◎	
廣江 孝	1	H20.4.1～H21.3.31(1年)	群大		
梅元 あずさ	2	H20.5.5～H21.3.31(11ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域保健
高橋 駿介		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
塚越 律子		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
富田 庸介		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
竹村 仁男		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
鈴山 耕平	1	H21.4.1～H22.3.31(1年)	群大		
諏訪 絢也	1	H21.4.1～H22.3.31(1年)	群大		
日下田 大輔	2	H21.6.1～H22.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
宮地 那実		H22.4.1～H24.3.31(2年)	当院	◎	
高見 尚平	2	H22.4.1～H23.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
中田 聡	2	H22.4.1～H23.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
藍原 和史	1	H23.4.1～H24.3.31(1年)	群大		
友松 佑介		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
江原 玄		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
木村 隼人		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
萩原 慶		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
岡庭 隼		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
安藤 雅泰	2	H24.4.1～H25.3.31(11ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域医療
齊藤 千真		H24.4.1～H26.3.31(2年)	当院	◎	
古川 正一郎		H24.4.1～H26.3.31(2年)	当院	◎	
小暮 正信		H24.4.1～H26.3.31(2年)	当院	◎	

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
青木 雅典		H24. 4. 1～H26. 3. 31 (2年)	当院	◎	
大嶋 愛沙香	1	H24. 4. 1～H25. 3. 31 (1年)	群大		
山田 宏明	2	H25. 4. 1～H25. 3. 31 (10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地医・核医
荒木 祐樹	2	H25. 6. 1～H25. 3. 31 (9ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域医療
寺内 祐理		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
根井 翼		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
佐々木 隆文		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高野 順子		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
土田 圭祐	1	H25. 4. 1～H26. 3. 31 (1年)	群大		
福田 周一	2	H26. 6. 1～H27. 3. 31 (10ヶ月)	群大		除く1ヶ月藤岡保健所
宮川 真梨江	2	H26. 6. 1～H26. 8. 31 (3ヶ月)	群大		
齋藤 水絵		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
村主 遼		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
得居 俊介		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
本吉谷真理子	1	H26. 4. 1～H28. 3. 31 (1年)	群大		
高木 瑛子		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
金子 裕美		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
金井 杏奈		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
山本 ひとみ		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
船引 亮輔		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
渡邊 嘉一		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高橋 怜真		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
平形 絢子	2	H27. 5. 1～H28. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
木下 優実	2	H27. 6. 1～H28. 8. 31 (3ヶ月)	群大		
長又 亮	2	H27. 8. 1～H27. 10. 31 (3ヶ月)	群大		
平山 結佳子	2	H27. 10. 1～H28. 12. 31 (3ヶ月)	群大		
平山 恭平	2	H27. 12. 1～H28. 2. 29 (3ヶ月)	群大		
周藤 周	1	H27. 4. 1～H28. 3. 31 (1年)	群大		
戸村 琴音		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
板井 美紀		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
道崎 護		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
三森 亮太		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
小川 真一郎		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
丸山 篤造	1	H28. 4. 1～H29. 3. 31 (1年)	群大		
塚田 明彦	1	H28. 4. 1～H29. 3. 31 (1年)	群大		
明石 直樹	2	H28. 5. 1～H29. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
佐藤 広宣		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
福田 怜雄		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
萩原 舟平		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
大枝 涼平		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
南雲 航		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	

氏 名	年次	期 間	在 籍	修了者	備 考
木村 健人		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当 院	◎	
内田 美帆		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当 院	◎	
高橋 亜実	1	H29. 4. 1～H30. 3. 31 (1年)	群 大		
松本 彬	2	H29. 5. 1～H30. 3. 31 (11ヶ月)	群 大		
清水 一輝	1	H30. 4. 1～H31. 3. 31 (1年)	群 大		
荒巻 裕人	2	H30. 5. 1～H31. 3. 31 (11ヶ月)	群 大		
杉崎 真人	2	H30. 11. 1～H31. 3. 31 (3ヶ月)	群 大		
河野 慧		H30. 4. 1～R2. 3. 31	当 院	◎	
木口 友紀		H30. 4. 1～R2. 3. 31	当 院	◎	
坂本 康大		H30. 4. 1～R2. 3. 31	当 院	◎	
反町 隼人		H30. 4. 1～R2. 3. 31	当 院	◎	
半田 敬祐		H30. 4. 1～R2. 3. 31	当 院	◎	
柴 佳那		H30. 4. 1～R1. 7. 31	当 院		群馬大学で修了
土橋 里美		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
儘田 千尋		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
石崎 正徳		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
黒岩 裕也		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
牛久保 陸生		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
友金 佐光		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
伊藤 望		H31. 4. 1～R3. 3. 31	当 院	◎	
塩原 理沙	2	R1. 5. 1～R2. 3. 31 (11ヶ月)	群 大		
小川 由希子	1	R2. 10. 1～R2. 11. 30	館林厚生		
石川 幸之助	1	R2. 3. 1～R2. 4. 30	館林厚生		

令和2年度 医師臨床研修関係実績

月	日	内 容
4月	1～3 6 9 13 14	辞令交付式・オリエンテーション 地域関連機関訪問 グラム染色・血液型・エコー研修 新入職者接遇マナー研修 火災避難訓練
5		
6		
7		
8	12 17 19 29	研修医採用試験 第1回研修管理委員会 研修医採用試験 院内 ICLS
9	25	マッチング中間発表
10	22 23・30	マッチング結果発表 外科手技研修
11	2 13・27 29	第2回研修管理委員会 外科手技研修 レジナビフェアオンライン説明会
12	11	研修医症例発表会
1		基本的臨床能力評価試験
2	6・7	第115回医師国家試験
3	1 16 22 31	第3回研修管理委員会 第115回医師国家試験発表 群馬県オンライン座談会 修了証書授与式

令和2年度 研修医研修

	開催日	名称	テーマ・内容	講師
4月	4月8日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	4月15日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	4月22日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	4月27日	研修医懇談会レクチャー		腎臓内科
	4月27日	院内学術集談会		糖尿病内科
5月	5月14日	キャンサーボード	大腸癌	外科 山中医師
	5月14日	M&Mカンファレンス	肺腺癌	呼吸器内科 竹村医師
	5月21日	研修医レクチャー	AKI	腎臓内科 太田医師
	5月25日	研修医懇談会レクチャー	当院における急性冠動脈症候群	循環器内科 井上医師
	5月25日	院内学術集談会	大血管イベントの抑制を目指した糖尿病治療	糖尿病内科 中原医師
6月	6月11日	キャンサーボード	左尿管癌	泌尿器科 前野医師
	6月11日	M&Mカンファレンス	膵臓癌	腎臓内科 月田医師
	6月22日	研修医懇談会レクチャー	成人気管支喘息	呼吸器内科 茂木医師
	6月22日	院内学術集談会	安全・感染必須研修会	安全・感染担当
7月	7月1日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	7月9日	キャンサーボード	胃GIST	消化器内科 山口医師
	7月9日	M&Mカンファレンス	門脈気腫	外科 岡崎医師
	7月15日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	7月22日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	7月27日	研修医懇談会レクチャー	ヘルニアについて	外科 中里医師
	7月27日	院内学術集談会	新型コロナウイルス感染症患者および原因不明の肺炎患者の病理解剖について	病理診断科 吉田医師
8月	8月5日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	8月15日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	8月24日	研修医懇談会レクチャー	周産期と感染症	産婦人科 片貝医師
	8月24日	院内学術集談会	食物アレルギー	小児科 小山医師
	8月26日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
9月	9月2日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	9月10日	キャンサーボード	AITL	血液内科 杉崎医師
	9月10日	M&Mカンファレンス	アテローム血栓性脳梗塞	脳神経外科 込山医師
	9月16日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	9月23日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	9月28日	研修医懇談会レクチャー	輸血の話・輸血製剤の話	血液内科 外山医師
	9月28日	院内学術集談会	骨転移と放射線治療	放射線治療科 塩谷医師
10月	10月7日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	10月8日	キャンサーボード	食道癌・肺癌	外科 熊倉医師
	10月8日	M&Mカンファレンス	発熱治療中の心肺停止救急搬送症例	循環器内科 井上医師
	10月21日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	10月23日	トレーニングプログラム	糸結び／皮膚縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	10月26日	研修医懇談会レクチャー	CKDの診断と治療	腎臓内科 塚田病院長
	10月26日	院内学術集談会	新型コロナウイルス感染症予防対策	呼吸器内科 茂木医師
	10月28日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	10月30日	トレーニングプログラム	真皮縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者

11月	11月4日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	11月12日	キャンサーボード	肺癌	呼吸器内科 竹村医師
	11月12日	M&Mカンファレンス	子宮頸癌の疑い	産婦人科 大枝医師
	11月13日	トレーニングプログラム	トロッカー固定と小切開閉創	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	11月18日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	11月20日	群馬レジデントグランプリ	11月20日～オンデマンド配信	研修医1年次
	11月25日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	11月27日	トレーニングプログラム	消化管吻合/血管吻合/真皮縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	11月30日	研修医懇談会レクチャー	経口血糖降下薬の使い方	糖尿病内科 中原医師
	11月30日	院内学術集談会	骨折のキホン	整形外科 岡田医師
12月	12月2日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	12月10日	キャンサーボード	直腸癌・肝細胞癌	外科 加藤医師
	12月10日	M&Mカンファレンス	骨髄異形成症候群	血液内科 塚田医師
	12月16日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	12月23日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	12月28日	研修医懇談会レクチャー	本当は怖い頻尿	泌尿器科 坂本医師
	12月28日	院内学術集談会	イレウスの診断と治療について	外科 高橋医師
1月	1月6日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	1月20日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	1月25日	研修医懇談会レクチャー	感染予防とワクチンについて	小児科 渡部医師
	1月25日	院内学術集談会	医療事故について 新型コロナウイルス感染症の対応について	安全・感染担当
	1月27日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
2月	2月3日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	2月17日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	2月18日	キャンサーボード	子宮頸癌	産婦人科 大枝医師
	2月18日	M&Mカンファレンス	膀胱癌	泌尿器科 前野医師
	2月22日	院内学術集談会	診療放射線の安全利用	放射線科 神宮医師
	2月22日	研修医懇談会レクチャー	頭痛	脳神経外科 甲賀医師
	2月24日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
3月	3月3日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	3月11日	キャンサーボード	胆管癌	外科 山中医師
	3月11日	M&Mカンファレンス	骨化性筋炎・大腿骨骨折	整形外科 中島医師
	3月17日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	3月22日	研修医懇談会レクチャー		整形外科医師
	3月22日	院内学術集談会		皮膚科
	3月24日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師

第 15 回公立藤岡総合病院研修医症例発表会抄録

令和 2 年 12 月 11 日(金)17:30～

公立藤岡総合病院 大会議室

1. 左冠動脈全体に及ぶ特発性冠動脈解離(SCAD)から広範前壁心筋梗塞を発症し、 血管内超音波検査(IVUS)と冠動脈貫通用カテーテル(貫通カテ)を用いて左前下行枝 に再灌流療法を行った一例 鈴木 美咲

症例は 46 歳女性。入院 3 日前から胸痛を 2 回生じていた。入院日胸痛が持続し救急搬送された。心電図で I、II、aVL、aVF、V2-6 の ST が上昇し、心エコーでは左室心尖側の壁運動が全周性に消失していた。緊急冠動脈造影で左冠動脈は全体に狭小化し、左前下行枝#7 は閉塞していた。IVUS で前下行枝から主幹部まで SCAD を認めた。IVUS・貫通カテを前下行枝末梢まで進めることで再灌流した。次に IVUS で主幹部から回旋枝 #14 の SCAD も確認したが、#14 に検査に伴う内膜解離を生じた。薬物投与で低下した血流は改善し保存的に観察した。入院 4 日目と 11 日目にトイレ歩行時に胸痛があり、安静度拡大に時間を要した。CT で冠動脈の経過を観察し、24 日目に軽快退院した。

今回、当院で最近 10 年間に SCAD と診断された 10 症例について検討した。再灌流治療法はカテーテル通過 2 例、バルーン 1 例、ステント 2 例、再灌流は行わず薬物療法・経過観察 5 例であった。治療時に回旋枝閉塞部近位に解離を形成し、梗塞域を拡大させた例が 1 例あった。本例でも経験したが、SCAD 部の内膜は脆弱であり注意を要する。カテーテル通過のみの再灌流は、慢性期に冠動脈病変が消失することを期待でき有効な選択肢と考える。

2. 再発難治性末梢性 T 細胞性リンパ腫に対してロミデプシンを使用した 6 例

小野 りさ子

末梢性 T 細胞性リンパ腫(PTCL)は T 細胞由来の非ホジキンリンパ種である。末梢性 T 細胞リンパ腫の中でも発症頻度の高い病型として、非特定型末梢性 T 細胞リンパ腫(PTCL-NOS)、血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫(AITL)、ALK 陽性未分化大細胞リンパ腫(ALCL)、ALK 陰性 ALCL がある。それぞれ好発年齢や予後、臨床像などの特徴は異なるが、B 細胞リンパ腫と比較すると総じて予後は悪く、5 年全生存割合は 30%程度とされている。

治療は CHOP 療法などの多剤併用化学療法が推奨されているが、効果は不十分である。再発時の標準的治療も確立されておらず、何らかの救援化学療法が実施されるが、全奏効割合が 55%、無増悪生存期間中央値が 3.7 ヶ月、全生存期間中央値が 6.5 ヶ月との報告もなされており、再発難治例は特に予後不良である。

ロミデプシンは、再発難治性 PTCL に対する初のヒストン脱アセチル化酵素阻害剤である。再発難治性 PTCL 患者を対象とした国内第 1/2 相臨床試験(第 2 相期)では、ロミデプシン単剤投与の有効性は奏効割合(PR 以上)43%(17/40 例)、完全奏効割合 25%(10/40 例)であった。また、奏効を示した患者における PR 以上の奏効持続期間中央値は 11.1 ヶ月であった。

今回 6 例の再発難治性 PTCL に対してロミデプシンを使用し比較的良好な治療反応を得られたので、実臨床で投与する際に重要と考えられる点を中心に考察し、報告する。

3. 膵臓癌の化学療法中に発症したニューモシスチス肺炎の一例

高橋 慶一郎

【症例】65歳女性【主訴】発熱、咳嗽、呼吸困難【現病歴】3ヶ月前に膵尾部癌 stage IVと診断され、アブラキサン、ゲムシタビンによる化学療法を2コース施行した。3コース目施行前に発熱、咳嗽、呼吸困難が出現し入院となった。【経過】化学療法中に制吐剤としてデキサメタゾンが投与されていたこと、血液検査にてβDグルカンが上昇していたこと、胸部XP・CTにて両肺下葉を中心にすりガラス様陰影を認めたことからニューモシスチス肺炎 (pneumocystis pneumonia ; PCP) を強く疑い、ST合剤とメチルプレドニゾロンを併用し治療を行った。症状は速やかに軽快し、第23病日に退院となった。【考察】PCPの基礎疾患は多彩であり、疾患、治療毎に様々なリスク因子が報告されている。その中ではステロイドの長期使用(PSL換算で20mg/日以上を1ヶ月以上、もしくは10mg/日以上で総投与量が700mgを超える)が最も一般的なりスクとされている。本症例では制吐剤として間欠的にデキサメタゾンが投与されていた。これはPSL換算で平均約16mg/日を2ヶ月間、総投与量約910mgとなり、発症リスクを満たすことがわかった。【結語】制吐剤としてのデキサメタゾンにおいても、1ヶ月以上の長期投与が予想される場合はST合剤の予防投与を考慮する必要がある。

4. 肝動脈瘤破裂を繰り返した多発血管炎性肉芽腫症の一例

古市 望

【症例】76歳女性【臨床経過】X年Y-1月上旬より咳嗽が出現し他院を受診した。胸部CTの多発肺結節影とMPO-ANCA陽性よりANCA関連血管炎が疑われていた。Y月上旬より下肢脱力感を自覚し、腎機能の急速な悪化を認め、当院へ紹介入院となった。血液検査では腎機能障害、炎症反応上昇、MPO-ANCA 213 IU/mLを認めた。多発血管炎性肉芽腫症(GPA)に伴う急速進行性糸球体腎炎と診断し、第2病日より3日間のmPSL 500mg/日の点滴後、PSL 40mg/日(≒0.8mg/kg/日)での内服治療を開始した。第5病日に心窩部痛と貧血の進行を認めた。造影CTで肝臓に造影剤漏出像を認め、血管造影では活動出血はなかったものの肝動脈や上腸間膜動脈、腎動脈末梢部位に微小動脈瘤が多発していた。肝後区域の動脈瘤からの出血が疑われたため、同部位の肝動脈塞栓術を実施した。第6病日から血液透析を導入したが、透析中に血圧低下がありCTで肝右葉血腫の増大を認め肝動脈瘤からの再出血を疑い、前区域枝の肝動脈塞栓術を実施した。以降は再出血なく経過した。治療はステロイドに加えて計2回の血漿交換療法を実施し、その後は腎機能改善し、透析を離脱した。また炎症反応の低下、MPO-ANCAの陰性化、多発肺結節影の縮小を認めた。

【結語】ANCA関連血管炎に合併した動脈瘤とその破裂の症例は稀でありここに報告する。

5. 極度の偏食のためビタミンD欠乏性くる病を発症した男児例

峰村 成

近年、先進諸国を中心に小児のビタミンD欠乏性くる病が増加している。原因として、母乳栄養の推奨や生活習慣の変化、不適切な食事制限が挙げられているが、患児側要因の報告も散見される。今回、極度の偏食のためビタミンD欠乏性くる病を発症した自閉症スペクトラム障害（ASD）の男児例を経験した。

症例は4歳の男児。発熱に伴う痙攣発作で救急搬送となり、血液検査で血清Ca 5.4mg/dlと著明低値であったため、精査加療目的に入院となった。入院後、Caの補充を行いつつ精査を進め、低リン血症、25-OHビタミンD低値、intact-PTH高値、前腕骨遠位部骨幹端のcupping、fraying所見よりビタミンD欠乏性くる病と診断した。診断後は活性型ビタミンD製剤、カルシウム製剤内服で治療を行い、血清Ca値の改善を得た。

本患児はこだわりが強く、言語発達遅滞、コミュニケーション障害があり、ASDと診断される状態であったが、適切な医療介入は行われていなかった。ASDを背景とする、強い食へのこだわりのために、ビタミンD欠乏性くる病に至ったと考えられた。

本症例を通して、時代とともに変容を遂げ、新たに直面する「栄養欠乏」について多少の文献的考察を加えて報告する。

6. 当院での虫垂炎の治療に関する検討

今井 勝也

【背景と目的】虫垂炎は急性腹症の原因疾患のうち大きな割合を占めている。当院での虫垂炎手術症例を提示し、治療成績や重症化因子などにつき検証する。

【対象と方法】演者が腹腔鏡を保持した症例のうち軽症、重症の2症例を提示し、当科での2020年4月から10月における虫垂炎手術45症例を検証して、重症化因子などについて検討する。

【結果と考察】症例①：36歳男性 併存疾患はなく、手術時間28分、術中ドレーン挿入は行わず、術後2日で退院した症例。症例②：60歳男性 C型肝炎など併存疾患あり、手術時間101分、術中ドレーン挿入を行い、術後10日で退院した症例。

当該の7ヶ月間での虫垂炎手術は45症例で、ドレーンの挿入有無で周術期因子を検証すると、発症から手術までの時間(h)30.1:60.1($p=0.0139$)、平均手術時間(min)46.5:65.4($p=0.0017$)、平均在院期間(day)3.1:7.2($p<0.0001$)、WBC(/ μ L)13075:13486($p=0.735$)、CRP(mg/dL)2.53:11.0($p=0.0004$)、糞石43.4%:68.2%($p=0.0935$)、体温($^{\circ}$ C)37.0:37.5($p=0.0131$)、病理学的な壊疽所見47.8%:86.4%($p=0.0061$)であった。術後平均在院日数や病理学的な壊疽所見などドレーン挿入は重症である所見と有意に相関した。また、CRPや体温はドレーン挿入のリスクファクターになるものの、白血球数や糞石の有無は有意なリスクファクターにならなかった。CRPはWBCより遅れて上昇するため、CRP高値の場合は炎症がより長時間持続していることを示しており重症例が多いと考えられる。

【まとめ】今回有意差があった客観的項目を用いて、研修医であっても重症度を推測できる可能性が示唆された。

7. 脳梗塞で発症した特発性頭蓋内内頸動脈解離に対しステントによる血行再建を施行した1例

吉田 源也

【症例】31歳女性

【主訴】意識障害 右片麻痺

【現病歴】入院前日の21時頃から頭痛の訴えがあり、午前3時頃再度頭痛が出現、その後意識状態が悪いのを家人が発見し当院に救急搬送された。搬送時 JCSⅢ-100, GCS 6(E1V1M4), 右片麻痺, 失語, 右注視麻痺を認め、頭部CTで左中大脳動脈のHyperdense MCA signを認めた。頭部MRIのDWIでは左中大脳動脈領域の一部に淡い高信号を認め、MRAでは左頭蓋内内頸動脈-中大脳動脈領域の灌流低下所見を認めた。血行再建のため緊急で血管造影検査を施行, 左頭蓋内内頸動脈にIntimal Flapを疑う狭窄所見を認め、頭蓋内内頸動脈解離と診断した。ステント留置による血行再建を行い、順行性血流が再開した。術後意識障害, 右下肢麻痺は改善し歩行可能となったが、右上肢の運動障害と言語障害は残存し、リハビリテーションを継続している。

【考察】若年性脳梗塞の原因として脳動脈解離は念頭に置かなければならない疾患の一つである。しかし特発性頭蓋内内頸動脈解離は虚血発症する脳動脈解離の中でも頻度が低く、その治療方法も確立したものはない。本症例ではステントによる血行再建により順行性血流が再開し、神経症状の改善が得られた。

購入図書

国内雑誌

雑誌名	
1. 外科	23. Lisa
2. 麻酔	24. 消化器内視鏡
3. 周産期医学	25. 地域医療連携入退院支援
4. 手術	26. ナースマネージャー
5. 腎と透析	27. 消化器外科
6. レジデントノート	28. 小児内科
7. 臨床婦人科産科	29. 日経 DI
8. Journal of clinical rehabilitation	30. 胸部外科
9. メディカルテクノロジー	31. 小児科
10. 病理と臨床	32. 画像診断
11. インナービジョン	33. 臨床画像
12. 映像情報 Medical	34. 月刊新医療
13. 医薬ジャーナル	35. 心臓
14. 日本医事新報	36. メディカルテストジャーナル
15. エキスパートナース	37. 切り抜き速報 医療と安全総集編
16. 医事業務	38. 呼吸器内科
17. ペインクリニック	39. SURGICAL TECHNIQUE
18. NHK 今日の健康	40. 緩和ケア
19. ヘルスケアレストラン	41. 心エコー
20. 月刊保険診療	42. 栄養と料理
21. Coronary Intervention	43. 地方公務員月報
22. クリニカルエンジニアリング	44. プロフェッショナルがんナーシング

国外雑誌

雑誌名
1. American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine
2. Arthritis and Rheumatism
3. Blood
4. British Journal of Hematology :bjh
5. Circulation
6. The Journal of Pediatrics
7. The New England Journal of Medicine
8. Journal of American College of Cardiology : JACC
9. Journal of American Society of Nephrology :JASN
10. Leukemia
11. Pediatrics
12. The American Journal of Surgical Pathology
13. The Lancet
14. Journal of Orthopaedic Science

VII 経営状況

1. 損益計算書

(単位：千円、%)

区分	平成30年度	令和元年度		令和2年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
病院事業収益	11,020,247	11,287,605	102.4	11,466,103	101.6
医業収益	10,414,999	10,501,328	100.8	9,863,013	93.9
入院収益	6,794,663	6,721,134	98.9	6,216,410	92.5
外来収益	3,099,348	3,250,966	104.9	3,135,694	96.5
その他医業収益	520,988	529,228	101.6	510,909	96.5
医業外収益	476,140	565,364	118.7	1,309,428	231.6
受取利息及び配当金	243	241	99.2	202	83.8
補助金	42,714	37,049	86.7	835,439	2,255.0
他会計負担金	160,551	156,264	97.3	138,270	88.5
長期前受金戻入	212,613	313,438	147.4	294,135	93.8
その他医業外収益	60,019	58,373	97.3	41,382	70.9
特別利益	129,107	220,913	171.1	293,662	132.9
固定資産売却益	0	0	—	0	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
その他特別利益	129,107	220,913	171.1	293,662	132.9
病院事業費用	11,249,232	11,574,918	102.9	11,840,605	102.3
医業費用	10,757,716	11,005,603	102.3	11,083,499	100.7
給与費	5,437,804	5,423,841	99.7	5,531,672	102.0
材料費	2,549,677	2,729,374	107.0	2,706,440	99.2
経費	1,487,396	1,603,270	107.8	1,634,536	102.0
減価償却費	1,226,186	1,192,918	97.3	1,170,199	98.1
資産減耗費	9,064	10,168	112.2	8,478	83.4
研究研修費	27,161	25,605	94.3	11,747	45.9
長期前払消費税償却	20,426	20,426	100.0	20,426	100.0
医業外費用	491,245	568,308	115.7	587,089	103.3
支払利息及び企業債取扱諸費	171,088	161,802	94.6	152,682	94.4
雑損失	100	835	835.0	3,800	455.1
雑支出	320,057	405,672	126.7	430,607	106.1
特別損失	271	1,007	371.6	170,017	16,883.5
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	271	1,007	371.6	170,017	16,883.5
その他特別損失	0	0	—	0	—
収支差引	△ 228,985	△ 287,313	—	△ 374,502	—

2. 貸借対照表

(単位：千円、%)

区分	平成30年度	令和元年度		令和2年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
固定資産	19,915,614	18,920,006	95.0	17,898,416	94.6
有形固定資産	19,151,204	18,192,759	95.0	17,208,332	94.6
土地	1,738,571	1,738,571	100.0	1,738,571	100.0
建物	22,665,336	22,665,336	100.0	13,059,452	57.6
構築物	913,339	913,339	100.0	462,283	50.6
器械備品	5,334,658	5,457,044	102.3	1,935,443	35.5
車両	10,811	10,811	100.0	987	9.1
リース資産	204,069	204,069	100.0	11,596	5.7
減価償却累計額	11,715,580	12,796,410	109.2	13,854,927	108.3
建設仮勘定	0	0	0.0	0	0.0
無形固定資産	85,040	68,303	80.3	51,566	75.5
投資	679,370	658,944	97.0	638,518	96.9
流動資産	6,385,012	5,907,992	92.5	5,705,957	96.6
現金預金	4,339,506	3,762,134	86.7	3,347,938	89.0
未収金	1,922,189	1,968,325	102.4	2,232,061	113.4
有価証券	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0
貯蔵品	111,641	165,857	148.6	114,281	68.9
前払費用	10,676	10,676	100.0	10,676	100.0
資産合計	26,300,626	24,827,998	94.4	23,604,373	95.1
固定負債	19,033,790	18,064,842	94.9	16,980,101	94.0
企業債	16,843,558	15,863,325	94.2	14,779,157	93.2
リース債務	0	0	—	2,681	—
退職者給与引当金	2,190,232	2,201,517	100.5	2,198,262	99.9
流動負債	2,613,051	2,331,058	89.2	2,396,987	102.8
企業債	1,269,132	1,177,733	92.8	1,134,068	96.3
リース債務	0	0	—	866	—
未払金	935,723	802,303	85.7	871,743	108.7
引当金	314,192	306,645	97.6	346,124	112.9
その他流動負債	94,004	44,377	47.2	44,187	99.6
繰延収益	851,663	888,315	104.3	1,028,635	115.8
長期前受金	7,396,083	7,967,085	107.7	8,525,185	107.0
長期前受金収益化累計額	△ 6,544,420	△ 7,078,770	—	△ 7,496,550	—
資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
自己資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
剰余金	2,842,607	2,584,269	90.9	2,239,135	86.6
資本剰余金	1,902,872	1,931,848	101.5	1,961,217	101.5
利益剰余金	939,735	652,421	69.4	277,919	42.6
負債資本合計	26,300,626	24,827,999	94.4	23,604,373	95.1

3. 経営分析

区分	備考	平成30年度	令和元年度	令和2年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	17.7%	17.9%	17.9%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	244.4%	253.4%	238.0%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	166.1%	161.4%	139.7%
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	98.0%	97.5%	96.8%
医業収支比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	96.8%	95.4%	89.0%
病床利用率	一般	89.9%	86.7%	74.8%
1日平均患者数	入院	326.8人	314.3人	270.4人
	入院診療日数	365日	366日	365日
	外来	819.2人	756.9人	634.0人
	外来診療日数	244日	240日	243日
患者1人1日当り診療収入	入院	56,966円	58,425円	62,975円
	外来	15,506円	17,896円	20,352円
医業収益に対する割合	職員給与費	52.2%	51.6%	55.9%
	薬品費	16.6%	17.9%	19.1%
患者1人1日当り薬品費	投薬	755円	901円	1,174円
	注射	3,602円	4,299円	5,142円

Ⅷ 業務統計

1. 入院・外来患者の状況

(1) 入院延べ患者数

(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	4,239	4,155	4,041	4,018	4,125	3,897	3,945	3,983	4,443	4,659	4,198	4,323	50,026	137.1
小児科	88	162	135	244	245	181	201	176	213	181	162	109	2,097	5.7
外科	1,111	1,034	1,015	1,195	1,257	1,285	1,348	999	1,149	1,259	1,210	1,175	14,037	38.5
整形外科	933	802	910	1,065	789	909	990	1,354	1,108	1,050	737	695	11,342	31.1
産婦人科	187	235	245	243	262	230	185	220	181	232	218	226	2,664	7.3
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外科	1,302	1,102	1,230	1,216	958	1,242	1,338	1,287	1,278	1,356	1,265	1,298	14,872	40.7
眼科	11	4	8	7	12	14	17	11	6	9	13	17	129	0.4
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	296	248	236	286	219	257	300	313	239	315	200	221	3,130	8.6
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮膚科	0	3	20	0	0	0	20	30	28	40	0	9	150	0.4
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	6	12	9	35	23	13	17	16	21	12	41	59	264	0.7
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	8,173	7,757	7,849	8,309	7,890	8,028	8,361	8,389	8,666	9,113	8,044	8,132	98,711	270.4
1日平均	272.4	250.2	261.6	268.0	254.5	267.6	269.7	279.6	279.5	294.0	287.3	262.3	270.4	
新生児	77	81	81	59	65	65	35	79	36	71	36	64	749	2.1

(2) 入院実患者数

(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	279	299	304	288	313	286	304	300	335	337	285	334	3,664	10.0
小児科	17	22	23	32	35	26	25	28	36	27	20	27	318	0.9
外科	118	99	111	129	137	138	142	120	139	138	124	141	1,536	4.2
整形外科	46	44	61	65	60	58	70	88	67	62	55	56	732	2.0
産婦人科	26	33	38	32	39	28	30	40	26	37	32	31	392	1.1
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外科	46	42	53	53	56	56	51	51	55	49	63	37	612	1.7
眼科	11	4	8	7	12	14	17	11	6	9	13	17	129	0.4
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	37	29	28	40	31	44	39	40	40	40	32	43	443	1.2
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮膚科	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	6	0.0
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	3	3	4	4	9	5	5	7	6	6	5	12	69	0.2
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	583	576	630	650	692	655	684	685	711	707	629	699	7,901	21.6
1日平均	19.4	18.6	21.0	21.0	22.3	21.8	22.1	22.8	22.9	22.8	22.5	22.5	21.6	

(3) 診療科別延べ入院患者数

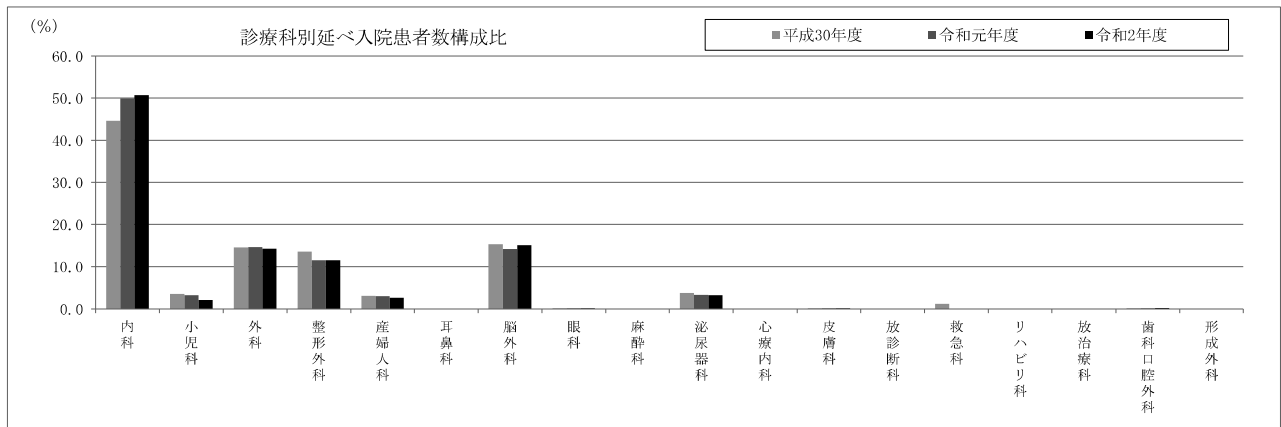
(単位：人)

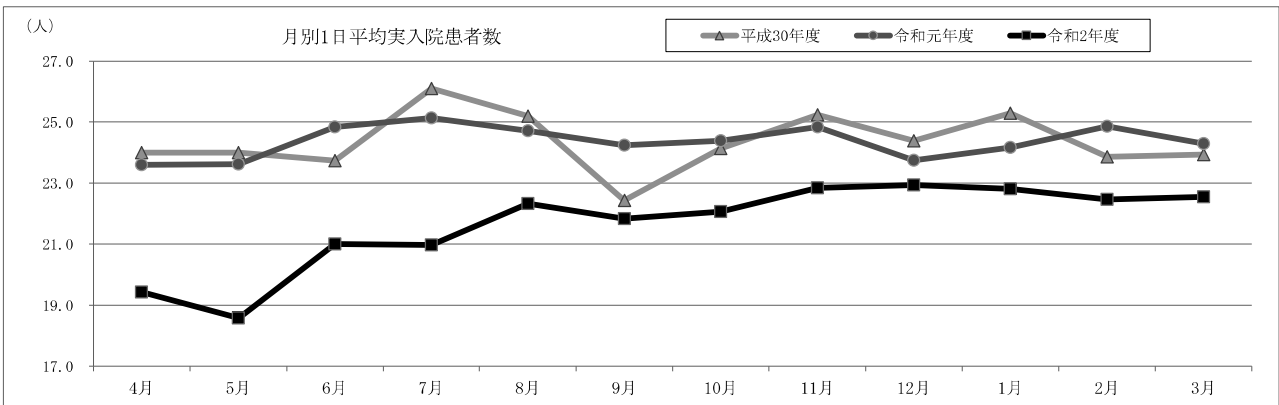
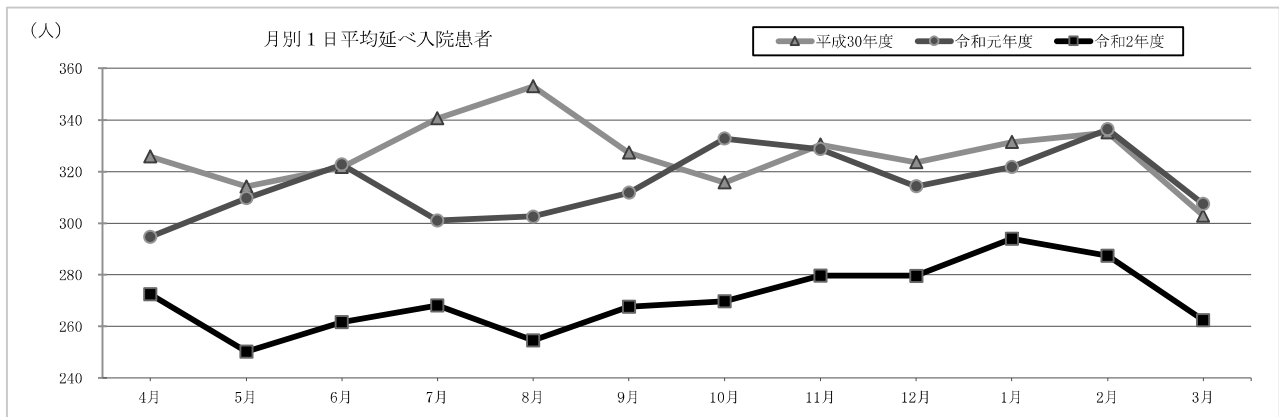
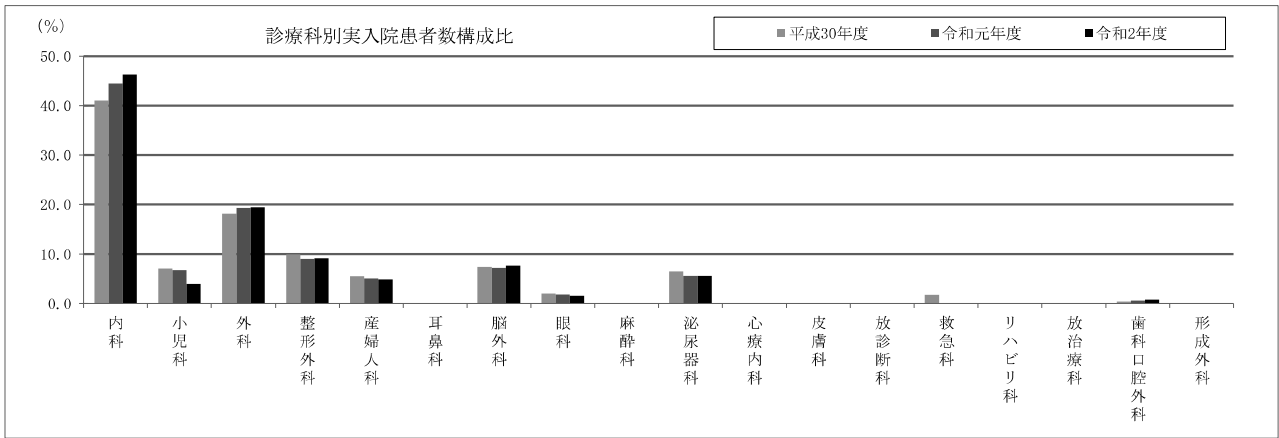
		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放射線科	歯科口腔外科	形成外科	合計
30年度	患者数	53,248	4,175	17,330	16,175	3,651	0	18,251	184	0	4,455	0	171	0	1,452	0	0	183	0	119,275
	1日平均	145.9	11.4	47.5	44.3	10.0	0.0	50.0	0.5	0.0	12.2	0.0	0.5	0.0	4.0	0.0	0.0	0.5	0.0	326.8
	構成比(%)	44.6	3.5	14.5	13.6	3.1	0.0	15.3	0.2	0.0	3.7	0.0	0.1	0.0	1.2	0.0	0.0	0.2	0.0	100.0
元年度	患者数	57,443	3,661	16,791	13,223	3,340	0	16,284	162	0	3,745	0	191	0	0	0	0	198	0	115,038
	1日平均	157.4	10.0	46.0	36.2	9.2	0.0	44.6	0.4	0.0	10.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	314.3
	構成比(%)	49.9	3.2	14.6	11.5	3.0	0.0	14.2	0.1	0.0	3.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	100.0
2年度	患者数	50,026	2,097	14,037	11,342	2,664	0	14,872	129	0	3,130	0	150	0	0	0	0	264	0	98,711
	1日平均	137.1	5.7	38.5	31.1	7.3	0.0	40.7	0.4	0.0	8.6	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	270.4
	構成比(%)	50.7	2.1	14.2	11.5	2.7	0.0	15.1	0.1	0.0	3.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	100.0

(4) 診療科別実入院患者数

(単位：人)

		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放射線科	歯科口腔外科	形成外科	合計
30年度	患者数	3,650	630	1,611	888	492	0	658	184	0	579	0	10	0	156	0	0	36	0	8,894
	1日平均	10.0	1.7	4.4	2.4	1.3	0.0	1.8	0.5	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	24.4
	構成比(%)	41.0	7.1	18.1	10.0	5.5	0.0	7.4	2.1	0.0	6.5	0.0	0.1	0.0	1.8	0.0	0.0	0.4	0.0	100.0
元年度	患者数	3,958	600	1,714	802	452	0	643	162	0	496	0	8	0	0	0	0	57	0	8,892
	1日平均	10.8	1.6	4.7	2.2	1.2	0.0	1.8	0.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	24.4
	構成比(%)	44.5	6.7	19.3	9.0	5.1	0.0	7.2	1.8	0.0	5.6	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	100.0
2年度	患者数	3,664	318	1,536	732	392	0	612	129	0	443	0	6	0	0	0	0	69	0	7,901
	1日平均	10.0	0.9	4.2	2.0	1.1	0.0	1.7	0.4	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	21.6
	構成比(%)	46.3	4.0	19.4	9.2	4.9	0.0	7.7	1.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	100.0





(5) 外来患者数

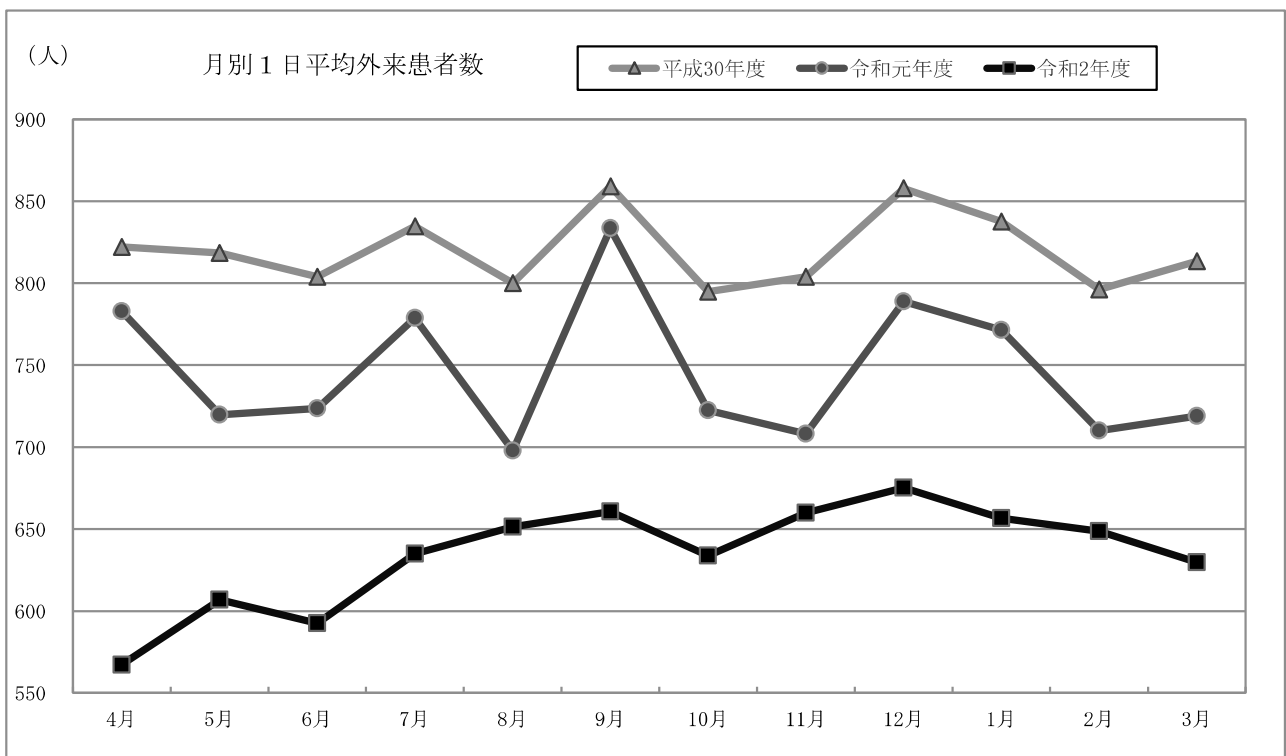
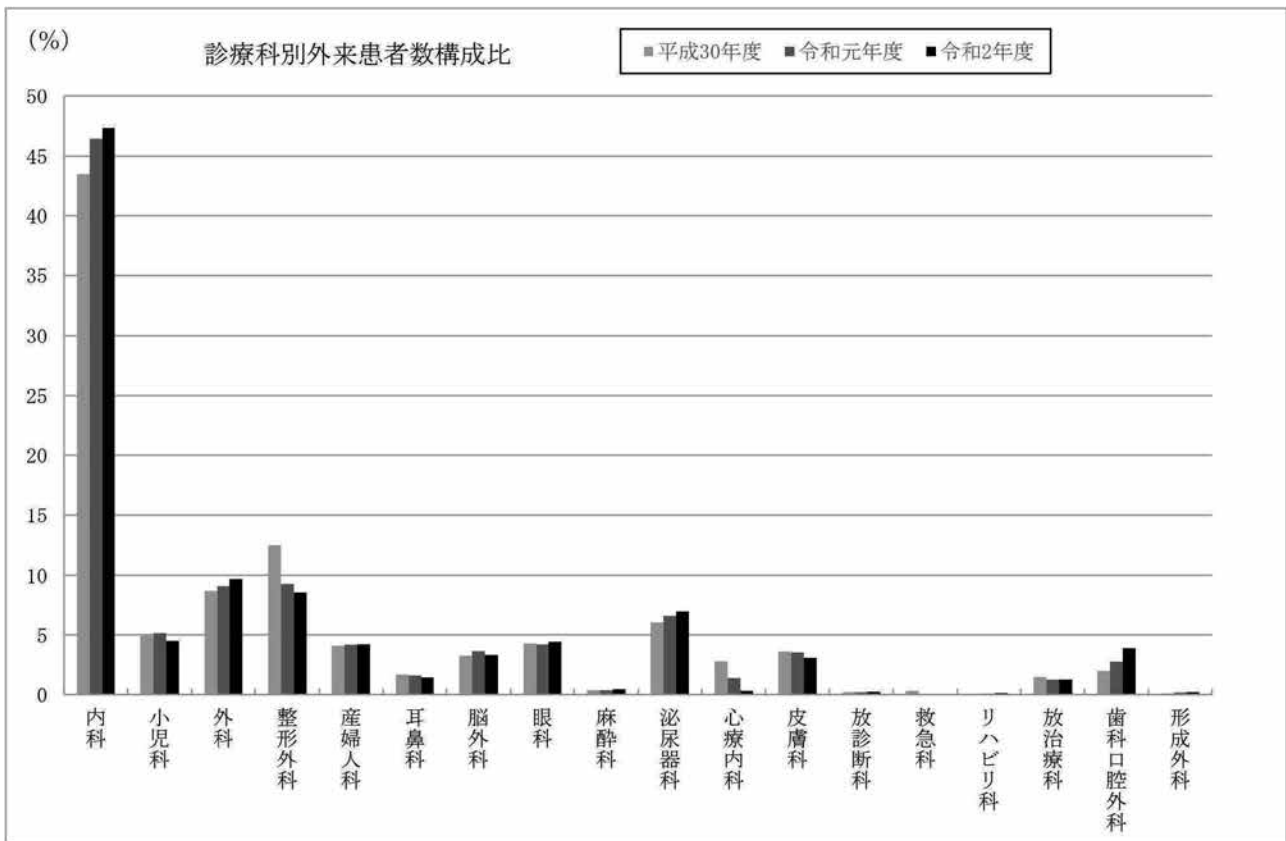
(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	5,964	5,390	5,999	6,293	6,060	6,126	6,467	5,932	6,446	5,912	5,523	6,797	72,909	300.0
小児科	457	376	526	557	681	619	627	546	622	625	560	741	6,937	28.5
外科	1,210	1,038	1,321	1,303	1,205	1,291	1,366	1,235	1,287	1,178	1,090	1,398	14,922	61.4
整形外科	923	841	1,086	1,116	1,214	1,227	1,210	1,109	1,194	1,062	997	1,203	13,182	54.2
産婦人科	427	413	582	585	524	572	630	554	616	491	494	608	6,496	26.7
耳鼻科	152	151	181	215	178	195	216	178	182	180	150	224	2,202	9.1
脳外科	414	379	425	501	509	443	450	413	431	352	385	445	5,147	21.2
眼科	490	535	585	593	573	551	612	537	619	527	529	653	6,804	28.0
麻酔科	70	42	48	53	55	60	82	65	65	53	43	60	696	2.9
泌尿器科	855	767	951	877	887	880	964	884	881	900	846	999	10,691	44.0
心療内科	43	38	50	30	34	49	56	31	40	29	19	57	476	2.0
皮膚科	381	346	419	401	439	413	425	382	365	400	351	447	4,769	19.6
放診断科	22	22	34	49	29	21	44	32	21	31	15	36	356	1.5
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	15	9	26	20	14	21	24	17	15	17	14	18	210	0.9
放治療科	59	115	219	174	140	208	174	126	197	188	151	162	1,913	7.9
歯科口腔外科	408	439	560	540	458	499	568	469	492	506	486	596	6,021	24.8
形成外科	22	22	23	28	27	41	29	30	32	26	23	38	341	1.4
合計	11,912	10,923	13,035	13,335	13,027	13,216	13,944	12,540	13,505	12,477	11,676	14,482	154,072	634.0
1日平均	567.2	606.8	592.5	635.0	651.4	660.8	633.8	660.0	675.3	656.7	648.7	629.7	634.0	

(6) 診療科別外来患者数

(単位：人)

		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔外科	形成外科	合計
30年度	患者数	86,848	9,852	17,393	24,989	8,043	3,427	6,586	8,580	728	12,103	5,632	7,275	405	609	109	3,043	4,034	220	199,876
	1日平均	358.9	40.7	71.9	103.3	33.2	14.2	27.2	35.5	3.0	50.0	23.3	30.1	1.7	2.5	0.5	12.6	16.7	0.9	822.5
	構成比(%)	43.5	4.9	8.7	12.5	4.0	1.7	3.3	4.3	0.4	6.1	2.8	3.6	0.2	0.3	0.1	1.5	2.0	0.1	100.0
元年度	患者数	84,384	9,329	16,523	16,867	7,453	2,975	6,670	7,680	649	11,962	2,503	6,463	369	0	148	2,267	5,065	355	181,662
	1日平均	345.8	38.2	67.7	69.1	30.5	12.2	27.3	31.5	2.7	49.0	10.3	26.5	1.5	0.0	0.6	9.3	20.8	1.5	750.7
	構成比(%)	46.5	5.1	9.1	9.3	4.2	1.6	3.7	4.2	0.4	6.6	1.4	3.6	0.2	0.0	0.1	1.2	2.8	0.2	100.0
2年度	患者数	72,909	6,937	14,922	13,182	6,496	2,202	5,147	6,804	696	10,691	476	4,769	356	0	210	1,913	6,021	341	154,072
	1日平均	300.0	28.5	61.4	54.2	26.7	9.1	21.2	28.0	2.9	44.0	2.0	19.6	1.5	0.0	0.9	7.9	24.8	1.4	634.0
	構成比(%)	47.3	4.5	9.7	8.6	4.2	1.4	3.3	4.4	0.5	6.9	0.3	3.1	0.2	0.0	0.1	1.2	3.9	0.2	100.0



(7) 地域別入院患者数

(単位:人)

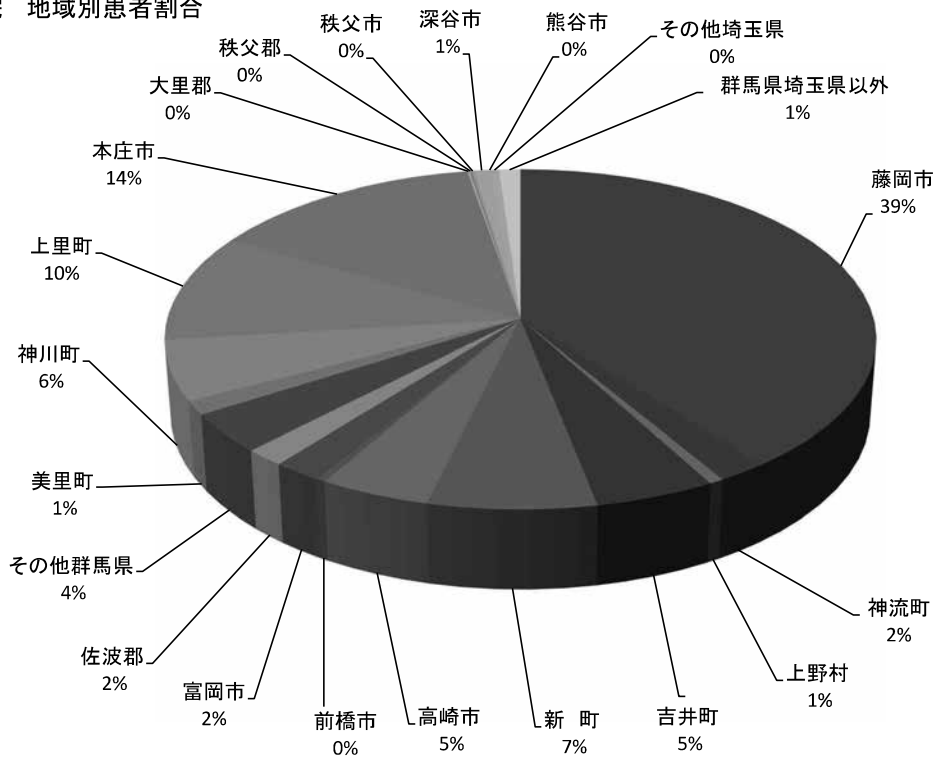
	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療	緩和ケア	産科	形成外科	合計			
群馬県 藤岡市	18,770	0	0	0	709	5,819	5,231	5,351	76	1,506	1,266	75	0	0	0	0	0	0	0	0	117	0	38,920		
神流町	1,050	0	0	0	0	202	263	325	0	122	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,975	
上野村	168	0	0	0	1	67	30	298	0	0	24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	590	
計	19,988	0	0	0	710	6,088	5,524	5,974	76	1,628	1,301	79	0	0	0	0	0	0	0	0	117	0	41,485		
高崎市 吉井町	2,509	0	0	0	25	728	659	679	65	105	44	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,822	
高崎市 新 町	3,258	0	0	0	95	1,015	1,019	1,050	9	143	144	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,737	
その他 高崎市	2,493	0	0	0	184	464	693	430	0	112	47	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,479	
前橋市	277	0	0	0	0	27	14	58	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	399	
富岡市	1,171	0	0	0	34	38	90	574	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,917	
佐波郡	836	0	0	0	26	212	343	97	0	66	21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1,609	
その他 群馬県	2,654	0	0	0	198	64	248	412	0	13	81	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	3,700	
計	13,198	0	0	0	562	2,548	3,066	3,200	74	439	354	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108	0	23,663	
小計	33,186	0	0	0	1,272	8,636	8,590	9,274	150	2,067	1,655	93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	225	0	65,148	
埼玉県 美里町	498	0	0	0	20	149	160	361	0	73	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,276
神川町	2,842	0	0	0	219	850	315	1,067	0	188	175	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	5,676	
上里町	5,494	0	0	0	256	1,440	632	1,594	0	408	277	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	10,120	
本庄市	6,622	0	0	0	247	2,542	1,419	2,236	0	337	381	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	13,815	
大里郡	12	0	0	0	0	86	6	6	0	13	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140
秩父郡	57	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62
秩父市	0	0	0	0	13	0	86	12	0	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	143
深谷市	434	0	0	0	0	200	40	57	0	17	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	758
熊谷市	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47
その他 埼玉県	213	0	0	0	29	37	44	98	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	446
群馬県 埼玉県 以外	621	0	0	0	41	97	50	167	0	6	96	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,080
計	16,840	0	0	0	825	5,401	2,752	5,598	0	1,063	1,009	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	0	33,563	
合計	50,026	0	0	0	2,097	14,037	11,342	14,872	150	3,130	2,664	129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	264	0	98,711	

(8) 地域別外来患者数

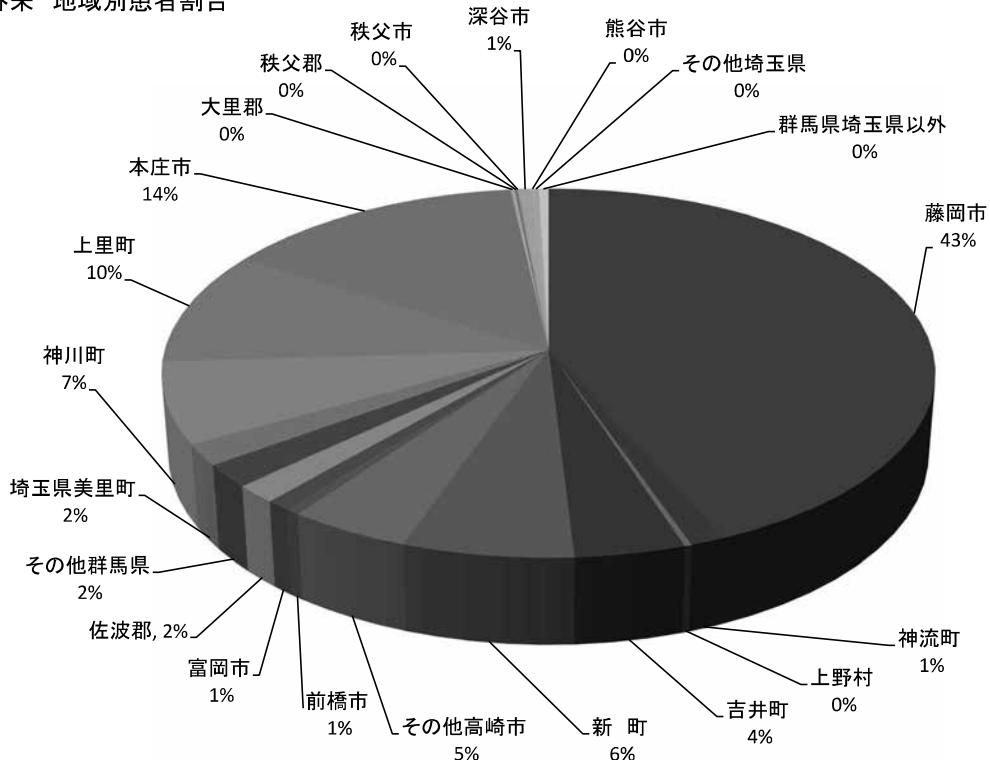
(単位:人)

	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療	緩和ケア	産科	形成外科	合計		
群馬県 藤岡市	31,238	159	1,195	0	2,685	6,092	5,781	2,166	2,120	4,849	2,443	3,310	920	165	420	0	112	731	0	2,431	160	66,977		
神流町	730	16	35	0	29	203	162	64	36	243	75	107	27	0	5	0	0	28	0	98	2	1,860		
上野村	122	0	6	0	3	43	44	19	18	48	26	52	18	1	0	0	0	0	0	16	0	0	0	416
計	32,090	175	1,236	0	2,717	6,338	5,987	2,249	2,174	5,140	2,544	3,469	965	166	425	0	112	759	0	2,545	162	69,253		
高崎市 吉井町	2,797	30	165	0	206	553	729	262	244	422	181	189	125	10	26	0	2	101	0	276	8	6,326		
高崎市 新 町	4,777	20	190	0	335	997	932	272	284	615	438	317	139	39	2	0	33	72	0	278	37	9,777		
その他 高崎市	3,363	57	120	0	549	547	773	214	210	331	191	163	69	15	17	0	25	44	0	361	18	7,067		
前橋市	368	1	7	0	41	96	69	39	21	26	75	35	16	3	14	0	0	0	0	70	0	881		
富岡市	612	13	28	0	150	32	133	95	27	29	24	33	42	3	6	0	2	0	0	67	7	1,303		
佐波郡	1,093	4	69	0	39	236	368	72	79	116	146	78	29	0	0	0	10	27	0	81	6	2,453		
その他 群馬県	1,296	11	37	0	329	123	512	187	82	90	105	104	36	2	13	0	4	10	0	135	9	3,085		
計	14,306	136	616	0	1,649	2,584	3,516	1,141	947	1,629	1,160	919	456	72	78	0	76	254	0	1,268	85	30,892		
小計	46,396	311	1,852	0	4,366	8,922	9,503	3,390	3,121	6,769	3,704	4,388	1,421	238	503	0	188	1,013	0	3,813	247	100,145		
埼玉県 美里町	1,254	5	76	0	129	294	170	101	116	288	126	104	33	3	34	0	0	15	0	100	2	2,850		
神川町	4,942	44	199	0	458	1,148	728	374	409	770	502	661	171	29	9	0	5	273	0	332	12	11,066		
上里町	6,842	57	222	0	639	1,862	996	437	446	1,331	813	518	183	52	45	0	4	274	0	557	40	15,318		
本庄市	9,648	55	475	0	1,159	2,451	1,497	679	554	1,346	1,196	1,000	362	29	92	0	13	288	0	1,046	38	21,928		
大里郡	100	0	4	0	24	34	31	20	6	33	20	21	9	0	0	0	0	9	0	7	0	0	318	
秩父郡	69	0	1	0	12	7	10	1	3	25	4	13	2	0	13	0	0	0	0	3	0	0	163	
秩父市	16	2	0	0	7	0	11	8	10	24	11	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	115
深谷市	357	0	5	0	52	126	91	29	34	69	30	56	12	0	0	0	0	15	0	57	0	0	0	933
熊谷市	76	0	0	0	2	5	8	17	6	11	9	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	135
その他 埼玉県	115	1	9	0	49	23	27	17	12	5	23	14	1	1	0	0	0	0	0	87	0	0	0	384
群馬県 埼玉県 以外	239	1	12	0	40	50	110	74	52	20	58	29	8	3	0	0	0	0	0	19	2	0	0	717
計	23,658	165	1,003	0	2,571	6,000	3,679	1,757	1,648	3,922	2,792	2,416	781	118	193	0	22	900	0	2,208	94	53,927		
合計	70,054	476	2,855	0	6,937	14,922	13,182	5,147	4,769	10,691	6,496	6,804	2,202	356	696	0	210	1,913	0	6,021	341	154,072		

入院 地域別患者割合



外来 地域別患者割合



(9) 年齢別・性別・診療科別 延べ入院患者数

(単位:人)

年代別	性別	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療科	緩和ケア科	歯科	形成外科	合計
0日～28日未満	男	0	0	0	0	387	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	387
	女	0	0	0	0	326	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	326
	小計	0	0	0	0	713	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	713
28日～2歳未満	男	0	0	0	0	256	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	263
	女	0	0	0	0	297	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	299
	小計	0	0	0	0	553	0	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	562
2歳～4歳未満	男	0	0	0	0	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170
	女	0	0	0	0	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132
	小計	0	0	0	0	302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	302
4歳～6歳未満	男	0	0	0	0	46	0	8	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	59
	女	0	0	0	0	49	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54
	小計	0	0	0	0	95	2	11	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	113
6歳～10歳未満	男	0	0	0	0	126	14	17	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	171
	女	0	0	0	0	62	9	17	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90
	小計	0	0	0	0	188	23	34	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	261
10歳～20歳未満	男	175	0	0	0	148	38	50	3	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	429
	女	58	0	0	0	98	8	17	0	0	5	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	241
	小計	233	0	0	0	246	46	67	3	0	14	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	670
20歳～30歳未満	男	345	0	0	0	0	48	128	35	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	570
	女	325	0	0	0	0	52	6	26	0	0	695	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	1,127
	小計	670	0	0	0	0	100	134	61	0	2	695	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	1,697
30歳～40歳未満	男	421	0	0	0	0	123	128	79	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	779
	女	309	0	0	0	0	73	67	196	0	18	1,068	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1,739
	小計	730	0	0	0	0	196	195	275	0	44	1,068	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	2,518
40歳～50歳未満	男	1,215	0	0	0	0	620	395	197	0	23	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2,460
	女	1,032	0	0	0	0	312	100	200	0	15	337	2	0	0	0	0	0	0	0	0	16	2,014
	小計	2,247	0	0	0	0	932	495	397	0	38	337	4	0	0	0	0	0	0	0	0	24	4,474
50歳～60歳未満	男	2,125	0	0	0	0	691	379	911	0	131	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4,244
	女	1,324	0	0	0	0	525	321	263	0	17	146	2	0	0	0	0	0	0	0	0	35	2,633
	小計	3,449	0	0	0	0	1,216	700	1,174	0	148	146	3	0	0	0	0	0	0	0	0	41	6,877
60歳～65歳未満	男	1,733	0	0	0	0	1,013	348	575	0	190	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3,870
	女	929	0	0	0	0	240	217	263	0	39	53	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1,747
	小計	2,662	0	0	0	0	1,253	565	838	0	229	53	3	0	0	0	0	0	0	0	0	14	5,617
65歳～70歳未満	男	3,384	0	0	0	0	1,067	310	925	23	227	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5,940
	女	1,771	0	0	0	0	506	469	800	0	142	51	12	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3,753
	小計	5,155	0	0	0	0	1,573	779	1,725	23	369	51	14	0	0	0	0	0	0	0	0	4	9,693
70歳～75歳未満	男	5,114	0	0	0	0	1,510	564	1,534	65	622	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	15	9,431
	女	2,347	0	0	0	0	949	854	810	0	116	65	23	0	0	0	0	0	0	0	0	12	5,176
	小計	7,461	0	0	0	0	2,459	1,418	2,344	65	738	65	30	0	0	0	0	0	0	0	0	27	14,607
75歳～80歳未満	男	5,357	0	0	0	0	1,645	480	1,769	0	377	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9,646
	女	3,171	0	0	0	0	856	781	837	0	66	71	21	0	0	0	0	0	0	0	0	21	5,824
	小計	8,528	0	0	0	0	2,501	1,261	2,606	0	443	71	36	0	0	0	0	0	0	0	0	24	15,470
80歳～85歳未満	男	4,550	0	0	0	0	994	597	1,252	53	427	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	13	7,902
	女	2,965	0	0	0	0	782	1,320	1,295	9	121	92	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,595
	小計	7,515	0	0	0	0	1,776	1,917	2,547	62	548	92	27	0	0	0	0	0	0	0	0	13	14,497
85歳～90歳未満	男	3,408	0	0	0	0	626	360	911	0	288	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5,598
	女	3,376	0	0	0	0	822	1,788	974	0	76	26	7	0	0	0	0	0	0	0	0	51	7,120
	小計	6,784	0	0	0	0	1,448	2,148	1,885	0	364	26	8	0	0	0	0	0	0	0	0	55	12,718
90歳～95歳未満	男	1,457	0	0	0	0	218	222	315	0	135	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,347
	女	1,937	0	0	0	0	101	1,114	447	0	41	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3,650
	小計	3,394	0	0	0	0	319	1,336	762	0	176	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5,997
95歳～100歳未満	男	275	0	0	0	0	89	28	49	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	454
	女	787	0	0	0	0	103	252	172	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,314
	小計	1,062	0	0	0	0	192	280	221	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,768
100歳以上	男	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62
	女	74	0	0	0	0	1	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95
	小計	136	0	0	0	0	1	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	157
男計	29,621	0	0	0	1,133	8,696	4,014	8,567	141	2,474	0	45	0	0	0	0	0	0	0	0	91	54,782	
女計	20,405	0	0	0	964	5,341	7,328	6,305	9	656	2,664	84	0	0	0	0	0	0	0	0	173	43,929	
合計	50,026	0	0	0	2,097	14,037	11,342	14,872	150	3,130	2,664	129	0	0	0	0	0	0	0	0	264	98,711	

※退院数を含む。

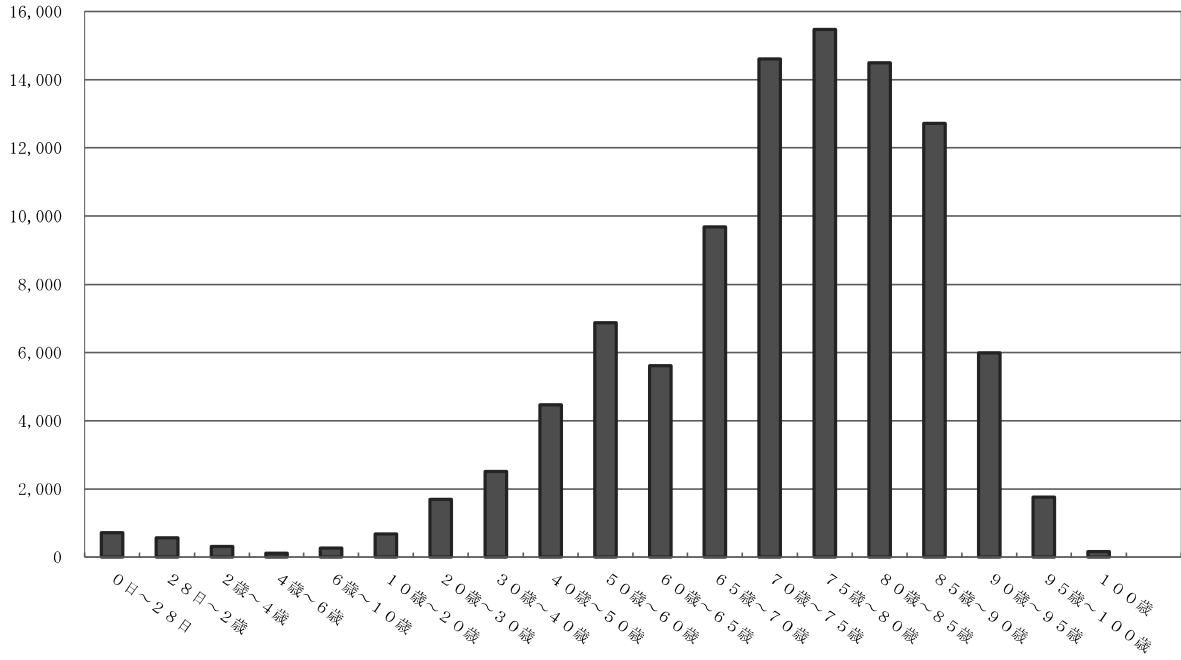
(10) 年齢別・性別・診療科別 延べ外来患者数

(単位:人)

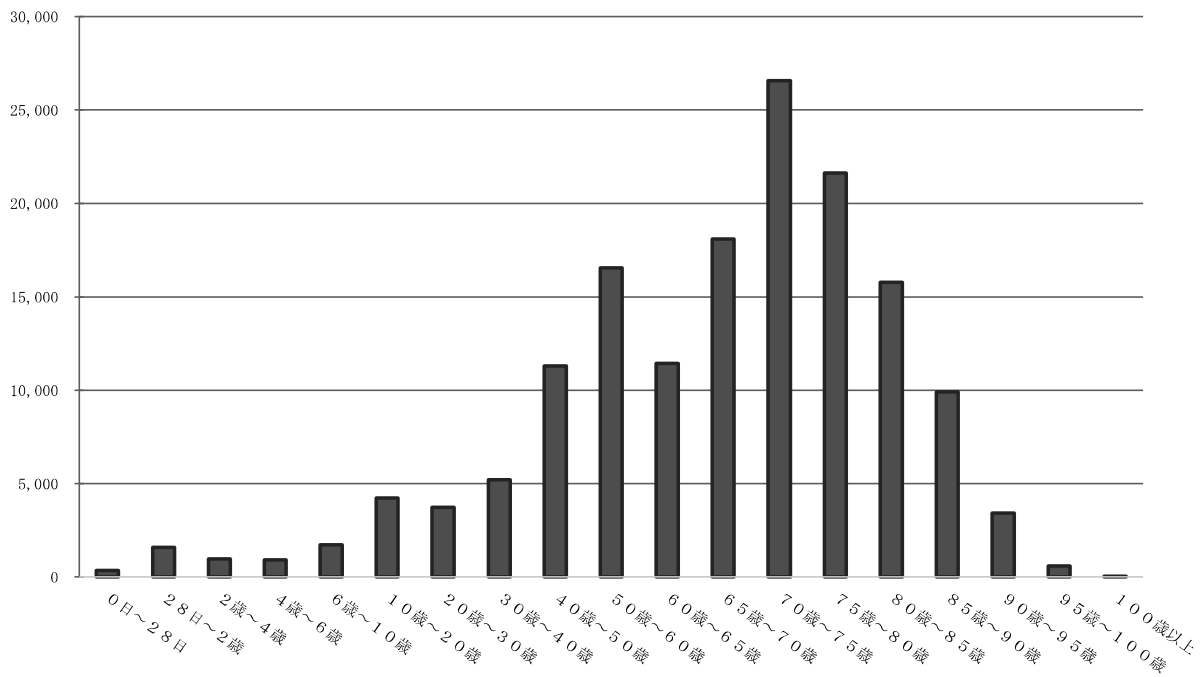
年代別	性別	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	ペイン	救急科	リハビリ科	放射線科	緩和ケア科	歯科	形成外科	合計
0日～28日未満	男	0	0	0	0	181	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	185
	女	0	0	0	0	165	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	168
	小計	0	0	0	0	346	0	0	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	353
28日～2歳未満	男	0	0	0	0	761	1	15	26	23	3	0	3	11	0	0	0	0	0	0	6	0	849
	女	0	0	0	0	641	1	24	21	22	0	1	17	9	0	0	0	0	0	0	4	0	740
	小計	0	0	0	0	1,402	2	39	47	45	3	1	20	20	0	0	0	0	0	0	10	0	1,589
2歳～4歳未満	男	0	0	0	0	443	1	32	51	16	12	0	24	8	0	0	0	0	0	0	0	0	587
	女	0	0	0	0	292	1	27	25	5	0	0	28	3	0	0	0	0	0	0	3	0	384
	小計	0	0	0	0	735	2	59	76	21	12	0	52	11	0	0	0	0	0	0	3	0	971
4歳～6歳未満	男	0	0	0	0	368	3	50	30	7	9	0	10	5	0	0	0	0	0	0	9	1	492
	女	0	0	0	0	357	3	25	10	14	0	0	8	7	0	0	0	0	0	0	1	0	425
	小計	0	0	0	0	725	6	75	40	21	9	0	18	12	0	0	0	0	0	0	10	1	917
6歳～10歳未満	男	3	0	0	0	737	4	83	42	8	16	0	19	9	0	0	0	0	0	0	22	1	944
	女	0	0	0	0	575	7	118	25	4	0	1	28	5	0	0	0	0	0	0	8	0	771
	小計	3	0	0	0	1,312	11	201	67	12	16	1	47	14	0	0	0	0	0	0	30	1	1,715
10歳～20歳未満	男	287	19	22	0	1,252	52	415	95	32	58	13	58	25	1	0	0	0	0	0	75	13	2,417
	女	194	6	5	0	1,092	25	149	51	33	17	83	63	25	1	0	0	0	0	0	51	13	1,808
	小計	481	25	27	0	2,344	77	564	146	65	75	96	121	50	2	0	0	0	0	0	126	26	4,225
20歳～30歳未満	男	687	0	79	0	18	54	585	59	75	86	3	31	43	3	1	0	0	0	0	166	17	1,907
	女	576	1	50	0	25	82	112	66	44	11	624	52	25	1	0	0	0	0	0	147	3	1,819
	小計	1,263	1	129	0	43	136	697	125	119	97	627	83	68	4	1	0	0	0	0	313	20	3,726
30歳～40歳未満	男	861	3	61	0	5	129	463	119	83	145	4	38	29	8	6	0	0	2	0	91	8	2,055
	女	1,161	6	65	0	3	119	159	99	83	37	1,145	51	37	6	0	0	0	0	0	160	20	3,151
	小計	2,022	9	126	0	8	248	622	218	166	182	1,149	89	66	14	6	0	0	2	0	251	28	5,206
40歳～50歳未満	男	2,386	12	66	1	0	339	995	242	157	196	0	204	70	11	11	0	10	27	0	193	10	4,930
	女	2,423	13	92	0	0	731	359	242	148	101	1,601	177	99	10	17	0	2	110	0	249	14	6,388
	小計	4,809	25	158	1	0	1,070	1,354	484	305	297	1,601	381	169	21	28	0	12	137	0	442	24	11,318
50歳～60歳未満	男	3,854	40	135	0	8	630	925	303	216	486	0	343	122	23	40	0	32	40	0	300	16	7,513
	女	3,979	33	105	0	12	1,116	715	241	247	185	1,303	377	133	32	13	0	4	117	0	376	43	9,031
	小計	7,833	73	240	0	20	1,746	1,640	544	463	671	1,303	720	255	55	53	0	36	157	0	676	59	16,544
60歳～65歳未満	男	3,456	10	101	0	0	660	474	323	180	557	12	248	84	12	54	0	6	18	0	252	8	6,455
	女	2,140	8	68	0	0	770	461	182	169	191	298	280	91	11	4	0	4	89	0	227	8	5,001
	小計	5,596	18	169	0	0	1,430	935	505	349	748	310	528	175	23	58	0	10	107	0	479	16	11,456
65歳～70歳未満	男	5,849	24	189	0	0	979	569	365	322	869	0	424	149	23	88	0	7	137	0	382	20	10,396
	女	3,701	26	165	0	0	973	762	270	207	213	338	425	169	28	5	0	20	120	0	271	1	7,694
	小計	9,550	50	354	0	0	1,952	1,331	635	529	1,082	338	849	318	51	93	0	27	257	0	653	21	18,090
70歳～75歳未満	男	9,073	68	241	0	0	1,531	827	407	471	1,943	4	624	214	32	44	0	24	203	0	511	30	16,247
	女	4,590	31	230	0	0	1,328	1,087	298	322	277	498	736	141	28	62	0	15	179	0	492	12	10,326
	小計	13,663	99	471	0	0	2,859	1,914	705	793	2,220	502	1,360	355	60	106	0	39	382	0	1,003	42	26,573
75歳～80歳未満	男	6,340	31	259	0	0	1,422	875	344	423	1,766	0	597	123	30	116	0	1	196	0	480	30	12,833
	女	4,043	21	248	0	0	1,015	777	292	289	311	242	609	166	28	84	0	13	186	0	464	9	8,797
	小計	10,383	52	507	0	0	2,437	1,452	636	712	2,077	242	1,206	289	58	200	0	14	382	0	944	39	21,630
80歳～85歳未満	男	4,499	23	163	0	0	959	476	261	376	1,381	0	352	114	26	35	0	3	193	0	366	3	9,230
	女	3,228	50	180	1	0	748	660	144	231	189	199	392	140	18	11	0	13	66	0	279	21	6,570
	小計	7,727	73	343	1	0	1,707	1,136	405	607	1,570	199	744	254	44	46	0	16	259	0	645	24	15,800
85歳～90歳未満	男	2,573	26	133	0	0	484	312	177	193	1,054	0	131	52	6	11	0	5	138	0	125	18	5,438
	女	2,140	10	110	0	0	470	526	169	182	170	108	254	43	8	35	0	27	14	0	188	14	4,468
	小計	4,713	36	243	0	0	954	838	346	375	1,224	108	385	95	14	46	0	32	152	0	313	32	9,906
90歳～95歳未満	男	716	3	38	0	0	93	64	61	63	242	0	73	14	4	1	0	3	29	0	31	0	1,435
	女	1,010	12	35	0	2	140	208	72	102	83	19	109	26	2	49	0	18	19	0	77	8	1,991
	小計	1,726	15	73	0	2	233	272	133	165	325	19	182	40	6	50	0	21	48	0	108	8	3,426
95歳～100歳未満	男	102	0	0	0	0	25	14	11	3	50	0	2	1	3	0	0	0	30	0	2	0	243
	女	165	0	15	0	0	19	37	18	17	23	0	13	8	1	9	0	3	0	0	11	0	339
	小計	267	0	15	0	0	44	51	29	20	73	0	15	9	4	9	0	3	30	0	13	0	582
100歳以上	男	1	0	0	0	0	6	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	女	15	0	0	0	0	2	2	5	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
	小計	16	0	0	0	0	8	2	5	1	10	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
男計	40,687	259	1,487	1	3,773	7,372	6,974	2,916	2,648	8,882	36	3,181	1,075	182	407	0	91	1,013	0	3,013	175	84,172	
女計	29,365	217	1,368	1	3,164	7,550	6,208	2,231	2,121	1,809	6,460	3,623	1,127	174	289	0	119	900	0	3,008	166	69,900	
合計	70,052	476	2,855	2	6,937	14,922	13,182	5,147	4,769	10,691	6,496	6,804	2,202	356	696	0	210	1,913	0	6,021	341	154,072	

(単位：人)

入院 年齢別構成



外来 年齢別構成



(11) 病棟別病床稼働率

(単位：%)

病棟別	病床数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北2階	48	65.4	66.3	72.2	68.3	47.9	63.0	72.2	76.5	73.7	80.0	69.3	61.6	68.0
北4階	38	46.2	52.0	50.9	54.8	56.7	51.5	55.0	56.6	57.0	59.4	66.6	57.6	49.7
北5階	46	81.2	68.2	69.9	79.4	86.4	85.7	87.1	72.3	83.0	82.6	86.6	79.1	55.3
北6階	47	80.3	79.4	73.8	72.9	78.5	81.2	83.1	80.9	83.5	87.8	89.7	87.3	80.1
南3階 HCU	24	42.6	37.6	45.1	46.4	53.1	53.1	55.1	53.6	46.0	58.6	59.1	47.3	81.5
南4階	47	85.5	82.6	85.8	80.0	89.3	91.3	92.5	89.9	92.2	90.7	90.0	90.9	88.4
南5階	47	79.1	62.3	71.1	68.8	68.4	85.9	84.3	90.1	82.2	85.5	83.7	71.7	77.7
南6階	46	76.3	71.6	64.0	70.4	71.9	81.9	79.2	77.2	78.8	82.2	84.9	75.7	76.1
南7階	47	54.6	42.3	57.0	64.2	28.4	13.9	4.9	36.5	33.8	40.5	25.2	23.0	35.4
感染症	4	2.6	1.3	1.5	1.9	4.0	1.8	2.0	1.7	1.3	0.0	0.0	0.0	38.1
合計	394	69.8	63.8	66.8	68.5	65.6	68.4	69.0	71.4	71.3	74.6	72.9	66.6	69.0

*人間ドック5床を除く

(12) 平均在院日数

*DPC

(単位:日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	13.4	12.2	11.1	12.2	12.7	13.1	13.0	12.5	12.5	14.0	14.9	12.4	12.8
小児科	4.5	8.1	6.0	8.7	6.0	4.7	9.7	6.5	5.3	6.7	6.1	4.0	6.3
外科	9.3	8.9	8.6	8.5	9.2	9.7	8.9	8.0	8.0	9.2	9.9	8.0	8.8
整形外科	15.2	9.4	8.5	8.5	9.0	10.9	8.8	12.3	10.7	11.0	9.9	8.7	10.2
産婦人科	8.1	7.8	6.4	8.8	7.1	7.9	6.0	6.4	6.7	7.7	6.6	7.2	7.2
脳神経外科	10.7	11.8	11.0	9.0	10.1	11.7	12.8	11.0	9.8	13.3	10.3	13.2	11.1
泌尿器科	8.9	8.0	7.5	7.1	6.8	6.3	7.1	6.7	5.8	8.2	5.9	5.2	6.9
皮膚科	0.0	6.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	17.0	18.7	26.7	0.0	9.0	19.6
歯科口腔外科	2.0	4.8	2.3	8.8	2.6	2.6	3.1	2.5	3.5	2.5	8.2	5.1	4.0
全科合計	11.9	10.9	10.1	10.4	10.8	11.3	11.2	10.8	10.6	12.0	12.1	10.5	11.0

*包括ケア

(単位:日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	8.1	7.1	7.1	6.9	8.0	9.2	7.5	9.5	11.3	15.5	13.6	10.4	8.9
小児科	0.0	0.0	0.0	0.0	9.3	7.8	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	7.7
外科	4.0	2.9	4.8	5.0	5.6	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	3.0	4.3
整形外科	5.3	5.8	6.3	8.0	15.0	0.0	0.0	5.7	18.0	0.0	0.0	10.0	7.1
脳神経外科	10.5	6.4	5.7	7.2	1.6	2.0	0.0	6.2	8.0	0.0	0.0	8.0	7.1
泌尿器科	17.0	6.0	4.8	14.0	7.5	0.0	0.0	33.0	3.0	0.0	0.0	8.0	9.3
皮膚科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0
全科	7.9	6.1	6.5	6.8	7.9	8.5	7.5	8.3	10.9	15.5	13.6	9.9	8.1

*回復期リハ

(単位:日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	17.3	76.0	82.0	42.0	26.0	26.0	6.0	36.0	16.4	46.0	15.0	42.0	28.3
外科	0.0	54.0	58.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	8.0	28.7	20.0	0.0	26.6
整形外科	27.4	76.5	53.3	36.5	40.2	34.8	56.0	45.9	40.7	58.3	31.2	33.5	42.7
脳神経外科	52.7	50.9	68.9	49.5	41.7	53.1	68.8	114.7	42.7	56.3	40.8	59.3	54.5
泌尿器科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.0
全科	40.2	57.9	62.4	43.4	40.7	42.2	59.7	73.7	39.1	54.5	35.5	50.9	48.3

*平均在院日数の計算式 (24時入院患者数) ÷ ((新入院患者数+新退院患者数) ÷ 2)

*平均在院日数の計算には、事故・労災・分娩は含まれません。

*基準別患者数

(単位:人)

月別 基準	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
D P C	6,461	6,154	6,006	6,357	6,763	6,925	7,215	6,772	7,077	7,333	6,780	6,880	80,723
包括ケア	770	616	804	936	414	196	71	515	492	590	332	335	6,071
回復期リハ	942	987	1,039	1,016	713	907	1,075	1,102	1,097	1,190	932	917	11,917
合計	8,173	7,757	7,849	8,309	7,890	8,028	8,361	8,389	8,666	9,113	8,044	8,132	98,711

2. 診療請求の現況

(1) 診療科別請求額

(単位：千円、%)

区分	診療科	平成30年度	令和元年度		令和2年度	
		診療稼働額	診療稼働額	前年比	診療稼働額	前年比
入院	内科	2,928,833	3,191,495	109.0	2,948,498	92.4
	小児科	228,143	203,923	89.4	121,191	59.4
	外科	1,181,706	1,185,695	100.3	1,108,684	93.5
	整形外科	872,275	735,348	84.3	702,860	95.6
	脳神経外科	924,911	908,044	98.2	899,909	99.1
	皮膚科	6,239	6,587	105.6	5,579	84.7
	泌尿器科	249,329	211,285	84.7	198,039	93.7
	産婦人科	240,406	240,272	99.9	206,997	86.2
	眼科	35,794	31,467	87.9	26,032	82.7
	救急科	77,607	0	0.0	0	-
	リハビリ科	-	-	-	-	-
	歯科口腔外科	14,072	16,475	-	23,941	145.3
	全科	6,759,315	6,730,591	99.6	6,241,729	92.7
外来	内科	1,851,317	1,981,390	107.0	1,967,124	99.3
	心療内科	33,484	13,650	40.8	685	5.0
	小児科	78,020	66,570	85.3	51,326	77.1
	外科	418,007	498,353	119.2	508,948	102.1
	整形外科	159,158	125,327	78.7	105,372	84.1
	脳神経外科	83,737	90,407	108.0	67,688	74.9
	皮膚科	21,087	23,003	109.1	14,311	62.2
	泌尿器科	194,740	222,301	114.2	197,258	88.7
	産婦人科	73,734	67,720	91.8	64,189	94.8
	眼科	80,562	76,915	95.5	69,900	90.9
	耳鼻咽喉科	22,410	19,976	89.1	15,461	77.4
	放射線診断科	10456.0	9,533	-	9,189	96.4
	ペイン	2,568	2,565	99.9	2,397	93.5
	救急科	10,829.0	0	-	0	-
	リハビリ科	351.0	216	-	332	153.7
	放射線治療科	62,542	50,074	80.1	46,994	93.8
	歯科口腔外科	25588.0	29,414	-	30,482	103.6
形成外科	1889.0	3,630	-	3,225	88.8	
全科	3,130,479	3,281,044	104.8	3,154,882	96.2	
合計	内科	4,780,150	5,172,885	108.2	4,915,622	95.0
	心療内科	33,484	13,650	40.8	685	5.0
	小児科	306,163	270,493	88.3	172,517	63.8
	外科	1,599,713	1,684,048	105.3	1,617,632	96.1
	整形外科	1,031,433	860,675	83.4	808,232	93.9
	脳神経外科	1,008,648	998,452	99.0	967,598	96.9
	皮膚科	27,327	29,590	108.3	19,890	67.2
	泌尿器科	444,069	433,585	97.6	395,297	91.2
	産婦人科	314,139	307,992	98.0	271,186	88.0
	眼科	116,356	108,383	93.1	95,932	88.5
	耳鼻咽喉科	22,410	19,976	89.1	15,461	77.4
	放射線診断科	10456.0	9,533	-	9,189	96.4
	ペイン	2,568	2,565	99.9	2,397	93.5
	救急科	88,437.0	0	-	0	-
	リハビリ科	351.0	216	-	332	153.7
	放射線治療科	62,542	50,074	80.1	46,994	93.8
	歯科口腔外科	39660.0	45,889	-	54,423	118.6
形成外科	1889.0	3,630	-	3,225	88.8	
全科	9,889,794	10,011,635	101.2	9,396,611	93.9	

(2) 診療報酬請求状況

(単位：件、点、%)

	診療科	入院					外来				
		30年度	元年度		2年度		30年度	元年度		2年度	
			前年比		前年比			前年比			
請求件数	内科	5,006	5,429	108.4	4,929	90.8	62,522	60,081	96.1	50,834	84.6
	精神科	0	0	—	0	—	4,689	2,113	45.1	258	12.2
	小児科	745	713	95.7	378	53.0	7,549	7,158	94.8	5,538	77.4
	外科	1,979	2,040	103.1	1,805	88.5	11,782	11,182	94.9	10,249	91.7
	整形外科	1,402	1,207	86.1	1,109	91.9	15,219	10,432	68.5	8,230	78.9
	脳神経外科	1,243	1,137	91.5	1,088	95.7	5,249	5,312	101.2	4,437	83.5
	皮膚科	17	14	—	10	—	5,596	5,214	93.2	3,919	75.2
	泌尿器科	685	584	85.3	520	89.0	9,914	10,076	101.6	9,038	89.7
	産婦人科	566	544	96.1	454	83.5	5,690	5,430	95.4	4,782	88.1
	眼科	131	123	93.9	83	67.5	7,452	6,876	92.3	6,122	89.0
	耳鼻咽喉科	0	0	—	0	—	2,706	2,481	91.7	1,993	80.3
	放射線診断科	0	0	—	0	—	382	366	95.8	356	97.3
	麻酔科	0	0	—	0	—	370	389	105.1	358	92.0
	救急科	203	0	—	0	—	567	0	0.0	0	—
	リハビリ科	0	0	—	0	—	80	126	157.5	178	141.3
	放射線治療科	0	0	—	0	—	502	412	82.1	374	90.8
	歯科口腔外科	41	64	—	79	123.4	2,051	2,878	140.3	3,305	114.8
	形成外科	0	0	—	0	—	165	280	169.7	278	99.3
全科	11,977	11,791	98.4	10,455	88.7	139,767	127,236	91.0	110,249	86.6	
1人1日当たり診療点数	内科	5,152	5,204	101.0	5,495	105.6	2,132	2,348	110.1	2,698	114.9
	精神科	0	0	—	—	—	595	545	91.7	144	26.4
	小児科	4,753	4,782	100.6	5,018	104.9	792	714	90.1	740	103.7
	外科	6,272	6,445	102.8	7,163	111.1	2,403	3,016	125.5	3,411	113.1
	整形外科	5,119	5,246	102.5	5,824	111.0	637	743	116.7	799	107.5
	脳神経外科	4,899	5,372	109.6	5,816	108.3	1,271	1,355	106.6	1,315	97.0
	皮膚科	3,466	3,294	—	3,576	108.6	290	356	122.8	300	84.3
	泌尿器科	4,971	5,008	100.7	5,571	111.2	1,609	1,858	115.5	1,845	99.3
	産婦人科	5,818	6,330	108.8	6,782	107.1	917	909	99.1	988	108.7
	眼科	9,727	9,712	99.9	10,090	103.9	939	1,002	106.7	1,027	102.5
	耳鼻咽喉科	0	0	—	—	—	654	672	102.7	702	104.5
	放射線診断科	0	0	—	—	—	2,582	2,584	100.1	2,581	99.9
	麻酔科	0	0	—	—	—	353	395	112.0	344	87.0
	救急科	4,844	0	—	—	—	1,775	0	—	—	—
	リハビリ科	0	0	—	—	—	322	146	45.3	158	108.4
	放射線治療科	0	0	—	—	—	2,055	2,209	107.5	2,457	111.2
	歯科口腔外科	6,455	6,436	—	7,255	112.7	634	581	91.5	506	87.1
	形成外科	0	0	—	—	—	859	1,023	119.1	946	92.5
全科	5,302	5,544	104.6	5,864	105.8	1,494	1,967	131.7	2,048	104.1	

(3) 診療行為別請求額

(単位：千円、%)

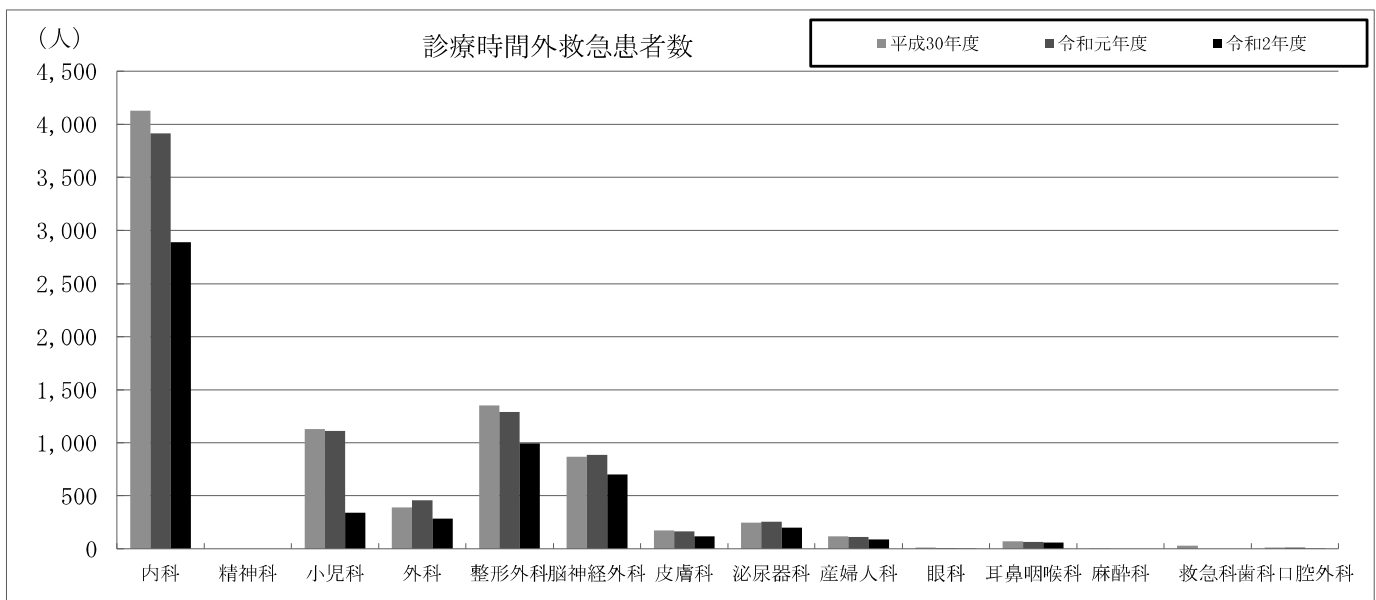
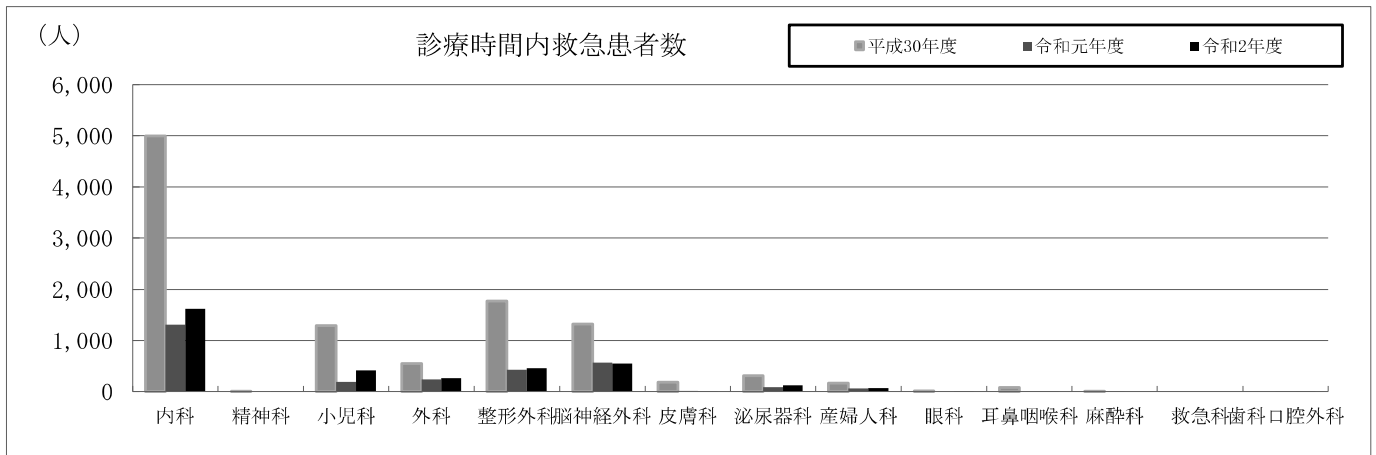
診療行為別	入院					外来				
	30年度	元年度		2年度		30年度	元年度		2年度	
		前年比	前年比	前年比	前年比		前年比	前年比		
初診料	12,617	13,097	103.8	11,720	89.5	49,369	45,485	92.1	33,576	73.8
再診料	—	—	—	0	—	118,179	109,559	92.7	93,749	85.6
入院料	505,376	468,188	92.6	471,389	100.7	—	—	—	—	—
指導料	68,776	69,609	101.2	69,851	100.3	131,177	134,000	102.2	131,876	98.4
在宅療養料	9,273	13,165	142.0	15,422	117.1	196,265	199,688	101.7	249,725	125.1
投薬料	36,564	43,886	120.0	45,970	104.7	121,210	154,168	127.2	182,339	118.3
注射料	54,934	80,729	147.0	72,811	90.2	772,651	910,813	117.9	947,174	104.0
処置料	32,177	29,326	91.1	32,649	111.3	319,052	333,743	104.6	330,738	99.1
手術輸血料	1,128,927	1,159,343	102.7	1,045,624	90.2	117,153	149,157	127.3	99,277	66.6
麻酔料	152,760	149,081	97.6	129,150	86.6	2,219	2,389	107.6	1,936	81.0
検査料	64,539	61,848	95.8	59,894	96.8	719,713	706,848	98.2	620,425	87.8
画像診断料	8,479	7,384	87.1	6,615	89.6	410,946	400,235	97.4	355,669	88.9
理学療法料	210,601	205,697	97.7	239,957	116.7	31,335	23,575	75.2	15,091	64.0
処方箋料	—	—	—	—	—	65,840	58,890	89.4	49,841	84.6
その他	166	36	21.7	537	1,491.7	75,369	52,495	69.7	43,466	82.8
食事料	140,738	136,166	96.8	126,342	92.8	—	—	—	—	—
分娩介補料	50,691	51,104	100.8	37,898	74.2	—	—	—	—	—
DPC包括額	3,326,811	3,322,894	99.9	3,181,440	95.7	—	—	—	—	—
包括ケア病棟	504,424	482,122	—	248,028	51.4	—	—	—	—	—
回復期リハ病棟	451,463	436,917	—	446,431	102.2	—	—	—	—	—
合計	6,759,316	6,730,591	99.6	6,241,729	92.7	3,130,478	3,281,044	104.8	3,154,882	96.2

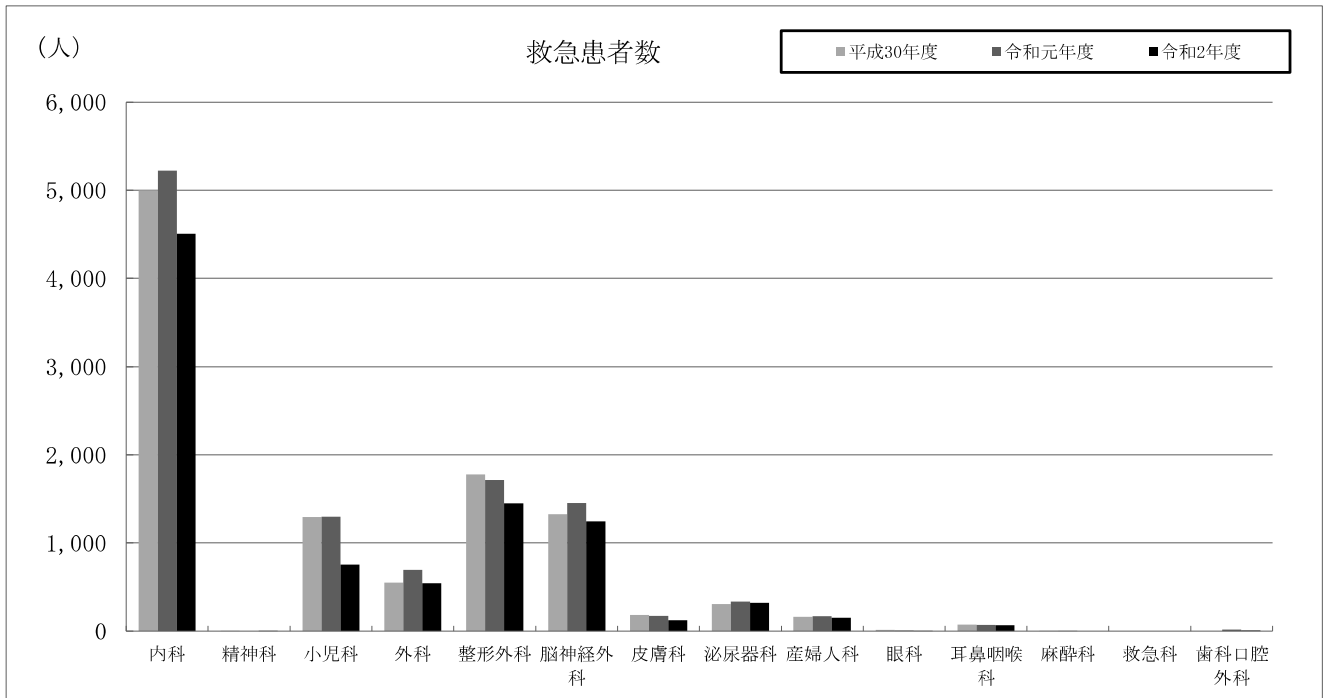
3. 救急患者の状況

(1) 救急患者数

(単位：人)

	内科	精神科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	救急科	歯科 口腔外科	合計
平成30年度	4,995	1	1,294	548	1,775	1,324	181	305	161	12	74	2	—	—	10,672
時間内	868	1	166	159	425	457	9	59	44	0	3	1	551	1	2,744
時間外	4,127	0	1,128	389	1,350	867	172	246	117	12	71	1	28	13	8,521
令和元年度	5,222	0	1,295	692	1,712	1,451	170	334	169	7	70	1	0	16	11,139
時間内	1,308	0	186	236	424	566	7	79	58	0	4	1	0	5	2,874
時間外	3,914	0	1,109	456	1,288	885	163	255	111	7	66	0	0	11	8,265
令和2年度	4,507	2	754	542	1,448	1,243	121	319	150	2	65	0	0	5	9,158
時間内	1,620	2	413	257	456	542	5	119	62	1	5	0	0	1	3,483
時間外	2,887	0	341	285	992	701	116	200	88	1	60	0	0	4	5,675

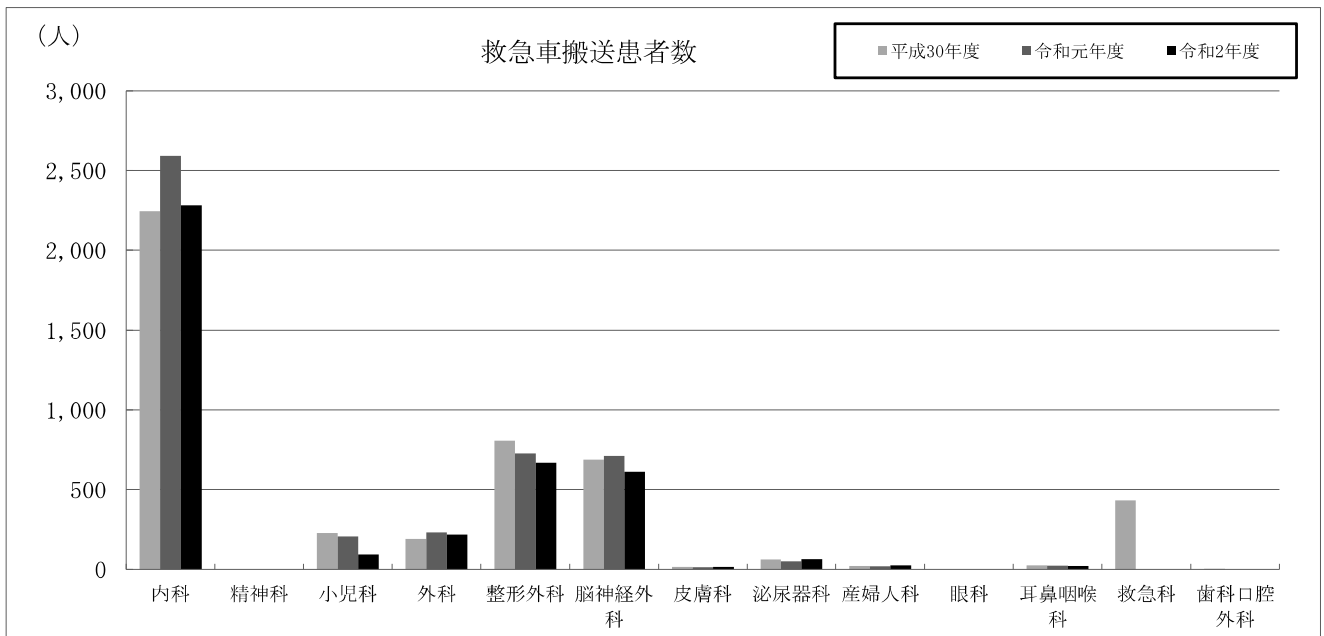




(2) 救急車搬送患者数

(単位：人)

	内科	精神科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	救急科	歯科口腔外科	合計
平成30年度	2,245	0	226	189	808	687	15	62	21	0	25	432	2	4,712
令和元年度	2,591	0	205	230	725	712	13	50	18	0	22	0	0	4,566
令和2年度	2,282	0	93	217	667	610	15	63	25	0	20	0	0	3,992



4. 分娩件数

(単位：件)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
分娩 件数	単胎	264	265	200
	双胎	0	0	0
	三胎	0	0	0
	計	264	265	200
児体 数	生産	261	264	199
	死産23W以前	3	1	1
	死産23W以後	0	0	0
	計	264	265	200

5. 剖検数

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
死亡件数	549	503	538
剖検数	5	8	4
剖検率 (%)	0.91	1.59	0.74

6. 内視鏡件数

(単位：件)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
検 査	上部消化管検査	6,278	5,855	4,740
	下部消化管検査	1,620	1,627	1,430
	膵・胆管ファイバー	63	84	72
	胆道ファイバー	1	0	1
	気管支ファイバー	108	105	76
	膀胱鏡	593	546	483
	計	8,663	8,217	6,802
処 置	静脈瘤結紮術	5	2	1
	ポリペクトミー上部・EMR	17	10	0
	ポリペクトミー下部・EMR	401	419	382
	超音波内視鏡	23	5	19
	止血術	505	404	91
	内視鏡的拡張術	39	33	18
	点墨・色素散布	165	139	128
	EST (内視鏡的乳頭括約筋切開術)	35	47	50
	麻酔法	0	0	0
	マーキングクリップ	93	413	53
	PEG (内視鏡的胃瘻造設術)	13	11	14
	内視鏡的胆道胆汁ドレナージ	20	22	22
	イレウス管挿入	46	45	25
	異物摘出術	12	11	15
	経肛門的減圧術	8	5	3
	留置スネア	12	13	16
	SBチューブ挿入	2	0	1
内視鏡的粘膜下層剥離術	12	16	21	
ポリープ焼灼	0	0	0	
計	1,408	1,595	859	

7. 循環器科

(単位：件)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
非 観 血 的 検 査	冠動脈CT	383	306	220	
	心筋シンチ	76	112	76	
	塩化タリウム	34	47	32	
	MIBG	29	25	24	
	MIBI	1	8	0	
	BMIPP	12	32	20	
観 血 的 検 査 ・ 治 療	冠動脈造影	432	501	357	
	うち アセチルコリン負荷試験	34	34	28	
	右心カテーテル	24	23	15	
	スワンガンツカテーテル	24	23	15	
	電気生理学的検査	0	0	0	
	心筋生検	15	14	6	
	冠動脈カテーテル治療	199	245	191	
	うち待機	99	155	112	
	うち緊急	100	90	79	
	内 訳	バルーンのみ	35	65	44
		ステント併用	164	180	147
		冠動脈内血栓溶解術併用	0	0	0
		血栓吸引術併用	67	59	50
		大動脈内バルーンパンピング併用	22	20	7
	末梢血管形成術	60	88	97	
	下肢動脈	18	20	17	
	シャント血管	42	68	80	
	下大静脈フィルター	5	0	0	
	一時的ペーシング	48	43	43	
	ペースメーカー	68	54	50	
新規植込み	58	40	34		
電池消耗による交換	10	14	16		

8. 手術件数

(1) 麻酔種別手術件数

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全身麻酔	1,278	1,271	1,091
腰椎麻酔	380	404	364
伝達麻酔	100	113	85
静脈内麻酔	2	2	12
局所麻酔	502	467	454
無麻酔	74	82	84
硬膜外麻酔	119	113	88
その他	5	2	3
合計	2,460	2,454	2,181

(2) 手術別件数

手 術 名	30年度	元年度	2年度
皮膚・皮下組織			
創傷処理 (長径5cm未満・筋肉、臓器に達するもの)	66	50	55
創傷処理 (長径5cm未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合)	3	5	1
創傷処理 (長径5cm～10cm未満・筋肉、臓器に達するもの)	20	19	14
創傷処理 (長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合)	3	0	3
創傷処理 (長径20cm以上・筋肉、臓器に達するもの)	0	1	0
創傷処理 (長径10cm以上・筋肉、臓器に達するもの)	13	16	11
創傷処理 (長径5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの)	397	367	355
創傷処理 (長径5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合)	15	14	0
創傷処理 (長径5cm～10cm未満・筋肉・臓器に達しないもの)	35	30	36
創傷処理 (長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合)	3	3	3
創傷処理 (長径10cm以上・筋肉・臓器に達しないもの)	5	8	5
小児創傷処理 (長径2.5cm未満・筋肉、臓器に達するもの)	7	6	3
小児創傷処理 (長径2.5cm以上、5cm未満・筋肉、臓器に達するもの)	5	3	1
小児創傷処理 (直径2.5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの)	29	24	23
小児創傷処理 (直径2.5cm以上5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの)	6	4	5
皮膚切開 (長径10cm未満)	59	41	31
皮膚切開 (長径10cm以上20cm未満)	1	0	1
皮膚切開 (長径20cm以上)	3	0	0
デブリードマン (100cm ² 未満)	0	1	0
皮下、粘膜下血管腫瘍摘出術 (露出部) (長径3cm未満)	1	5	1
皮膚血管腫瘍摘出術 (露出部) (直径3cm未満)	0	0	1
皮下腫瘍摘出術 (露出部) (長径2cm未満)	20	13	7
皮膚腫瘍摘出術 (露出部) (長径2cm未満)	26	40	27
皮下腫瘍摘出術 (露出部) (長径2cm以上4cm未満)	4	7	4
皮膚腫瘍摘出術 (露出部) (長径2cm以上4cm未満)	7	12	7
皮下腫瘍摘出術 (露出部) (長径4cm以上)	3	0	1
皮膚腫瘍摘出術 (露出部) (長径4cm以上)	1	0	0
皮下腫瘍摘出術 (露出部以外) (長径3cm未満)	10	10	6
皮膚腫瘍摘出術 (露出部以外) (長径3cm未満)	7	21	16
皮下腫瘍摘出術 (露出部以外) (長径3cm以上6cm未満)	4	2	3
皮膚腫瘍摘出術 (露出部以外) (長径3cm以上6cm未満)	5	2	6
皮下腫瘍摘出術 (露出部以外) (長径6cm以上12cm未満)	1	0	0
皮膚腫瘍摘出術 (露出部以外) (長径6cm以上12cm未満)	0	3	2
皮下腫瘍摘出術 (露出部以外) (12cm以上)	1	0	0
皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術 (良性皮膚腫瘍) (長径3cm未満)	35	12	0
皮膚悪性腫瘍切除術 (広汎切除)	0	1	0
皮膚悪性腫瘍切除術 (単純切除)	11	19	9
形 成			
分層植皮術 (25cm ² 未満)	1	0	0
全層植皮術 (25cm ² 未満)	0	1	2
全層植皮術 (200cm ² 以上)	0	1	0
皮弁作成・移動・切断 (25cm ² 未満)	7	5	6
皮弁作成・移動・切断 (25cm ² ～100cm ²)	1	0	0

手術名	30年度	元年度	2年度
筋膜・筋・腱・腱鞘			
腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）	45	27	25
腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）（指）	2	0	0
筋膜移植術（その他）	2	0	0
筋肉内異物摘出術	0	1	4
四肢・躯幹部腫瘍摘出術（躯幹）	1	3	2
四肢・躯幹部腫瘍摘出術（肩）	1	0	1
四肢・躯幹部腫瘍摘出術（前腕）	1	2	1
四肢・躯幹部腫瘍摘出術（下腿）	1	1	0
四肢・躯幹部腫瘍摘出術（手）	3	2	2
四肢・躯幹部腫瘍摘出術（足）	1	0	0
腱剥離術（指）	0	0	2
腱滑膜切除術	1	0	2
腱縫合術	30	16	22
腱縫合術（指）	3	9	3
アキレス腱断裂手術	7	7	6
腱移植術（指（手，足））	0	1	0
腱移行術（指（手，足））	0	2	0
腱移行術（その他）	0	0	1
四 肢 骨			
骨穿孔術	1	1	0
骨搔爬術（手）	0	1	1
骨折非観血的整復術（上腕）	7	8	5
骨折非観血的整復術（前腕）	52	54	32
骨折非観血的整復術（下腿）	2	5	11
骨折非観血的整復術（鎖骨）	3	6	2
骨折非観血的整復術（手）	10	10	17
骨折非観血的整復術（指1本）	0	0	1
骨折非観血整復術（足，その他）	3	11	11
骨折経皮的鋼線刺入固定術（上腕）	1	0	0
骨折経皮的鋼線刺入固定術（前腕）	7	5	5
骨折経皮的鋼線刺入固定術（下腿）	3	2	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）	2	0	0
骨折経皮的鋼線刺入固定術（足）	4	0	0
骨折経皮的鋼線刺入固定術（指（手・足））	3	13	19
骨折観血の手術（肩甲骨）	1	0	0
骨折観血の手術（上腕）	24	22	21
骨折観血の手術（大腿）	115	105	99
骨折観血の手術（前腕）	68	80	73
骨折観血の手術（下腿）	38	48	49
骨折観血の手術（手舟状骨）	3	5	8
骨折観血の手術（鎖骨）	16	10	6
骨折観血の手術（膝蓋骨）	8	3	4
骨折観血の手術（手（舟状骨を除く））	8	6	0
骨折観血の手術（足）	7	2	2
骨折観血の手術（指（手，足））	21	13	17
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（大腿）	2	5	3
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（前腕）	1	0	0

手術名	30年度	元年度	2年度
一時的創外固定骨折治療術	10	12	7
難治性骨折超音波治療法（一連につき）	11	3	9
超音波骨折治療法（一連につき）	17	9	11
骨内異物（挿入物）除去術（上腕）	15	20	8
骨内異物（挿入物）除去術（大腿）	4	5	4
骨内異物（挿入物）除去術（その他の頭蓋）	0	1	0
骨内異物（挿入物）除去術（前腕）	46	44	38
骨内異物（挿入物）除去術（下腿）	33	27	14
骨内異物（挿入物）除去術（鎖骨）	8	11	2
骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	7	6	2
骨内異物（挿入物）除去術（手）	11	5	8
骨内異物（挿入物）除去術（足）	7	4	0
骨内異物（挿入物）除去術（指（手・足））	10	17	19
骨部分切除術（上腕）	0	0	1
骨部分切除術（手）	0	1	0
骨部分切除術（鎖骨）	0	0	1
骨腫瘍切除術（指）	0	1	0
骨切り術（前腕）	0	1	0
偽関節手術（下腿）	1	0	1
偽関節手術（膝蓋骨）	1	0	0
偽関節手術（手（舟状骨））	1	1	0
偽関節手術（前腕）	0	0	1
偽関節手術（指（手，足））	0	0	1
変形治癒骨折矯正手術（前腕）	1	0	0
骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家骨移植）	5	1	1
骨移植術（軟骨移植を含む）（自家骨・非生体同種骨及び人工骨移植の併施）	2	1	0
四肢関節・靭帯			
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（肩）	1	0	0
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）	1	1	0
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）	0	0	1
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（肘）	0	2	0
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（指・手）	0	2	0
関節脱臼非観血的整復術（肩）	15	19	22
関節脱臼非観血的整復術（股）	3	1	3
関節脱臼非観血的整復術（膝）	1	0	1
関節脱臼非観血的整復術（肘）	4	4	2
関節脱臼非観血的整復術（足）	0	1	0
関節脱臼非観血整復術（指・手・足）	4	7	4
関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）	17	24	12
関節脱臼観血的整復術（肘）	1	0	1
関節脱臼観血的整復術（手）	1	0	0
関節脱臼観血的整復術（指・手）	1	0	1
関節内異物（挿入物を含む）除去術（膝）	0	0	1
関節滑膜切除術（膝）	2	0	0
関節滑膜切除術（指・手）	0	0	1
関節鏡下関節滑膜切除術（膝）	2	0	0
関節鏡下関節鼠摘出手術（膝）	1	0	0
関節鏡下半月板切除術	10	0	0
ガングリオン摘出術（手）	1	1	0
ガングリオン摘出術（足）	2	0	0

手術名	30年度	元年度	2年度
関節内骨折観血の手術（膝）	8	10	7
関節内骨折観血の手術（肘）	14	8	7
関節内骨折観血の手術（手）	1	2	0
関節内骨折観血の手術（足）	1	11	1
関節内骨折観血の手術（指・手）	1	4	5
関節鏡下関節内骨折観血の手術（膝）	1	0	0
関節鏡下関節内骨折観血の手術（足）	0	1	0
靭帯断裂縫合術（指（手，足）	1	3	1
靭帯断裂縫合術（その他の靭帯）	4	5	4
観血的関節授動術（指・手）	0	1	0
観血的関節制動術（膝）	1	0	0
観血的関節固定術（指・手）	2	4	1
靭帯断裂形成手術（十字靭帯）	2	0	0
関節形成手術（膝）	1	0	0
関節形成手術（手）	2	1	0
人工骨頭挿入術（股）	47	37	52
人工骨頭挿入術（肩）	1	2	1
人工骨頭挿入術（肘）	2	2	1
人工関節置換術（膝）	12	0	0
鋼線等による直達牽引	14	9	4
四肢切断・離断・再接合			
四肢切断術（大腿）	4	0	4
四肢切断術（下腿）	6	5	4
四肢切断術（足）	0	1	2
四肢切断術（手・指）	0	2	0
四肢切断術（足・指）	6	2	0
四肢関節離断術（股）	0	0	1
断端形成術（軟部形成のみ）（手・指）	1	3	1
断端形成術（骨形成を要す）（手・指）	5	1	4
断端形成術（骨形成を要す）（足・指）	1	0	1
切断四肢再接合術（手・指）	1	0	2
手・足			
爪甲除去術	10	7	10
陥入爪手術（簡単なもの）	1	1	1
手根管開放手術	20	25	18
手掌遺物摘出術	1	0	0
足底異物摘出術	1	1	0
多指症手術（骨関節形成を要す）	1	0	0
デュブイトレン拘縮手術（1指）	0	1	3
デュブイトレン拘縮手術（2指から3指）	0	0	1
母指対立再建術	0	1	2
脊柱・骨盤			
腸骨窩膿瘍掻爬術	0	0	1
脊椎骨（軟骨）組織試験採取術（その他）	1	0	0

手術名	30年度	元年度	2年度
頭 蓋 ・ 脳			
穿頭脳室ドレナージ術	7	11	7
穿頭術（トレパナチオン）	1	0	4
脳膿瘍排膿術	1	0	2
定位脳腫瘍生検術	0	1	0
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜外）	0	1	0
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜下）	4	10	5
頭蓋内血腫除去術（開頭・脳内）	8	6	7
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	54	37	48
内視鏡下脳内血腫除去術	2	0	1
脳膿瘍全摘術	0	1	0
頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	6	8	5
内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術（下垂体腫瘍）	1	3	0
水頭症手術（シャント手術）	3	3	11
髄液シャント抜去術	0	0	3
脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	8	5	13
脳動脈瘤頸部クリッピング（2箇所以上）	1	1	1
脳血管内手術（1箇所）	9	13	14
脳血管内手術（2箇所以上）	0	1	1
脳血管内手術（脳血管内ステントを用いるもの）	0	1	5
経皮的脳血管形成術	5	1	1
経皮的脳血栓回収術	18	31	30
頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）	0	3	1
頭蓋骨形成手術（硬膜形成を伴う）	3	0	0
脊 髄 ・ 末梢神経・交感神経			
神経縫合術（指（手、足））	12	2	6
神経縫合術（その他）	6	1	2
神経剥離術（その他のもの）	5	3	8
眼 瞼			
霰粒腫摘出術	1	0	0
眼瞼膿瘍切開術	1	0	0
涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	16	12	13
眼瞼内反症手術（縫合法）	3	0	0
眼瞼下垂症手術（その他）	0	1	1
結 膜			
結膜縫合術	2	0	0
結膜結石除去術（少数のもの）（1眼瞼ごと）	1	2	4
結膜下異物除去術	0	1	1
翼状片手術（弁の移植を要するもの）	1	0	1
角膜・強膜異物除去術	4	2	4
眼 房 ・ 網 膜			
虹彩光凝固術	22	4	8
網膜光凝固術（通常のもの・一連につき）	32	10	15
網膜光凝固術（その他特殊なもの・一連につき）	14	23	28
水晶体・硝子体			
水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合・その他のもの）	184	162	129
後発白内障手術	40	32	22
外 耳			
鼓膜切開術	1	0	0
外耳道異物除去術（単純なもの）	1	2	2
外耳道異物除去術（複雑なもの）	0	1	0

手術名	30年度	元年度	2年度
鼻			
鼻腔粘膜焼灼術	3	6	5
鼻骨骨折徒手整復術	0	0	1
上顎洞根治手術	2	2	2
鼻茸摘出術	1	0	0
咽頭・扁桃			
咽頭異物摘出術（簡単）	1	2	0
喉頭異物摘出術（直達鏡によらない）	0	0	1
喉頭・気管			
気管切開術	9	14	4
気管切開孔閉鎖術	0	2	0
口・舌			
頬粘膜腫瘍摘出術	3	6	2
頬粘膜悪性腫瘍手術	1	1	2
舌腫瘍摘出術（その他のもの）	4	6	4
舌悪性腫瘍手術（切除）	7	0	2
口唇腫瘍摘出術（その他）	5	3	3
頬腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	0	0	3
顔面骨・顎関節			
顎関節脱臼非観血的整復術	2	1	3
下顎骨部分切除術	0	0	1
下顎骨折観血の手術（片側）	1	0	0
下顎骨悪性腫瘍手術（切除）	1	1	1
上顎骨形成術（単純）	0	0	1
下顎骨形成術（短縮）	0	0	2
顎関節授動術（開放授動術）	0	2	0
唾液腺			
唾石摘出術（一連につき）（表在性のもの）	1	0	0
顎下腺摘出術	0	1	0
甲状腺・副甲状腺（上皮小体）			
甲状腺腫瘍摘出術（片葉）	2	1	2
甲状腺部分切除術、甲状腺腫瘍摘出術（片葉）	2	9	7
甲状腺部分切除術、甲状腺腫瘍摘出術（両葉）	0	1	1
バセドウ甲状腺全摘術（両葉）	0	0	1
甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	1	2	1
甲状腺悪性腫瘍手術（全摘）	1	1	1
乳 腺			
乳腺膿瘍切開術	1	0	0
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm未満）	12	17	12
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	2	0	1
乳管腺葉区域切除術	1	0	0
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	29	21	19
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	17	17	11
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・腋窩部郭清を伴わないもの）	22	27	22
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）（内視鏡下によるものを含む）	1	2	0
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除併施しない）	4	2	3
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）	6	6	5
胸 壁			
肋骨骨折観血の手術	0	1	1
胸壁腫瘍摘出術	1	1	0

手術名	30年度	元年度	2年度
胸 腔 ・ 胸 膜			
胸腔鏡下試験開胸術	3	2	1
胸腔鏡下試験切除術	0	2	2
醗膿胸膜切除術（1肺葉に相当する範囲を超えるもの）	0	1	0
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	4	3	3
胸郭形成手術（膿胸手術）（肋骨切除）	1	1	0
縦 隔			
胸腔鏡下縦隔切開術	0	1	0
縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）	1	0	1
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	1	1	4
気管支 ・ 肺			
気管支異物除去術（直達鏡による）	0	0	1
肺切除術（肺葉切除）	1	1	0
胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの）	16	16	11
胸腔鏡下肺切除術（その他のもの）	1	1	1
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	1	1	0
肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	6	0	0
肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）	0	0	1
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	11	6	10
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	21	29	24
食 道			
食道縫合術（開胸手術）	1	0	0
食道狭窄拡張術（内視鏡によるもの）	1	3	3
食道狭窄拡張術（拡張用バルーンによるもの）	12	3	4
食道ステント留置術	2	3	10
内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	3	3	3
食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）	1	1	0
食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部・腹部の操作）	3	0	0
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	5	2	1
心 ・ 心 膜 ・ 肺 動 静 脈 ・ 冠 血 管 等			
経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）	3	9	3
経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	6	6	3
経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	26	48	40
経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	30	31	31
経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	21	15	18
経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	111	135	96
経皮的冠動脈血栓吸引術	0	2	2
胸腔鏡下心膜開窓術	1	0	0
経皮的冠動脈粥腫切除術	1	0	0
体外ペースメーカー置入術	1	2	0
ペースメーカー移植術（経静脈電極）	56	39	34
ペースメーカー交換術	10	15	15
植込型心電図記録計移植術	1	1	0
大動脈バルーンパンピング（初日）	18	17	5
大動脈バルーン法（2日目以降）	98	111	37
経皮的心肺補助法（初日）	2	4	1

手術名	30年度	元年度	2年度
動 脈			
血管結紮術（その他）	1	1	0
血管縫合術（簡単）	1	0	0
動脈塞栓除去術（その他）（観血的）	1	0	0
経皮的頸動脈ステント留置術	10	19	12
動脈形成術（頭蓋内動脈）	1	1	0
動脈吻合術（指（手，足）の動脈）	8	2	1
動脈形成術、吻合術（その他の動脈）	4	2	1
内シャント設置術	32	33	30
抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置（頭頸部その他）	31	70	58
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（止血術）	3	1	3
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（選択的動脈化学塞栓術）	2	0	0
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	3	2	0
四肢の血管拡張術・血栓除去術	17	3	17
経皮的血管内異物除去術	1	0	1
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	39	62	79
静 脈			
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（四肢）	1	0	2
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	8	4	10
下大静脈フィルター留置術	4	0	0
下大静脈フィルター除去術	1	0	0
リンパ管・リンパ節			
リンパ節摘出術（長径3cm未満）	12	10	7
リンパ節摘出術（長径3cm以上）	6	4	4
腹 壁 ・ ヘルニア			
腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要としないもの）	1	1	0
腹壁瘻手術（腹腔に通ずるもの）	1	0	0
ヘルニア手術（腹壁瘢痕ヘルニア）	3	6	2
ヘルニア手術（白線ヘルニア）	0	1	0
ヘルニア手術（臍ヘルニア）	2	1	2
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	89	93	52
ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	7	5	3
ヘルニア手術（骨盤部ヘルニア・閉鎖孔ヘルニア）	1	0	0
ヘルニア手術（内ヘルニア）	0	1	1
腹腔鏡下ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	2	3	1
腹腔鏡下ヘルニア手術（閉鎖孔ヘルニア）	1	4	1
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	13	41	34
腹膜・後腹膜・腸間膜・網膜			
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	0	13	27
連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	0	7	4
試験開腹術	4	3	0
腹腔鏡下試験開腹術	0	1	0
腹腔鏡下試験切除術	0	4	0
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	0	4	5
急性汎発性腹膜炎手術	8	2	6
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	0	1	1
腸間膜損傷手術（腸管切除を伴う）	0	1	0
大網切除術	1	0	0
大網腫瘍摘出術（腸切除を伴わないもの）	1	0	0
腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	0	0	1

手術名	30年度	元年度	2年度
胃 ・ 十二指腸			
胃縫合術（大網充填術又被覆術を含む）	0	4	3
内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	5	3	1
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）	2	5	0
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	9	9	18
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（その他のポリープ・粘膜切除術）	14	9	6
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	10	9	13
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	0	2	2
内視鏡的消化管止血術	70	61	57
胃血管結紮術（急性胃出血手術）	2	0	0
胃縫合術（大網充填術又は被覆術を含む）	4	0	0
腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	1	0	0
胃切除術（単純）	0	2	1
胃切除術（悪性腫瘍）	22	15	22
腹腔鏡下胃切除術（単純）	0	1	0
腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍）	13	9	7
噴門側胃切除術（悪性腫瘍）	3	1	1
胃全摘術（悪性腫瘍）	15	8	15
腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍）	1	0	1
胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）	9	5	4
経皮的内視鏡下胃瘻造設術	8	4	5
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	5	5	5
胆嚢 ・ 胆道			
胆管切開結石摘出術（胆嚢摘出を含む）	1	0	0
胆嚢摘出術	56	37	59
腹腔鏡下胆嚢摘出術	74	93	73
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除術及び血行再建を伴うもの）	0	0	1
総胆管胃（腸）吻合術	0	0	1
胆嚢外瘻造設術	1	2	2
胆管外瘻造設術（経皮経肝）	0	5	1
経皮的胆管ドレナージ術	1	0	1
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	1	0	0
内視鏡的胆道結石除去術（胆道碎石術を伴うもの）	1	2	3
内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	3	3	0
内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみのもの）	9	7	16
内視鏡的乳頭切開術（胆道碎石を伴う）	8	21	16
内視鏡的胆道ステント留置術	35	43	32
肝			
経皮的肝膿瘍ドレナージ術	2	5	4
肝切除術（部分切除）	3	2	7
肝切除術（外側区域切除）	0	1	2
肝切除術（1区域切除（外側区域切除を除く））	0	1	0
腹腔鏡下肝嚢胞切開術	1	0	0
膵			
膵体尾部腫瘍切除術（膵尾部切除術）（脾同時切除）	2	1	0
膵体尾部腫瘍切除術（膵尾部切除術）（脾温存）	0	1	0
膵頭部腫瘍切除術（膵頭十二指腸切除術）	5	0	0
膵頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）	0	1	0
膵頭部腫瘍切除術（膵頭十二指腸切除術）	0	1	0
膵頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う）	2	0	1
内視鏡的膵管ステント留置術	5	0	1

手術名	30年度	元年度	2年度
脾			
脾摘出術	1	2	0
腹腔鏡下脾摘出術	0	1	0
空腸・回腸・盲腸・虫垂・結腸			
腸切開術	0	2	0
腸管癒着症手術	13	6	8
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	0	1	0
腸重積症整復（非観血的なもの）	2	2	4
小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	20	16	18
小腸切除術（悪性腫瘍手術）	3	1	2
腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	1	1	0
小腸腫瘍摘出術	1	0	0
虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	1	0	0
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	30	61	42
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	24	17	25
結腸切除術（小範囲切除）	18	14	16
結腸切除術（結腸半側切除）	2	0	3
結腸切除術（全切除、垂全切除又は悪性腫瘍手術）	62	60	48
腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）	4	3	6
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	14	40	18
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm未満）	41	45	23
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm以上）	5	8	7
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm未満）	325	356	328
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm以上）	30	23	25
小腸結腸内視鏡的止血術	13	15	22
腸吻合術	2	0	3
人工肛門造設術	13	1	10
腹腔鏡下人工肛門造設術	0	5	0
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴わないもの）	0	1	0
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴うもの）	1	8	8
小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡）	2	2	0
下部消化管ステント留置術	1	4	6
人工肛門形成術（その他）	0	0	1
直 腸			
直腸異物除去術（内視鏡によるもの）	0	1	0
直腸腫瘍摘出術（経肛門）	4	4	7
経肛門的内視鏡下手術（直腸腫瘍に限る）	0	1	0
直腸切除・切断術（切除術）	19	12	10
直腸切除・切断術（低位前方切除術）	15	4	2
直腸切除・切断術（切断術）	2	3	3
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	2	5	8
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）	12	18	15
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）	5	4	6
直腸脱手術（経会陰）（腸管切除を伴わないもの）	0	1	0
肛 門 ・ その周辺			
痔核手術（硬化療法（四段階注射法によるもの）	1	7	1
痔核手術（結紮術）	1	0	0
肛門周囲膿瘍切開術	5	12	6
痔瘻根治手術（単純）	3	2	1
肛門悪性腫瘍手術（切除）	0	1	0
肛門悪性腫瘍手術（直腸切断を伴うもの）	0	1	0

手術名	30年度	元年度	2年度
腎・腎盂			
腹腔鏡下副腎摘出術	1	1	1
腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	1	1	0
経皮的尿路結石除去術（経皮的腎瘻造設術を含む）	0	0	2
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき）	25	25	23
経皮的腎嚢胞穿刺術	0	1	1
腎（尿管）悪性腫瘍手術	2	1	2
腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	14	9	14
経皮的腎（腎盂）瘻造設術	13	17	6
経皮的腎（腎盂）瘻拡張術（一連につき）	0	0	1
腎盂形成術	0	0	1
尿管			
経尿道的尿路結石除去術（その他のもの）	18	9	11
経尿道的尿管狭窄拡張術	0	1	0
経尿道的尿管ステント留置術	90	122	132
経尿道的尿管ステント抜去術	18	18	13
尿管膀胱吻合術	1	1	2
膀胱			
膀胱内凝血除去術	3	6	0
膀胱結石、異物摘出術（経尿道的手術）	11	11	10
膀胱結石、異物摘出（膀胱高位切開術）	0	1	0
膀胱壁切除術	0	1	0
経尿道的電気凝固術	1	1	0
膀胱悪性腫瘍手術（切除）	4	0	1
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・腸管等利用し尿路変更を行わない）	0	1	0
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行う）	5	1	2
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・代用膀胱を利用し尿路変更を行う）	1	0	0
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術・電解質溶液利用のもの）	73	68	63
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他）	1	0	1
尿膜管摘出術	1	0	0
膀胱瘻造設術	1	5	0
ポアリー氏手術	0	1	0
尿道			
尿道結石、異物摘出術（前部尿道）	1	1	1
尿道結石、異物摘出術（後部尿道）	1	0	2
外尿道腫瘍切除術	0	2	3
尿道狭窄内視鏡手術	0	2	0
尿道狭窄拡張術（尿道バルーンカテーテル）	3	0	1
女子尿道脱手術	1	0	0
陰茎			
陰茎悪性腫瘍手術（陰茎切除）	0	0	1
包茎手術（背面切開術）	1	0	0
包茎手術（環状切除術）	8	4	4
陰囊・精巣・精巣上体・精管・精索			
精巣摘出術	9	6	11
精巣悪性腫瘍手術	4	2	3
陰囊水腫手術（その他）	2	5	1
停留精巣固定術	2	4	1
精索捻転手術（対側精巣固定術を伴う）	0	1	1
精索捻転手術（その他のもの）	0	1	0

手術名	30年度	元年度	2年度
精 囊 ・ 前立腺			
前立腺腫瘍切開術	0	0	1
経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用のもの）	0	3	7
経尿道的前立腺手術（その他のもの）	12	7	0
前立腺悪性腫瘍手術	0	1	0
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	10	12	14
外 陰 ・ 会 陰			
バルトリン腺膿瘍切開術	0	1	0
バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術（造袋術を含む）	1	0	0
女子外性器腫瘍摘出術	1	0	0
外陰・膣血腫除去術	0	1	0
膣			
膣壁尖圭コンジローム切除術	1	0	0
膣壁形成手術	0	1	1
子 宮			
子宮内膜搔爬術	6	1	0
子宮脱手術（膣壁形成手術・子宮全摘術）	3	4	9
子宮頸管ポリープ切除術	26	42	30
子宮頸部（膣部）切除術	13	9	14
子宮息肉様筋腫摘出術（膣式）	1	0	1
子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）	1	1	0
子宮全摘術	26	35	31
腹腔鏡下膣式子宮全摘術	1	1	0
子宮悪性腫瘍手術	3	3	0
子宮附属器			
卵巣部分切除術（開腹）	1	4	3
卵巣部分切除術（腹腔鏡）	0	0	4
卵管結紮術（両側、開腹）	6	4	9
子宮附属器腫瘍摘出術（両側・開腹）	35	46	38
子宮附属器腫瘍摘出術（両側・腹腔鏡）	0	0	7
卵管全摘除術（両側、開腹）	1	1	0
子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）	2	2	0
産科手術			
吸引娩出術	8	18	10
鉗子娩出術（低位（出口）鉗子）	1	1	0
鉗子娩出術（中位鉗子）	5	2	0
会陰（膣壁）裂創縫合術（分娩時・筋層に及ぶ）	0	2	3
会陰（膣壁）裂創縫合術（分娩時・肛門に及ぶ）	2	11	15
会陰（膣壁）裂創縫合（分娩時・膣円蓋に及ぶ）	6	3	0
頸管裂創縫合術（分娩時）	3	1	7
帝王切開術（緊急切開）	26	30	22
帝王切開術（選択切開）	34	30	33
胎盤用手剥離術	2	0	2
妊娠子宮摘出術（ポロー手術）	1	0	0
流産手術（妊娠11週まで）	17	20	19
子宮内容除去術（不全流産）	1	0	0
異所性妊娠手術（開腹）	0	1	1
異所性妊娠手術（腹腔鏡）	0	2	3
子宮外妊娠手術（開腹）	3	0	0
子宮外妊娠手術（腹腔鏡）	1	0	0

手術名	30年度	元年度	2年度
歯科口腔外科手術			
後出血処置	1	1	3
拔牙手術・乳歯	2	6	5
拔牙手術・前歯	59	122	107
拔牙手術・臼歯	166	324	347
ヘミセクション（分割拔牙）	3	0	1
拔牙手術・埋伏歯	76	117	113
拔牙窩再搔爬手術	0	1	7
骨瘤除去手術	0	0	3
口腔内消炎手術（歯肉膿瘍等）	0	0	2
口腔内消炎手術（骨膜下膿瘍・口蓋膿瘍等）	4	4	2
口腔内消炎手術（顎炎・顎骨髄炎等） 1／3顎未満	2	1	1
外歯瘻手術	0	1	0
口腔外消炎手術 骨膜下膿瘍、皮下腫瘍、蜂窩織炎等（5cm未満）	0	2	0
顎骨腫瘍摘出術（3cm未満）	7	11	6
顎骨腫瘍摘出術（3cm以上）	1	1	1
歯肉・歯槽部腫瘍手術（軟組織）	2	5	4
歯肉・歯槽部腫瘍手術（硬組織）	0	1	6
歯根嚢胞摘出手術（歯冠大）	16	21	8
歯根嚢胞摘出手術（拇指頭大）	3	5	4
歯根端切除手術（2以外の場合）	1	0	7
口腔内縫合術（小深）	1	5	4
がま腫切開術	1	3	0
がま腫摘出術	1	0	0
舌腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	1	0	0
口蓋腫瘍摘出術（口蓋粘膜）	4	3	2
口唇腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	1	6	1
顎関節脱臼非観血的整復術	4	8	8
歯科インプラント摘出術（人工歯根）	0	0	1
口腔内軟組織異物（人工物）除去術（簡単）	0	2	0
口腔内軟組織異物（人工物）除去術（困難・深在性）	1	0	0
歯周外科手術・歯肉剥離搔爬手術	4	0	0
腐骨除去手術（歯槽部）	1	6	3
腐骨除去手術顎骨（片側1／3未満）	9	7	2
腐骨除去手術顎骨（片側1／3以上）	0	0	2
顎骨嚢胞開窓術	1	0	0
頬・口唇・舌小帯切離移動術	0	1	0
口蓋隆起形成術	0	2	0
歯の再植術（外傷性脱臼歯）	2	4	0
顎堤形成術（簡単）	0	0	2
上顎洞口腔瘻閉鎖術（困難）	0	0	3
埋伏歯開窓術	0	3	1
頬骨骨折観血的整復術	1	0	0
歯槽骨骨折観血的整復術（3歯以上）	0	2	1
口腔外縫合術（小浅）	0	0	1
口腔外縫合術（小深）	4	1	1
口腔外縫合術（中深）	0	1	1
瘢痕性拘縮に対する瘢痕拘縮形成手術	1	0	0
下顎隆起形成術（両側）	1	1	0
顎骨内異物除去術（困難・顎骨2／3顎未満）	2	0	0
歯科インプラント摘出術（人工歯根）（骨開さく）	0	0	1
術後性上顎嚢胞摘出術（上顎に限局するもの）	1	1	2
歯根嚢胞摘出術（鶏卵大）	0	1	0

手術名	30年度	元年度	2年度
上顎洞陥入歯等除去術（犬歯窩開さくにより行う場合）	0	1	0
歯の移植手術（自家骨移植）	0	0	1
歯根端切除手術（1歯につき）（歯科用3次元エックス線断層撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合）	4	22	7
加 算（医 科）			
手指の創傷に係る機能回復指導加算	16	4	22
術中透視装置使用加算	14	3	13
乳児加算（手術）	1	3	4
幼児加算（手術）	45	47	44
3才未満幼児加算（手術）	30	32	15
麻酔加算（MRSA、B型・C型肝炎、結核患者）	22	16	43
時間外特例医療機関加算2（処置・手術）	76	29	75
周術期口腔機能管理後手術加算	86	114	165
頸部郭清術加算（片側）	0	1	0
真皮縫合加算	9	6	4
デブリードマン加算（汚染された挫創）	45	64	73
デブリードマン（100㎡未満）	1	0	0
センチネルリンパ節加算	0	0	1
下顎骨形成術（両側・同時）加算	0	0	1
乳がんセンチネルリンパ加算1	35	42	29
バルーン内視鏡加算	1	1	0
人工肛門造設加算（結腸切除術）	0	0	5
人工肛門造設加算（直腸切除・切断術）	2	1	1
人工肛門造設加算（腹腔鏡下直腸切除・切断術）	0	0	1
複雑加算（帝王切開術）	31	23	24
超音波凝固切開装置等加算	398	428	387
創外固定器加算	1	3	1
イオントフォーゼ加算	1	0	0
自動縫合器加算	293	914	820
自動吻合器加算	78	58	62
術中血管等描出撮影加算	10	7	16
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	35	35	29
超音波切削機器加算	0	0	1
加 算（歯 科）			
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死又は放射線性顎骨壊死加算	9	7	3
下顎完全埋伏智歯（骨性）加算	0	5	0
下顎水平埋伏智歯加算	56	94	93
難抜歯加算（臼歯）	30	63	99
難抜歯加算（前歯）	0	1	0

※1. この件数は、医事算定データから抽出したものです。

9. 薬剤部

(1) 処方箋

(単位：枚)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入院	39,481	38,599	35,051
外来	115,688	105,093	89,478
院内	9,919	10,138	9,356
院外	105,769	94,955	80,122
院外処方箋発行率%	91.4	90.3	89.5
計	155,169	143,692	124,529

(2) 調剤

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入院	78,547	79,001	73,007
外来	19,379	19,717	18,000
計	97,926	98,718	91,007
調剤の内訳			
内服	72,208	73,408	67,355
外用	16,472	16,434	16,055
頓服	9,246	8,876	7,597

(3) 薬剤管理指導

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入院	12,417	13,236	12,270

(4) 混注（ミキシング）状況

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ミキシング	5,085	4,550	5,165
IVH	1,555	1,278	1,369
抗悪性腫瘍	3,530	3,272	3,796
その他	0	0	6
セット	230,149	246,710	194,138

(5) 病棟薬剤業務実施加算

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
D P C 対象患者	18,513	18,496	15,960
出来高算定患者	1,333	1,177	1,177
計	19,846	19,673	17,137

(6) 採用医薬品

(単位：品)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
採用薬品数	1,694	1,716	1,761
新規院内採用数	117	83	93
新規院外のみ採用数	34	64	25

(7) 製剤状況

剤形	製剤名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内用液剤	ATRA乳剤	100ml	0	0	0
	DMSOシロップ (内服)	47ml	0	0	0
	ルゴール液 (内服用)	100ml	0	0	0
アンプル	無水エタノールアンプル	1A	0	0	0
	1%ピオクタニンアンプル	1A	0	0	0
	墨汁アンプル	1A	7	75	104
	1%メチレンブルーアンプル	1A	0	0	0
点眼剤	生食点眼液	5ml	0	0	0
	0.5%アトロピン点眼液	5ml	0	4	6
	ジフルカン点眼液0.2%	5ml	0	0	0
	バンコマイシン点眼液	5ml	0	4	4
	マイトマイシン点眼液	5ml	0	0	0
点耳	鼓膜麻酔液	10ml	0	0	0
	ファンギゾン点耳液	5ml	0	0	0
	フロリード点耳液	5ml	0	0	0
	インプレトール	1A	0	0	0
吸入剤	耳鼻科用吸入液	50ml	51	96	3
	ファンギゾン吸入液	100ml	0	0	0
	カナマイシン吸入液	100ml	0	0	0
外用液剤	ロピオン含嗽水	100ml	0	0	0
	アロプリノール含嗽水	500ml	0	0	0
	ファンギゾン含嗽水	500ml	0	0	0
	ボラブレジンク含嗽水	100ml	12	39	19
	スペシャル含嗽水	500ml	21	9	20
	DMSO膀胱注入液	80ml	0	0	0
	LPA注腸液	100ml	0	0	0
		50ml	0	0	0
	安息香酸ベンジルローション	100ml	0	0	0
	20%塩化アルミニウム液	100ml	0	0	0
	10%塩化アルミニウム液	100ml	0	0	0
	1%ピオクタニン (外用)	100ml	12	10	12
	5000倍ボスミン液	100ml	63	217	320
	50000倍ボスミン液	100ml	0	0	0
坐剤	チラージンS坐剤	1個	0	15	15
	リンコデ坐剤	1個	0	0	0
軟膏	γ-BHC	100g	0	0	0
	0.1%ポリミキシンB軟膏	500g	1	3	0
	モーズペースト	100g	4	3	0
	オバホルモン軟膏	20g	0	0	0
その他	4%カリ石ケン	18L	0	0	0
	滅菌ハイアミン入りグリセリン	100ml	0	0	0
	ポール水	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	18L	0	0	0
	20%ホルマリン液	18L	0	0	0
	滅菌グリセリン	100ml	0	0	0
	2%チオ硫酸ナトリウム	500ml	0	0	0
	グリセリン・ヘキサックアルコール	500ml	0	0	0
	ナーバル散	1g	0	0	0
	10%硝酸銀液	100ml	9	10	9
	20%硝酸銀液	100ml	0	0	0
	ルゴール液 (染色用)	50ml	13	13	9
	ロイコボリン含嗽水	500ml	6	7	2
	メトロニゾール軟膏	500g	6	8	43
	3%酢酸液	500ml	4	3	4
0.5%ヒビテン液	500ml	3	0	1	

(8) 麻薬

製剤名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
塩酸モルヒネ注10mg	A	816	1099	677
塩酸モルヒネ注50mg	A	278	364	138
塩酸モルヒネ注200mg	A	102	248	19
フェンタニル注	A	4,623	3279	3,303
塩酸モルヒネ錠	錠	0	0	0
ペチジン注	A	75	79	122
塩酸モルヒネ末	g	0	0	0
MS コンチン10mg	錠	812	1434	376
MS コンチン30mg	錠	135	178	34
MS コンチン60mg	錠	0	70	0
オキシコンチン5mg	錠	6,313	オキシコドン徐放錠へ変更	オキシコドン徐放錠へ変更
オキシコンチン20mg	錠	2,748	オキシコドン徐放錠へ変更	オキシコドン徐放錠へ変更
オキシコンチン40mg	錠	3,063	368 (以降オキシコドン徐放錠へ変更)	オキシコドン徐放錠へ変更
オキシコドン徐放錠5m g	錠	-	5452	4,800
オキシコドン徐放錠20m g	錠	-	2420	1,126
オキシコドン徐放錠40m g	錠	-	484	153
オプソ5mg	包	1,053	1150	463
オプソ10mg	包	68	730	648
アンペック坐剤10mg	個	60	132	249
アンペック坐剤20mg	個	0	0	0
アンペック坐剤30mg	個	18	0	0
オキノーム散2.5mg	包	2,959	2684	1,992
オキノーム散5mg	包	2,169	1397	1,057
オキノーム散10mg	包	2,620	880	364
オキノーム散20mg	包	2,069	596	578
レミフェンタニル2m g	V	1,240	1347	1,219
フェントステープ0.5mg	枚			375
フェントステープ1mg	枚	985	1192	694
フェントステープ2mg	枚	634	429	337
フェントステープ4mg	枚	292	148	72
フェントステープ6mg	枚	51	114	9
フェントステープ8mg	枚	37	261	61
オキファスト注10m g	A	520	434	374
オキファスト注50m g	A	270	867	114
アブストラル舌下錠100 μ g	錠	354	140	225
アブストラル舌下錠200 μ g	錠	30	25	10
アブストラル舌下錠400 μ g	錠	0	0	0
タベンタ錠25m g	錠	0	0	0
タベンタ錠50m g	錠	0	0	0
ナルベイン注2m g	A	-	8	1178
ナルベイン注20m g	A	-	0	177
ナルサス錠2m g	錠	-	372	2625
ナルサス錠6m g	錠	-	82	817
ナルサス錠12m g	錠	-	45	195
ナルサス錠24m g	錠	-	196	477
ナルラピド錠1m g	錠	-	266	1847
ナルラピド錠2m g	錠	-	65	537
ナルラピド錠4m g	錠	-	845	1275
ケタラール静注用200m g	V	-	0	0

10. 放射線室

(1) 種別部位別

*入院棟

種別	部位	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
一般撮影	頭部	41	69	73	21	39	44	13	23	23
	胸部	9,701	10,680	10,712	9,371	9,650	9,650	8,469	8,921	8,950
	腹部	2,556	4,261	4,263	2,761	4,695	4,692	2,307	4,183	4,185
	四肢	1,785	3,684	4,032	1,744	3,586	4,067	1,274	2,616	2,894
	脊椎・骨全般	1,519	3,021	3,026	1,615	3,229	3,313	1,120	2,236	2,244
	計	15,602	21,715	22,106	15,512	21,199	21,766	13,183	17,979	18,296
	TV系	消化器系	328	359	1,003	287	311	769	300	305
外科系		70	70	311	97	101	363	90	90	610
尿路系		43	43	115	33	34	115	36	36	217
呼吸器・血管・産婦人科系		128	130	140	213	216	225	260	264	280
整形外科系		69	73	91	85	93	117	41	43	47
その他		14	14	21	3	3	8	3	3	12
計		652	689	1,681	718	758	1,597	730	741	2,415
手術室	胸部ポータブル	704	729	732	724	725	725	673	689	690
	腹部ポータブル	630	631	633	655	655	658	597	597	600
	四肢ポータブル	401	805	828	374	741	783	303	583	611
	脊椎・骨全般ポータブル	171	332	334	170	336	337	153	299	301
	骨透視	408	418	352	115	115	115	350	351	351
	胸部透視	33	33	23	76	76	61	71	71	49
	腹部透視	142	142	227	153	153	229	149	149	332
	その他透視	1	2	2	0	0	0	2	2	2
	計	2,490	3,092	3,131	2,267	2,801	2,908	2,298	2,741	2,936
その他	ポータブル	9,136	9,214	9,231	8,453	8,533	8,547	6,818	6,880	6,893
	コピー	2,469	2,506	2,516	2,643	2,647	2,677	2,439	2,462	2,489
	計	11,605	11,720	11,747	11,096	11,180	11,224	9,257	9,342	9,382
合計	30,349	37,216	38,665	29,593	35,938	37,495	25,468	30,803	33,029	

*外来棟

種別	部位	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
一般撮影	頭頸部	43	69	71	37	61	61	24	37	38
	胸部	14,268	16,394	16,547	13,267	14,472	14,472	11,230	12,611	12,709
	腹部	2,316	3,532	3,533	2,320	3,573	3,573	1,791	2,850	2,850
	四肢	3,702	7,924	8,784	3,306	6,935	7,962	2,794	5,836	6,660
	脊椎・骨全般	2,695	6,353	6,460	2,660	6,264	6,556	1,574	3,536	3,582
	乳房	706	707	707	652	652	652	552	552	552
	バイオプシー	26	35	35	22	22	22	17	17	17
	計	23,756	35,014	36,137	22,264	31,979	33,298	17,982	25,439	26,408
TV系	消化器系	196	196	196	158	160	267	139	139	687
	尿路系	62	64	77	66	66	83	74	74	283
	整形外科系	42	43	58	35	35	55	25	26	44
	その他	4	4	4	0	0	0	1	1	4
	計	304	307	335	259	261	405	239	240	1,018
顎口腔	デンタル	159	232	232	242	309	309	232	314	314
	コンビームCT	32	42	42	97	119	119	36	43	43
	パノラマ	646	647	647	754	754	754	651	652	652
	計	837	921	921	1,093	1,182	1,182	919	1,009	1,009
骨密度	512	512	512	551	551	551	607	608	608	
コピー	2,579	2,581	2,592	4,189	4,206	4,260	3,181	3,194	3,237	
合計	27,988	39,335	40,497	28,356	38,179	39,696	22,928	30,490	32,280	

(2) CT検査

種別	部位	平成30年度				令和元年度				令和2年度			
		人数	件数		枚数	人数	件数		枚数	人数	件数		枚数
			単純	造影			単純	造影			単純	造影	
入院棟	頭部	3,592	4,070	497	4,567	3,591	4,001	425	4,426	2,969	3,270	370	3,640
	頸部	662	1,116	427	1,543	611	1,002	418	1,420	489	887	214	1,101
	胸部	3,350	4,606	2,915	7,521	3,278	4,909	2,294	7,203	3,162	5,180	1,658	6,838
	腹部	1,488	1,340	1,857	3,197	1,618	1,350	2,096	3,446	1,490	1,315	1,808	3,123
	骨盤部	355	647	239	886	326	689	176	865	254	463	152	615
	脊椎・脊髄	81	241	0	241	118	324	0	324	103	294	6	300
	範囲指定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	治療計画	304	549	1	550	207	419	0	419	180	409	0	409
	四肢	208	612	112	724	277	921	61	982	210	667	66	733
	(データ)	—	0	0	0	—	0	0	0	—	0	0	0
計	10,040	13,181	6,048	19,229	10,026	13,615	5,470	19,085	8,857	12,485	4,274	16,759	
			19,229				19,085				16,759		
外来棟	頭部	1,339	1,503	298	1,801	1,158	1,216	320	1,536	1,013	1,230	257	1,487
	頸部	315	264	402	666	319	241	433	674	330	329	371	700
	胸部	3,205	4,166	2,455	6,621	3,248	4,238	2,460	6,698	3,112	4,236	2,201	6,437
	腹部	2,594	1,407	4,000	5,407	2,634	1,465	4,035	5,500	2,457	1,590	3,538	5,128
	骨盤部	609	427	1,046	1,473	766	663	1,225	1,888	704	602	1,117	1,719
	脊椎・脊髄	50	152	0	152	89	270	0	270	63	202	0	202
	範囲指定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	四肢	204	654	110	764	295	940	81	1,021	215	689	66	755
	(データ)	—	279	0	279	—	238	0	238	0	222	0	222
	計	8,316	8,573	8,311	16,884	8,509	9,033	8,554	17,587	7,894	8,878	7,550	16,428
			16,884				17,587				16,428		
合計	頭部	4,931	5,573	795	6,368	4,749	5,217	745	5,962	3,982	4,500	627	5,127
	頸部	977	1,380	829	2,209	930	1,243	851	2,094	819	1,216	585	1,801
	胸部	6,555	8,772	5,370	14,142	6,526	9,147	4,754	13,901	6,274	9,416	3,859	13,275
	腹部	4,082	2,747	5,857	8,604	4,252	2,815	6,131	8,946	3,947	2,905	5,346	8,251
	骨盤部	964	1,074	1,285	2,359	1,092	1,352	1,401	2,753	958	1,065	1,269	2,334
	脊椎・脊髄	131	393	0	393	207	594	0	594	166	496	6	502
	範囲指定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	四肢	412	1,266	222	1,488	572	1,861	142	2,003	425	1,356	132	1,488
	(データ)	—	279	0	279	—	238	0	238	—	222	0	222
	合計	18,052	21,205	14,358	35,563	18,328	22,229	14,024	36,253	16,571	20,954	11,824	32,778
			35,563				36,253				32,778		

(3) MRI検査

種別	部位	平成30年度				令和元年度				令和2年度			
		人数	件数		枚数	人数	件数		枚数	人数	件数		枚数
			単純	造影			単純	造影			単純	造影	
入院棟	脳	1,501	8,957	1,306	10,263	1,630	9,083	1,433	10,516	1,465	8,654	713	9,367
	脊椎・脊髄	616	624	15	639	497	531	22	553	350	372	12	384
	頭頸	36	73	6	79	34	83	4	87	40	166	0	166
	胸部	27	21	35	56	26	3	61	64	15	9	22	31
	腹部	210	170	43	213	212	180	33	213	179	149	33	182
	骨盤	174	122	66	188	126	88	52	140	101	81	36	117
	四肢	271	299	14	313	144	145	12	157	92	93	5	98
	(データ)	—	67	0	67	—	117	0	117	—	111	0	111
	計	2,835	10,266	1,485	11,751	2,669	10,113	1,617	11,730	2,242	9,524	821	10,345
			11,751				11,730				10,345		

外来棟	脳	1,279	6,939	1,716	8,655	1,349	7,372	1,903	9,275	1,238	6,362	2,351	8,713
	脊椎・脊髄	377	556	11	567	285	407	11	418	332	517	16	533
	頭頸	74	69	69	138	93	84	29	113	85	101	27	128
	胸部	120	9	114	123	132	35	112	147	105	25	85	110
	腹部	309	221	94	315	315	209	107	316	289	204	86	290
	骨盤	297	76	229	305	338	71	275	346	311	94	245	339
	四肢	184	199	38	237	119	143	25	168	140	164	20	184
	(データ)	—	30	0	13	—	9	0	9	—	12	0	12
	計	2,640	8,069	2,271	10,340	2,631	8,330	2,462	10,792	2,500	7,467	2,830	10,297
	人間ドック(脳)	228	228	0	1,368	202	202	0	1,221	193	193	0	1,158
計	2,868	8,297	2,271	11,708	2,833	8,532	2,462	12,013	2,693	7,660	2,830	11,455	
			10,568				10,994				10,490		
合計	脳	2,780	15,896	3,022	18,918	2,979	16,455	3,336	19,791	2,703	15,016	3,064	18,080
	脊椎・脊髄	993	1,180	26	1,206	782	938	33	971	682	889	28	917
	頭頸	110	142	75	217	127	167	33	200	125	267	27	294
	胸部	147	30	149	179	158	38	173	211	120	34	107	141
	腹部	519	391	137	528	527	389	140	529	468	353	119	472
	骨盤	471	198	295	493	464	159	327	486	412	175	281	456
	四肢	455	498	52	550	263	288	37	325	232	257	25	282
	(データ)	—	97	0	80	—	126	0	126	0	123	0	123
	計	5,475	18,335	3,756	22,091	5,300	18,434	4,079	22,513	4,742	16,991	3,651	20,642
	人間ドック(脳)	228	228	0	1,368	202	202	0	1,221	193	193	0	1,158
合計	5,703	18,563	3,756	23,459	5,502	18,636	4,079	23,734	4,935	17,184	3,651	21,800	
			22,319				22,715				20,835		

(4) 循環器

種別	部位	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		人数	件数	枚数	人数	件数	枚数	人数	件数	枚数
循環器	心カテ(診断)	547	831	831	617	895	895	459	565	565
	心カテ(治療)		654	654		756	756		557	557
	血管治療	119	127	127	115	125	125	83	93	93
	頭頸部	70	291	291	121	405	405	87	372	372
	胸部	7	8	8	4	4	4	1	1	1
	腹部	19	42	42	11	24	24	11	34	34
	四肢	56	61	61	75	81	81	94	95	95
	静脈・その他	2	2	2	1	1	1	3	4	4
	合計	820	2,016	2,016	944	2,291	2,291	738	1,721	1,721

(5) R I ・ P E T

種別	部位	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
R I	脳	119	119	119	90	90	90	63	63	63
	甲状腺	9	9	9	6	6	6	21	21	21
	肺	5	5	5	5	5	5	6	6	6
	心臓	63	63	63	86	86	86	57	57	57
	腎	28	29	29	29	29	29	19	19	19
	肝・胆道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腫瘍	10	10	10	14	14	14	3	3	3
	骨	391	391	391	392	392	392	365	365	365
	その他	53	53	53	58	58	58	51	51	51
	(データ)	—	5	5	—	0	0	—	0	0
合計	678	679	679	680	680	680	585	585	585	
P E T	全身	415	415	415	426	426	426	430	430	430
	(データ)	—	4	4	—	2	2	—	7	7
	合計	415	419	419	426	426	426	430	430	430

(6) 治療（ライナック）

区分		平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		X線	電子線	合計	X線	電子線	合計	X線	電子線	合計
患者数	入院	1,407	70	1,477	1,371	13	1,384	1,084	0	1,084
	外来	1,837	161	1,998	1,429	15	1,444	1,305	22	1,327
	合計	3,244	231	3,475	2,800	28	2,828	2,389	22	2,411
照射門数	入院	4,104	90	4,194	4,022	30	4,052	3,413	0	3,413
	外来	5,245	171	5,416	4,157	15	4,172	4,687	32	4,719
	合計	9,349	261	9,610	8,179	45	8,224	8,100	32	8,132

区分		平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
疾患別件数	脳・脊髄腫瘍	60	0	60	0	0	0	58	0	58
	頭頸部腫瘍	0	216	216	0	107	107	0	43	43
	食道癌	118	35	153	254	20	274	252	22	274
	肺がん（原発）	834	301	1,135	693	217	910	570	125	695
	乳がん（原発）	108	761	869	15	871	886	48	581	629
	胃がん（原発）	0	37	37	18	22	40	12	16	28
	肝がん（原発）	0	0	0	0	4	4	0	14	14
	大腸がん（原発）	97	200	297	118	0	118	35	99	134
	婦人科腫瘍	0	20	20	0	0	0	0	0	0
	泌尿器系腫瘍	190	160	350	138	244	382	168	179	347
	造血器リンパ系腫瘍	245	202	447	257	20	277	67	240	307
	皮膚・骨・軟部腫瘍	32	153	185	0	63	63	0	51	51
	その他がん	68	103	171	80	56	136	48	109	157
	合計	1,752	2,188	3,940	1,573	1,624	3,197	1,258	1,479	2,737

(7) その他

(単位：件)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
結石破碎	79	81	83

11. 検査室

(1) 検査件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
臨床化学	1,465,352	1,469,039	1,400,341
血清	195,692	200,172	193,948
血液	267,298	272,606	259,733
尿糞便	97,523	115,771	109,523
細菌	27,906	27,195	22,110
生理	56,570	52,523	50,482
病理	12,740	12,321	11,828
外注	51,413	52,313	51,285
採血（採血管本数）	311,406	311,947	282,224
計	2,485,900	2,513,887	2,381,474

(2) 検査項目別件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
臨床化学	TP	61,140	61,131	54,794
	ALB	59,825	62,483	56,019
	T-Bil	69,084	70,679	61,846
	D-Bil	12,112	12,693	12,583
	AST(GOT)	85,430	84,074	74,512
	ALT(GPT)	89,782	90,535	79,638
	LDH	80,398	81,102	70,965
	CK	53,961	54,973	46,739
	CK-MB	2,674	2,554	2,691
	ALP	70,778	68,970	61,221
	γ-GTP	64,452	69,760	62,778
	Che	8,120	8,423	7,568
	ZTT	3,890	266	0
	T-CHO	18,157	18,483	16,234
	HDL-C	32,541	31,811	27,707
	LDL-C	33,405	32,448	29,273
	TG	36,503	36,006	31,820
	フェリチン	5,256	5,626	5,896
	プレアルブミン	298	335	328
	C3	1,147	1,113	1,068
	C4	1,145	1,094	1,062
	NH3	1,584	1,370	1,014
	トロポニンT	1,655	1,540	1,502
	PCT	2,630	2,599	3,350
	Na	83,199	84,422	75,071
	K	83,250	84,446	75,113
	Cl	73,182	72,671	64,813
	Ca	31,383	34,557	32,908
	P	6,367	7,479	7,228
	Mg	2,922	3,522	3,297
	Zn	852	709	827
	Fe	4,475	4,561	4,350
	UIBC	4,073	4,236	3,870
	BUN	86,651	86,829	76,122
	S-Cr	91,177	92,004	81,231
	U-Cr	10,588	10,559	10,092
	UA	45,143	48,056	41,853
	S-AMY	29,149	31,025	31,149
	U-AMY	65	39	33
	ICG	7	6	17
	血糖	58,500	58,611	52,201
	HbA1C	28,244	27,210	24,738
	ペプシノーゲン	1,737	1,891	1,850
	KL6	3,062	3,226	3,589
	グリコアルブミン	999	1,318	1,661
	血清補体価	1,543	1,491	1,359
	血清浸透圧	1,663	1,715	1,658
	尿浸透圧	354	398	420
	尿蛋白定量	11,396	10,442	9,994
	計	1,455,948	1,471,491	1,316,052

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
免	ASO	318	272	256
	CRP	61,229	62,978	57,069
	RF	1,837	1,825	1,756
	IgG	3,212	3,218	2,900
	IgA	2,356	2,419	1,944
	IgM	2,267	2,311	1,808
疫	HBs抗原	14,550	14,616	12,824
	HBs抗体	1,526	309	1,351
	HBc抗体	551	314	520
	RPR	13,885	13,879	12,102
	TPHA	13,869	13,876	1,212
	HCV抗体	14,375	14,486	12,699
	HIV抗体	12,348	12,133	10,401
	輸血後H I V抗体	11	12	12
	寒冷凝集反応	34	32	33
	血	TSH	5,783	5,785
FT3		5,186	5,303	4,454
FT4		5,767	5,826	5,118
PSA		4,462	4,679	4,220
CEA		8,440	8,666	8,463
CA19-9		6,374	6,660	6,299
AFP		1,558	1,393	1,006
BNP		14,594	14,945	13,268
テオフィリン血中濃度		38	0	0
バルプロ酸血中濃度		206	193	143
フェニトイン		52	41	51
フェノバル		60	47	54
カルバマゼピン		280	199	175
炭酸リチウム		30	5	0
清	バンコマイシン	72	133	121
	マイコプラズマ抗体(抗原)	112	121	22
	計	195,382	196,676	165,357
	血 液 検 査	血算	96,709	95,805
網赤血球		4,384	4,913	4,069
血液像		58,873	60,690	54,225
血液像目視		982	868	693
出血時間		22	6	0
PT		22,738	23,369	21,094
APTT		20,067	20,793	18,726
Fib		13,287	14,371	12,874
FDP		14,874	16,006	14,539
Dダイマー		18,402	18,540	18,304
ATⅢ		665	460	343
ヘパプラスチン		0	0	0
ABO式血液型		3,619	3,507	3,655
Rh式血液型		3,607	3,493	3,618
血沈		6,146	6,844	6,863
骨髓検査		294	272	228
計		264,669	269,937	243,480

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般検査	沈渣	26,854	26,775	23,694
	尿定性検査	49,290	48,042	42,070
	尿糖定量	80	56	77
	HCG定量(尿中HCG)	26	10	9
	妊娠反応	173	130	98
	虫卵	11	1	2
	ヒトヘモグロビン	12,556	12,605	11,303
	ロタウイルス	43	110	26
	レジオネラ	288	367	288
	肺炎球菌	340	397	309
	インフルエンザウイルス	1,750	1,709	343
	RSウイルス	197	238	80
	アデノウイルス	359	480	258
	ストレプト	321	365	206
	マイコプラズマ抗原	112	121	22
	クラミジア	283	171	131
	CDトキシン	193	165	167
	ノロ抗原定性	23	74	11
	髄液検査	54	75	70
	穿刺液検査	86	112	74
計		93,039	92,003	79,238
生理検査	心電図	22,759	22,406	19,278
	負荷心電図	235	278	233
	脳波	296	290	210
	肺機能	1,052	1,156	968
	聴力	7,077	6,985	6,798
	重心動揺	173	109	85
	パワーベクトル	173	109	85
	ABI	742	833	610
	トレッドミル	2	8	0
	ホルター心電図	474	288	225
	リアルタイム心電図	0	0	0
	新生児ABR	257	266	200
	心臓カテーテル	646	684	524
	超音波	12,874	12,325	10,200
	心エコー	(3,875)※2	(3,845)※2	(3,061)※2
	腹部エコー	(5,876)※2	(5,683)※2	(4,647)※2
	甲状腺エコー	(406)※2	(476)※2	(415)※2
	頸動脈エコー	(385)※2	(491)※2	(452)※2
	乳腺エコー	(1,488)※2	(984)※2	(791)※2
	下肢血管エコー	(520)※2	(499)※2	(539)※2
腎エコー	(139)※2	(159)※2	(118)※2	
経食道エコー	(27)※2	(19)※2	(5)※2	
その他エコー	(158)※2	(169)※2	(172)※2	
肺拡散能検査	170	111	130	
呼吸中NO(一酸化窒素)濃度	387	444	236	
血液ガス	6,124	6,084	5,234	
神経伝導速度	84	94	98	
簡易型睡眠時無呼吸検査	45	53	34	
計		53,570	52,523	55,348

※2 内訳

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
病理	組織診	3539	4570	3783
	迅速組織診断	129	134	103
	細胞診	5547	7756	6792
	免疫染色	3517	3426	2466
	剖検数	8	8	4
	合計	12740	15894	13148
細菌	一般塗抹	7542	7560	4768
	一般培養	8892	8597	5248
	嫌気培養	734	581	738
	感受性テスト	8441	8092	4897
	TB塗抹	985	1133	713
	真菌培養	937	923	432
	結核菌DNA	29	17	7
	合計	27560	26903	16803

※1【 】は入院棟の依頼件数（病理・細菌検査は入院棟で検査）ノロウイルス抗原・CDトキソは一般の統計へ

(3) 血液製剤

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
照射赤血球RBC	4,512	5,078	3,555
照射洗浄赤血球	0	0	0
照射白血球除去赤血球	0	0	0
照射濃厚血小板	10,740	12,050	6,300
照射濃厚血小板HLA	0	395	280
新鮮凍結血漿	1,010	508	406

(4) 循環器科（非観血的検査）

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
負荷心電図	237	286	233
ホルター心電図	474	288	225
リアルタイム心電図	0	0	0
24時間血圧測定	0	0	0
血圧脈波検査	742	833	610
心エコー図	3,875	3,845	3,061
経食道エコー	27	19	5
計	5,355	5,271	4,134

※2 内訳

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
病理	組織診	(1,672) ※3	(1,991) ※3	(1,559) ※3
	迅速組織診断	(0) ※3	(0) ※3	(0) ※3
	細胞診	(5,059) ※3	(7,236) ※3	(6,324) ※3
	免疫染色	(0) ※3	(0) ※3	(0) ※3
	剖検数	(0) ※3	(0) ※3	(0) ※3
	細菌	一般塗抹	(3,950) ※3	(4,204) ※3
一般培養		(4,334) ※3	(4,483) ※3	(2,610) ※3
嫌気培養		(190) ※3	(134) ※3	(232) ※3
感受性テスト		(3,982) ※3	(4,120) ※3	(2,325) ※3
TB塗抹		(605) ※3	(698) ※3	(380) ※3
結核菌DNA		(11) ※3	(7) ※3	(1) ※3

※1【 】は外来棟の依頼件数、病理・細菌・輸血検査は入院棟で検査

12. リハビリテーション室

【入院】

(1) 延患者数 (単位:人)

区分	30年度	元年度	2年度
理学療法	53,407	51,184	52,577
作業療法	27,475	23,549	22,518
言語聴覚療法	12,185	14,718	14,509
合計	93,067	89,451	89,604

(2) 療法単位数

(単位:件)

区分	平成30年度				令和元年度				令和2年度			
	理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語	
脳血管 (1単位)	10,458	4,326	3,217	2,915	9,938	3,535	3,384	3,019	9,671	3,934	2,295	3,442
脳血管 (2単位)	17,187	7,741	5,632	3,814	14,703	6,127	4,040	4,536	15,868	6,521	4,975	4,372
脳血管 (3単位)	8,972	4,355	3,993	624	9,530	5,110	3,858	562	9,470	5,104	3,883	483
脳血管 (4単位)	427	289	126	12	308	247	54	7	313	244	63	6
廃用 (1単位)	15,957	9,230	3,948	2,779	18,917	10,861	4,148	3,908	17,306	10,130	3,992	3,184
廃用 (2単位)	9,938	5,709	2,576	1,653	10,694	6,541	1,915	2,238	10,529	6,955	2,469	1,105
廃用 (3単位)	657	419	170	68	839	578	188	73	560	397	140	23
廃用 (4単位)	2	1	1	0	1	0	1	0	5	5	0	0
運動器 (1単位)	3,951	2,680	1,271	—	3,250	1,997	1,253	—	3,251	2,269	982	—
運動器 (2単位)	9,477	7,464	2,013	—	6,518	5,405	1,113	—	6,274	5,094	1,180	—
運動器 (3単位)	3,579	3,179	400	—	3,933	3,700	233	—	4,020	3,586	434	—
運動器 (4単位)	76	72	4	—	68	67	1	—	33	28	5	—
呼吸器 (1単位)	690	591	99	—	724	641	83	—	4,857	3,408	1,449	—
呼吸器 (2単位)	617	504	113	—	588	530	58	—	2,248	1,803	445	—
呼吸器 (3単位)	18	16	2	—	26	23	3	—	83	76	7	—
がんリハ (1単位)	6,290	4,207	1,834	249	5,437	3,483	1,766	188	2,853	1,720	983	150
がんリハ (2単位)	2,558	1,276	1,232	50	2,295	1,294	881	120	1,311	781	500	30
がんリハ (3単位)	145	75	68	2	87	72	12	3	52	27	24	1
心大血管 (1単位)	1,494	901	593	—	1,025	622	403	—	303	201	102	—
心大血管 (2単位)	518	343	175	—	477	345	132	—	354	258	96	—
心大血管 (3単位)	12	9	3	—	22	3	19	—	35	34	1	—
摂食機能療法	18	—	—	18	64	—	—	64	62	—	—	62
総合計画評価	4,978	3,160	1,557	261	4,829	3,110	1,400	319	4,245	2,852	1,163	230
早期リハビリ加算	53,623	30,071	15,702	7,850	88,092	49,242	22,245	16,605	62,460	36,616	15,549	10,295
退院前訪問指導	83	50	33	—	68	47	21	—	72	56	16	—
合計	151,725	86,668	44,762	20,295	182,433	103,580	47,211	31,642	156,235	92,099	40,753	23,383

(3) 診療科別新患者数

(単位:人)

区分	平成30年度				令和元年度				令和2年度			
	理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語	
内科	3394	1431	1413	550	3830	1606	1587	637	3426	1445	1420	561
小児科	9	4	4	1	2	1	1	0	6	3	3	0
外科	1135	544	550	41	1114	524	528	62	950	449	449	52
整形外科	1230	585	579	66	1083	512	506	65	1212	558	554	100
脳神経外科	1632	546	549	537	1654	554	556	544	1782	610	592	580
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	107	49	49	9	114	51	52	11	93	44	43	6
産婦人科	23	11	11	1	8	4	3	1	33	16	16	1
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7,530	3,170	3,155	1,205	7,805	3,252	3,233	1,320	7,502	3,125	3,077	1,300

(4) 疾患別新患者数

(単位:人)

区分	30年度	元年度	2年度
脳血管疾患	582	583	552
廃用症候群	1,210	1,085	1,155
運動器	531	603	391
呼吸器	95	119	407
がんリハ	556	579	322
心大血管疾患	148	133	42
その他	1	0	0
合計	3,123	3,102	2,869

※その他は摂食機能療法

【外来】

(1) 延患者数 (単位:人)

	30年度	元年度	2年度
理学療法	4,761	2,489	3,789
作業療法	4,057	3,617	2,689
言語聴覚療法	443	431	83
訪問 (はるかぜ)	4,042	2,556	2,271
訪問 (外来)	1,899	3,788	3,377

(2) 療法単位数 (単位:件)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度					
	理学	作業	言語	理学	作業	言語	理学	作業	言語			
脳血管 (1単位)	203	39	152	12	252	66	182	4	267	42	225	0
脳血管 (2単位)	864	155	347	362	969	164	427	378	268	62	127	79
脳血管 (3単位)	103	7	48	48	91	26	32	33	9	6	0	3
廃用 (1単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用 (2単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用 (3単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運動器 (1単位)	5263	2,766	2,497	—	2984	943	2,041	—	2583	692	1,891	—
運動器 (2単位)	2144	1,226	918	—	1673	741	932	—	891	448	443	—
運動器 (3単位)	166	71	95	—	39	38	1	—	38	38	0	—
呼吸器 (1単位)	364	364	0	—	357	357	0	—	132	132	0	—
呼吸器 (2単位)	113	113	0	—	130	130	0	—	113	113	0	—
呼吸器 (3単位)	18	18	0	—	6	6	0	—	5	5	0	—
摂食機能療法	21	—	—	21	16	—	—	16	0	—	—	0
総合計画評価	1577	740	775	62	1225	437	711	77	977	348	607	22
外来リハ診療料1	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外来リハ診療料2	12	3	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10851	5,502	4,835	514	7742	2,908	4,326	508	5283	1,886	3,293	104

(3) 診療科別新患者数 (単位:人)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度					
	理学	作業	言語	理学	作業	言語	理学	作業	言語			
内科	208	133	57	18	238	179	48	11	161	131	25	5
小児科	25	13	5	7	37	14	7	16	10	7	1	2
外科	92	69	22	1	120	64	52	4	118	72	46	0
整形外科	1190	609	581	0	837	335	502	0	767	276	491	0
耳鼻咽喉科	3	0	0	3	1	0	0	1	0	0	0	0
脳神経外科	210	31	130	49	319	56	184	79	151	38	92	21
泌尿器科	0	0	0	0	1	1	0	0	5	5	0	0
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	6	6	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透析科	0	0	0	0	3	3	0	0	1	1	0	0
計	1734	861	795	78	1557	653	793	111	1215	532	655	28

(4) 疾患別新患者数 (単位:人)

区分	30年度	元年度	2年度
脳血管疾患	72	73	53
廃用症候群	0	0	0
運動器	351	171	258
呼吸器	57	72	55
摂食嚥下療法	11	16	0
合計	491	332	366

1 3. 栄養室

(1) 患者食延数

(単位：人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常食	73,577	64,807	59,290
軟食	84,149	73,324	60,584
流動食	17,839	13,849	13,722
特別食	111,842	122,036	105,121
調乳	949	950	711
合計	288,356	274,966	239,428

(2) 栄養指導

(単位：件)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
栄養指導	1,229	896	2,125	1,126	800	1,926	1,084	652	1,736
集団栄養指導（糖尿病）	—	0	0	33	—	33	48	—	48
栄養管理計画書	3,451	—	3,451	3,552	—	3,552	2,810	—	2,810
病棟訪問	9,056	—	9,056	10,005	—	10,005	9,616	—	9,616
糖尿病透析 予防指導	—	8	8	—	33	33	—	72	72
人間ドック	—	139	139	—	127	127	—	97	97
母親学級	—	28	28	—	60	60	—	10	10
在宅酸素外来栄養相談	—	0	0	—	—	—	—	—	0
特定検診	—	0	0	—	—	—	—	—	0
緩和ケア個別栄養食事加算	116	—	116	39	—	39	—	—	0
合計	13,852	1,071	14,923	14,755	1,020	15,775	13,558	831	14,389

(3) 栄養指導件数内訳

(単位：件)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
糖尿病	170	369	539	243	426	669	243	327	570
腎臓病	131	219	350	144	220	364	117	159	276
消化器	100	12	112	89	7	96	120	3	123
心臓病	142	11	153	128	8	136	74	6	80
脂質異常症	114	109	223	133	41	174	111	23	134
癌	324	106	430	228	50	278	279	77	356
その他	248	65	313	161	48	209	140	57	197
合計	1,229	891	2,120	1,126	800	1,926	1,084	652	1,736

1 4. 人工透析室

(1) 患者延数

(単位：人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
年間透析回数	13,537	14,034	14,512
入院	1,233	1,242	1,435
外来	12,304	12,792	13,077
昼間	12,238	12,735	13,003
出張	66	57	74

15. 患者支援センター

1. 紹介患者状況

(人)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
被紹介	10,516	10,523	8,625
戻し紹介	2,184	2,162	1,512
逆紹介	7,971	8,250	6,202

2. 診療科別紹介患者状況

(人)

区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	紹介	戻し紹介	逆紹介	紹介	戻し紹介	逆紹介	紹介	戻し紹介	逆紹介
内科	3,879	872	3,087	3,934	877	3,518	3,253	583	2,531
心療内科	69	5	247	25	1	410	1	1	31
神経内科	179	5	93	197	5	104	135	4	88
小児科	1,165	270	399	1,049	339	355	742	201	210
外科	1,120	209	819	1,073	141	784	923	126	797
整形外科	919	114	1,443	903	82	1,249	709	34	857
脳神経外科	546	106	708	641	115	713	455	109	726
皮膚科	212	7	18	260	6	30	172	2	21
泌尿器科	695	100	229	648	100	351	515	45	272
産婦人科	493	12	150	476	4	119	456	1	101
眼科	181	10	154	193	5	244	146	0	141
耳鼻咽喉科	123	1	63	139	1	83	118	0	53
放射線診断科	393	376	0	373	373	0	363	363	0
放射線治療科	21	15	40	20	5	26	10	5	18
麻酔科	7	0	1	9	0	2	11	0	1
救急科	104	29	245	0	0	0	0	0	0
リハビリ科	2	2	4	0	0	1	0	0	9
歯科口腔外科	370	0	258	550	108	245	562	38	328
形成外科	38	51	13	33	0	16	54	0	18
合計	10,516	2,184	7,971	10,523	2,162	8,250	8,625	1,512	6,202

3. 地域別被紹介人数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
藤岡市	3,697	3,703	3,182
多野郡	167	181	127
高崎市	1,872	1,891	1,546
富岡市	141	188	138
前橋市	778	746	547
伊勢崎・佐波	244	310	254
その他県内	225	189	145
本庄市	1,525	1,494	1,250
児玉郡	1,281	1,270	1,059
その他埼玉県	323	275	188
その他県外	263	276	189
合計	10,516	10,523	8,625

5. 入退院支援室 入院予約患者対応人数

診療科	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内科	1,075	1,234	1,017
小児科	39	32	41
外科	686	725	604
整形外科	339	332	248
脳神経外科	21	41	24
皮膚科	43	2	3
泌尿器科	417	377	327
産婦人科	338	332	298
眼科	113	102	79
歯科口腔外科	39	49	75
総合計	3,110	3,226	2,716

4. 医療福祉相談件数 (延べ件数)

医療相談実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度
合計	24,178	24,573	24,706

16. 健診センター

(1) 人間ドック

(単位：件)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1泊2日ドック	134	121	100
日帰りドック	3,825	3,751	3,400
脳ドック	90	84	74
PET-CT	11	26	13
計	4,060	3,982	3,587

(2) 健康診断

(単位：件)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
生活習慣病	1,844	1,915	1,781
企業健診	2,938	2,797	2,940
就業・入学	337	259	317
乳・甲状腺	544	677	507
婦人科検診	292	398	322
特定健診	214	208	166
特定保健指導	46	44	27
計	6,215	6,298	6,060

17. 母親学級（マザーズクラス）

(1) 開催内容

課程	担当	日時	場所	内容	延べ人数
1回目	助産師 栄養士	第2金曜日 13:30～15:30	大会議室	自己紹介 妊娠中の生活 おっぱいの手入れ 妊娠中の栄養 お産の準備 赤ちゃん用品の準備 赤ちゃんのおふろ	14人
2回目	助産師	第3金曜日	大会議室	入院の時期 入院中の生活 諸届 分娩の進み方と 呼吸法・補助動作 病棟見学	13人

IX 群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室

(1) 開設までの経緯

昭和 53 年 6 月、小児科病棟が開設。

昭和 54 年 4 月 1 日から、小児科慢性疾患等による長期入院患者を受け入れる。それに伴い、群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校による当院への訪問教育が始まる。

地域住民から就学に対する不安の解消、入院設備の充実などを理由として、養護学校設立と小児科病棟増床の請願書が出される。

昭和 59 年からの病院増床に伴い、昭和 60 年 4 月 1 日、群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室として開設される。

(2) 沿革

年 月 日	記 事
昭和 54 年 4 月 1 日	群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校に訪問教育部が開設され、多野総合病院への訪問教育開始。 教職員数 非常勤講師 1 名
昭和 56 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 1 名、非常勤講師 1 名
昭和 57 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 2 名
昭和 60 年 4 月 1 日	多野総合病院内西 2 階病棟 3 部屋 56.00 m ² (共用部分を含む) を多野総合病院内分教室として建物使用許可。 群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開設 許可学級数 3 (小学部 2、中学部 1) 教職員数 教諭 3 名、応援教諭 1 名 (本校より) 教室等 普通教室 2、職員室 1
昭和 60 年 4 月 10 日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開校式
昭和 61 年 1 月 21 日	校舎移動 (西 2 階病棟の 2 部屋へ) 教室等 普通教室 2、職員室 0
昭和 61 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 3 名、非常勤講師 1 名
昭和 61 年 6 月 13 日	校舎移動 (西 2 階病棟の 4 部屋 75.66 m ² へ) 教室等 普通教室 3、職員室 1
昭和 62 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 4 名
平成 2 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 5 名
平成 4 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 6 名
平成 6 年 4 月 1 日	許可学級数 4 (小学部 2、中学部 2)
平成 9 年 4 月 1 日	群馬県立西毛養護学校と群馬県立東毛養護学校が統合され、群馬県立赤城養護学校が開校。

平成 13 年 4 月 1 日	群馬県立赤城養護学校公立藤岡総合病院分教室に改称。 許可学級数 5 (小学部 3、中学部 2) 教職員数 教諭 7 名
平成 14 年 8 月 12 日	校舎移動(事務棟 140.18 m ² へ) 教室等 普通教室 5、職員室 1、多目的室 1
平成 16 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 6 名
平成 21 年 12 月 1 日	テレビ会議システムの導入
平成 25 年 4 月 1 日	許可学級数 6 (小学部 3 + 重複学級 1、中学部 2) 教職員数 教諭 5 名
平成 27 年 4 月 1 日	群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室に改称。 許可学級数 5 (小学部 3、中学部 2)
平成 29 年 11 月 8 日	病院移転に伴い、新病棟で授業開始。
平成 30 年 2 月 9 日	校舎移転 (外来棟 32 m ²) 普通教室 1、職員室 1

(3) 児童生徒数 (年度内在籍児童生徒数)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
児童生徒数	10	11	11	4	4	8	1

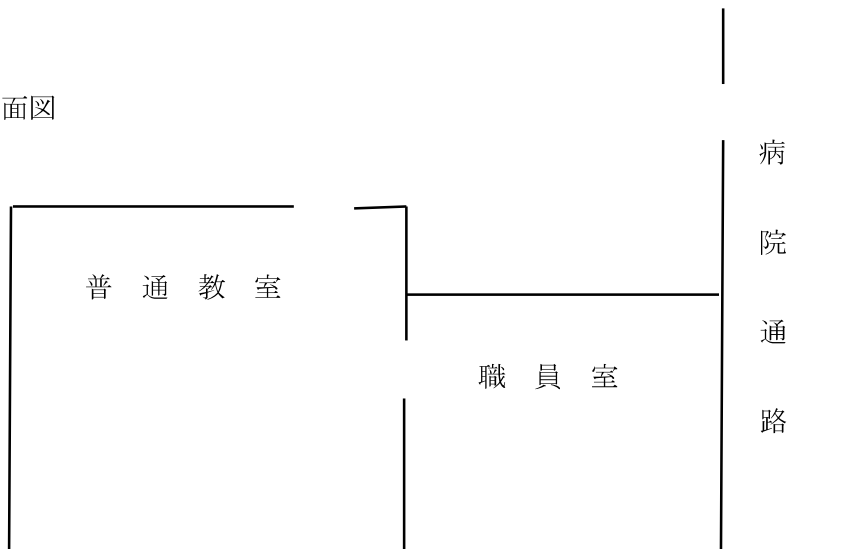
(4) 教育目標

児童生徒一人一人が、自己を大切にするとともに自立と社会参加を目指して自ら学び、好ましい人間関係の中で明るく元気に明日へ向かって生きる豊かな人間性を身に付ける。

(5) 学校病棟連絡会議

学校病棟連絡会議は学校教職員と病院小児科担当医師、小児科看護師長等が参加し、学校・病院運営の相互の理解、学校行事、学習指導、生活指導、児童生徒の病状等の事項を連絡協議して連携を図るものである。

(6) 校舎平面図



介護老人保健施設事業

介護老人保健施設

【しらさぎの里】

訪問看護ステーション

【はるかぜ】

理 念

利用者本位のサービス

基本方針

1. 利用者の人権を尊重し、上質なサービスを提供します。
2. 安全に配慮したチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。
3. 医療・他機関、地域と連携し、総合的に在宅支援を行います。

I 施設の現況

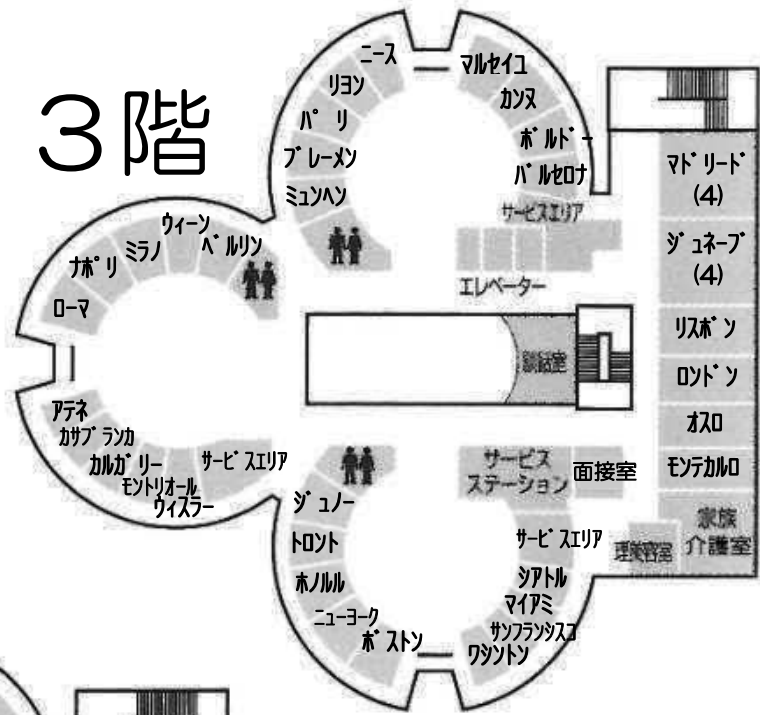
1. 施設の概要（令和3年3月31日現在）

名 称	介護老人保健施設しらすぎの里	
所在地	群馬県藤岡市中栗須519番地2	
電話番号等	TEL. 0274-24-6633 FAX. 0274-24-6634 E-mail : sirasagi@fujioka-hosp.or.jp URL : http://www.fujioka-hosp.or.jp/shirasagi/	
開設者	多野藤岡医療事務市町村組合 管理者 新井 雅博	
設立年月日	平成 9年 7月 1日	
構成市町村	藤岡市、神流町、上野村、高崎市	
施設長	河合 弘進	
定員	入所 80人（内、短期入所 20人） 一般療養棟 40人 認知症専門棟 40人 通所 50名	
サービス種類	介護老人保健施設	平成 9年 7月 1日許可
	通所リハビリテーション	平成 9年 7月 1日許可
	短期入所療養介護	平成 9年 7月 1日許可
	介護予防通所リハビリテーション	平成 9年 7月 1日許可
	介護予防短期入所療養介護	平成 9年 7月 1日許可
	居宅介護支援事業	平成11年 9月30日指定
面積及び構造	敷地面積 5,017㎡	
	延床面積 4,300㎡	
	1階 1,587㎡	通所リハビリテーション部門、管理部門
	2階 1,363㎡	一般療養棟部門
	3階 1,350㎡	認知症専門棟部門
	構 造 鉄筋コンクリート造 3階建	
訪問看護	訪問看護ステーション「はるかぜ」（公立藤岡総合病院内）	

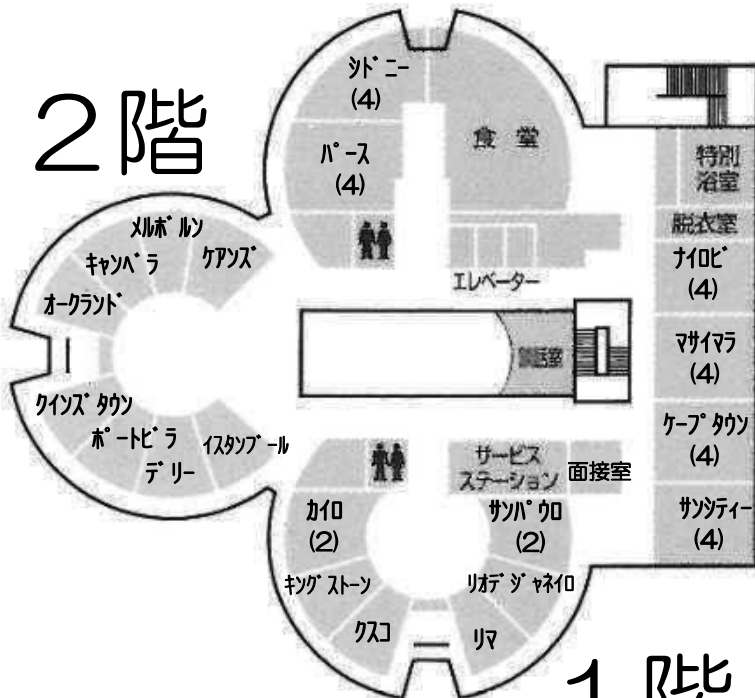
平面図

敷地面積	5,017m ²
延床面積	4,300m ²
3階	1,350m ²
2階	1,363m ²
1階	1,587m ²

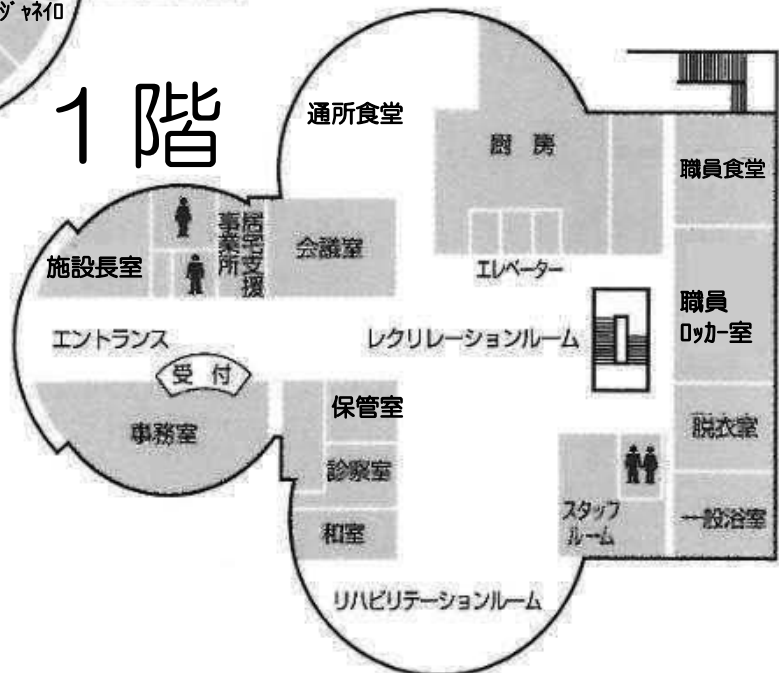
3階



2階



1階



注. 入所定員40名()内に数字の入っていない部屋はすべて個室です。

2. 歴史と沿革

平成 8年 8月16日	土地収用法による事業（新築工事）認定（用第252号）
8月23日	老人保健施設建築工事着工
平成 9年 5月30日	老人保健施設建築工事竣工
7月 1日	老人保健施設開設許可（群馬県指令高第67号） 老人保健施設分40人、痴呆加算対象分40人、通所分40人
	初代老人保健施設長 大野 治俊（群馬県指令高第68号）
	痴呆専門棟入所者基本施設療養費加算届出受理（高第171号）
8月 1日	生活保護法による医療機関指定（藤第86号） 老人訪問看護ステーション指定（高第249号）
平成10年 2月27日	老人保健施設入所者基本施設療養費（Ⅱ）届出受理（高第571号）
5月28日	老人保健施設痴呆性老人通所加算届出受理（高第169号） 通所定員40人中10人
10月20日	老人保健施設痴呆性老人通所加算変更届出受理（高第392号） 通所定員40人中10人⇒20人
12月 1日	老人保健施設開設許可事項の変更 短期入所5床⇒20床
平成11年 4月 1日	第2代老人保健施設長 栗原 寛（群馬県指令高第3号） 老人保健施設開設許可事項の変更 通所定員40人⇒50人
9月30日	指定居宅介護支援事業者指定（群馬県指令高第124-199号）
平成12年 4月 1日	介護保険法施行に伴う名称変更 介護老人保健施設、訪問看護ステーション 生活保護法による介護機関指定 介護老人保健施設（介み藤第86号） 通所リハビリテーション（藤介第13号） 短期入所療養介護（藤介第13号） 居宅介護支援事業（藤介第13号）
	原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関指定 老人保健施設（保予第164号）
平成13年 5月 1日	訪問リハビリテーション開始
平成17年10月 1日	栄養管理体制及び栄養ケア・マネジメントに関する届出
平成19年 4月 1日	第3代介護老人保健施設長 田中 壮佑（群馬県指令介高第608-31号）
10月 1日	祭日通所リハビリテーション実施
平成20年 3月21日	指定居宅介護支援事業者指定変更（群馬県指令介高第30133-55号） 平成20年4月1日～平成26年3月31日
3月31日	介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-22号） 平成20年4月1日～平成26年3月31日
5月30日	生活保護法による介護機関指定（藤介第13号） 介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所療養介護
6月12日	口腔機能向上体制加算の届出
平成21年 3月 3日	平成21年4月介護報酬改定に伴う届出 通所リハビリテーション大規模型（Ⅰ）月平均利用者数751～900人
3月31日	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）に関する届出 介護老人保健施設、（介護予防）短期入所療養介護 （介護予防）通所リハビリテーション
	夜勤職員配置加算に係る届出 介護老人保健施設、（介護予防）短期入所療養介護
	特定事業所加算に係る届出 居宅介護支援事業
7月21日	原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関指定（群馬県指令保予第722-36号）
10月 1日	事業所評価加算の届出 介護予防通所リハビリテーション
平成23年 4月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算の届出
平成24年11月 1日	喀痰吸引等（特定行為）事業者登録（介高第30243-9号）
平成26年 4月 1日	在宅強化型介護老人保健施設の届出 介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-15号） 平成26年4月1日～平成32年3月31日
	指定居宅介護支援事業所指定更新（群馬県指令介高第30221-1号） 平成26年4月1日～平成32年3月31日
平成27年 4月 2日	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）に関する届出 介護老人保健施設、（介護予防）短期入所療養介護 （介護予防）通所リハビリテーション
10月21日	禁煙認定施設屋内禁煙（建物全体）の認定
平成28年 8月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算介護老人保健施設の届出
平成29年 4月 1日	第4代介護老人保健施設長 河合 弘進（群馬県指令介高第608-18号）
令和元年 8月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ）の届出

II 職員の現況

1. 職員数

職員の年度別推移（各年度末）

[単位：人]

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

部門・職種別	平成30年度			令和元年度			令和2年度			
	職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	会計年度職員		
診療部	医師	1		1		1	1		1	
	計	1	0	1	1	0	1	0	1	
診療支援部	理学療法士	2	2		1	1		1	1	
	作業療法士	2	2		2	2		2	2	
	栄養士	1	1		1	1		1	1	
	計	5	5	0	4	4	0	4	4	0
看護部	看護師	5	5		3	3		5	5	
	再任用	1	1		1	1		0	0	
	准看護師	5	5		5	5		5	5	
	再任用	1	1		2	2		3	3	
	介護福祉士	20	19	1	19	18	1	20	19	1
	介護職員	5	1	4	5	1	4	3	1	2
計	37	32	5	35	30	5	36	33	3	
経営管理部	事務員	1	1		1	1		1	1	
	再任用	1	1		1	1		1	1	
	介護支援専門員	5	5		5	5		5	5	
計	7	7	0	7	7	0	7	7	0	
合計	50	44	6	47	41	6	48	44	4	

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

部門・職種別	平成30年度			令和元年度			令和2年度			
	職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	会計年度職員		
看護部	看護師	10	7	3	8	6	2	9	7	2
	再任用				1	1		1	1	
計	10	7	3	9	7	2	10	8	2	

2. 主要役職員名簿

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

職名	氏名	職名	氏名
診療部 施設長	河合 弘進	経営管理部 しらさぎ管理課長	中里 光夫
看護部 看護師長	武井 浩之	しらさぎ管理課課長補佐	中野 俊幸
介護グループGL	金田 夏樹	支援相談担当GL	松原 一重
診療支援部 リハビリテーション室GL	品田 さゆり	支援相談員	柳井 紀道
栄養室管理栄養士	渡邊 恵子	施設介護支援専門員	長坂 美樹

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

職名	氏名
看護部 看護師長	山口 明子

Ⅲ 学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	参加者数
しらさぎの里			
安全運転管理者講習	藤岡市	7月	1人
福祉避難所説明会	藤岡市	7月	1人
医療安全研修(苦情対応のポイント)	eラーニング	7月	43人
第117回日本内科学会総会・講演会	LIVE配信視聴	8月	1人
第63回日本腎臓学会学術総会	オンデマンド配信視聴	8月	1人
看護・介護職員研修運営委員会	前橋市	9月	1人
在宅復帰率強化に向けた研修会	オンライン研修	10月	2人
第65回日本透析医学会学術集会	LIVE配信視聴	11月	1人
事業継続計画策定に向けた研修会	オンライン研修	11月	2人
群馬県栄養士会委託事業講話、栄養相談	藤岡市	11月	1人
令和2年度給食関係者講習会	書面開催	11月	1人
令和2年教育セミナー(糖尿病療養指導士更新講習)	eラーニング	12月	1人
後期医療安全必須研修(医療安全とヒューマンエラー)	eラーニング	1月	44人
令和2年度看護・介護職員研修基礎講座	オンライン研修	1月	1人
令和2年度安全衛生研修会	藤岡市	2月	1人
藤岡市等介護認定審査会新任委員研修	藤岡市	3月	1人
訪問看護			
精神科訪問看護研修会～精神科訪問看護基本療養費算定要件となる研修会～	Web研修	10月	1人

施設内研修会

開催月	開催日	内容	講師	受講人数
4月	4月22日	医療安全対策	看護師長 武井浩之	11
	4月22日	身体的拘束等の適正化について	看護師長 武井浩之	49
	4月22日	高齢者虐待防止・高齢者権利擁護について	看護師長 武井浩之	49
5月	5月12日	心房細動による塞栓症	施設長 河合弘進	11
	5月19日～ 31日	宿泊療養における感染対策	厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部監修 YouTube	18
	5月26日	VPショットについて	施設長 河合弘進	9
	5月27日	①高齢者介護施設における感染対策2 ②交通事故防止研修	①看護師長 武井浩之 ②管理課 中野俊幸	49
6月	6月11日	十二指腸乳頭部癌周辺臓器について	施設長 河合弘進	9
7月	7月22日	福祉避難所について	管理課 中野俊幸	59
8月	8月12日	洞不全症候群について	施設長 河合弘進	8
	8月26日	BLS研修	看護師長 武井浩之	59
9月	9月1日	身体的拘束等の適正化のための研修 「ストレスマネジメント」	看護師長 武井浩之	6
	9月23日	皮膚裂傷予防について	一般療養棟 看護師 安部美由紀、 准看護師 安原和子、介護福祉士 尾池正典	26
10月	10月19日～ 30日	BLS研修(実技編)	看護師長 武井浩之(認知症専門棟 班)、看護師 安部美由紀(一般療 養棟班)	21
12月	12月7日～ 9日	①県老人保健施設協会オンライン研修「ストレス対策 のためのアロカ・マネジメント」②③「ストレス対策のた めのアロカ・マネジメント」伝達講習	①社労士法人・行政書士 こばやし 事務所 代表 小林浩志氏 ②③理学療法士 水間武央	43
	12月11日	褥瘡について	看護師 成瀬絵梨佳	5
	12月15日	褥瘡について②	看護師 成瀬絵梨佳	6
	12月23日	高齢者疾患の特徴	施設長 河合弘進	14
1月	1月27日	感染症予防に関する研修 ①標準予防策と感染経路別予防策 ②感染拡大防止のための職員の健康管理	看護師長 武井浩之	21
	1月28日	群馬県老人保健施設協会令和2年度看護・介護 職員研修基礎講座(オンライン研修) 「食事介助・誤嚥」&は食べられるサイン!?	医療法人大誠会内田病院 伊東七奈子	3
2月	2月9日	手指衛生の必要性と正しい個人防護具の着脱	感染制御実践看護学講座 公立藤岡総合病院看護師 金子美佐	10
	2月18日	末梢神経の障害と症状	施設長 河合弘進	8
3月	3月24日	新型コロナウイルス感染症に関して	看護師長 武井浩之	17

IV 教育実習生・研修生受入実績

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

学校・団体・研修名	人数	延人数	期間（日数）	内容	
藤岡准看護学校	15	96	9/14～11/27	臨地実習	4～8日間/1人
群馬医療福祉大学	23	92	9/7～11/13	高齢者看護学実習I	4日間/1人
群馬医療福祉大学	1	18	9/7～10/2（18）	作業療法専攻4年生総合臨床実習II	18日間/1人
合計	24	110			

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

学校・団体・研修名	人数	延人数	機関（日数）	内容	
藤岡准看護学校	12	12	8/6～11/13	臨地実習	1人/1日
群馬医療福祉	43	43	9/7～11/19	臨地実習	1人/半日
群馬県看護協会	1	1	10/28	訪問看護研修「入門プログラム」	1人1日
	1	1	11/13	訪問看護研修「指導者編」	1人1日
合計	57	57			

V 経営状況

1. 損益計算書

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

(単位：千円、%)

区分	平成30年度	令和元年度		令和2年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
施設運営事業収益	451,515	436,685	96.7	417,943	95.7
事業収益	448,403	433,616	96.7	409,578	94.5
施設介護収益	253,127	244,676	96.7	258,451	105.6
居宅介護収益	81,454	80,381	98.7	47,798	59.5
居宅介護支援収益	16,510	16,587	100.5	14,937	90.1
施設介護利用料収益	75,910	70,981	93.5	74,792	105.4
居宅介護利用料収益	17,977	17,808	99.1	10,901	61.2
その他事業収益	3,425	3,183	92.9	2,700	84.8
事業外収益	3,112	3,069	98.6	5,465	178.1
受取利息及び配当金	1	1	100.0	1	100.0
長期前受金戻入	1,602	1,602	100.0	1,602	100.0
その他事業外収益	1,509	1,466	97.2	1,349	92.0
補助金	0	0	—	2,513	—
特別利益	0	0	—	2,900	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
施設運営事業費用	486,275	463,080	95.2	482,053	104.1
事業費用	473,099	451,252	95.4	468,711	103.9
給与費	333,368	313,272	94.0	328,430	104.8
材料費	36,494	35,740	97.9	36,505	102.1
経費	42,853	42,066	98.2	40,707	96.8
委託費	35,993	37,103	103.1	40,449	109.0
減価償却費	22,501	21,838	97.1	21,633	99.1
資産減耗費	443	0	—	86	—
研究研修費	447	233	52.1	113	48.5
長期前払消費税償却	1,000	1,000	100.0	788	78.8
事業外費用	13,176	11,828	89.8	10,442	88.3
支払利息及び企業債取扱諸費	13,176	11,828	89.8	10,442	88.3
雑損失	0	0	—	0	—
特別損失	0	0	—	2,900	—
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	0	0	—	0	—
その他特別損失	0	0	—	2,900	—
収支差引	△ 34,760	△ 26,395	△ 75.9	△ 64,110	△ 242.9

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

(単位：千円、%)

区分	平成30年度	令和元年度		令和2年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
訪問看護事業収益	126,048	101,084	80.2	101,934	100.8
事業収益	125,811	100,969	80.3	99,798	98.8
訪問看護療養収益	70,914	50,758	71.6	52,574	103.6
介護保険訪問看護療養収益	41,505	39,799	95.9	37,347	93.8
居宅介護支援助益	0	0	—	0	—
訪問看護利用料収益	8,391	5,724	68.2	5,502	96.1
介護保険利用料収益	5,001	4,688	93.7	4,375	93.3
事業外収益	237	115	48.5	136	118.3
受取利息及び配当金	162	4	2.5	1	25.0
その他事業外収益	75	111	148.0	135	121.6
特別利益	0	0	—	2,000	—
その他特別利益	0	0	—	2,000	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
訪問看護事業費用	72,045	67,496	93.7	80,526	119.3
事業費用	71,904	67,340	93.7	78,361	116.4
給与費	60,923	57,701	94.7	67,796	117.5
材料費	250	318	127.2	214	67.3
経費	7,855	7,641	97.3	8,857	115.9
減価償却費	2,644	1,613	61.0	1,440	89.3
資産減耗費	206	0	—	27	—
研究研修費	26	67	257.7	27	40.3
事業外費用	141	156	110.6	165	105.8
支払利息及び企業債取扱諸費	141	156	110.6	165	105.8
雑損失	0	0	—	0	—
特別損失	0	0	—	2,000	—
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	0	0	—	0	—
その他特別損失	0	0	—	2,000	—
収支差引	54,003	33,588	62.2	21,408	63.7

2. 貸借対照表

* 介護老人保健施設事業

(単位：千円、%)

区分	平成30年度	令和元年度		令和2年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
固定資産	770,348	805,897	104.6	847,819	105.2
有形固定資産	768,196	744,745	96.9	727,455	97.7
土地	82,546	82,546	100.0	82,546	100.0
建物	1,338,367	1,338,367	100.0	588,019	43.9
構築物	68,028	68,028	100.0	39,864	58.6
器械備品	44,786	44,786	100.0	2,178	4.9
車両	3,762	3,762	100.0	2,785	74.0
リース資産	34,773	34,773	100.0	12,063	34.7
減価償却累計額	804,066	827,517	102.9	846,444	102.3
無形固定資産	364	364	100.0	364	100.0
投資	1,788	60,788	3,399.8	120,000	197.4
流動資産	561,790	524,216	93.3	453,562	86.5
現金預金	471,788	439,560	93.2	372,838	84.8
未収金	90,002	84,656	94.1	80,724	95.4
資産合計	1,332,138	1,330,113	99.8	1,301,381	97.8
固定負債	603,985	549,296	90.9	496,411	90.4
企業債	392,574	342,470	87.2	291,031	85.0
リース債務	11,411	6,826	59.8	5,380	78.8
他会計借入金	200,000	200,000	100.0	200,000	100.0
流動負債	104,961	92,034	87.7	97,992	106.5
企業債	48,802	50,104	102.7	51,440	102.7
リース債務	4,893	4,585	93.7	4,098	89.4
未払金	12,320	12,030	97.6	13,152	109.3
引当金	34,309	23,163	67.5	27,095	117.0
その他流動負債	4,637	2,152	46.4	2,207	102.6
繰延収益	55,358	53,756	97.1	54,654	101.7
長期前受金	89,000	89,000	100.0	91,500	102.8
長期前受金収益化累計額	△ 33,642	△ 35,244	△ 104.8	△ 36,846	△ 104.5
資本金	413,500	473,500	114.5	533,500	112.7
自己資本金	413,500	473,500	114.5	533,500	112.7
剰余金	154,334	161,527	104.7	118,824	73.6
資本剰余金	10,149	10,149	100.0	10,149	100.0
利益剰余金	144,185	151,378	105.0	108,675	71.8
負債資本合計	1,332,138	1,330,113	99.8	1,301,381	97.8

3. 経営分析

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

区分	備 考	平成30年度	令和元年度	令和2年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	42.6%	47.7%	50.1%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	535.2%	569.6%	462.9%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	449.5%	477.6%	380.4%

介護老人保健施設

区分	備 考	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	92.9%	94.3%	86.7%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}} \times 100$	94.8%	96.1%	87.4%
利用率	一般	93.8%	87.0%	88.2%
1日平均利用者数	入所	75.0人	69.6人	70.8人
	入所日数	365日	366日	365日
	通所	42.5人	42.1人	26.7人
	通所日数	256日	257日	244日
1人1日当り診療収入	入所	12,328円	12,394円	12,902円
	通所	9,261円	9,082円	8,995円
事業収益に対する割合	職員給与費	74.3%	72.2%	80.2%

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

区分	備 考	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	175.0%	149.8%	126.6%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}} \times 100$	175.0%	149.9%	127.4%
1日平均利用件数	看護	41.9人	33.3人	34.2人
	リハビリ	16.6人	10.6人	10.1人
	訪問実日数	244日	241日	243日
事業収益に対する割合	職員給与費	48.4%	57.1%	67.9%

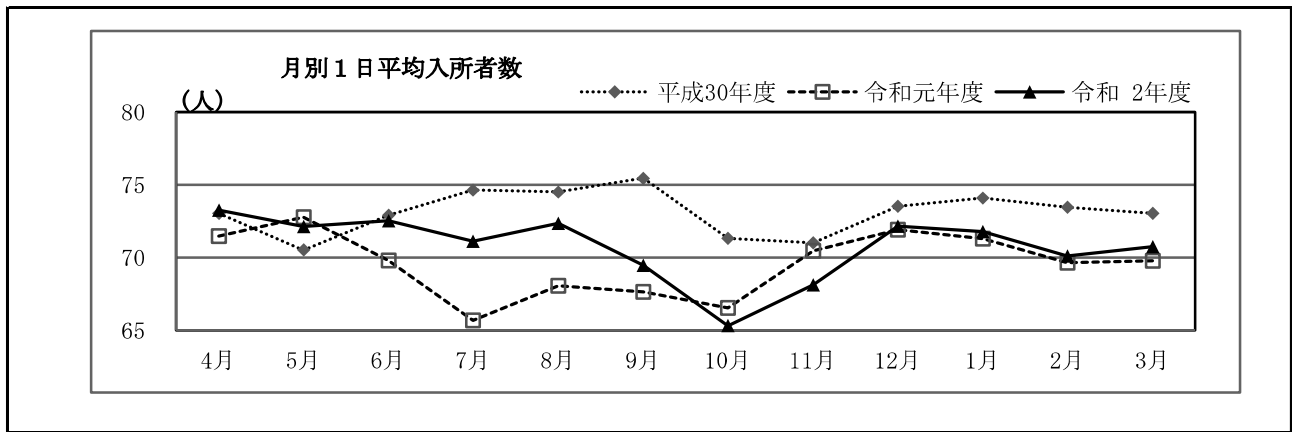
VI 業務統計

1. 介護老人保健施設しらさぎの里

(1) 施設サービス（入所利用者数）

[単位：人]

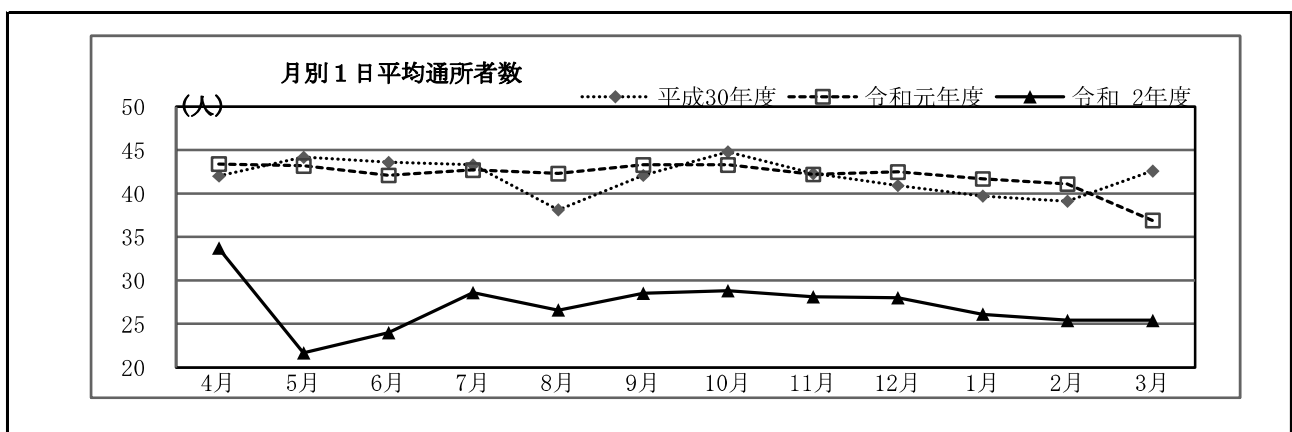
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	2,191	2,186	2,187	2,314	2,310	2,264	2,211	2,130	2,279	2,297	2,057	2,264	26,690
内リハ数	1,113	1,106	1,120	1,143	1,235	1,057	1,089	1,071	1,040	1,005	932	941	12,852
1日平均	73.0	70.5	72.9	74.6	74.5	75.5	71.3	71.0	73.5	74.1	73.5	73.0	73.1
令和元年度	2,144	2,256	2,094	2,036	2,110	2,029	2,063	2,114	2,229	2,210	2,020	2,163	25,468
内リハ数	931	897	921	977	974	899	889	916	933	827	775	902	10,841
1日平均	71.5	72.8	69.8	65.7	68.1	67.6	66.5	70.5	71.9	71.3	69.7	69.8	69.6
令和2年度	2,198	2,236	2,176	2,205	2,243	2,084	2,025	2,044	2,237	2,225	1,963	2,193	25,829
内リハ数	1,060	953	1,180	1,109	971	966	903	959	1,121	1,026	1,045	1,240	12,533
1日平均	73.3	72.1	72.5	71.1	72.4	69.5	65.3	68.1	72.2	71.8	70.1	70.7	70.8



(2) 居宅サービス（通所リハビリテーション利用者数）

[単位：人]

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	883	1,017	916	953	877	842	1,030	931	818	793	781	894	10,735
1日平均	42.0	44.2	43.6	43.3	38.1	42.1	44.8	42.3	40.9	39.7	39.1	42.6	41.9
令和元年度	954	993	841	983	931	910	996	887	850	833	821	812	10,811
1日平均	43.4	43.2	42.1	42.7	42.3	43.3	43.3	42.2	42.5	41.7	41.1	36.9	42.1
令和2年度	303	456	527	658	558	628	633	590	559	522	508	584	6,526
1日平均	33.7	21.7	24.0	28.6	26.6	28.5	28.8	28.1	28.0	26.1	25.4	25.4	26.7



(3) 居宅サービス（ショートステイ利用者数）

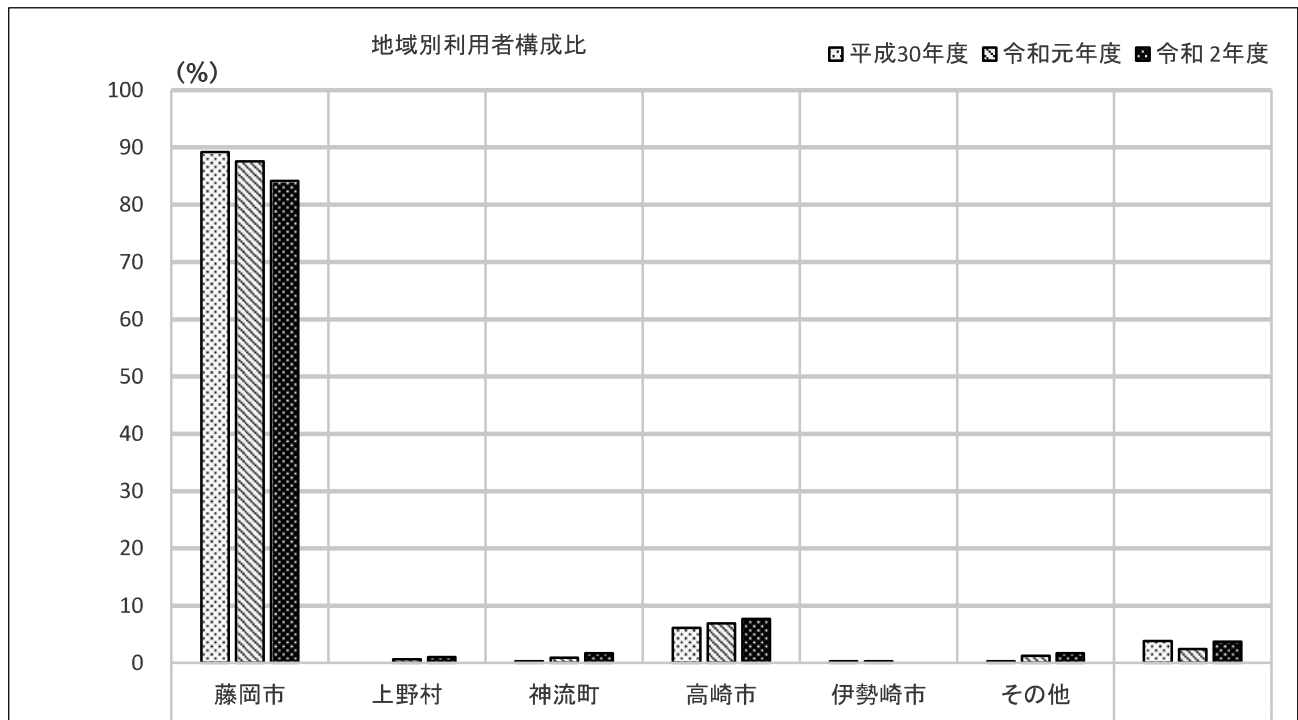
[単位：人]

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	4	11	15	18	38	13	9	7	2	14	0	5	136
令和元年度	37	35	16	11	25	31	13	3	8	8	12	0	199
令和2年度	23	18	2	0	4	15	15	27	0	0	19	9	132

(4) 地域別利用者数

[単位：人]

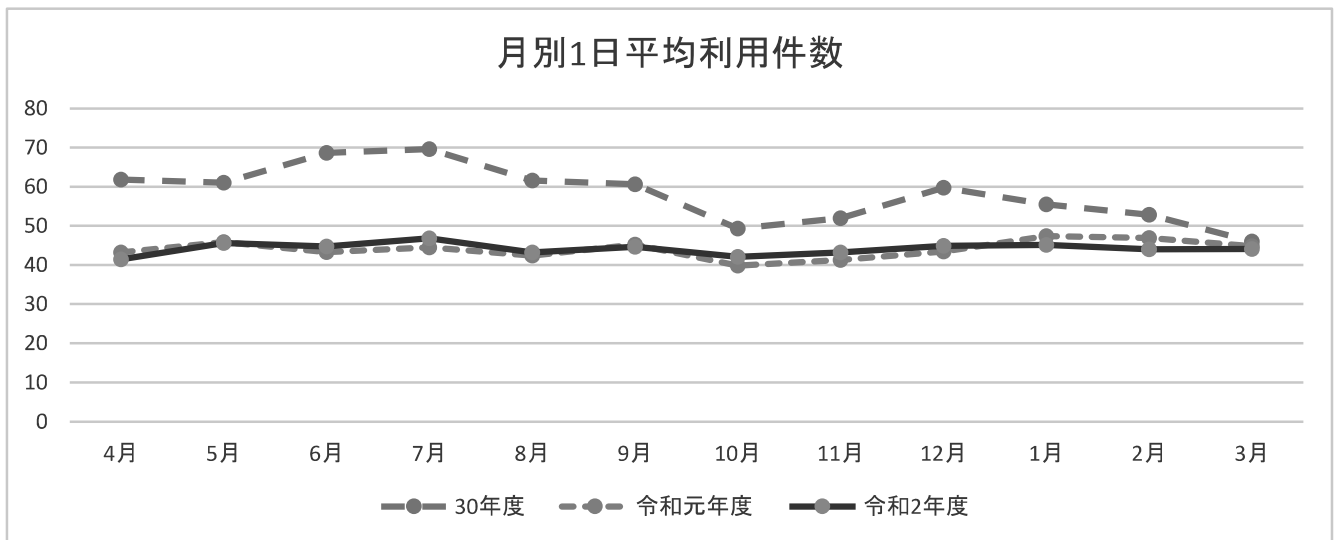
区分	県内	県内								県外	合計	
		藤岡市	上野村	神流町	高崎市	小計	伊勢崎市	その他	小計			
30年度	利用者数	330	306	0	1	21	328	1	1	2	13	343
	入所	119	98	0	1	18	117	1	1	2	11	130
	ショートステイ	9	9	0	0	0	9	0	0	0	1	10
	通所リハビリテーション	202	199	0	0	3	202	0	0	0	1	203
	構成比(%)	96.2	89.2	0.0	0.3	6.1	95.6	0.3	0.3	0.6	3.8	100.0
元年度	利用者数	322	289	2	3	23	317	1	4	5	8	330
	入所	132	104	2	3	19	128	1	3	4	8	140
	ショートステイ	11	11	0	0	0	11	0	0	0	0	11
	通所リハビリテーション	179	174	0	0	4	178	0	1	1	0	179
	構成比(%)	97.6	87.6	0.6	0.9	6.9	96.0	0.3	1.2	1.5	2.4	100.0
2年度	利用者数	285	249	3	5	23	280	0	5	5	11	296
	入所	128	99	2	4	19	124	0	4	4	11	139
	ショートステイ	9	8	0	1	0	9	0	0	0	0	9
	通所リハビリテーション	148	142	1	0	4	147	0	1	1	0	148
	構成比(%)	96.3	84.1	1.0	1.7	7.7	94.5	0.0	1.7	1.7	3.7	100.0



2. 訪問看護ステーション「はるかぜ」

(1) 月別利用者数

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数		911	822	984	983	864	892	928	821	899	857	805	1015	10589
	看護	706	635	728	775	679	706	715	622	685	657	618	773	8031
	リハビリ	205	187	215	208	185	186	213	199	214	200	177	242	2431
1日平均利用		41.4	45.6	44.7	46.8	43.2	44.6	42.1	43.2	44.9	45.1	44.0	44.1	44.1
	看護	33.0	35.0	33.0	36.9	33.9	35.3	32.5	32.7	34.2	34.5	34.0	33.6	34.0
	リハビリ	9.7	10.3	9.7	9.9	9.3	9.3	9.6	10.4	10.7	10.5	9.8	10.5	9.9
利用者数		142	140	142	150	142	134	140	139	146	145	139	142	1701
	看護	142	139	142	150	142	134	140	139	146	145	138	142	1699
	看護・リハ	31	31	30	31	28	24	28	32	34	35	32	31	367
	リハビリ主体	20	20	20	22	22	19	19	18	19	17	18	19	233



(2) 地域別利用者数

(単位: 人、%)

項目 市町村別	平成30年度		令和元年		令和2年度	
	利用者数	構成比	利用者数	構成比	利用者数	構成比
藤岡市	241	67	168	64	170	68
神流町	1	0	0	0	0	0
上野村	0	0	0	0	0	0
高崎市(吉井町)	7	2	9	3.4	13	5.2
高崎市	42	12	32	12.3	27	10.8
県内(その他)	4	1	0	0	0	0
県外	65	18	52	19.9	40	16
計	360	100	261	100	250	100

(3) 休日・祭日・緊急訪問集計(看護師)

(単位: 人)

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
休日・祭日訪問		68	90	54	60	65	63	50	38	59	56	48	43	694
緊急訪問		29	27	32	38	32	42	44	36	45	49	33	52	459

業 務 概 要

業務概要

1. 診療部

(1) 総合診療科

1. スタッフ

常勤医師：神保貴宏

2. 診療業務の現況

月・火・金 午前の新患

月・火・水・木 午後の再来

の診療を行っています。

新患については、「総合診療科」宛の紹介患者のほか、内科系紹介患者の初期対応を中心に診療し、必要に応じて各専門科に紹介するようにしています。

また、内科・循環器科のカンファレンスに参加して診療内容の検討を行っています。

3. 今後の目標

全人的な診療を心がけ、地域の医療機関と当院の各専門科との橋渡しをスムーズに行うことで、地域医療に貢献していきたいと考えています。

(文責：神保 貴宏)

(2) 消化器内科

1. スタッフ

入院は山口泰子の1名体制です。

外来は上記に加え、秋谷寿一、壁谷建志、内視鏡検査は非常勤医が担当します。

2. 業務の現状

当科では主に消化管疾患の診断、治療を行なっております。

入院では消化管出血、異物誤飲に対する緊急内視鏡処置、早期胃癌、早期大腸癌およびポリープの内視鏡治療を行い、胆道感染症、急性膵炎、また進行消化器がんの化学療法、緩和治療をしております。

外来では主として消化器外来、外来患者および検診受診者の内視鏡検査を実施しております。外来対応疾病としては消化性潰瘍、逆流性食道炎、炎症性腸疾患が主体で、その他検診二次の需要が増えております。ピロリ菌感染胃炎の除菌治療や、大腸ポリープの内視鏡切除も行なっております。

2020年度の主な内視鏡検査数は、上部消化管検査総数 4740 件、下部消化管検査総数 1430 件、内視鏡的膵胆管造影総数 72 件、上部消化管ポリペクトミー (EMR を含む) 10 件、下部消化管ポリペクトミー (EMR も含む) 382 件、上部消化管 ESD 21 件となっております。

3. 今後の目標

消化管疾患は救急疾患、悪性疾患に対する検査、治療が多いため、消化器外科をはじめとする他科や専門スタッフと強力して迅速かつ質の高い診療を行えるよう努力していきます。また、昨年度から実施している内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) を今年度は20件以上を目標と考えております。

(文責：山口 泰子)

(3) 循環器内科

1. スタッフ

入院は 井上雅浩・間渕由紀夫・植田哲也・高松寛人・小野洋平の5名になります。

外来は入院スタッフに加え、外来のみで診療に当たる鈴木忠・倉林正彦・飯島徹・山岸美保・長

谷川寛（不整脈外来）になります。

2. 業務の現況

当科では、虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）・心不全・不整脈・心筋症（拡張型・肥大型・二次性）・心臓弁膜症・高血圧症などを中心に、大動脈疾患（胸部および腹部大動脈瘤・大動脈解離）閉塞性動脈硬化症・肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症・成人先天性心疾患などの診断・治療を行っています。

冠血管カテーテル治療としては、ステント留置術・バルーン血管形成術・冠動脈内血栓吸引術などを行なっています。急性冠症候群（急性心筋梗塞・不安定狭心症）に対する冠動脈カテーテル治療は24時間体制で対応し、毎年100例前後の緊急カテーテル治療を行っております。

血管内超音波検査を使用し、適切で安全な治療を心がけています。冠動脈CＴによる冠動脈病変の評価システムが軌道に乗り、低侵襲で診断される症例が増加してきております。

肺血栓塞栓症に対する下大静脈フィルター留置・閉塞性動脈硬化症に対する下肢動脈血管治療・透析患者さんに対するシャント血管治療・徐脈性不整脈に対するペースメーカーの植え込みなども行っています。

不整脈に対するカテーテル治療・植え込み型除細動器・両室ペーシング・冠動脈バイパス術・弁置換術・大血管の手術が必要な場合には、群馬県立心臓血管センター・伊勢崎市民病院・群馬大学医学部附属病院などと連携をとって診療にあたっております。

3. 今後の目標

- 1 丁寧な病状説明と診療記録を心がけ、患者・家族が納得できる医療を提供する。
- 2 医療圏の循環器疾患をすべて受け入れる。
- 3 カテーテル検査・カテーテル治療を積極的に行い、より多くの患者に最新医療を提供する。
- 4 地域医療連携を活用し、スムーズな退院指導を行うことで平均在院日数の短縮に努める。
- 5 インシデント・アクシデントレポートを積極的に提出し、医療事故を未然に防ぐ。
- 6 臨床研修医にトレーニングの場を提供し、循環器診療に必要な考え方・基本技術を身に付けた医師を育てる。

（文責：井上 雅浩）

（4）呼吸器内科

1. スタッフ

茂木 充、梅津和恵、竹村仁男、池田香菜

常勤医4人体制で診療にあたっている。

非常勤医師：須賀達夫、山口公一、田口浩平、高野峻一：外来診療を行っている。

2. 業務の現況

呼吸器内科では肺癌をはじめとする腫瘍性疾患（悪性中皮腫、縦隔腫瘍を含む）、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、多種多様な呼吸器感染症（肺炎、気管支炎、細気管支炎、胸膜炎、肺結核など）、特発性肺線維症をはじめとする間質性肺疾患（特発性間質性肺炎、膠原病肺、薬剤性間質性肺炎など）、気胸、各種胸膜炎、肺血栓塞栓症などを主な対象疾患としている。

入院患者の主な疾患は、肺癌、肺炎、間質性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、呼吸不全などである。

肺癌患者の治療は十分なインフォームド・コンセントを得た上で、手術療法、化学療法、放射線療法のうち、その患者に適切な治療法を選択し施行している。呼吸器内科としては化学療法単独、放射線療法単独、ならびに化学療法・放射線療法併用療法を行っている。近年では、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬による治療例が増加し、進行肺肺癌の治療成績は飛躍的に向上してきている。

間質性肺疾患としては、特発性間質性肺炎をはじめ、膠原病に関連する間質性肺炎や薬剤性肺炎を数多く診療している。

気管支鏡検査は、2020年度は83件に行っている。日本呼吸器内視鏡学会認定施設であり、超

音波気管支鏡が導入されており、超音波気管支鏡検査対象患者数が増加している。

〈外来担当医表〉

	月	火	水	木	金
午前	池田・高野	池田・茂木	-	池田・梅津	池田・茂木
午後	茂木・山口	梅津-	須賀・竹村・田口	(気管支鏡)	竹村

3. カンファレンス、研修教育

・多職種合同呼吸器カンファレンス：毎週水曜日に北5階病棟で行っている。参加メンバーは、呼吸器内科医（専門医、指導医）、放射線治療医、研修医、病棟看護師長、緩和ケア専門看護師、摂食嚥下障害看護認定看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカーらで構成されている。

研修医教育には一段と力を注ぎ、魅力のある病院にするべく努力している。学会発表を積極的に行い、研修医にも発表の機会を提供している。群馬大学医学部学生実習も積極的に受け入れている。

4. 臨床研修テーマ

- 1) EGFR T790M 変異陽性非小細胞肺癌におけるオシメルチニブの効果予測因子に関する前向き観察研究
- 2) 肺癌治療における免疫チェックポイント阻害薬の有効性と有害事象の検討
- 3) 薬剤性肺障害の臨床的検討
- 4) 各種間質性肺炎のHRCT所見の検討
- 5) レジオネラ肺炎の臨床的検討、肺炎球菌性肺炎との比較検討
- 6) ニューモシスチス肺炎の臨床的検討
- 7) COVID-19 の画像所見の検討
- 8) COVID-19-ARDS の臨床的検討：アクテムラ療法の検討

5. 今後の展望

群馬大学付属病院をはじめとする他の専門病院との連携を深め、県内の呼吸器科医の育成に努め、群馬県内（埼玉県北部医療圏を含む）の呼吸器疾患診療のさらなる充実を目指す。

（文責：茂木 充）

（5）血液内科

1. スタッフ

外山耕太郎、石川哲也、塚田明彦(内科専攻医)、杉崎真人(内科専門医)、成澤由起恵(内科専攻医)

2. 業務の現況

今年度は県全体の血液内科医減少のため、専攻医3名の補助を行いながらの診療となった。群馬県全域及び埼玉県北部の二次医療圏を超えた範囲からの血液疾患症例を受け入れている。更に本年度から内科研修制度に伴い、内科専攻医の研修も行っている。基幹病院としての特性から積極的な治療を必要とする患者から Best supportive care の対象となる高齢者まで、幅広い年齢層の症例が集まっている。当院の特色として外科、循環器科、整形外科、透析科、放射線科などの他科との連携が容易であり、他の病院では対応できない数多くの合併症を持った患者に対応している。

無菌病棟が充実し、急性白血病症例や、強度の強い治療を必要とするリンパ腫症例数が増加しており、無菌病床はすでに不足している状況となっている。COVID-19 蔓延化の影響か、状態が悪くなつてから受診されるケースが目立ったことと、受診控えのためか無症状であることが多いと推定されるリンパ腫の患者さんに関しては昨年度の2/3の症例に止まった。

濾胞性リンパ腫のFOREST試験や、Hodgkinリンパ腫のHORIZON試験、JALSGのCS-17、GML219といった全国規模の臨床試験に積極的に参加を行っている。

また、群馬大学血液内科と共同で高齢者リンパ腫における治療についての前向き観察試験を行い、新規の Evidence 構築に向け邁進している。

3. 今後の目標

同種移植が必要な患者に関しては、群馬大学血液内科や済生会前橋病院と連携をとり治療にあたっていく。

各種新規薬剤、レジメンの導入を遅滞なく行い、複雑化する血液内科の最新治療に対応していく。

研修指定病院としての役割で投下の果たす役割は多くはないが、当院の特色ある研修の一つとして研修医の指導に当たっていく。

4. 業務実績

新規患者数

急性骨髄性白血病 8 例、急性前骨髄性白血病 2 例、急性リンパ性白血病 2 例、骨髄異形成症候群 11 例、悪性リンパ腫 30 例、形質細胞性腫瘍 14 例、慢性骨髄性白血病慢性期 2 例、慢性骨髄性白血病急性転化 1 例、本態性血小板血症 1 例、原発性骨髄線維症 5 例、慢性骨髄単球性白血病 1 例、MDS/MPN RS-T1 例、芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍 2 例、再生不良性貧血 1 例、免疫性血小板減少症 12 例、悪性貧血 4 例、ビタミン B12 欠乏性貧血(胃全摘後) 2 例、葉酸欠乏性貧血 3 例、銅欠乏性貧血 1 例、赤芽球癆 1 例、第 5 因子欠乏 1 例

自家末梢血造血幹細胞移植 3 例

(文責:外山 耕太郎)

(6) 腎臓・リウマチ内科

1. スタッフ

令和 2 年度は、内科専攻医 2 名を含む 6 名で診療を行った。若手医師には腎臓リウマチ分野の診療の他、救急外来での初期対応や内科外来での初診外来も担当してもらい、幅広い知識・経験を積めるようにしている。

2. 業務内容

腎疾患診療については検尿異常から慢性腎臓病、ネフローゼ、急性腎障害などの患者さんの診療に対応している。今年度は 32 例の腎生検を行った。

また本年度から、外来通院中の慢性腎臓病患者さんにむけ、疾患の進行防止を目的に腎臓病教室を定期的で開催することとなった。11 月 13 日第 1 回の教室では患者さんとその家族 26 名にご参加いただき、医師・看護師・栄養師から情報提供を行い、概ね好評を得た。腎機能が高度に低下した患者さんに対しては、自分にあつた腎代替療法(腎移植・透析)を選べるよう、腎代替療法選択外来で専門スタッフからの情報提供・面談を行っている。

透析診療に関しては、透析室に固定式 29 台、可動用 1 台の透析用コンソールを有し、維持外来血液透析患者さんだけでなく、新規導入や他院からの紹介、HCU や病棟での緊急透析に対応している。今年度は 28 例の新規血液透析導入と、4 例の新規腹膜透析の導入を行った。血液透析患者さんの内シャント狭窄・閉塞に対するカテーテル治療をのべ 76 症例で行った。急性腎障害に対する一時的な血液透析は 22 例で行った。このほか疾患に応じて、二重膜濾過を含む血漿交換療法、炎症性腸疾患に対する顆粒球除去療法、ネフローゼ・閉塞性動脈硬化症に対する LDL アフェレーシスや、難治性腹水に対する腹膜濾過濃縮再静注療法、敗血症性ショックに対するエンドトキシン吸着療法などの血液浄化療法にも対応している。

リウマチ・膠原病に関しては県内のみならず、埼玉北部からも広く患者さんが紹介されている。この数年でリウマチだけでなく膠原病にも生物学的製剤の適応が広がってきているため、適応や副作用に留意しつつ、疾患の寛解を目指して積極的に治療に当たっている。外来通院患者さんの内訳は、関節リウマチ 243 例、全身性エリテマトーデス 69 例、リウマチ性多発筋痛症 70 例、ANCA 関連血管炎 46 例、シェーグレン症候群 46 例、全身性強皮症 42 例、RS3PE 症候群 24 例、ベーチェット病 13 例、高安動脈炎 12 例、成人スティル病 10 例、皮膚筋炎/多発性筋炎 9 例

などである。

3. 研究業績

対外的には日本透析医学会学術総会で1題の演題発表を行った。

4. 目標

現行の診療体制を維持しつつ、地域の腎臓・リウマチ膠原病治療に貢献できるよう、診療の幅を広げていきたい。腎臓病教室の定期的な開催や、地域の医療機関との連携により、慢性腎臓病の早期発見・進行防止に努めていきたい。リウマチ・膠原病領域については、専用の問診票の導入などにより、効率的に診療にあたれるよう検討中である。

(文責：太田 史絵)

(7) 糖尿病内科

1. スタッフ

2019年4月より今村誠先生の後任として中原理恵子が群馬大学大学院医学系研究科 臨床検査医学講座からの派遣にて常勤として勤務しています。

また、非常勤として朱啓子(糖尿病外来)、西野道夫(甲状腺外来)両先生のほか、2020年度より津久井智先生に外来支援をいただいています。

日本糖尿病療養指導士は看護師6名、管理栄養士4名、薬剤師2名、理学療法士2名、臨床検査技師2名の計12名、群馬糖尿病療養指導士は13名おり、院内での糖尿病指導などにおける企画、実施を共に行っています。

2. 業務内容

外来診療は非常勤医を含め糖尿病外来6枠、甲状腺外来2枠で行っています。

糖尿病については1型糖尿病、2型糖尿病、妊娠糖尿病などのほか、周術期や抗がん剤治療・ステロイド治療などでの血糖管理を主な業務としています。また、2019年4月よりインスリンポンプ療法の診療を開始しておりコントロール困難症例に対応し、SAP治療も行っています。リアルタイムCGMにも対応予定です。糖尿病透析予防指導では指導体制を強化しています。

入院では糖尿病教育入院による教育・啓蒙、治療内容の見直しのほか、糖尿病ケトアシドーシス(DKA)・高血糖高浸透圧症候群(HHS)などの重症糖尿病の治療と、院内往診(周術期血糖管理、外傷・感染症・ステロイド使用などに伴う高血糖に対する血糖管理)を主な業務としています。

糖尿病教育入院パスは1週間入院と2週間入院を設け、毎月第2水曜日を入院日として4名/月までお受けしています。令和2年度は12回実施、参加者55名、うち教育入院20名です。地域の治療困難または病識の不足している糖尿病患者様の教育入院もお受けしており、教育面でサポートさせていただいております。退院後はご紹介頂いた医療機関へ逆紹介させていただいております。診療外では、外来患者様や一般の方を対象にした糖尿病教室を年4回開催しており、毎回30人～50人の方にお集まりいただきご好評いただいております。なお、令和2年3月以降は新型コロナウイルス感染流行のため中止・延期が多く不定期開催になっています。

糖尿病友の会『カンナの会』の活動としては、定例会の他、群馬糖尿病協会主催の糖尿病ウォークラリーへの参加などイベントの機会を増やしています。

内分泌疾患については、甲状腺疾患(バセドウ病、橋本病、亜急性甲状腺炎等)、副腎疾患(アジソン病、原発性アルドステロン症など)の精査・診断・治療を中心に行っています。

糖尿病、内分泌疾患とも近隣医療機関より広くご紹介頂いており、地域における当科の役割を改めて認識するところです。病状が安定した患者様は積極的に逆紹介させていただき、新規の紹介患者様を受け入れられるよう努めています。

3 今後の目標

糖尿病教育入院で地域の患者様の糖尿病教育・療養指導に力を入れて細小血管症ならびに大血管障害の予防に貢献したいと思っております。また、地域における重症低血糖件数の減少、糖尿病による人

工透析導入の減少、下肢切断リスクの減少のため外来指導も強化したいと思います。

(文責：中原 理恵子)

(8) 小児科

1. スタッフ

常勤医：渡部登志雄、小山晴美、相馬洋紀。嘱託医：牧岡西紀の4人体制。

非常勤：岡田恭典（循環器、発達）、川嶋伸明（神経、発達）、田部井容子（内分泌・代謝）、鈴木信、山本英輝（外科・消化器）各先生の援助で小児疾患の広い分野をカバーしている。
(敬称略)

2. 業務内容

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響をもろに受け、入院患者は大幅な減少となった。外来は特殊外来が主体であったため減少幅は少なかった。

特殊検査は腎生検4件、腎シンチ15件、膀胱造影30件、ネフローゼに対するリツキシマブ投与5件とほぼ前年同、アレルギー疾患については、入院での食物負荷試験を6件施行した。内分泌負荷試験は16件行った。

新生児については院内出生の34週以降の早期産児。呼吸障害、感染症、初期嘔吐、新生児黄疸等の疾患につき62例の入院加療を行った。内DPAP装着4例の管理を行った。2019年に始まったまた新生児蘇生講習会も、新型コロナの影響で開催が滞り、今年度は1月になりようやく1回開催できた。来年は年3~4回の開催を目指したい。

3. 目標

新型コロナが収束した先で小児医療がどのように変わっていくか見通せないが、次年度も感染症疾患に加え腎臓、アレルギー、新生児の疾患を軸に、より広い地域からの紹介を得られるように情報を発信していきたい。新生児蘇生講習会については院内だけでなく近隣にも参加を広げ、地域での新生児医療技術の底上げをはかって行きたい。

(文責：渡部登志雄)

(9) 外科

1. スタッフ

石崎政利、設楽芳範、中村卓郎、中里健二、加藤寿英、松本明香、熊倉裕二、高橋遼、山中崇弘、岡崎英人、遠藤瑞貴

2. 施設認定

- ① 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ② 日本消化器外科学会専門医修練施設
- ③ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ④ 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ⑤ 日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
- ⑥ 日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ⑦ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ⑧ 日本消化器内視鏡学会専門医制度認定施設
- ⑨ 日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設

3. 診療内容

- ① 消化器外科：消化器の良性・悪性疾患
- ② 呼吸器外科：肺、縦隔、胸膜、胸壁の疾患
- ③ 乳腺・内分泌外科：乳腺、甲状腺の疾患
- ④ 小児外科：小児ヘルニア

⑤一般外科：虫垂炎、成人ヘルニア、リンパ節、皮下腫瘍

4. 目標

安全を確保できるシステムで標準的な治療を提供する。

- ①医師の能力向上に努める
- ②学術的診療業務への取り組み
- ③外科医療の質改善に努める
- ④がん地域連携パスの推進

5. 手術実績と今後の目標

令和2年度は、3名の医師交代がありました。群馬大学医局人事により本田周子先生、内田真太郎先生が異動となり、代わりに山中崇弘先生、遠藤瑞貴先生が着任しました。そして獨協医科大学埼玉医療センター小児外科から一般研修としてこれまでの菊地健太先生に代わり岡崎英人先生が着任いたしました。また群馬大学医学部附属病院 外科診療センターより循環器外科阿部知伸先生（第1,3週水曜の午後外来）、小児外科鈴木信先生（毎週水曜日の午前外来）、呼吸器外科尾林海先生/中澤世識先生（毎週火曜日の手術）、各先生方にご協力をいただいております。

令和2年度の総手術件数は724件で、コロナ禍の影響があり昨年より減少しました。悪性腫瘍の手術件数は278件であり、こちらも昨年より減少しています。内訳では食道がん3例（ESD2例）、胃がん72例（ESD18例、鏡視下手術13例）、大腸がん119例（鏡視下手術54例）、肝胆膵がん8例、肺がん29例（鏡視下手術28例）、乳腺・甲状腺がん47例でした。多くが減少しておりますが、胃癌、特にESD症例は増加しております。他、虫垂切除は69例（鏡視下手術69例）、ヘルニア手術は107例（鏡視下手術42例）、胆石症手術は74例（鏡視下手術68例）でした。令和2年度は、初期臨床研修医1年次7名、2年次6名が外科を選択し1-5ヶ月の研修を行い、良性疾患、悪性疾患、緊急手術等、幅広く研修していました。これからも、患者さんに求められる質の高い医療サービスを提供して、地域から信頼される医療を行いたいと考えております。

（文責：中里 健二）

（10）整形外科

1. スタッフ

常勤医師：中島大輔、岡田純幸、大沢朝翔、長島泰斗、三森依里、高橋佑（4月～9月）、市岡健（10月～3月）

非常勤医師（外来のみ）：勝見賢、猪俣和弘

2. 業務の現況

常勤医6名と外来のみの非常勤医2名で診療を行っています。外来は月曜日から金曜日までの午前に一般外来、火曜日午後に脊椎外来を行っています。

診療内容は整形外科領域全般にわたっており、特に手外科領域に関しては2次医療圏を超えた広い範囲からの紹介があるのが特徴であります。

手術に関しましては、骨折や軟部組織損傷などの外傷手術が多いのが当院の特徴であり、緊急手術も含め近年手術件数が増加傾向となっておりますが、新型コロナウイルス感染症流行にともない、令和2年度は手術件数の減少がみとめられました。

毎週月曜日には術前術後のカンファレンスや、多職種カンファレンスを開いており、治療方針などの情報共有をはかっております。

当科では治療の標準化、入院期間の短縮などを目的としてクリニカルパスを積極的に使用しております。また大腿骨近位部骨折や脊椎圧迫骨折については地域連携パスがあり、急性期治療

終了後に近隣病院へ円滑に転院できるような体制を整えております。

3. 今後の目標

- ・地域中核病院として安全で質の高い医療を提供すること
- ・地域関係機関と連携し急性期病院としての機能をはたすこと
- ・年間手術件数の増加
- ・学術活動への積極的な参加
- ・整形外科専門医、手外科専門医の養成

4. 業務実績

令和2年度手術総件数は600件（内緊急手術43件）でありました。

主要手術件数は、大腿骨近位部骨折138件（頸部骨折接合手術15件、頸部骨折人工骨頭置換術49件、転子部骨折70件、転子下骨折4件）、膝関節周囲外傷14件、足関節周囲外傷24件（内足関節脱臼骨折22件）、下肢切断術11件、肩甲帯～上腕骨幹部外傷22件、肘関節周囲外傷22件（内小児肘外傷10件）、全腕骨幹部～手指外傷116件（内橈骨遠位端骨折38件、切断指再接着術2件、顕微鏡下神経血管修復術8件）、内シャント造設術30術、狭窄性腱鞘炎手術18件、絞扼性神経障害手術24件（手根管症候群19件、肘部管症候群5件）、緊急創外固定設置6件、骨内異物除去術100件などとなっております。

（文責：中島 大輔）

（11）脳神経外科

1. スタッフ及び人事

病棟スタッフは 2020.3.1 で富田庸介医師が退職し、2020.4.1 より込山和毅医師が着任した。

2003.4.1 ～ 2003.5.31	朝倉 健	黒崎みのり	山口 怜
2003.6.1 ～ 2005.5.31	甲賀英明	黒崎みのり	山口 怜
2005.6.1 ～ 2006.3.31	甲賀英明	黒崎みのり	伊部洋子
2006.4.1 ～ 2009.9.30	甲賀英明	黒崎みのり	若林和樹
2009.10.1 ～ 2011.3.31	甲賀英明	黒崎みのり	田中志岳
2011.4.1 ～ 2012.3.30	甲賀英明	黒崎みのり	山口 怜
2012.4.1 ～ 2014.3.31	甲賀英明	山口怜	
2014.4.1 ～ 2017.3.31	甲賀英明	若林和樹	
2017.4.1 ～ 2018.9.30	甲賀英明	若林和樹	吉澤将士
2018.10.1 ～ 2019.9.30	甲賀英明	若林和樹	小島丈夫
2019.10.1 ～ 2020.3.31	甲賀英明	若林和樹	富田庸介
2020.4.1～	甲賀英明	若林和樹	込山和毅

2. 外来体制

月	火	水	木	金
若林和樹	休診	甲賀英明 田村勝	込山和毅	甲賀英明

3. 待機救急体制

tPA 静注療法及び血栓回収療法に常時対応するための体制を組んでいる。

○入院患者統計

総入院数 605 件 脳腫瘍 10 例 脳血管障害 429 例（くも膜下出血＋動脈瘤 45 例、脳出血 90 例、脳梗塞 294 例）、頭部外傷 112 例、脊椎脊髄疾患 2 名、炎症性疾患 1、機能痙攣 27 例、

→ここ数年、脳梗塞患者の入院数が増加している

○住所地 群馬県 392 例 (65%) 埼玉県 206 例 (34%) 他 7 例

→埼玉県が 3/1 を占める傾向は同様

○回復期利用 146 (31 人増加)、包括ケア利用 51 人 (42 人減少)

→回復期の理容が 31 人増加し、包括ケア病床利用者は COVID-19 のために減少した。

○転帰

自宅退院（回復期含む）309 人 (51%) 他院回復期転院 54 人
療養病床 60 人 介護施設入所 77 人 死亡退院 55 人であった。

(文責：甲賀 英明)

(1 2)皮膚科

1. スタッフ

常勤医師：部長 1 名

2. 診療業務の現況：外来診療は、月曜日から金曜日の午前と、木曜日の午後に行っている。また、火、水曜日の午後は外来にて日帰り手術を行っている。病棟患者の診察・往診業務は原則毎日行っている。金曜日の午後には、病棟患者の褥瘡回診を褥瘡対策チームメンバーとともに行っている。

3. 今後の目標：入院患者を増加させることにより、収益の増加を目指す。褥瘡対策チームにおけるチーム医療活動を通じて、当院のみならず地域医療に貢献したい。

(文責：嶋岡 正利)

(1 3)泌尿器科

1. スタッフ

常勤医師 3 名

非常勤医師 1 名

2. 業務概要

外来診療は水曜、木曜は午前のみだが、月曜、火曜、金曜は午前、午後ともに診療している。

泌尿器科一般（尿路性器がん、尿路結石、尿路性器感染症等）の診療を行っている。

入院診療では水曜、木曜、金曜（午前）に手術を行っている。水曜には長時間の開放手術や経尿道的手術を行い、木曜に鏡視下手術を主に行っている。また月曜、火曜、金曜には通院で体外衝撃波結石破碎術（ESWL）を行っている。毎週月曜日に病棟カンファレンスを行っている。

3. 目標

泌尿器科がんの標準的な治療（手術、放射線療法、化学療法）は当院で行えるようにしたい。

また H24 年度より低侵襲手術（鏡視下副腎、腎摘出手術）を導入し、H26 年度より鏡視下前立腺全摘除術を開始した。（H27 年 3 月に腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設認定が受理されました）病棟ではスタッフとともにカンファレンスを継続して行い、泌尿器科チームとして質の高い、満足してもらえる医療を提供したい。

4. 業務実績

手術件数（令和2年1月～12月）

2020年1月～12月		
病名	術名	件数
腎癌	腹腔鏡下根治的腎摘出術	10
	腹腔鏡下腎部分切除術	4
腎盂尿管癌	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	3
	腎尿管全摘除術（開放）	1
腎盂尿管癌疑い	尿管部分切除	1
	尿管鏡	7
膀胱癌	逆行性腎盂造影	2
	膀胱全摘除術＋回腸導管造設	2
	膀胱全摘除術＋尿管皮膚瘻	1
	膀胱部分切除	1
消化器癌膀胱浸潤	経尿道的膀胱腫瘍切除術	63
	膀胱部分切除	2
前立腺癌	腹腔鏡下前立腺全摘	11
	前立腺全摘（開放）	1
	去勢術	6
前立腺癌疑い	前立腺生検	119
精巣癌	高位精巣摘除	3
陰茎癌	陰茎部分切除	1
陰茎癌疑い	陰茎生検	1
前立腺肥大症	経尿道的前立腺切除	8
腎盂尿管移行部狭窄症	腎盂形成（開放）	1
尿管狭窄	D-J ステンント留置	82
	尿管部分切除＋尿管膀胱再吻合	1
	腎瘻造設	4
	腎瘻拡張	1
停留精巣	精巣固定	2
腎尿管結石	体外衝撃波結石破砕術（新規）	84（26）
尿管結石	経尿道的尿管結石破砕術	11
膀胱結石	経尿道的膀胱結石摘出	7
尿道結石	経尿道的尿道結石摘出術	1
包茎	環状切除	3
慢性腎不全	腹膜透析用カテーテル留置	3
その他	膀胱瘻造設	2
	精索水腫根治術	1
	カルンクルス切除	2
	内視尿道切開	1
	腎（周囲）膿瘍ドレナージ	2
	腎瘻（尿管皮膚瘻孔）カテーテル交換	8
右精嚢腺腫瘍	精嚢腺生検	1
陰嚢膿瘍	陰嚢膿瘍摘出	1
前立腺膿瘍	前立腺穿刺ドレナージ	1

5. 研修業績

論文：なし

学会発表：令和2年11月14日 第85回群馬地方会

尿管狭窄を来した尿管子宮内膜症の1例

前野 佑太 福田 怜雄 縣 知弘 坂本 亮一郎 武井 智幸

講演：なし

(文責：武井 智幸)

(14) 産婦人科

1. スタッフ

常勤医師3名、外来専門医師2名、群馬大学の産婦人科医局からの応援非常勤医師1名、当直のみの応援医師2名で、24時間・365日の外来・病棟業務と、産直体制を支えている。また、助産師14名、看護師14名、看護助手1名により、北4F病棟の小児科医師とともに、周産期・小児医療を支えてもらっている。助産師・看護師には気鋭の若手が増えてきており、産科の若手医師も、当院の初期研修から産婦人科専攻に巣立った若者たちが、3年連続で帰巣を果たしている。高齢化が進んでいる当科にとって、誠に頼もしいことである。

2. 業務概要

外来業務を、月曜日～金曜日の午前/午後で、産科/婦人科で診療室別に行っている。超ベテランの吉田医師が、対外的な顔として、また、延命医師が女性医師希望のニーズに応じて、健診センターの婦人科検診業務も併せて行っている。産科外来では週一回の助産師外来、父母教室、昨今重要性を増してきたMaternity-blue外来を、病棟助産師とともに、ベテラン助産師・看護師が受け持っており、日々の妊婦検診とともに多忙な母子保健衛生業務を請け負っている。

病棟では、上記の病棟スタッフで、コロナ禍にも関わらず、年間166件にも及ぶ手術室手術（分娩室、外来処置室等での手術件数は含まれない）と、212件の分娩が、59件（うち緊急26件）の帝王切開術を含めて行われている。母体と胎児（→新生児）の若い2人の生命に関わる、超高度なストレスとリスクの中で、この1年はコロナ感染の更にエスカレートしたリスクを負いつつ、昼夜分かたず一致協力して、安全無事にやってこれたことに讃辞を惜しまない。

3. 今後の目標

消えてはいけない多野藤岡、本庄児玉地域の周産期医療を維持すべく、厳しさを増す産科医師、助産師の確保をしつつ、厳しい状況下で獅子奮迅の小児科医師とともに、この地域の周産期医療を支えていくことが、展望開けぬこの国の未来を、少しでも明るくするものと信じつつ、まだまだ頑張りたい。

(文責：遠藤 究)

(15) リハビリテーション科

1. スタッフ

リハビリテーション科の医師は常勤2名、療法士は理学32名、作業13名、言語聴覚7名でリハビリテーションを実施しています。

2. 業務の状況

リハビリテーション科は疾病に伴う患者の障害を評価し、社会的背景を考慮して、到達目標を設定し、患者の社会復帰や障害の克服を手助けする役割を担っています。

当院のリハビリテーションは急性期入院部門、外来部門、回復期病棟部門があり、「脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）」「運動器リハビリテーション料（Ⅰ）」「呼吸器疾患リハビリテー

ション料（Ⅰ）」「がん患者リハビリテーション」、「心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）」、「廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）」の施設基準で、回復期病棟では回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準で運用しています。

令和元年度リハビリの新規依頼件数は、入院患者では総数 2892 件、内訳は脳血管疾患等リハビリ 559 件、運動器リハビリ 391 件、呼吸器疾患リハビリ 409 件、がん患者リハビリ 324 件、心大血管疾患リハビリ 42 件、廃用症候群リハビリ 1167 件でした。外来患者では総数 366 件、内訳は脳血管疾患等リハビリ 53 件、運動器リハビリ 258 件、呼吸器疾患リハビリ 55 件、訪問リハビリ 98 件、診断書に関わる身体計測は 74 件でした。回復期病棟への新規入棟患者は 243 件でした。入院部門では、言語聴覚療法が可能となった呼吸器リハビリテーションが大幅に増加し、誤嚥性肺炎に呼吸理学療法と嚥下訓練を同時に行えるようになりました。入院患者のほぼ半数にリハビリテーションが提供されています。

外来部門では、前年に比べ依頼数は減少していますが、運動器リハビリテーションが増加しました。がん患者の術前指導訓練や慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸理学療法、診断書に関わる身体測定なども行っています。

回復期リハビリテーション病棟では、脳血管疾患や骨折など発症し急性期治療後に病状が安定した患者に引き続き集中的なりハビリを行うことで、機能回復や日常生活での必要な動作の改善を図り、社会や家庭への復帰を促進します。そのために医師、看護師、療法士、社会福祉士、栄養士など多職種が密に連携して業務を行っています。

訪問リハビリは訪問看護ステーション「はるかぜ」と連動し、在宅でのリハビリを提供しています。主治医からの依頼で、通院困難な患者の訪問リハビリも行っています。

3. 今後の目標

地域の医療機関や施設と連携し、入院リハビリ、外来リハビリ、訪問リハビリを行っていきます。入院患者には病初期からリハビリテーションが介入し早期退院、回復期リハビリテーションへの移行をすすめる、在院日数の短縮をはかります。また終末期がん患者のリハビリテーションに積極的に関わっていきます。外来では通院可能な患者の職場復帰や社会活動への参加をめざし、機能向上、廃用防止につとめます。訪問リハビリテーションでは、在宅でのリハビリテーションを希望する利用者を支えていく体制を整えていきたいと考えています。

今後も、利用者にとって満足度の高い医療を提供することを心がけていきます。

（文責：黒崎 みのり）

（16）放射線治療科

1. スタッフ

常勤 1 名、非常勤 2 名（水曜日午後、金曜日午後）

2. 業務内容

外来診療、放射線治療計画、放射線治療。

重粒子線治療、定位放射線治療、強度変調放射線治療、密封小線源治療等が必要な場合には群馬大学医学部附属病院や群馬県・埼玉県内などの近隣の放射線治療施設へ御紹介させていただきます。

3. 業務実績

令和 2 年度の治療患者数（新患）は 125 例でした。

4. 今後の目標

他科との連携を取りつつ、患者様の状態やご意向に沿った適切な治療を提供するよう努めていきたいと思っております。

（文責：塩谷 真里子）

(17) 放射線診断科

1. スタッフ

令和2年度は神宮晶子、山田宏明の常勤2名。週2日半日は大学から非常勤医師の応援

2. 業務内容

CT、MRI、核医学検査の読影。CTガイド下での生検やドレナージ、出血等の緊急血管造影・治療

3. 業務実績

令和2年度の実施件数はCT 16780（前年度 18560）件、MRI 4936（前年度 5504）件、RI 585（前年度 680）件、PET 445（前年度 454）件、CTガイド下生検およびドレナージ・緊急血管造影併せて10（前年度 24）件でコロナ感染症の影響を受けて前年度よりやや減少しました。

4. 今後の目標

迅速で正確な読影をすることで、各科の診療・患者様の治療方針等に貢献できるようにしていきたいと思っております。各診療科とも積極的に連絡を取り合いながら、診断していきたいと考えています。夜間や休日の急ぎの読影や血管造影は、大学からの応援も受けつつ、引き続き対応していきたいと思っております。

（文責：神宮 晶子）

(18) 麻酔科

1. スタッフ

日本専門医機構による名称変更で麻酔科専門医荒井、牛込、金井、田口、萩原の5名が昨年に引き続き手術麻酔全般を担当しています。その日の待機者が手術室リーダー看護師と相談して手術室の割り振りや手術開始時間を調整しています。

2. 診療業務の現況

局所麻酔以外のすべての手術麻酔を管理しています。緊急手術は24時間いつでも対応できる体制をとっています。昨今は重症患者も多く、麻酔管理に難渋することもますます多くなりました。

そのほかに、ペインクリニック外来を月曜日と木曜日の午前中に開いており、主に帯状疱疹関連痛、慢性疼痛、顔面けいれんなどを扱っています。また、筋肉由来の疼痛、例えば重症な肩こりや腰痛に対して、筋膜リリースに即効性があり患者さんに感謝されています。

2020年の麻酔科管理は1641例で内訳は全身麻酔（硬膜外麻酔併用を含む）1143例、腰椎麻酔341例、硬膜外麻酔76例、伝達麻酔23例でした。このうち、緊急手術は283例でした。前年より全体では1割ほど減少しました。新型コロナの影響と思われます。麻酔科学会の全国統計でもほぼ1割減ということで、全国並みということでしょうか。

3. 今後の目標

手術部門システムの導入により効率的な手術運営及び医療の質、安全性の向上を図ることができるようになりました。しかし、麻酔器やモニターの更新は否応なくやってきます。コロナ禍の厳しい状況ではありますが、安全な医療を目指す観点からも更新を病院にお願いしたいと思っています。

（文責：荒井 賢一）

(19) 歯科口腔外科

1. スタッフ

高山 優、池 嘉子、飯沼 瞳（歯科衛生士）、齊藤由佳（歯科衛生士）

2. 業務内容

歯科口腔外科は今年で3年目を迎えました。昨年度歯科医師会に入会したこともあり、紹介患者は、昨年度は月平均88人、今年度は93人と増加し、手術件数は昨年度41例から今年度60例と増加しております。コロナ禍ではありますが、いずれも増加傾向となっております。今後も地

域の2次医療機関として、また総合病院の歯科口腔外科として地域医療および病院内でも他診療科と連携を組み良質な医療を提供していきたいと考えております。

3. 業務実績

外来：初診患者数は1120人、周術期口腔機能管理初診患者総数は230人（手術；186人、化学療法・放射線療法：44人）でした。外来局所麻酔下の高頻度手術である普通抜歯は230例、埋伏歯抜歯は124例、生検・腫瘍摘出は53例でした。顕微鏡下歯根端切除は7例で、歯科用インプラント埋入は1例でした。

入院：入院患者数は68人、全身麻酔下手術件数は60例でした。手術例内訳は、抜歯術25例、嚢胞・良性腫瘍摘出術10例、顕微鏡下歯根端切除術4例、上顎洞疾患5例、顎変形症2例（上下顎同時骨切り1例、下顎単独骨切り1例）、骨髄炎4例、上皮内（前癌）病変2例、頸部リンパ節摘出術2例、悪性腫瘍5例（下顎歯肉癌1例、舌癌2例、頬粘膜癌2例）、その他1例でした。昨年度と比較すると外来処置件数は減少しておりますがその分全身麻酔症例数を増やしております。

4. 目標

歯科口腔外科は開設当初より患者数や手術件数の増加は目標としております。コロナ渦でもあり、またエアロゾル発生による影響を受けやすい領域でもありますので、症例数の増加を図りつつも患者のみならずスタッフの感染対策にも十分に配慮をしていきたいと考えます。また教育面では、今年度は歯科医師臨床研修医を1名のみですが3か月間受け入れました。今後も積極的に研修医の受け入れを行っていききたいと思います。

（文責：清水 崇寛）

（20）健康管理センター

1. スタッフ

人間ドック：飯島徹、田村勝、石崎政利、中村卓郎、壁谷健志、神保貴宏
山岸美保（非常勤）

脳ドック：田村勝

婦人科検診：吉田光典、片貝栄樹、周藤周、延命みゆき（非常勤）

2. 業務内容

一泊2日ドック、日帰りドック、脳ドック、肺ドック、生活習慣病健診、特定健康診査／保健指導、就業・入学健診、企業健診、乳がん・甲状腺がん検診、予防接種等の業務を行っている。

3. 業務実績

一泊2日ドック 100件、日帰りドック 3,400件、脳ドック 164件、生活習慣病健診 1,781件、企業健診 2,940件、特定健診 266件、特定保健指導 27件、藤岡市等乳がん・甲状腺がん検診 507件など。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令により健康管理センターを閉鎖していた時期があったことや胃内視鏡検査を中止していた時期があったことから、実績は令和元年と比べ件数で7.0%減、収益額で11.0%減であった。

4. 今後の目標

①新規の癌検診として血液中のマイクロRNAの量を測定するミアテストを導入する。

②PET-CT検査をドック当日に行えるようにして利用率を向上させる。

（文責：飯島 徹）

（21）病理診断科

1. スタッフ

常勤医師一人：吉田孝友

2. 診療業務の現況

月～金曜日の全日体制で、病理診断、術中病理診断、病理解剖に対応している。病理解剖は担

当医と協議により適宜施行しており、ほぼ 100%の実施率である。

毎月第一月曜日に、外科、放射線科、臨床検査との合同乳がんカンファレンスを施行している。

3. CPC

病理解剖を通して症例毎の病態・病因を究明し、研修医とともに病理解剖診断書を作成している。また、研修医による症例示説を行い、質疑応答を経て、より一層の理解を深めている。

4. 今後の目標

大学病理学教室、病理部その他関連施設の病理医との意見交換やコンサルテーションにより、迅速で正確な病理診断を心掛ける。

(文責：吉田 孝友)

2. 薬剤部

1. スタッフ

公立藤岡総合病院：薬剤部長 1名 室長 1名 グループリーダー 3名
薬剤員 19名（再任用 1名、臨時職員 1名を含む） 薬剤助手 3名

2. 業務の現況

薬剤部では、「責任ある薬物治療の提供」を理念とし、以下を基本方針として多野藤岡地区の医療に貢献できるよう努力している。

1. 常に最適な薬物治療を提供する。
2. 患者さんと共に薬物治療に向かい合い、指導する。
3. 薬剤師としての考えをしっかりと持って、チーム医療をささえる。

全病棟に専任薬剤師を配置し、きめ細かい薬剤調整と服薬指導を行っている。入院時にはすべての患者に対して持参薬調査を行い服薬計画を提案している。

2019年度の実績は、薬剤管理指導件数は1,022件/月、病棟薬剤業務実施加算件数1,428件/月、退院時薬剤情報管理指導件数256件/月という算定に至った。院内感染対策チーム

(ICT)、抗菌薬適正使用支援チーム (AST)、栄養サポートチーム (NST)、医療安全、緩和医療、褥瘡対策、糖尿病教室などのチーム医療に、薬剤師の意見を反映できるよう取り組んでいる。高額な医薬品が増えつつあるが、医薬品の採用、購入、在庫管理において細心の注意を払い経済損失リスクの管理に取り組んでいる。日々更新される医薬品情報の管理はDIを通じて、安全性情報、DIニュースの発行等でその発信に注力している。薬学部学生の育成に対する取り組みとして、長期実務実習は2名の実習生を受け入れ、未来の薬剤師の育成および薬学生実務実習受入れ施設としての役割を果たすことができた。

全病棟および部門の救急カートの管理、毒薬、劇薬、向精神薬の管理、カリウム製剤の管理、またHCU・中央手術室・救急センターにおける麻薬管理など医薬品リスクマネジメント管理において重要な役割を担っている。

外来化学療法室においては、薬剤師による抗がん剤のレジメンチェック、ミキシング、個々の患者への説明・服薬指導および副作用のモニタリング等を行い外来がん化学療法の中心的役割を担っている。医薬分業関連では、医薬連絡協議会による問題点の検討、薬薬連携カンファレンスによる化学療法レジメンの勉強会や解説を行いながら地域薬剤師会との連携をはかり安全な院外処方にも努めている。また、後発医薬品の普及促進のため一般名処方も可能にしている。医薬品市販後調査については、11件の調査協力を行った。

3. 今後の目標

服薬指導を通して、患者の薬学的管理を行うことは、疾患と薬剤との関係に対する知識が必要である。薬剤師はまだ、その立ち位置でさえ発展途上の職域の気がしている。それは薬学教育自体にも大きな問題点があるだろう。今後は、試行錯誤を繰り返しながら臨床に欠かせない存在になってもらいた。処方箋による調剤そして服薬指導は、薬剤師の基本かつ重要業務である

が、病院薬剤師としてのメリットを生かし患者の病態を理解した指導をしていくことが重要である。今までの薬剤師の概念が変わるような時代が訪れることを期待している。

(文責：小幡 輝夫)

3. 診療支援部

(1) 放射線室

1. スタッフ

診療放射線技師 22名 看護師 1名 受付事務 1名

2. 令和2年度事業目標

- ①放射線治療用 RIS の更新。
- ②定位放射線治療の実施。
- ③時間外勤務要件の再整備。
- ④患者誤認防止

3. 令和2年度事業目標達成状況

- ①危機の納入、接続、調整は問題なく終了し、2月15日から順調に稼働している。
現在まで大きなトラブルや障害等は発生していない。
- ②体幹部定位放射線治療ガイドラインおよび参考文献より、測定に必要な器具を確認し入手することができた。治療対象患者がいなかったため未実施となったが、今後データの測定および確認を行い、治療実施の準備を進める。
- ③外来の居残り業務は18時で終了。18時以降は入院棟で請け負う事により時間外勤務の軽減が図れた。
- ④撮影前に患者確認事項を遵守しているが、今年度は2名の患者誤認が発生した。今後も事前確認を徹底し誤認ゼロを目指す。

4. 今後の課題

- ①高精度な医療機器を有効活用するために、地域医療機関と連携し医療機器共同利用を伸ばしていきたい。
- ②入院棟 CT・MRI への看護師常設配置は、検査効率の向上、安心・安全の検査体制に欠かすことが出来ないと考えている。前処置の完全実施、ラインの安定確保により、造影剤漏出などの危険因子を、最小限に抑えることが期待されており、最重要課題ととらえているが、看護師の人員不足により実現できていない。
- ③ 1) 患者の氏名確認。2) 注意事項の確認。3) 検査内容の確認。について確認作業を徹底することで、引き続き安全安心の検査を実施できるように努めていく。
- ④使用している放射線量の管理を適正化し、より少ない被曝線量で診断に最適な画像提供と、安全・安心の放射線診断・治療を目指す。

(文責：高田 哲也)

(2) 検査室

1. スタッフ

入院棟；総数 12名 検体検査 8名 生理機能検査 3名 総括 1名 (産休 1名)

外来棟；総数 13名 検体検査 3名 生理機能検査 6名 臨時 4名

2. 業務の現況

検査室では、外来棟・入院棟共に使用している機器が8年を超えるものが半数以上を占めてくるようになりました。機器の故障も多くなってきている状況で、入れ替えを早急に実施していかなければなりません。中には、外来センター開設時の機器も含まれており、19年目に突入しています。一度に全ての機器を更新することは不可能ですので、早急に対応しなければならないものに限定して働きかけていきたいと考えています。

以前は、入院部門・外来部門の機器メーカーや検査試薬を同一企業のものに統一しなければならぬとの考えもありましたが、今後は必ずしも同一メーカー・同一試薬のしぼりを撤廃して、臨床側に返す項目や基準値が同一であればメーカーを限定せず決定していきたいとも考えています。

2019年度後半に発生した新型コロナウイルスの出現により、患者さんの診療にも大きく影響を及ぼし検査業務内容変更や検査依頼件数も大幅減少し統計データから見て取れます。

また、新型コロナウイルスの発生でマスクの着用率が上がったことに起因するのか、それとも発生自体が少なかったのかインフルエンザウイルス抗原検査の出検数が激減し検査試薬の有効期限切れまで起こるような状況となりました。

さらに、新型コロナウイルス抗原検査の検出感度や偽陽性問題、試薬確保も順調には行かず、検査試薬メーカーを変更しながら対応して参りました。

新型コロナウイルスの遺伝子検査では、以前より結核菌の検査で使用していた機器(LAMP法)があったが故に補助金によるPCR装置の導入が進まず、他院に比べ乗り遅れてしまった感がありました。検査を実施する安全キャビネットも既に20年以上前から使用を続けているものがありますから、今後入れ替えを実施しなければならない状況です。

3. 今後の目標

- ・分析機の集約による機器減らしを第一に考え保守契約料の削減を目指します。
- ・入院棟と外来棟において非特異的な反応など再検査やデータの検証が可能となるような機器を選びます。
- ・生化学検査と免疫学的検査が同時に測定可能となる統合機の導入など臨床医へ早く適切なデータが返せるよう努め、患者さんの診療に役立てられるような機器整備に力を入れていきます。

(文責：柴崎 洋一)

(3) リハビリテーション室

1. スタッフ

公立藤岡総合病院	リハビリ医師 2名	兼務医師 13名	
理学療法士 28名	作業療法士 13名	言語聴覚士 7名	看護師 1名
訪問リハビリ部門	理学療法士 4名	作業療法士 1名	
介護老人保健施設	理学療法士 2名	作業療法士 2名	

2. 業務の状況

病院部門は急性期部門、回復期リハビリ部門、外来部門に分かれています。

急性期は発症早期からの介入により、早期離床・廃用予防を促し最終的な機能的予後を高めるよう努めると共に、他職種との連携を密に取りながら入院期間の短縮に貢献できるよう努めております。また、院内の栄養サポート・がん緩和医療・糖尿病・褥瘡等チーム医療にも参加しております。必要な患者様には土日祝日のリハビリ提供も行っております。回復期リハビリは、より濃密なリハビリが提供できるよう人員を増やし患者様個人のレベルに合わせ職場復帰や自動車運転の練習など社会復帰に向けたサポートを他職種と連携し行っています。外来では回復期・生活期のリハビリを担当しており、機能的改善と、より快適な仕事や趣味などを含めた在宅生活を送っていただけるよう努めております。また、一泊ドックご利用者の健康増進を目的とした運動指導の実施をおこない予防の視点でも関与しています。

訪問リハビリ部門では、通院でのリハビリが困難な患者様を対象に、直接ご自宅にお伺いしリハビリを提供しております。介護保険と医療保険のどちらでも対応が可能な体制をとっており、難病やがん終末期の患者様にも対応しています。現在、藤岡市内・旧新町・旧吉井町・埼玉県北部地域等を対象地域として実施しております。今後は、対象地域拡大など地域包括ケアシステム推進に向けて、さらなる充実が必要な部門です。

介護老人保健施設では生活期のリハビリを担当しており、入所・通所でのリハビリを実施して

おります。医療機関から家庭復帰への橋渡しを行うと共に、ご利用者がより快適な在宅生活をより長く送れるよう努めております。この部門も地域包括ケアシステム推進に向けて、今後さらなる充実が必要な部門です。

新型コロナウイルスの感染対策を全部門で行いながら、リハビリテーション室は「患者様の立場に立ったリハビリテーションの実施」を基本理念とし、スタッフ一同日頃より臨床・地域貢献・研究・教育に邁進しております。

(文責：関根 圭介)

(4) 栄養室

1. スタッフ

公立藤岡総合病院

管理栄養士 5名 再任用管理栄養士 1名

業務委託職員 22名 (管理栄養士 5名、栄養士 1名、調理師 6名、調理補助 10名)

介護老人保健施設しらさぎの里

管理栄養士 1名

業務委託職員 8名 (管理栄養士 1名、栄養士 2名、調理師 2名、調理補助 3名)

2. 栄養室目標

『食べる楽しみ』『生きる喜び』につながる栄養管理
基本方針

- ①患者さん個々人にあつた食事を提供します。
- ②信頼される食のエキスパートを目指します。

3. 事業目標

- ①栄養指導の実績をあげる。(栄養指導件数の増加)
- ②診療報酬改定に伴う業務の拡大と業務の効率を図る。

4. 業務の現況

(入院棟)

- ①給食管理業務
- ②個人栄養指導・・・前年度比 3.7%減
- ③ 他部門との連携に努め、NST、褥瘡、緩和等のチーム医療にも積極的に参加しています。
- ④ 特別食割合・・・前年度比 13.9%増
- ⑤糖尿病支援チーム「糖尿病教室」・・・開催時に「簡単レシピ」を紹介

(外来棟)

- ① 個別栄養指導・・・前年度比 18.5%減
- ② 糖尿病透析予防管理料・・・前年度比 218.2%増
- ③ 人間ドック講和・・・テーマ「塩分について知ろう！」
- ④両親学級栄養講和

(介護老人保健施設しらさぎの里)

管理栄養士は、入所時に食形態の写真を提示し食事内容の聞き取りを行い、安全に楽しく美味しく食事ができるよう取り組んでいます。

食欲不振や嚥下障害のある利用者には、ミールラウンドを行い適切な食事を検討しています。また、低栄養、褥瘡、疾病等にも状態に合わせた食事の提供をしています。

5. 今後の目標

診療報酬改定や介護報酬改定により管理栄養士の活躍の場はますます広がっていきます。又、他

の医療機関や福祉施設との連携も強化されており、職員一人一人がスキルアップに努め対応できるように取り組んでいきます。

適切な栄養管理や給食管理を行うために委託職員と連携して患者の状態に合わせた食事を提供できるように努め、「食べる楽しみ」「生きる喜び」に繋がられるように取り組んでいきます。

(文責：堀越 勝)

(5) 臨床工学室

1. スタッフ

臨床工学技士 7 名

2. 業務内容

前年度末より COVID-19 感染症や疑似症例による人工呼吸器関連対応で、人工鼻を利用した呼吸回路構成変更や NHF 機を用いた HFT（高流量酸素療法）が数多く行われ成果を上げた。血液浄化部門でも COVID-19 感染者の血液透析を感染病棟や専用病棟内の想定した設備を用いて、実施することができた。また最多延べ透析回数を更新する月も度々みられ、年間最多回数を更新することが出来た。特殊血液浄化療法も 88 回と前年度の約 2 倍実施することができ、収益アップにもなった。循環器部門ではアテレクトミーに対してロータブレータが導入され、サポート業務の研修を終了し、来年度から本格稼働することになる。ME 機器管理部門では ME 機器管理システムを用いて確実な定期点検が実施でき、使用者と利用者の安全を保つことができています。

3. 目標

血液浄化部門ではバスキュラーアクセス管理を徹底するために超音波診断装置によるシャントマッピング等を実施し、患者サービスや VA 加算で収益増を図る。呼吸器部門では RST 発足を目指し、少しでも早い呼吸器離脱の援助をし、在院日数軽減の一翼を担えればと考える。ME 機器管理部門では Preventive Maintenance を実践して、定期点検のコスト軽減や修理費等の経費削減を図っていく。更に保守管理業務を強化し臨床工学技士全員が ME 機器の先には常に患者様がいることを意識し、安全管理を第一に考え、ME 機器を最良の状態に維持していくことで使用者と利用者の安全で効果的な治療をサポートし、医療サービスの充実を図ることに努めます。

4. 業務実績

<臨床業務>

1. 血液浄化：透析療法年間回数 14,461 回、血液浄化新規導入数 63 人、出張透析 101 回、CART28 回、血漿交換 6 回、G-CAP30 回、DHP6 回、DFPP18 回、CHDF1 回。
2. 人工呼吸器：年間稼働日数 1,049 日、NPPV 年間稼働日数 524 日、HFT 年間稼働日数 577 日、年間人工呼吸器始業点検数 292 回、麻酔器年間始業点検数 1,480 回。
3. ペースメーカ：新規埋め込み 34 件、ジェネレータ交換 15 件、フォローアップ 518 件、臨時チェック 111 件、MRI 対応 24 件、計 702 件。
4. 夜間休日緊急呼び出し：38 回【血液浄化 17 回、人工呼吸器 3 回、ME 機器関連 18 回】。
5. ME 機器：年間メンテナンス数 158 件、13.2 件/月。血液浄化機器メンテナンス数 509 件。

<保守管理ME機器>

1. 人工呼吸器：21 機、2. テレメータ：283 機、3. IABP：4 機、4. 除細動機：17 機、5. 輸液ポンプ：163 機、6. シリジンポンプ：62 機 7. 血液浄化関連装置：35 機、8. アナライザー：8 機、9. 超音波ネブライザー：7 機、10. 保育器：12 機、11. PCPS：2 機、12. 麻酔器：7 機、13. 体温管理システム：13 機、14. PCA ポンプ：5 機、15. 高流量酸素療法器：4 機、16. 自動心臓マッサージシステム：1 機、17. 電気メス他：18 機

(文責 : 金子 修)

(6) 視能訓練室

1. スタッフ

視能訓練士 2 名

2. 業務内容

診療日 (月曜日・木曜日・金曜日午前) は主に眼科一般検査 (視力・屈折検査、眼圧検査) や眼底写真検査 (デジタル・自発蛍光眼底造影)、光干渉断層計検査、角膜内皮細胞検査などを行っております。

診療日以外である火～水曜日・医師が手術を行っている金曜日午後は眼鏡処方検査・視野検査 (静的視野検査・動的視野検査・両眼単一視野) や斜視弱視検査及び訓練、網膜電位図検査や眼筋機能検査、白内障手術で使用する眼内レンズの度数測定などの手術前検査等専門的で時間を要する特殊検査を行っております。

3. 業務実績

眼科一般検査 : 視力検査 6,098 件・眼圧検査 5,862 件・屈折及び角膜曲率半径検査 5,027 件

眼科特殊検査 : 視野検査 681 件・斜視弱視検査及び訓練 106 件・眼球運動検査 20 件・眼鏡検査 128 件・光干渉断層計検査 2,561 件・眼底写真撮影 (自発蛍光撮影を含む) 618 件・網膜電位図 1 件・色覚検査 12 件・角膜内皮細胞検査 235 件・角膜形状解析検査 4 件・眼軸長測定 81 件 等

4. 今後の目標

令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響で患者数や手術件数が減少し、それに伴う様々な眼科検査件数も前年度に比べて約 9% 減少となりました。患者数が従来通り戻ると検査件数も増加することが予想され、前年度達成できなかった視能訓練士の増員を行い、新たな体制を構築したいと思っております。

さらに検査技術の向上と新しい知識の習得に取り組み、医師の診断・治療に役立つ検査を行い、患者様が安心して検査を受けて頂けるよう努めていきます。

(文責 : 宮本 恵子)

(7) 歯科衛生室

1. スタッフ

歯科衛生士 2 名

2. 業務内容

(1) 歯科診療補助

歯科口腔外科診療日の午前中は主に初診患者、午後は再診患者、入院患者の往診での診療補助を行っております。また、近医歯科医院等より紹介のある智歯の抜歯、全身疾患を有する患者の抜歯、顎口腔領域の粘膜疾患・腫瘍・嚢胞の組織検査や治療、顎口腔領域の軟組織損傷・顎骨骨折など、局所麻酔下での処置が可能な場合は外来で外科処置が行われるため、その補助を行っております。全身麻酔下の手術は、月曜日と木曜日の午後に行われるため、その手術補助を行っております。

(2) 歯科予防処置、保健指導

当院で肺癌や消化器癌、乳癌等の手術を施行される患者の周術期において、気管内挿管時の歯牙脱落や術後誤嚥性肺炎、創部感染、菌性感染による敗血症や感染性心内膜炎などの発症予防を目的とした口腔機能管理を行っております。また、化学療法や放射線治療中に起こる口内炎や粘膜炎などの口腔内有害事象発現の予防や軽減を目的とした口腔機能管理も行っております。さらに、口腔衛生管理を必要とする入院患者に対して歯石除去、歯面清掃など

の口腔ケア、歯ブラシやその他補助清掃用具の使用方法などセルフケアについて指導を行っております。糖尿病教育入院患者に対しても、歯周病コントロールが糖尿病コントロールに関係することを説明し、かかりつけ歯科へ定期的を受診する必要性を指導しております。

(3) その他

器材を含めた歯科口腔外科外来診察室の管理を行っております。また、患者からの問い合わせや予約などの電話対応や病棟との連絡調整も行っております。

3. 業務実績

歯科衛生業務：診療補助 5472 件、外来外科処置補助 423 件、全身麻酔下での手術補助 39 件、歯周検査 18 件、歯石除去 516 件、機械的歯面清掃 980 件、歯科保健指導 53 件、歯面清掃や粘膜清掃などの口腔ケア 768 件

周術期等口腔機能管理：Ⅰ（術前）64 件（術後）19 件、Ⅱ（術前）176 件（術後）333 件、Ⅲ（化学療法）586 件（放射線治療）21 件（緩和ケア）0 件

歯科衛生業務は前年比 19.2%、周術期等口腔機能管理については、新患数は 19.3%、全体では 39.4%と増加致しました。

4. 今後の目標

令和 3 年度より常勤歯科衛生士が 1 名増員されます。これまでは診療補助業務等が滞ってしまうことから歯科衛生士単独で行うことができる業務を効率よく行うことができずにいました。しかし、今後は診療補助業務と予防処置・保健指導等の業務を偏りなく行うことができると期待されます。受容できる業務量は増加しますが、提供する医療の質を落とさぬよう励んで参ります。また、歯科口腔外科と共に歯科衛生室が開設されて 3 年が経ちますが、当部署において新人教育は初めてとなります。よって、新たに新人教育システムを構築していかなければなりません。歯科口腔外科の先生方にもご協力いただきながら、2 次医療機関にふさわしい歯科衛生士の育成に努めて参ります。

（文責：齊藤 由佳）

4. 看護部

(1) 看護部管理室

令和 2 年度は、医療機能強化と看護の質向上、健全な経営への貢献、新型コロナウイルス感染症における適切な感染対策の実施および看護の提供、人材育成の推進、職員の働き方改革に主眼をおき、目標設定し達成に向け取り組んだ。

I. 令和 2 年度看護部事業目標および評価

1. 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

1) 安全かつ質の高い看護の提供

(1) 医療安全対策の徹底と評価および感染防止策の徹底と評価

①インシデント報告に対する安全対策を評価し改善する

薬剤誤投与、転倒転落、ドレーンチューブエラーについて安全対策を実施し発生件数を 95%以下とする

②接触感染予防対策実施状況の把握と評価を行い改善に繋げる

手指衛生サーベイランスの実施と状況把握し、数値が昨年度より向上する

【評価】

師長会議にてインシデント報告の共有、リスクカンファレンス内容の共有を行った。薬剤誤投与・転倒転落・ドレーンチューブエラー発生件数は昨年度から減少は見られなかった。しかし、レベル 0・1 の報告件数は増加していることから、安全への意識は高まってきていると考える。手指衛生サーベイランスでは、手指消毒剤を個人携帯とし、各部署での数値の向上に繋がった。

2) 接遇の改善

(1) 患者からのご意見に対し改善策を実施し患者満足度向上に繋げる

①患者満足度調査を実施し現状を把握する

患者満足度調査の看護師評価「満足・やや満足」の割合が90%以上となる

②看護部関連のご意見を看護師長会で共有し、改善策・対応策を検討する

看護部関連のご意見数が昨年度より減少する

(2) 看護職員の身だしなみや接遇態度を育成する

①身だしなみチェック項目の見直しの実施

②身だしなみチェックの実施(6月・1月)

看護職員の身だしなみ遵守率80%以上となる

【評価】

ご意見については看護師長会議にて共有し対象部署においては振り返りおよび改善策の検討を実施した。患者満足度調査結果では「全体印象」の満足は70%、「看護師の態度・対応」の満足は76%であった。これは高い評価とは言えない結果となった。次年度においても引き続き接遇改善について継続し取り組んでいく。

身だしなみ・接遇チェックを6月・1月に実施し、結果を看護師長会議で共有した。遵守率は身だしなみ98%・接遇90%であった。身だしなみチェックリストの見直しを看護師長会議で実施し、今年度より使用開始した。

2. 健全な経営への貢献

1) 急性期入院基本量1の維持と病院経営への貢献

①重症度、医療・看護必要度の維持と評価精度管理の実施

重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者割合が31%以上を維持できる。

診療報酬改定に伴う評価変更内容について副看護師長が中心となり周知を実施する。

B項目評価状況の確認を実施し記録と評価の齟齬を減らしていく。

②一般病床利用率の維持を図る

他職種と連携し、入退院調整を適切に行い効果的な運営を目指し、平均病床利用率80.6%を維持する。急性期病棟平均在院日数10.9日を維持する。

③差額ベッドの稼働率向上を図る

各個室の稼働率を把握し、個室有効活用の推進を図り、平均稼働率36.9%を維持する。

【評価】

重症度、医療・看護必要度では、評価内容変更点の周知を副看護師長部会が中心となり各部署で実施できた。B項目評価状況は記録との齟齬が見受けられるため、次年度も引き続き改善に取り組んでいく。

一般病床利用率においては、毎朝の看護師長ミーティングにおいて病床稼働率数値を共有し現状の把握と利用率・稼働率向上のための、空床利用・協力体制について意識付けを行った。新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減少に伴い、平均病床利用率は69.4%に留まった。また、急性期病棟平均在院日数も11.03日とやや延長となった。新型コロナウイルス感染症入院患者受入に伴い、南3階病棟、南7階病棟のベッド使用数等の制限を行なったことも影響していると考えられる。次年度においても新型コロナウイルス感染症の影響は続くと推測されるが、適切な入退院調整を実施し、今年度以上の利用率、平均在院日数の短縮を目指す。差額ベッドにおいては、全体平均稼働率は35.2%で昨年度より減少した。特に2床室の差額ベッドとしての稼働は17.3%と低い結果となっている。また、重症室では57.6%と平均値よりは高い数値ではあるが、対象となる患者の適切な時期に重症室を利用できるよう病床管理を行っていく必要があると考える。

3. 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理および看護の提供

1) 感染症患者（疑い例含む）への適切な感染対策を講じ、円滑な受け入れと医療・看護の提供ができる

- ①院内における感染対策について各部署と密に連携・情報共有の実施
- ②対策会議内容を速やかに各部署に情報提供を行うとともに現場のスタッフの声を会議にあげ最善の対応を検討する
- ③適切な病床活用と人員配置・応援体制の検討を行う。
- ④看護職員が不安なく適切な PPE を実践できるように感染管理認定看護師、感染対策リンクナース、各部署で連携し指導・実践する。
- ⑤看護職員の心理的負担の軽減を図る

病院の方向性・方針を速やかに現場に伝え、現場が不安・混乱なくスムーズに対応できることを目指す。看護職員が適切に感染防止対策を講じることができる。

【評価】

感染対策の情報提供、対策会議内容の周知・共有について看護師長ミーティング・看護師長会議・副看護師長部会・感染対策リンクナース部会を活用し実施した。感染対策の実践でも感染管理認定看護師、感染制御実践看護師がリンクナースと連携し指導を行い、看護職員の感染者は0名で経過した。職員の心理的負担軽減では、心療内科医師と連携し患者担当部署看護職員に対し、スクリーニングを実施し、対象となったスタッフまたは希望者には医師と面談する体制を整えた。患者対応に当たる部署の看護職員の身体的・心理的負担は相当なものであったが、各部署の職員間の協力体制や支援により対応が継続出来ている。

適切な病床活用と人員配置、応援体制においては、当初は感染症病床4床での対応であったが、感染拡大に伴う患者数の増加に伴い、南3階病棟陰圧個室2床を専用病床として追加使用を開始、その後、南7階病棟の8床を専用病床として追加使用開始とした。さらなる患者数の増加に伴い、南7階病棟を専用病棟として運用を行った。南7階病棟は、患者数の状況により、専用病棟としての運営・地域包括ケア病棟としての運営・地域包括病床とコロナ病床との併用運営という運営とした。人員配置においては、原則、南3階病棟スタッフ、南7階病棟スタッフが専属として入院患者対応にあたった。しかし、患者数の増加と重症化に伴い、南7階病棟スタッフだけでは対応が困難となり、夜勤を南3階病棟から1名、日勤を南3階病棟以外の部署から1名ずつ毎日南7階病棟へ助勤に行く応援体制をとった。

4. 人材育成の推進

1) 人材育成の推進

- ①看護管理者の育成
看護管理者の役割意識の向上を図る
- ②医療安全管理者および感染管理者の育成
医療安全管理者養成研修、感染管理認定看護師教育課程受講者を選考し受講させる。
- ③看護職員のキャリアアップ支援
看護職員のスキルアップに主眼を置いたローテーションが行える。
- ④新人看護職員研修プログラムの評価
新人看護職員研修プログラムの評価を実施し次年度につなげる

2) 人事評価制度の精緻化

- ①各自が役割に沿った目標設定・評価の実施
- ②当院看護職クリニカルラダーの作成および運用方法の検討を行う

【評価】

人材育成の推進では、看護管理者の昇任における選考方法を構築し、さらに看護管理者の昇任における資格基準を作成した。今年度は、新たな資格基準、選考方法に則り看護管理者の選考を実施した。医療安全管理者養成研修に3名受講した。感染管理認定看護師教育課程受講者について

では次年度引き続き選考を継続する。看護職員のキャリアアップにおいては、スタッフローテーション基準を作成し、スキルアップ目的のローテーションを全部署1名以上で実施した。新人看護職員研修プログラムの評価では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、従来通りの研修が実施できなかった。さらに次年度の新卒入職者は臨地実習が受けられていない状況であることから、次年度の新人看護職員研修プログラムにおいては基礎教育の状況を踏まえ計画を実施していく必要がある。

人事評価制度の精緻化では、各自の目標設定を目標設定テンプレートに基づき評価を行えたが、専門職の能力評価としては評価不十分な点もあることから、目標設定を検討していく必要がある。また、看護職クリニカルラダーについては、レベル別能力達成目標の設定の見直しは行えたが、運用方法の検討には至らなかったため、次年度に継続し検討していく。

5. 職員の働き方改革

1) 働き方改革に即した働きやすい環境の整備

- ①急性期病棟での短時間夜勤導入部署の拡大
- ②計画的有給休暇の取得
- ③超過勤務時間の把握
- ④看護職員が就業継続できる環境の整備

育児支援制度を再周知し制度利用者の増加を図る

【評価】

短時間夜勤導入は1病棟で導入を行えた。有給休暇取得は1人当たり平均8.5日であった。超過勤務では、スタッフは1人当たり1ヶ月平均2.5時間であったが、看護管理者において1ヶ月45時間以上が毎月3名以上の状況が続いているため、次年度は看護管理者の働き方を検討する必要がある。看護職員の就業継続できる環境の整備として、育児支援制度の再周知を看護師長会で実施し、部分休業取得が少しずつ看護職員間に浸透しつつある。また、ハラスメントについての理解を深めるため、看護師長会議にて学習会を実施した。

(文責：高田 幸子)

(2) 南3階病棟 (HCU)

1. スタッフ

兼任医師1名、看護師31名、薬剤師1名、MSW1名、医療事務1名

2. 業務の概要

令和2年度事業目標

1) 医療機能強化と良質なサービスの提供

I/A レポートの安全対策を評価し改善する

2) 健全な経営基礎の確立

急性期入院基本料1と病院経営に貢献する

3) 大規模感染症対策

COVID-19 感染症（疑い含む）の看護が不安なく適切に実践できる

4) 職員の働き方改革

業務改善を推進し働きやすい環境づくりを行う

5) 人材育成の推進

急性期看護の専門性を高める

当病棟は、集中治療室病床24床（3階）と感染症病床4床（1階）を有する病棟である。令和2年度は、COVID-19 感染症患者対応のため、集中治療室病床を12床~22床、感染症病床を2床~6床（3階及び1階）とCOVID-19 感染症患者の入院状況に応じて変更し、対応した。COVID-19 感染症患者延べ数は、1階感染症病床511人、3階感染症病床人、合計656人であっ

た。令和2年度の当病棟（感染症患者を含む）の実績は、延べ患者数 4357 人平均入院患者数 11.9 人、平均在院日数 4.1 日、病床稼働率 81.5%であった。集中治療室及び感染症病床で、多職種と連携し、専門性を高め質の高い医療サービスの提供を行っていくため日々研鑽を重ねている。

（文責：樋口 美恵子）

（3）南4階病棟

1. スタッフ

医師：循環器内科 5 名、腎臓内科 6 名、糖尿病内科 1 名 看護師：28 名
看護助手：1 名、薬剤師：3 名（兼任） 医療事務：2 名 MSW1 名

2. 業務の概要

令和2年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

(1) 安全かつ質の高い看護の提供

医療安全対策の徹底と評価および感染対策の徹底と評価

(2) 接遇の改善

患者からのご意見に対して改善策を実施し、患者満足度の向上につなげる
スタッフの身だしなみや接遇態度を育成する

2) 健全な経営基盤の確立

(1) 人材育成の推進

新人教育プログラムに沿った教育計画

(2) 人事評価制度の精緻化

各自の適切な役割に沿った目標設定

3) 職員の働き方改革

(1) 働き方改革に即した働きやすい環境の整備

有給休暇 5 日以上と超過勤務削減への取り組み

(2) 業務改善の推進

自部署における問題点を把握し、1 つ以上の改善に取り組む
看護助手の効果的な活用を推進する

令和2年度の実績は、入院患者延べ数 15,161 人、平均在院日数 11.8 日、平均病床稼働率 88.4%、平均病床回転率 2.6%であった。

チーム医療の推進を強化し、医療安全や感染防止に努めた。患者満足度の向上を目指して、スタッフの接遇態度の育成を強化した。人材育成では、スタッフがスキルアップできるように勉強会を継続して、専門知識・技術の習得や医療の質の向上を図った。また、コロナ禍で様々なストレスを抱える中、働き方改革として QC サークル活動を中心に業務改善を行いスタッフのモチベーションの維持に努めた。今後も目標達成に向けて継続して取り組んでいきたい。

（文責：高橋 富士美）

（4）南5階病棟

1. スタッフ

整形外科医師 6 名 脳神経外科医師 3 名 看護師 29 名（認知症看護認定看護師 1 名）
看護助手（臨時職員）2 名 MSW1 名 薬剤師 1 名 管理栄養士 1 名 医療事務 2 名

2. 業務の概要

令和2年度事業目標

- 1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
 - (1) 安全かつ質の高い看護の提供
 - (2) 医療安全対策の徹底
 - (3) 感染予防対策の徹底
- 2) 健全な経営基礎の確立
 - (1) 平均在院日数 10～12 日以下を維持する
 - (2) 重症度、医療・看護必要度の維持と評価の制度の維持、向上を図る
- 3) 職員の働き方改革
 - (1) 看護業務の負担軽減
 - (2) 看護体制の見直し業務改善を行う
- 4) 大規模感染症対策
 - (1) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理
 - (2) 患者、看護師の安全な看護の実施

3. 業務実績

令和 2 年度の実績は、入院患者延べ数 13324 人、平均在院日数 9.8 日、平均病床回転率 3.2%、平均病床稼働率 77.7%。整形外科手術件数 600 件、脳神経外科手術 214 件 血管内治療 33 件であった。

年々高齢化が進み、独居生活も増え患者・家族背景も複雑化し入退院調整が困難な事例が増えてきている。計画的にカンファレンス（整形外科多職種カンファレンス 1 回/週・脳神経外科多職種カンファレンス 2 回/週・退院支援カンファレンス 1～2 回/週）を行い、できる限り患者さんが元の生活の場に戻れるように患者支援に取り組みつつ在院日数の減少に努めた。リハビリと共同した離床チーム活動では、誤嚥防止・食事環境の向上・早期離床をめざし「嚥下体操」に着目し活動内容を検討中。次年度も、患者さんが元の生活の場に戻れるよう、多職種と連携し、安全な医療・看護の提供を目指し取り組んでいきたい。

（文責：藤巻 淳子）

(5) 南 6 階病棟

1. スタッフ

医師 8 名（泌尿器科 3 名、血液内科 5 名）、看護師 26 名、准看護師 1 名、看護助手 1 名、MSW1 名、薬剤師 1 名、管理栄養士 1 名、医療事務 2 名

2. 業務の概要

令和 2 年度は、看護部の目標に沿って以下の内容で取り組んだ

- 1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
 - (1) 安全かつ質の高い看護の提供
 - (2) 医療安全対策の徹底と評価および感染防止対策の徹底と評価
 - (3) 接遇の改善
- 2) 健全な経営基礎の確立
 - (1) 急性期入院基本料 1 の維持と病院経営への貢献
 - (2) 重症度、医療・看護必要度の精度の向上を図る
 - (3) 平均在院日数の維持を図る
 - (4) 差額ベッド稼働率向上を図る
- 3) 職員の働き方改革
 - (1) 働き方改革に即した働きやすい環境の整備
 - (2) 有休休暇 5 日以上取得と超過勤務時間削減への取り組み
 - (3) 業務改善を図り、看護体制を見直す

4) 人材育成の推進

- (1) 専門的知識、技術の習得
- (2) 学会認定臨床輸血看護師の育成

5) 大規模感染症対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症発症に伴う物資の不足に対応し、各スタッフが入院患者の看護を不安なく適切に実施できる

病床数 46 床を有する泌尿器科と血液内科の混合病棟である。46 床のうち 13 床は無菌管理区域病床であり、白血病や悪性リンパ腫などの血液がん患者の抗癌剤治療を行っている。令和 2 年度の実績は、延べ入院患者数 12,746 人、月平均入院患者数 1,062 人、平均在院日数 11.3 日、平均病床回転率 2.7%、平均病床稼働率 75.9%であった。

今年度は COVID-19 感染症発症に伴い、当病棟においても、疑い患者様の入院があり、感染対策リンクナースを中心にマニュアルの整備を行い、統一した対応が出来るよう努めた。また、物資の不足があり、スタッフ間で情報を共有し、限られた物資での感染対策に取り組むことができた。化学療法では、新薬の導入があり、新たな知識が求められるため、勉強会を開催し、マニュアルや手順を作成し、安全に投与出来るよう取り組み、看護の質の向上に努めた。終末期の患者さんに対して、個々の患者に寄り添った看護ができるようがん性疼痛看護認定看護師や緩和ケアチームと情報共有を行い、自宅退院されたケースも昨年より増加した。今年度、がん化学療法認定看護師資格試験に 1 名合格することが出来た。今後も専門性を高め、患者に寄り添った看護の提供をおこなって行きたい。

(文責：藤野 妙子)

(6) 南 7 階病棟 (地域包括ケア)

1. スタッフ

医師 1 名 看護師 20 名 (認知症看護認定看護師 1 名含む)
看護助手 3 名 薬剤師 1 名 (兼任) 理学療法士 1 名 (専従) MSW1 名 (専従)
医療事務 1 名 (兼任)

2. 業務の概要

令和 2 年度所属別行動計画

- 1) 地域包括ケア病棟の健全経営
効率的な病床管理の実践
病床稼働率の向上
- 2) 安全かつ質の高い看護の提供
認知症ケアに対する知識・実践能力を高める
転倒転落防止対策の強化
- 3) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理及び、看護が実践できる

令和 2 年度は、入院患者延数 506 名、平均在院日数 9.3 日、病床回転率 3.6 日、病床稼働率 38%であった。

当病棟は、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、4 月 17 日より感染症患者受け入れ病棟として稼働した。ICN の指導の下、感染症についての知識や PPE 脱着の手順、感染対策について勉強会や訓練を繰り返し、スタッフの不安を最小限に抑えるよう準備を行ったが、当初は未知の部分の多いウイルスだったため精神的負担は大きかった。

また感染状況により患者数、患者状況も大きく異なり、患者数によっては他病棟へ助勤に出向し、また勤務体制の頻回な変更や、地域包括ケア病床の稼働・休止を繰り返した。

地域包括ケア病棟として稼働したのは 4 か月弱であり、感染症患者との併用期間も多かった為、患

者延数や稼働率は激減している。認知症ケアについては認知症看護認定看護師を中心に認知症ケアチームによる勉強会の実施や、身体拘束解除に向けたカンファレンスを継続した。身体拘束解除については実践結果やカンファレンス内容の適切な看護記録を認知症看護認定看護師が選定しフィードバックすることで、スタッフのモチベーション向上に繋がったと考える。感染管理に対しては ICN や看護部の指導・ご協力により感染者の発生なく対応することができた。今後も気を引き締めて感染対策を徹底していきたい。

(文責：江原 忍)

(7) 北2階病棟 (回復期リハビリテーション)

1. スタッフ

リハビリテーション科医師 2 名、看護師 17 名、介護福祉士 2 名、看護助手 4 名、理学療法士 5 名、作業療法士 2 名、言語聴覚士 1 名、薬剤師 1 名、MSW1 名、管理栄養士 1 名、医療事務 1 名

2. 業務概要

令和 2 年度事業目標

1) 医療機能強化

(1) 医療安全対策の徹底

(2) 感染防止対策の徹底

2) 高品質の医療サービスを提供する

(1) 患者の意向を取り入れた医療の提供を行う

3) 健全経営

(1) 適切な患者選定を行い病床稼働率 85%以上、回復期リハビリ入院料 1 を維持する

4) 人材育成

(1) 看護倫理を意識し、患者、家族の意向を取り入れた看護の提供が出来る看護師を育成する

(2) 看護チームの一員として多職種連携が出来、安全な日常生活援助の出来る看護助手を育成する

令和 2 年度の実績は延べ入院患者数 12172 人、平均在院日数 48.3 日、平均病床稼働率 69.5%であった。前年度からの継続として抑制をしない看護の実践、転倒転落防止のため転入日からリハビリと協力して環境調整を行うなどに力を入れた。

新型コロナウイルスの影響で面会や家族面談、外出・外泊練習等の制限があり、患者の退院支援が難しい年となった。ガラス越しでの面会やリモートによる面談、距離を保ってリハビリ状況を見学するなど工夫をして退院に繋げた。またリハビリと協力し、七夕、運動会、クリスマス会、お正月など季節の催し物を行い、制限の多くなった入院生活の中でも楽しみを感じられる機会を作った。今後も感染防止対策を徹底しながら、障害の残っている患者が地域に戻っていけるよう多職種連携し、患者に寄り添った支援を提供していきたい。

(文責：菊地 弘美)

(8) 北4階病棟

1. スタッフ

医師 9 名、非常勤医師 5 名、助産師 13 名、看護師 14 名

薬剤師 1 名 (兼任)、MSW1 名 (兼任)、医療事務 2 名 (兼任)

2. 業務の概要

当病棟は、病床数 38 床の小児科、産婦人科、歯科口腔外科、眼科、内科、乳腺外科の混合病棟である。主に産科では周産期管理、婦人科、歯科口腔外科、眼科および乳腺外科では手術治療、婦人科、歯科口腔外科では化学療法、終末期医療を行い、令和 2 年度の延べ入院患者数は 7671 名、分娩件数 200 件、手術件数 392 件、平均在院日数 6.1 日、平均入院患者数 21 人/月、病床回転率 59.6%/月、病床稼働率 64.3%/月であった。

令和2年度は、看護部の目標に沿って以下のような取り組みを行った。

- 1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
リスクカンファレンスの実施と朝ミーティングでの共有化及び掲示を行い、医療安全対策の徹底を図った。また手指衛生を徹底を図り感染防止対策を行った。ハイリスク妊産褥婦・新生児についての勉強会を行うとともに地域との連携を図り、周産期医療の充実に努めた。また、各診療科のクリニカルパスの新規作成および改訂を行い、効率化と標準化を実施した。
- 2) 健全な経営基礎の確立
重症度、医療・看護必要度研修の受講と変更点の共有を実施し、精度を維持できた。
- 3) 大規模感染症対策
新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理および看護が提供できるよう、PPE 訓練を全員に実施し、疑似症例に対しても適切な感染防護を実施し、感染を起こすことがなかった。
- 4) 人材育成
9割以上のスタッフが新生児蘇生法の資格取得または資格更新を行うための講習会を実施し専門職としてのキャリアを高めることができた。

NICUを持つ小児科と分娩を扱う産婦人科を含む混合病棟であり、助産師・NICU 担当看護師などそれぞれ役割を担いつつ、多職種と連携して、様々な状態の患者さん及びご家族のケアを行った。またクリニカルパスを作成・運用し、様々な診療科の患者さんに対して一定の水準を担保したケアを行うことに努めた。

今後も分娩、手術、治療、そして終末期を過ごす患者様一人一人に寄り添い、患者様の満足と看護者のやりがいに満ちた看護を提供するため、スタッフ一同看護実践能力を高め、看護の質向上につなげていきたい。

(文責：木部 和枝)

(9) 北5階病棟

1. スタッフ

医師 11 名、看護師 30 名、臨時看護助手 1 名、薬剤師 1 名、MSW 1 名、医療事務 1 名

2. 業務の概要

令和2年度事業目標

- 1) 医療機能強化と良質な医療サービスの提供
 - ・医療安全対策、感染対策の徹底、接遇強化。
- 2) 健全な経営基盤の確立
 - ・重症度・医療・看護必要度の精度を高め、基準を満たすことができる。
 - ・退院支援の充実、他職種連携の強化。
 - ・差額ベッド稼働率の向上。
- 3) 職員の働き方改革
 - ・短時間夜勤導入を検討し、導入に向けて取り組む。
 - ・業務改善、勤務負担軽減。
 - ・有給休暇取得率の向上。

4) 人材育成

令和2年度の実績は、入院患者数延べ 13,424 名、平均在院日数 8.47 日、平均病床稼働率 80.0%、平均病床回転率 3.6%、手術件数 482 件であった。

働き方改革の一環として、2月に短時間夜勤を導入し夜勤負担軽減のための業務内容の見直しや調整を行った。長日勤勤務についても検討を重ね、短時間夜勤を継続することができている。グループ活動では、マニュアルや患者パンフレットの見直し、4種類のクリニカルパスを新規

に作成し、質の高い統一した看護が提供できるよう取り組んだ。ストーマや乳腺術後患者に対しても認定看護師による勉強会を行い、患者にとって最善のケアを提供できるよう、知識や技術の向上に努めた。また、認知症、せん妄予防対策として身体抑制を軽減できるよう、日中の離床や見守りなど抑制解除に向けて取り組むことができた。

緩和ケア病床においては、前年度と同様、緩和ケア担当者を配置し、緩和ケアチームとの連携を強化した。コロナ禍での対応や、症状緩和、退院支援など、適時に相談が行え、カンファレンスも有効に活用できた。

今後も質の高い看護の提供とともに、患者・家族の気持ちに寄り添った看護が提供できるよう努力していきたい。

(文責：神宮 由香)

(10) 北6階病棟

1. スタッフ

医師 6名 看護師 28名 臨時看護師 1名 臨時看護助手 2名 薬剤師 3名 (交代制)
MSW1名 医療事務 2名

2. 業務の概要

令和2年度事業目標

1) 安全かつ質の高い看護の提供

- (1) 医療安全対策の徹底
- (2) 感染防止対策の徹底
- (3) 接遇強化

2) 人材育成の強化

- (1) 専門的な臨床実践能力を高める
- (2) 新人教育の強化
- (3) 既卒、異動スタッフに対する教育

3) 看護業務の負担軽減への取り組み

- (1) 有給休暇取得平均 8日
- (2) 超過勤務の削減
- (3) 看護体制を見直し業務改善を行う

4) 多職種と連携し退院調整を推進する

- (1) 平均在院日数 12日以下を維持する
- (2) 包括ケア病棟、回復期リハビリ病棟の有効な利用を実践する

令和2年の実績は、延べ入院患者数 13870名、平均在院日数 12.3日、病床回転率 2.4%、稼働率 81.5%であった。呼吸器系の疾患は、肺炎・肺癌・COPD・間質性肺炎の患者増加しており、癌化学療法や放射線治療、緩和ケア、終末期看護に加え嚥下機能訓練や栄養管理、呼吸リハビリなどチーム医療を中心とした関わりを推進している。また、化学療法では新薬の導入や新しい治療法など、常に新たな知識と技術が求められるため、医師や専門看護師、認定看護師の勉強会を開催し看護の質の向上に努めている。今年度より慢性呼吸器疾患認定看護師が在籍しているため、更に学習の機会を増やしていきたい。また、入院時より MSW と共に退院支援に取り組み、患者や家族の希望に添いながら在院日数の短縮に努めている。次年度も、感染防止に努め患者に安全な入院環境を提供していけるよう取り組んでいきたい。

(文責：原 敦子)

(1 1) 人工透析室

1. スタッフ

医師 5 名、看護師 9 名、准看護師 1 名、臨床工学技士 7 名

2. 業務概要

令和 2 年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

- (1) I/A レポートの対策実施後の評価を共有し、修正・修正後の再評価をする
- (2) 接遇の改善 私語がなかったかを毎日評価する
- (3) 腎代替療法指導の統一を図る

2) 職員の働き方改革

- (1) 業務改善は全スタッフで行い QC サークル活動がスタッフの負担にならないよう環境整備をする

3) 大規模感染症対策

- (1) 感染対策が徹底されていない患者へ指導
- (2) PPE を徹底しフットケアを継続する

令和 2 年度の透析患者数は、外来維持血液透析患者 89 名、腹膜透析患者 13 名、年間透析患者総数 14447 件（月平均 1204 件）新規導入件数は 63 件、生体腎移植は 3 名であった。

腎代替療法では、内科外来と連携を取り患者・家族のニーズに合った選択が出来るよう 12 名の患者に指導を実施した。腎代替療法指導に伴い、腎臓病チームを結成し、腎臓病教室を開催することが出来た。

フットケアは年間 1151 件で、下肢末梢動脈病変の早期発見に努めた。

腎臓リハビリは 5 月 11 日から開始し、9401 件（月平均 94.1 件）看護師が実践しており、毎週水曜・木曜の午前にはリハビリスタッフの協力を得ている。

患者からは、「日課になり楽しみになってきた。つまずかなくなった。階段が上がるようになった。」という声が聞かれた。また、透析終了後の血圧低下防止にもつながり、透析後の転倒がなくなった。次年度も患者・家族に寄り添い、1 日でも長く日常生活が続けられるよう個別に看護を提供していきたい。

(文責：野村 香)

(1 2) 中央手術室

1. スタッフ

看護師 17 名

2. 業務の概要

令和 2 年度事業目標と達成状況

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

- (1) インシデントレポート報告の推進。
- (2) 手術室の感染防止対策の徹底と評価、改善を行う。
- (3) 術後訪問を継続し、手術室の患者満足度を調査し、指摘事項の改善策を実施する。

2) 健全な経営基盤の確立

- (1) 物品管理を強化し、材料の期限切れを出さない。
- 3) 感染症患者に対し、病院の方針に沿った手術対応ができる。

2020 年度の手術件数は、2,181 件で前年度と比較して 274 件減少し、全身麻酔件数は 1,089 件であり、前年度と比較して 181 件の減少であった。

目標の評価としては、インシデントレポート報告は前年度より 41 件増加し、リスクカンファレンスを定期的に行い、スタッフ間で対策を考えることができた。また術後訪問を継続し、患者さんからの指摘事項は翌日のミーティングで周知し、改善策を話し合った。

手術時の新型コロナウイルス感染予防対策では、感染管理認定看護師に相談しながら対応マニュアルを作成した。さらに患者入室時から退室、清掃までのシミュレーションを繰り返し行い、対応マニュアルもその都度修正した。

日本手術看護学会では、周術期看護の定義を「患者家族が手術を決定したときから、手術室に入室し、手術の準備から術中、手術を終えて退室し、手術侵襲から回復するまでのプロセスに係る看護とする」としており、手術室看護師の役割は拡大してきている。それを担うために今後も人材育成に努め、安全で質の高い手術室看護を提供していきたい。

(文責 千木良 直子)

(13) 外来・救急センター

1. スタッフ

看護師 18 名（保健師 2 名・助産師 2 名含む）そのうち 11 名は救急センターの夜勤を行う。

非常勤看護師 25 名、看護補助者 4 名

2. 業務の概要

令和 2 年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な看護サービスの提供

- ・リスク感性を高め、医療安全対策の徹底を図る
- ・新型コロナウイルス感染症における感染予防策の徹底
- ・接遇態度の育成を図り、患者満足度向上につなげる

2) 健全な経営基礎の確立

- ・外来指導料・管理料・加算が正しく算定できる

3) 業務改善の推進

- ・各外来の問題点を把握し、1 項目以上の改善に取り組む

令和 2 年度外来患者数は 154,072 人/年（平均 634 人/月）で、前年比約 15%減だった。

救急センター患者数は 9176 人/年（1 日平均 25.1 人）救急車数 3992 人/年（1 日平均 10.9 人）それぞれ前年比 17.7%減、12.5%減となっているが、救急車の収容率は前年と変わりなかった。コロナ禍の影響で全体的に患者数が減少となった。

外来部門は 26 科の診療科があり、診療介助や患者指導、外来化学療法・輸血・輸液療法などを実施している。内科外来では糖尿病療養指導士を中心として透析予防指導を実施しており、検討会も定期的に行っている。ストーマ外来では、病棟からも認定看護師の協力を得て毎週金曜日 5~6 名の患者を受け入れている。外来化学療法室では、患者数の増加のため、リクライニングソファを 2 床増床し患者の待ち時間を改善することができた。

救急センターでは、令和 2 年 1 月頃から新型コロナウイルス感染症拡大に伴い発熱外来を 3 月以降も継続して行っており、藤岡市で開設した発熱センターと連携し、感染外来診療室において内科医師の当番制とし救急センタースタッフが発熱外来患者の対応に当たった。

感染外来だけでなく、救急搬送患者の発熱に対しても、ICT の指導のもと感染予防策を徹底して行い、コメディカルとも協力して行った。

今後も、地域住民に信頼される医療看護の提供に努力していきたい。

(文責：吉田富子・飯島京子)

(14) 内視鏡センター

1. スタッフ

消化器内科医師 1 名、看護師 11 名、准看護師 1 名(再任用 1 名、臨時職員 2 名含む)

2. 業務概要

- ・医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

JED-Project 導入に向けた取り組み

JED-Project を把握し操作手順及びシステムを理解し活用する

内視鏡診療データベースの構築に向け計画実施する

JED 項目に対応、所見情報の管理を行う

- ・大規模感染症対策

感染防止対策の徹底と評価

新型コロナウイルス感染症に対して適切な対策を実践する

感染症を把握し適切に対処する

- ・職員の働き方改革

内視鏡センターとして更に業務を整備し、効率的で機能的な運用を行う

検査内容、緊急性を考慮して、入院・外来検査室を選択し患者ニーズに対応する

センターとして円滑に運用できる

- ・健全な経営基礎の確立

内視鏡看護の専門性を追求すると共に患者の個別性を尊重した、高水準の技術・知識を用いて看護実践する。

内視鏡検査に於けるコスト意識を高め経営改善に参画する

令和 2 年度の内視鏡センター実績は、上部消化管検査 4739 件、下部消化管検査 1430 件、内視鏡的膵胆管造影 72 件、気管支ファイバー76 件、経食道エコー6 件、膀胱鏡 483 件、内視鏡的異物摘出術 15 件、ポリペクトミー（下部）含む EMR382 件、ESD（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）21 件、止血術（クリップ・APC 含む）244 件、EUS（超音波内視鏡検査）19 件、点墨・色素撒布件、マーキングクリップ 181 件、内視鏡的拡張術 18 件、EVL（内視鏡的静脈瘤結紮術）1 件、留置スネア 16 件、EST（内視鏡的乳頭括約筋切開術）50 件、ERBD（内視鏡的逆行性胆汁ドレナージ）22 件、PEG（内視鏡的胃瘻造設術）14 件、イレウス管挿入 25 件、経肛門的減圧術 3 件であった。

今年度は日本消化器内視鏡学会が実施する JED-Project 消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築（多施設共同研究事業）に参加することになりました。専門医制度への効果的な対応、標準化された高度な臨床研究の実現と内視鏡診療の実態を把握し、内視鏡指導連携施設として役割を実践できるように、正確な内視鏡診療のデータベースの構築のため、内視鏡実績内容と JED 項目の整合性を確認し、新たなシステムが順調に稼働できるように改良を頻繁に実施し、従来の内視鏡レポートシステムから移行することが出来ました。

新型コロナウイルス感染症の対策として、標準予防策の徹底と外来患者全てに問診と検温、付き添い家族に対しても検温を実施しました。患者待合廊下と前処置室ではソーシャルディスタンスを保ちセキュリティ扉を開放し換気を行い、内視鏡センター内に於ける感染リスクの低減に努めました。そして患者ニーズに答える事を念頭に、効率的な内視鏡センターの運用を図るため、検査内容、緊急性を考慮して入院・外来検査室を選択し業務整理を行い、超過勤務の削減と有給休暇取得の促進に繋げました。また内視鏡検査に於ける費用対効果の認識を深めるため、全スタッフを対象にコスト意識を高める事を目指して勉強会を開催し診療報酬やコストについて、意識づけに取り組みと共に余剰在庫の削減も実施しました。今年度は年間を通して偶発症の発生なく経過し、更に安全安心な内視鏡検査の提供につとめてゆきたいと思えます。

(文責：與口 裕)

(15) 訪問看護ステーションはるかぜ

1. スタッフ

看護師 9 (非常勤 3 名) 常勤換算 8.5 名

リハビリスタッフ 5 名 訪問リハビリ事業所と兼務

2. 業務概要

令和年度利用者数 248 名 (看護師 248 名 リハビリ主体 22 名 併用 34 名)

月平均利用者数 141 名 月平均訪問件数 898 件 (看護師 691 件・リハビリ 202 件) 1 日平均訪問件数 44 件 (看護師 34 件・リハビリ 9.9 件)

当訪問看護ステーションは、全ての科を対象に疾患も様々で、年齢を問わず幅広く対応している。また 24 時間連絡対応体制をとっており、待機は毎日 2 名 1 番・2 番で対応している。医療依存度の高い利用者が多く、年間緊急訪問 459 件、休日訪問件数年間 694 件でともに昨年度より増加している。休日も訪問看護が必要な状態の利用者は多く、医療用麻薬持続注射、褥瘡や潰瘍の処置、輸液など毎日訪問が必要な利用者には休日も計画的に訪問をしている。疾患状況では、悪性腫瘍の利用者が最も多く、病院の緩和ケアと連携を行っている。リハビリにおいてもターミナルや進行疾患などの対応を行っている。癌以外の看取りも含めて、令和 2 度の在宅での看取りは 34 名で昨年度より 9 名増加している。

3. 令和 2 年度の事業目標

I. 健全な経営の確立

- 1) 看護体制強化加算 (介護保険) 維持と機能強化型訪問看護管理療養費 3 (医療保険) の維持 2) ターミナルケアの充実、医療機関との相互人材交流
- 3) 在宅療養へ円滑に移行する 4) 他職種との連携強化

機能強化型訪問看護管理療養費 3 は継続できた。看護体制強化加算 II (300 単位) は、看取り件数が 5 名/6 ヶ月の要件を満たせたので、令和 3 年 4 月より看護体制強化加算 I (550 単位) を取得していく。

II. 医療機能強化と良質な医療サービスの提供

- 1) 医療安全対策の徹底と評価 2) 感染防止対策の徹底と評価 3) スタッフ教育の充実を図る 4) 利用者満足度の向上

新型コロナウイルス出現により感染防止対策を強化し、スタッフ間での COVID-19 の感染はなかった。接遇アンケートでは満足度 90%以上得られた。

III. 働き方改革働き方改革 2) 業務改善

待機の回数を短くし、土日の待機の後の平日に有給休暇を積極的に取得するようにしたことと勤務負担の軽減ができた。

(文責：山口 明子)

5. 経営管理部

(1) 総務課

1. スタッフ

課長外 7 名 (内、会計年度任用職員 1 名)

2. 業務の現況

- ・組合議会に関すること
- ・組合例規の制定及び改正
- ・職員の採用に関すること
- ・職員共済会に関すること
- ・職員の人事給与に関すること
- ・医局事務に関すること

3. 今後の目標

- ・医師の確保（医師支援業務の充実）
- ・人事評価制度の見直し
- ・組織の業務内容の見直し
- ・個人情報管理の徹底
- ・働き方改革の推進
- ・藤岡市との人事交流の促進

（文責：塩川 広幸）

（２） 用度課

１． スタッフ

課長外 ７名

２． 業務の現況

- ・医療機器、薬品、診療材料、消耗品等の購入業務
- ・薬品、診療材料、消耗品等の物品管理業務
- ・委託、賃借等契約業務
- ・医療機器の保守、修繕等管理業務
- ・その他資産の管理業務

３． 今後の目標

- ・安全で良質な物品を提供し、医療現場の要望に即応できる体制の確立。
- ・経費削減における取り組みの検証、及び見直しを行い更なる経費節減・抑制をする。
- ・診療部、薬剤部と連携しジェネリック薬品の採用増等を図り、薬品費の抑制及び診療材料費の削減。
- ・病院としらさぎの里の一元管理。

（文責：新井 誠十郎）

（３） 医事情報課

１． スタッフ

課長外 15名、医事業務委託職員、医療情報システム業務委託職員

２． 業務の現況

（医事グループ）

- ・医事業務管理業務
- ・施設基準等の届出業務
- ・各種調査、統計業務
- ・地域がん診療拠点病院に関する業務
- ・訪問看護請求管理業務

（診療情報グループ）

- ・診療録、サマリーの点検業務
- ・診療録等の保管管理業務
- ・診療統計、各学会等のデータ登録業務
- ・診療情報開示に関する業務
- ・がん登録、がん統計に関する業務

（診療支援グループ）

- ・医師事務作業補助業務
- ・診断書等の文書作成支援業務

(システム管理グループ)

- ・電子カルテ及び連携する各システムの運用管理
- ・各種統計等の作成業務
- ・組合全般の情報管理業務

3. 今後の目標

- ①医用画像管理システム（PACS）の入替検討。
- ②オンライン資格確認システムの導入検討。
- ③令和2年度に心電図診断システムおよび放射線治療システムを入替え稼働する。

(文責 五十嵐 哲二)

(4) 企画財政課

1. スタッフ

課長外 5名

2. 業務の現状

予算編成及び資金計画の作成
決算の調整及び執行
現金預金及び財産の記録管理、経理業務
各種補助金の実施申請
企業債の実施申請
各種病院基準の申請
財務統計データの作成

3. 今後の目標

新公立病院改革プランの管理・評価
中期計画の作成
機器等の適正な整備計画
旧病院の解体
運営資金の確保

(文責：中里 光夫)

(5) 経営戦略室

1. スタッフ

室長外 1名

2. 業務の現況

- 所属別行動計画の取り纏め、ヒアリング、進捗管理
- TQMに関すること
 - 5月27日 倫理委員会へ「人生最終段階における医療ケアの決定プロセス（ACP）」申請
 - 6月1日 指導管理料算定率アップを目的に「病院機能向上プロジェクトチーム」設置
- QCサークル活動に関すること
 - QCサークル活動令和2年度の基本テーマ「UPDATE アップデート」
 - QCサークルチームの取り纏め・進捗管理（月1回リーダー会議）
 - 3月 新型コロナ感染予防対策のためQCサークル活動院内発表会動画配信（院内）
- 広報戦略
 - 7月9日 一般市民向け広報誌「SASAEAI ささえあい No33」リニューアル発刊
 - 7月17日 多野藤岡医療事務市町村組合公式インスタグラム開設
 - 1月4日 多野藤岡医療事務市町村組合公式ユーチューブ開設
 - 2月20日 一般市民向け広報誌「SASAEAI ささえあい No34」発刊
 - 2月24日 ナースガイド（看護師リクルート）企画・撮影・デザイン・ネット印刷

○経営戦略の立案に関すること

- 4月1日 重症者等療養環境特別加算の施設基準を安定的に維持していくため4室削減し、部屋仕様が同じで、患者ニーズの高い個室Bへ4室変更
- 4月1日 室料差額ベッド・室料加算の収入増と費用削減を目的に「個室案内パンフレット」を院内印刷からネット印刷へ切り替え
- 7月 紹介率・逆紹介率アップを目的に藤岡及び本庄児玉医師会へ登録している医療機関へ当院に対するアンケート調査実施。集計結果を病院ホームページに公表

○部門別業務実績の取り纏め、報告に関すること

○日本病院会 QI データの取り纏め、報告

○病院指標に関すること

○診療報酬収入情報の抽出、分析及び活用に関すること

- 7月 3日 診療科別ミーティング（消化器内科）
- 7月 14日 診療科別ミーティング（外科）
- 9月 8日 診療科別ミーティング（産婦人科）
- 1月 29日 診療科別ミーティング（外科）

○各種統計の作成、分析及び活用に関すること

○その他経営戦略に関すること

3. 今後の目標

- ・所属別行動計画、QC サークル活動の進捗管理
- ・室料差額ベッド、室料加算の収入増
- ・医療材料、消耗品等の費用削減（用度課と共同）
- ・紹介率向上（医師紹介冊子の制作）
- ・リクルート動画企画・撮影・制作・配信（臨床研修医・中堅看護師）
- ・パンフレット制作（しらすぎの里・看護師・臨床研修医）
- ・DPC データを基にしたクリニカルパスの改訂支援

（文責：清宮きよ江）

6. 研修管理センター

1. スタッフ

研修管理センター長 臨床研修統括部長 臨床研修医 14名（2年次7名・1年次7名）
事務統括（医局秘書兼務）・事務（医局秘書兼務）・図書司書（医局秘書兼務）

2. 業務実績

- ・職員研修に関すること（人材育成）
院内で実施する研修会や講演会及び各部門勉強会の計画・実績把握
全職種合同新入職者オリエンテーションの実施（4/1～4/3）
シミュレーター室の管理及び運用
- ・職員の資格取得に関すること
全職員の資格取得・資格更新・各研修会修了等の把握管理
- ・人材育成・新人研修プログラムの把握管理
- ・医学生の実習に関すること
- ・臨床研修に関すること（卒後臨床研修機能評価4年認定）
研修医症例発表会の実施（12月）
- ・図書に関すること（図書管理・文献検索・学会支援）
- ・医局事務に関すること

3. 今後の目標

- ・ 臨床研修医を確実に確保し、修了認定までのサポートを行なう。
- ・ 2022年度の卒後臨床研修評価の更新に向けて、改善事項の見直しを行い継続して4年を取得できるよう準備する。
- ・ 必要とされる研修などについて、計画的な実施を検討し研修評価や改善を図る。

(文責：金澤 祐子)

7. 安全管理センター

1. スタッフ

センター長 1名(病院長補佐)

事務統括 1名(総務課長兼務)

安全管理グループ

- ・ 医療安全管理者（専従リスクマネージャー） 1名
- ・ 院内感染管理者（感染制御実践看護師） 1名
- ・ 事務員 1名

施設管理グループ

- ・ 課長補佐 1名
- ・ 事務員 5名
- ・ 電気主任技術者 1名(非常勤)

2. 業務内容

- ・ 医療安全管理委員会開催（毎月）
- ・ リスクマネージャー専門部会（毎週）
- ・ 全リスクマネージャー会議（5/28）
- ・ I/Aレポートの集計、報告、分析、対策
- ・ 院内医療安全巡視（毎月）
- ・ 医療安全研修会開催（全職員対象年2回）
- ・ 医療安全キャンペーンの実施
 - 4月～5月：確実な薬剤投与
 - 6月～9月：本人確認の徹底
 - 10月～3月：薬剤-注射確認の徹底
- ・ 医療安全地域対策連携加算相互評価
 - 11月 当院が日高病院を評価
 - 12月 原町赤十字病院が当院を評価
 - 3月 当院が篠塚病院、吉井中央診療所を評価
- ・ 院内感染予防対策委員会開催（毎月）
- ・ ICT活動（毎週ICTラウンド週1回、会議1回）
- ・ AST活動（毎週カンファレンスを実施）
- ・ 藤岡地域感染防止対策カンファレンス
 - （第1回9/17 第2回2/25 第3回3/18）
- ・ 感染対策地域連携加算相互評価
 - （9/9伊勢崎市民病院を受審 10/9済生会前橋病院を訪問）
- ・ 院内感染対策研修会（全職員対象年2回）
- ・ 地域周辺の病院・施設からのコンサルテーション対応
- ・ 職員手帳発行準備
- ・ 患者文化アンケート（2月）
- ・ 地震災害総合訓練（10/28）
- ・ 委託、賃借等契約業務

- ・施設設備の維持
- ・その他資産の管理業務

3. 研修業績

研修会の開催

【医療安全研修会】

- ① 医療安全必須研修会 職員全員対象
前期 7月
後期 1月
- ② 新入職者-職種別-実習生関連の医療安全研修会 (4月)
- ③ 新人看護師研修 (4月)
- ④ 看護補助業務における医療安全 (1月)
- ⑤ 診療部会 医療安全研修会 (9月 1月)

【感染防止対策研修】

- ① 感染対策必須研修会 職員全員対象
前期 6月 手洗い研修
後期 1月 COVID-19 受入れ状況
- ② 院内感染対策研修会
- ③ 新入職者-職種別-実習生関連の感染対策研修会 (4月)
- ④ 標準予防策 (新入職看護職員) (4月)
- ⑤ 中途採用者研修 (適宜)
- ⑥ 栄養室 新型コロナウイルス感染対策
- ⑦ リハビリテーション室 PPE 着脱訓練 新型コロナウイルス感染対策
- ⑧ 看護補助業務における感染管理 新型コロナウイルス感染対策 (1月)
- ⑨ 診療部会 感染対策研修 (9月 1月)
- ⑩ 薬剤部 新型コロナウイルス感染対策

4. 今後の目標

- ・安全管理指針、感染対策マニュアルの改訂
- ・薬剤関連エラー、ドレーンチューブエラー、転倒転落防止対策の徹底
- ・災害対策
(BCP、マニュアル、一斉連絡配信システム登録者の整備)
- ・医療安全・感染防止対策加算、施設基準継続の取り組み
- ・安全管理センターにおける業務整理と改善
- ・施設設備管理の徹底
- ・節電対策

(文責：斉藤 康行)

8. 患者支援センター

1. スタッフ

センター長(副院長兼患者支援センター長) 1名
副看護部長兼病床管理 1名・課長兼事務統括 1名
グループリーダー 1名・副看護師長 1名
看護師 6名・相談員 8名・事務員 3名 (育児休暇中及び再任用職員含む)

2. 業務の現況

入退院支援業務、地域医療連携業務、医療・福祉相談業務
・ 病床管理と入退院のコーディネート。

- ・ 地域医療機関及び福祉施設等との連携。
- ・ 医療・福祉の相談及び患者支援。
- ・ 病院ボランティアの対応とサポート。

3. 今後の目標

- ・ 地域の医療機関及び介護施設職員との、入院時・退院前カンファレンスの体制をつくり、顔の見える連携を構築する。
- ・ スタッフの教育及び技術の向上を図り、患者さんやそのご家族が納得、了承する相談業務を行う。
- ・ 病院の利益追求だけでなく社会貢献も我々の業務にとらえ、地域の人々の幸せの向上を目指して様々な部門と連携を図り、地域全体で患者さんを支えるネットワークの構築と研修会等を開催する。

(文責：横坂 政彦)

9. 緩和ケアセンター

緩和ケアセンターは、すべてのがん患者やその家族に対して、診断時からより迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供するために、医師・看護師を中心とし、多職種が連携した質の高いチーム医療に努めている。

1. スタッフ

緩和ケアセンター長 (専任医師) 1名

専従看護師 1名、専任看護師 1名、医療相談員 1名、兼任看護師 3名

2. 業務内容

- 1) 緩和ケアチームが中心となり、身体的症状や心の痛み、経済的問題など患者や家族が抱えている苦痛の軽減に向けた支援を行う。
- 2) がんに関する高次の相談に対応し、正しいがん情報を提供することで患者や家族が正しい判断や選択ができるよう支援する。
- 3) 緩和ケア外来やがん看護外来、がんサロンを実施する。
- 4) がんの地域連携パスの運用を行う。
- 5) 緩和ケア病床の運営、管理を行う。
- 6) 地域の医療機関の診療従事者と協働した緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを定期開催する。
- 7) 連携協力している医療機関等を対象にした患者の診療情報にかかる相談等、いつでも連絡が取れる体制を整備する。
- 8) 院内外の医療従事者に対する研修会等の運営を行う。
- 9) 緩和ケアセンターの運営に関するカンファレンスを定期開催する。

3. 今後の目標

- ・ 切れ目のない質の高い緩和ケアを遂行するため、外来通院患者のスクリーニングを実施し自宅療養中患者の早期苦痛緩和に努める。
- ・ カンファレンスを充実させ、院内外との多職種連携を強化していく。
- ・ 緩和ケア病床を活用した在宅療養や在宅看取りに繋がる支援を行う。
- ・ グリーフケアの充実を図る。
- ・ 院内外を対象としたがん医療における知識や技術の向上につながる研修会 (WEB 研修を含む) を企画する。

10. しらさぎの里管理課

1. スタッフ

課長 他7名

2. 業務の現況

管理

事務2名 庶務・経理・用度・修繕・設備・車両等 施設全般の管理業務

介護老人保健施設

- ・支援相談員1名 入退所の調整や入所相談など
- ・介護支援専門員1名 入所者の療養計画の作成や家族への連絡・調整など

居宅介護支援事業所

介護支援専門員3名 在宅高齢者の介護計画やサービス事業者との調整など

3. 今後の目標

増収を図る為の利用者の確保

入所者 一日平均人数：73人

通所者 一日平均人数：44人

サービスの質向上を図る為の接遇の強化

全職員の改善意識

研修会の参加

関係機関等との連携の強化

(文責：中里 光夫)

病 院 行 事

病院行事

1. 主な病院行事

実施年月日	行 事 名
令和2年4月1日	辞令交付式、新採用職員研修 臨床研修医オリエンテーション
4月28日	群馬県臨床研修合同ガイダンス（前橋市）
7月18日	職員採用試験
7月25日	職員採用試験
8月1日	職員採用試験
8月12日	令和3年度臨床研修医採用試験
8月18日	令和元年度決算審査
9月12日	職員採用試験
9月20日	職員採用試験
10月17日	職員採用試験
11月16日	職員永年勤続者表彰
11月19日	第2回組合議会定例会
12月11日	臨床研修医症例検討会
12月28日	仕事納め
令和3年1月4日	仕事始め、辞令交付式
1月27日	職員採用試験
2月8日	職員採用予定者説明会
2月10日	第1回組合議会定例会
2月15日	職員採用予定者説明会
2月16日	職員採用予定者説明会
3月1日	職員採用試験
3月31日	定年退職者等辞令交付式

2. 職員健康管理

実施年月日	内 容
令和2年6月22日～1月28日	HBワクチン接種
6月2日～7月9日	前期職員健康診断
7月31日～9月4日	前期電離放射線健康診断
10月2日～11月26日	インフルエンザワクチン接種（混合）
12月7日～12月25日	後期職員健康診断
令和2年2月17日～3月19日	後期電離放射線健康診断

3. 職員共済行事

実施年月日	行 事 名
令和2年6月17日	理事会・評議員会
6月21日	群馬県公的病院バレーボール大会（藤岡市）※中止
9月19日	西毛地区公立病院親善野球大会（藤岡市）※中止
11月16日	厚生部 勤続10年記念品配布
令和3年3月18日	理事会・評議員会

<令和2年度> 病院年報
発行日 令和3年11月
発行 多野藤岡医療事務市町村組合
公立藤岡総合病院
〒375-8503 群馬県藤岡市中栗須813番地1
TEL 0274-22-3311
企画・編集 経営管理部 企画財政課

